

令和4年度

歳入歳出決算にかかる

主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
令和4年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	7
(4) 都市計画税の使途	9
(5) 全会計市債等現在高	9
(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費	10
(7) 令和4年度 普通会計決算状況調書	11
(8) 一般会計等における財務書類4表	13
部門別決算成果概要	
新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連経費	20
1 危機管理室	22
2 市長公室	24
3 政策企画部	32
4 総務・市民協働部	45
5 産業観光部	56
6 人権環境部	93
7 福祉子ども部	107
8 健康長寿部	165
9 建設部	207
10 都市整備部	219
11 教育部	240
12 消防本部	283
13 その他	289
議会事務局	289
選挙管理委員会事務局	291
監査委員事務局	293
公平委員会事務局	293
固定資産評価審査委員会事務局	294
農業委員会事務局	294
14 用品調達基金運用状況表	295

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定により、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模及び総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、令和4年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

令和4年度の決算概要

令和4年度各会計歳入歳出決算の状況は、（1）各会計決算額のとおりとなっている。

また、令和4年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度から2億4,763万8千円（1.0%）の増額となった。国庫支出金は、前年度の子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金などの影響により、前年度から19億1,114万4千円（△9.7%）の減額となった。

歳出を目的別に分析すると、前年度から、土木費は、ウトロ地区住環境改善事業費などの影響により、66億1,799万3千円（2.5%）、教育費は、小・中学校ICT教育充実事業費や（仮）西小倉地域小中一貫校整備事業費などの影響により、5億3,555万8千円（10.2%）の増額となった。一方、民生費は、前年度の子育て世帯臨時特別給付金給付事業費や住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費などの影響により、15億8,818万8千円（△4.5%）、商工費は前年度の事業者緊急支援金給付事業費などの影響により、1億5,952万4千円（△6.4%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、人件費は、前年度から9,099万4千円（0.7%）の増額、扶助費は、前年度の子育て世帯臨時特別給付金給付事業費や住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費などの影響により、前年度から22億7,489万9千円（△9.3%）の減額、公債費は、前年度から7億968万7千円（△13.3%）の減額となり、義務的経費全体で、前年度から28億9,359万2千円（△6.7%）の減額となった。なお、ウトロ地区住環境改善事業費やJR六地蔵駅改築事業費などの影響により、普通建設事業費は、前年度から13億2,238万5千円（40.2%）の増額、災害復旧事業費は、前年度から1,144万8千円（皆減）の減額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	令和4年度	71,698,063	70,348,347	1,349,716	491,390	858,326	25,521
	令和3年度	72,574,723	71,517,486	1,057,237	224,432	832,805	163,705
	差引	△876,660	△1,169,139	292,479	266,958	25,521	△138,184
国民健康保険 事業特別会計	令和4年度	18,048,989	18,027,765	21,224	0	21,224	△19,084
	令和3年度	18,260,059	18,219,751	40,308	0	40,308	40,308
	差引	△211,070	△191,986	△19,084	0	△19,084	△59,392
後期高齢者医療 事業特別会計	令和4年度	3,390,609	3,383,949	6,660	0	6,660	265
	令和3年度	3,159,259	3,152,864	6,395	0	6,395	△1,971
	差引	231,350	231,085	265	0	265	2,236
介護保険事業 特別会計	令和4年度	16,694,515	16,138,532	555,983	0	555,983	130,483
	令和3年度	16,417,049	15,991,549	425,500	0	425,500	△188,685
	差引	277,466	146,983	130,483	0	130,483	319,168
墓地公園事業 特別会計	令和4年度	42,749	42,749	0	0	0	0
	令和3年度	48,151	48,151	0	0	0	0
	差引	△5,402	△5,402	0	0	0	0
水道事業会計 (収益の収支)	令和4年度	4,003,758	4,086,370	△82,612			
	令和3年度	4,010,111	3,980,646	29,465			
	差引	△6,353	105,724	△112,077			
水道事業会計 (資本の収支)	令和4年度	1,782,940	2,661,511	△878,571			
	令和3年度	1,647,094	2,418,192	△771,098			
	差引	135,846	243,319	△107,473			
公共下水道 事業会計 (収益の収支)	令和4年度	5,547,968	5,392,282	155,686			
	令和3年度	5,555,809	5,375,488	180,321			
	差引	△7,841	16,794	△24,635			
公共下水道 事業会計 (資本の収支)	令和4年度	3,720,992	5,414,854	△1,693,862			
	令和3年度	4,737,104	6,464,454	△1,727,350			
	差引	△1,016,112	△1,049,600	33,488			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	3年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	24,401,726	34.4	24,154,088	33.3	247,638	1.0
うち個人市民税	9,877,244	13.9	9,797,482	13.5	79,762	0.8
うち法人市民税	1,714,229	2.4	1,963,261	2.7	△249,032	△12.7
うち固定資産税	9,763,982	13.8	9,443,770	13.0	320,212	3.4
地方譲与税	358,117	0.5	358,619	0.5	△502	△0.1
利子割交付金	10,778	0.1	22,869	0.1	△12,091	△52.9
配当割交付金	210,778	0.3	222,199	0.3	△11,421	△5.1
株式等譲渡所得割交付金	145,493	0.2	258,467	0.3	△112,974	△43.7
地方消費税交付金	4,102,577	5.7	3,976,027	5.5	126,550	3.2
ゴルフ場利用税交付金	30,035	0.1	28,359	0.1	1,676	5.9
自動車取得税交付金	1,370	0.1	25	0.1	1,345	5,380.0
自動車税環境性能割交付金	65,296	0.1	44,500	0.1	20,796	46.7
法人事業税交付金	342,703	0.4	279,245	0.3	63,458	22.7
地方特例交付金	179,302	0.2	447,963	0.6	△268,661	△60.0
地方交付税	9,341,291	13.1	9,103,366	12.5	237,925	2.6
普通交付税	8,947,559	12.6	8,730,073	12.0	217,486	2.5
特別交付税	393,732	0.5	373,293	0.5	20,439	5.5
交通安全対策特別交付金	19,189	0.1	21,629	0.1	△2,440	△11.3
分担金及び負担金	225,702	0.3	228,448	0.3	△2,746	△1.2
使用料	1,103,247	1.5	1,134,873	1.5	△31,626	△2.8
手数料	108,728	0.2	110,668	0.2	△1,940	△1.8
国庫支出金	17,863,246	25.2	19,774,390	27.3	△1,911,144	△9.7
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	72,862	0.1	69,654	0.1	3,208	4.6
府支出金	5,969,740	8.4	5,518,150	7.6	451,590	8.2
財産収入	201,684	0.3	178,426	0.2	23,258	13.0
寄付金	222,185	0.3	257,596	0.4	△35,411	△13.7
繰入金	269,784	0.4	249,206	0.3	20,578	8.3
繰越金	1,057,237	1.5	842,959	1.2	214,278	25.4
諸収入	2,502,963	3.5	2,738,457	3.8	△235,494	△8.6
地方債	2,149,700	3.0	2,359,800	3.3	△210,100	△8.9
うち臨時財政対策債	846,300	1.2	1,250,000	1.7	△403,700	△32.3
歳入合計	70,955,733	100.0	72,379,983	100.0	△1,424,250	△2.0
うち一般財源等	43,979,834	62.0	43,274,846	59.8	704,988	1.6
うち経常一般財源等	37,553,267	52.9	37,285,700	51.5	267,567	0.7

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	3年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	452,871	0.7	422,410	0.6	30,461	7.2
総務費	6,913,962	9.9	7,398,328	10.4	△484,366	△6.5
民生費	33,387,544	48.0	34,975,732	49.0	△1,588,188	△4.5
衛生費	6,814,981	9.8	6,344,775	8.9	470,206	7.4
労働費	59,207	0.1	55,536	0.1	3,671	6.6
農林水産業費	326,192	0.5	308,723	0.4	17,469	5.7
商工費	2,315,280	3.3	2,474,804	3.5	△159,524	△6.4
土木費	6,617,993	9.5	6,455,902	9.0	162,091	2.5
消防費	2,306,594	3.3	2,289,566	3.2	17,028	0.7
教育費	5,784,239	8.3	5,248,681	7.3	535,558	10.2
災害復旧費	0	0.0	11,448	0.1	△11,448	皆減
公債費	4,627,154	6.6	5,336,841	7.5	△709,687	△13.3
歳出合計	69,606,017	100.0	71,322,746	100.0	△1,716,729	△2.4

性質別決算状況

	4年度決算額 (千円)	構成比 (%)	3年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	13,304,204	19.1	13,213,210	18.5	90,994	0.7
物件費	7,405,879	10.6	6,763,618	9.5	642,261	9.5
維持補修費	589,714	0.8	588,282	0.8	1,432	0.2
扶助費	22,125,785	31.8	24,400,684	34.2	△2,274,899	△9.3
補助費等	6,795,290	9.8	6,487,425	9.1	307,865	4.7
公債費	4,627,154	6.7	5,336,841	7.5	△709,687	△13.3
積立金	691,704	1.0	1,823,659	2.5	△1,131,955	△62.1
投資及び出資金	742,932	1.1	724,166	1.0	18,766	2.6
貸付金	1,967,293	2.8	2,279,442	3.2	△312,149	△13.7
繰出金	6,746,451	9.7	6,406,745	9.0	339,706	5.3
普通建設事業費	4,609,611	6.6	3,287,226	4.6	1,322,385	40.2
災害復旧事業費	0	0.0	11,448	0.1	△11,448	皆減
歳出合計	69,606,017	100.0	71,322,746	100.0	△1,716,729	△2.4
うち義務的経費	40,057,143	57.6	42,950,735	60.2	△2,893,592	△6.7
経常的経費	53,789,003	77.3	52,944,166	74.2	844,837	1.6

ウ 財政構造

令和4年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・財政の豊かさを計る財政力指数（過去3カ年平均）は0.723（3年度0.736）
- ・財政の堅実度を見る実質収支比率は2.3%（3年度2.2%）
- ・財政の弾力性を判断する経常収支比率は93.6%（3年度92.0%）
- ・一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は100.5%（3年度98.3%）

エ 基金現在高

基金全体の令和4年度末現在高（普通会計）は、100億8,360万3千円で、前年度から4億3,844万円の増額となった。繰入については、公共施設等整備基金を1億円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に3億262万6千円、減債基金に1億5,033万2千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に2,791万3千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は14億5,302万6千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
公共施設等整備基金	100,000	JR六地蔵駅改築事業	82,000
		排水路改良事業	7,000
		公園バリアフリー整備	3,000
		消防機械器具整備	6,000
		高度救急設備整備	2,000
国際交流基金	10	カムループス市交流促進事業	10
文化事業基金	1,523	文化センター文化事業	1,523
ふるさと創生基金	1,012	源氏物語ミュージアム企画展示	1,012
地域福祉振興基金	14,905	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	2,412
		地域福祉センター再整備事業	12,493
社会福祉事業基金	7	在宅要援護老人対策事業	7
福祉基金	13,447	社会福祉施設等振興備品配付事業	13,447
母子福祉基金	18	ひとり親家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	18
玉井高齢者福祉事業基金	8	在宅要援護老人対策事業	8
高齢者活動基金	39	高齢者活動事業	20
		公民館活動事業	19
スポーツ振興基金	3,762	スポーツ教室開催	524
		スポーツ大会開催	403
		スポーツ振興基金活用事業	2,835
中小企業振興基金	25	中小企業振興対策事業	25
大気質測定基金	6,039	自動車排出ガス監視測定局運営事業	6,039
市有製茶機械購入基金	2,900	市有製茶機械貸与	2,900
交通安全事業基金	125	交通安全対策事業	125
火災予防等事業基金	130	火災予防等事業基金活用事業	130
ふるさと応援基金	96,400	東京しぶや連携交流事業	1,600
		源氏ろまん事業	11,500
		高校生文化芸術祭典事業	500
		地域安全・安心見守り事業	2,700
		子育ておうえん環境整備事業	1,500
		宇治茶ふれあい事業	300
		全国お茶まつり開催負担金	3,000
		高品質茶ブランド力強化事業	3,100

		観光インバウンド推進事業	3,600
		観光活性化事業補助金	2,300
		観光情報発信事業	10,600
		お茶の京都DMO協議会負担金	12,800
		ワーケーション受入体制支援事業	800
		放ち鶴飼事業補助金	1,600
		「京の七夕 in UJI」事業	4,000
		観光おもてなし推進事業	9,300
		天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業	3,900
		こども未来キャンパス事業	6,300
		安全対策強化事業	7,400
		文化財指定推進事業	3,000
		文化的景観保護推進事業	3,600
		お茶と宇治のまち歴史公園史跡ゾーン整備事業	3,000
図書館図書等整備基金	1,500	図書館資料提供事業	1,500
福祉未来基金	12,308	防犯カメラ設置事業補助金	891
		ひきこもり相談窓口設置事業	2,500
		地域福祉活動応援事業	517
		地域ボランティア等担い手育成事業	1,000
		障害者コミュニケーションツール整備事業	364
		手話奉仕員養成講座開設事業	76
		健康アライアンス事業	2,034
		妊婦面談事業	406
		産後ケア事業	1,631
		新生児聴覚スクリーニング検査事業	2,889
合計	254,158		

オ 地方債現在高

令和4年度末における地方債の現在高は390億700万円となり、前年度から23億4,606万6千円の減少となった。発行額は、一般債が13億340万円、臨時財政対策債が8億4,630万円で、総額21億4,970万円となり、前年度から2億1,010万円の減額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成19年6月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成19年度決算から、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第5条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	4年度 決算	3年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.53%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.53%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	△0.4%	0.0%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	4年度決算	3年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
公共下水道事業会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

令和4年度に実施した都市計画税充当対象事業費21億9,677万(下水道事業含む)に対して、都市計画税16億9,904万8千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	六地藏地区道路整備事業	26,036
下水道事業	下水道事業	574,412
その他事業	公園整備事業 他	32,854
公債費(下水道事業分含む)		1,065,746
合 計		1,699,048

(5) 全会計市債等現在高

	4年度末 (千円)	3年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	90,397,198	92,253,037	△1,855,839	△2.0
一般会計	39,353,573	41,725,723	△2,372,150	△5.7
墓地公園事業特別会計	129,311	145,655	△16,344	△11.2
水道事業会計	9,394,610	8,302,185	1,092,425	13.2
公共下水道事業会計	41,519,704	42,079,474	△559,770	△1.3

(6) 地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

平成26年4月1日より消費税率が5%から8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、その用途を明確化し、社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

令和4年度一般会計における社会保障施策経費への充当状況については、次のとおりです。

【歳入】地方消費税交付金（社会保障財源化分） 2,367,471千円

【歳出】社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 20,974,097千円

< 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 > (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳					
		特定財源			一般財源		
		国府支出金	市債	その他	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他	
社会 福祉	生活保護事業	2,425,454	1,790,896	0	4,090	129,751	500,717
	児童福祉事業	9,046,645	4,976,140	0	446,084	745,911	2,878,510
	母子福祉事業	2,168	0	0	602	322	1,244
	高齢者福祉事業	319,212	6,900	0	26,846	58,749	226,717
	障害者福祉事業	646,341	248,692	0	591	81,715	315,343
	その他社会福祉事業	146,090	14,651	0	2,629	26,509	102,301
	小 計	12,585,910	7,037,279	0	480,842	1,042,957	4,024,832
社会 保険	国民健康保険事業	1,484,484	861,790	0	0	128,151	494,543
	後期高齢医療事業	2,781,657	400,870	0	0	489,969	1,890,818
	介護保険事業	2,143,594	0	0	0	441,154	1,702,440
	小 計	6,409,735	1,262,660	0	0	1,059,274	4,087,801
保健 衛生	母子保健事業	495,101	157,920	0	4,633	68,439	264,109
	高齢者医療事業	62,236	32,521	0	2	6,115	23,598
	障害者医療事業	756,552	433,020	0	6,199	65,308	252,025
	疾病予防対策事業	466,300	527	0	2,314	95,380	368,079
	健康増進対策事業	120,541	6,071	0	1,050	23,342	90,078
	その他保健事業	77,722	5,964	0	39,418	6,656	25,684
	小 計	1,978,452	636,023	0	53,616	265,240	1,023,573
合 計	20,974,097	8,935,962	0	534,458	2,367,471	9,136,206	

※ 地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

(7) 令和4年度 普通会計決算状況調書

(単位:千円) 262048 宇治市
市町村類型 IV-3

人口	国調	2年	179,630人	△2.7%	面積	67.54km ²	交付税種地	I-5							
		27年	184,678人	△2.6%				人口密度	2国調	2,660人/km ²	産業構造	2国調	682人	22,126人	66,042人
		22年	189,609人	0.0%					27国調	2,734人/km ²		27国調	574人	19,292人	55,354人
	住基	R5.1.1	182,144人	△0.7%	人口集中地区人口	2国調		175,891人	27国調	0.8%	24.9%	74.3%			
		R4.1.1	183,510人	△0.8%		27国調		180,546人	27国調	0.8%	25.6%	73.6%			
		R3.1.1	184,995人	△0.5%		世帯数		R5.1.1	85,224世帯						

区分	令和4年度	令和3年度	増減率	区分	令和4年度	令和3年度
歳入総額	A 70,955,733	72,379,983	△2.0%	財政力指数(単年/3力年)	0.708 0.723	0.704 0.736
歳出総額	B 69,606,017	71,322,746	△2.4%	歳出決算倍率	1.863	1.880
歳入歳出差引(A-B)	C 1,349,716	1,057,237	27.7%	実質収支比率	2.3 %	2.2 %
翌年度に繰り越すべき財源	D 491,390	224,431	118.9%	経常一財等比率	100.5 %	98.3 %
実質収支(C-D)	E 858,326	832,806	3.1%	公債費負担比率	10.2 %	12.0 %
単年度収支	F 25,520	163,706	△84.4%	公債費比率(単年/3力年)	3.5% 4.2%	4.0% 5.0%
積立金	G 302,626	471,263	△35.8%	起債制限比率(単年/3力年)	2.7% 3.4%	3.3% 4.2%
繰上償還金	H 0	523,700	皆減	地方債残高比率	104.4 %	109.0 %
積立金取崩し額	I 0	0	-	実質債務残高比率	121.7 %	125.8 %
実質単年度収支(F+G+H-I)	J 328,146	1,158,669	△71.7%	経常収支比率	93.6 %	92.0 %
基準財政収入額	21,725,682	20,718,199	4.9%	経常収支比率(臨財・減収除)	95.7 %	95.1 %
基準財政需要額	30,673,241	29,433,665	4.2%	健全化判断比率	令和4年度	令和3年度
標準税収入額等	27,564,562	26,236,744	5.1%	実質赤字比率	-	-
標準財政規模	37,358,455	37,942,730	△1.5%	連結実質赤字比率	-	-
地方債現在高	39,007,000	41,353,066	△5.7%	実質公債費比率(単年/3力年)	△1.1% △0.4%	△0.8% 0.0%
債務負担行為翌年度以降支出予定額	6,446,340	6,360,028	1.4%	将来負担比率	-	-

一般職の状況(R5.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	
一般職員	41.25 歳	841 人	322,281 円	市長	967,500 円	H30.4.1より	城南衛生管理組合	
教育公務員	46.58 歳	27 人	363,080 円	副市長	823,400 円	"	淀川・木津川水防事務組合	
消防関係職員	42.00 歳	208 人	335,544 円	教育長	730,050 円	"	京都府自治会館管理組合	
技能労務職員	46.83 歳	184 人	341,581 円	議長	635,000 円	H15.12.1より	京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合	
会計年度任用職員	-	-	-	副議長	585,000 円	"	京都府後期高齢者医療広域連合	
合計	42.33 歳	1,260 人	328,163 円	議員	535,000 円	"	京都府地方税機構	
ラスパイレース指数(R4.4.1)			101.7					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)			
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	3,605,464	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金
23,756,958	7,153,263	3,559,380	減債	3,033,634	国保特会	18,048,989	18,027,766	1,484,484
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,453,026	後期高齢特会	3,403,328	3,396,668	677,680
0	4,537,399	39,007,000	退職手当	11,657	介護特会	16,694,515	16,138,532	2,479,384
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,432,848				
発行額	0	発行額	846,300	合計	11,536,629			

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率	
地方税	24,401,726	34.4	22,702,678	60.4		人件費	13,304,204	19.1	11,966,867	11,716,867	30.5	
地方譲与税	358,117	0.5	358,117	0.9		うち職員給	8,522,882	12.2	7,739,867	7,709,529	20.1	
利子割交付金	10,778	0.1	10,778	0.1		扶助費	22,125,785	31.8	6,003,715	5,988,089	15.6	
配当割交付金	210,778	0.3	210,778	0.5		公債費	4,627,154	6.7	4,475,841	4,475,841	11.7	
株式等譲渡所得割交付金	145,493	0.2	145,493	0.4		元利償還金	4,626,167	6.6	4,474,854	4,474,854	11.6	
地方消費税交付金	4,102,577	5.7	4,102,577	10.9		一借利子	987	0.1	987	987	0.1	
ゴルフ場利用税交付金	30,035	0.1	30,035	0.1		(義務的経費計)	40,057,143	57.6	22,446,423	22,180,797	57.8	
自動車取得税交付金	1,370	0.1	1,370	0.1		物件費	7,405,879	10.6	4,767,802	4,199,188	10.9	
自動車税環境性能割交付金	65,296	0.1	65,296	0.2		維持補修費	589,714	0.8	520,991	520,991	1.4	
法人事業税交付金	342,703	0.4	342,703	0.9		補助費等	6,795,290	9.8	6,245,870	3,697,506	9.6	
地方特例交付金	179,302	0.2	179,302	0.5		うち一組負担金	1,856,048	2.7	1,856,048	1,287,896	3.4	
地方交付税	9,341,291	13.1	8,947,559	23.8		積立金	691,704	1.0	496,015	-	-	
普通交付税	8,947,559	12.6	8,947,559	23.8		投資及び出資金	742,932	1.1	705,432	52,062	0.1	
特別交付税	393,732	0.5	-	-		貸付金	1,967,293	2.8	1,005	1,005	0.1	
小計	39,189,466	55.2	37,096,686	98.8		繰出金	6,746,451	9.7	5,304,701	5,282,025	13.7	
交通安全対策特別交付金	19,189	0.1	19,189	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0			
分担金及び負担金	225,702	0.3	0	0.0		投資的経費	4,609,611	6.6	2,141,879		43,979,834	
使用料	1,103,247	1.5	328,919	0.8		うち人件費	58,944	0.1	48,774		経常一般財源等	
手数料	108,728	0.2	0	0.0		普通建設	4,609,611	6.6	2,141,879		37,553,267	
国庫支出金	17,863,246	25.2	-	-		補助	1,110,420	1.5	39,053		臨時一般財源等	
国有提供施設等交付金	72,862	0.1	72,862	0.1		単独	3,492,352	5.0	2,102,087		6,426,567	
府支出金	5,969,740	8.4	-	-		府等事業負担金	6,839	0.1	739		経常経費充当一財等	
財産収入	201,684	0.3	32,159	0.1		災害復旧	0	0.0	0		35,933,574	
寄付金	222,185	0.3	-	-		歳出合計	69,606,017	100.0	42,630,118			
繰入金	269,784	0.4	-	-								
繰越金	1,057,237	1.5	-	-								
諸収入	2,502,963	3.5	3,452	0.1								
地方債	2,149,700	3.0	-	-								
歳入合計	70,955,733	100.0	37,553,267	100.0								
市町村税の状況						歳出(目的別)						
法定普通税	区分	収入済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等	
	市民税	個人均等割	299,191	1.2	△ 0.5	302,465	-	議会費	452,871	0.7	29,074	451,762
	所得割	9,578,053	39.3	0.9	9,959,669	-	総務費	6,913,962	9.9	1,563,823	5,471,793	
	法人均等割	396,947	1.6	△ 1.0	351,821	65,734	民生費	33,387,544	48.0	90,525	15,507,397	
	法人税割	1,317,282	5.4	△ 15.7	1,291,236	375,227	衛生費	6,814,981	9.8	61,270	4,657,583	
	固定資産税	9,763,982	40.0	3.4	9,539,371	-	労働費	59,207	0.1	0	28,667	
	うち純固定資産税	9,654,254	39.6	3.4	-	-	農林水産業費	326,192	0.5	44,692	239,228	
	軽自動車税	365,987	1.5	5.8	366,839	-	商工費	2,315,280	3.3	131,237	693,869	
	市町村たばこ税	981,236	4.0	3.9	961,867	-	土木費	6,617,993	9.5	1,838,575	4,358,682	
	特別土地保有税	-	-	-	-	-	消防費	2,306,594	3.3	173,417	2,177,120	
計	22,702,678	93.0	0.9	22,773,268	440,961	教育費	5,784,239	8.3	676,998	4,568,176		
目的税	都市計画税	1,699,048	7.0	2.4	-	-	災害復旧費	0	0.0	-	0	
計	1,699,048	7.0	2.4	-	-	公債費	4,627,154	6.6	-	4,475,841		
合計	24,401,726	100.0	1.0	22,773,268	440,961	諸支出金	0	0.0	0	0		
						市税収入率						
						うち市民税		うち資産税		合計		
						現年	99.36%	99.09%	99.23%			
						合計	98.43%	97.66%	98.07%			

(8) 一般会計等における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。

本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類を作成してきたが、平成27年1月に総務省より「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」が示され、すべての地方公共団体が「統一的な基準」による財務書類を作成することとされ、平成28年度決算からは「統一的な基準」により財務書類を作成している。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常費用」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分等を計上している。

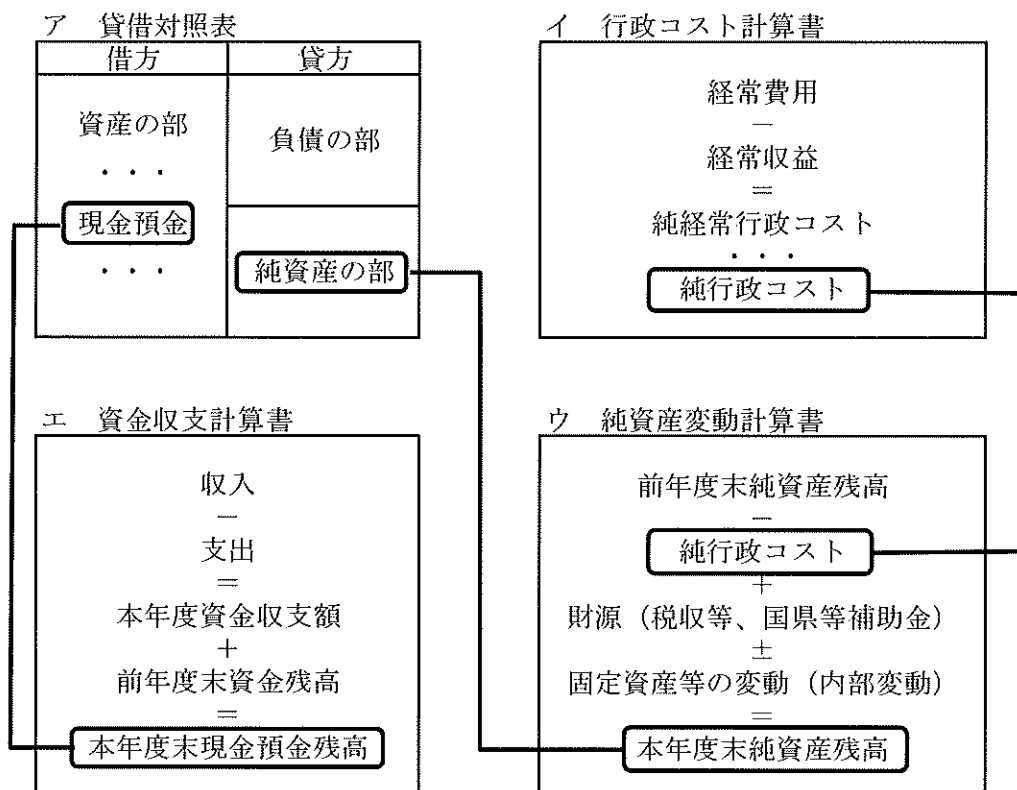
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「税収等」、国・京都府からの「国県等補助金」が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「前年度末資金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「本年度末資金残高」は本年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の関連図>



一般会計等貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】	210,734,613	【負債の部】	52,743,298
固定資産	201,032,697	固定負債	45,092,599
有形固定資産	195,338,086	地方債	33,914,503
事業用資産	98,073,114	長期未払金	759,956
土地	69,105,488	退職手当引当金	9,958,222
立木竹	215,819	損失補償等引当金	269,408
建物	72,617,639	その他	190,510
建物減価償却累計額	△ 44,816,855	流動負債	7,650,699
工作物	8,238,309	1年内償還予定地方債	5,092,436
工作物減価償却累計額	△ 7,287,286	未払金	73,460
その他	0	未払費用	0
その他減価償却累計額	0	前受金	0
建設仮勘定	0	前受収益	0
インフラ資産	95,814,059	賞与等引当金	876,702
土地	54,346,166	預り金	1,476,462
建物	8,175,688	その他	131,639
建物減価償却累計額	△ 4,378,829	負債合計	52,743,298
工作物	102,639,959	【純資産の部】	157,991,315
工作物減価償却累計額	△ 65,051,425	固定資産等形成分	207,684,272
その他	0	余剰分(不足分)	△ 49,692,957
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	82,500		
物品	4,848,957		
物品減価償却累計額	△ 3,398,044		
無形固定資産	0		
ソフトウェア	0		
その他	0		
投資その他の資産	5,694,611		
投資及び出資金	436,190		
有価証券	70,000		
出資金	366,190		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	791,067		
長期貸付金	76,298		
基金	4,414,742		
減債基金	0		
その他	4,414,742		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 23,686		
流動資産	9,701,916		
現金預金	2,826,178		
未収金	246,813		
短期貸付金	12,477		
基金	6,639,098		
財政調整基金	3,605,464		
減債基金	3,033,634		
棚卸資産	0		
その他	0		
徴収不能引当金	△ 22,650		
資産合計	210,734,613	純資産合計	157,991,315
		負債及び純資産合計	210,734,613

一般会計等行政コスト計算書

自 令和 4年04月01日

至 令和 5年03月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	66,169,119
業務費用	30,086,451
人件費	14,197,521
職員給与費	11,027,976
賞与等引当金繰入額	27,113
退職手当引当金繰入額	641,449
その他	2,500,983
物件費等	14,451,793
物件費	9,514,206
維持補修費	1,211,362
減価償却費	3,705,136
その他	21,089
その他の業務費用	1,437,137
支払利息	131,388
徴収不能引当金繰入額	0
その他	1,305,749
移転費用	36,082,668
補助金等	14,823,690
社会保障給付	15,793,553
他会計への繰出金	5,447,640
その他	17,785
経常収益	2,579,789
使用料及び手数料	1,279,032
その他	1,300,757
純経常行政コスト	63,589,330
臨時損失	12,641
災害復旧事業費	0
資産除売却損	12,641
投資損失引当金繰入額	0
損失補償等引当金繰入額	0
その他	0
臨時利益	22,925
資産売却益	22,925
その他	0
純行政コスト	63,579,046

一般会計等純資産変動計算書

自 令和 4年04月01日
至 令和 5年03月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	156,492,196	208,443,071	△ 51,950,875
純行政コスト(△)	△ 63,579,046		△ 63,579,046
財源	63,547,848		63,547,848
税金等	39,714,862		39,714,862
国県等補助金	23,832,986		23,832,986
本年度差額	△ 31,198		△ 31,198
固定資産等の変動(内部変動)		△ 1,381,369	1,381,369
有形固定資産等の増加		1,414,084	△ 1,414,084
有形固定資産等の減少		△ 3,230,109	3,230,109
貸付金・基金等の増加		453,512	△ 453,512
貸付金・基金等の減少		△ 18,856	18,856
資産評価差額	△ 11,605	△ 11,605	
無償所管換等	661,151	661,151	
その他	880,771	△ 26,976	907,747
本年度純資産変動額	1,499,119	△ 758,799	2,257,918
本年度末純資産残高	157,991,315	207,684,272	△ 49,692,957

一般会計等資金収支計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	61,795,179
業務費用支出	25,712,511
人件費支出	13,528,959
物件費等支出	10,746,657
支払利息支出	131,388
その他の支出	1,305,507
移転費用支出	36,082,668
補助金等支出	14,823,690
社会保障給付支出	15,793,553
他会計への繰出支出	5,447,640
その他の支出	17,785
業務収入	65,589,648
税収等収入	39,714,862
国県等補助金収入	23,294,997
使用料及び手数料収入	1,279,032
その他の収入	1,300,757
臨時支出	0
災害復旧事業費支出	0
その他の支出	0
臨時収入	0
業務活動収支	3,794,469
【投資活動収支】	
投資活動支出	3,538,150
公共施設等整備費支出	1,414,084
基金積立金支出	693,618
投資及び出資金支出	0
貸付金支出	1,424,718
その他の支出	5,730
投資活動収入	2,382,226
国県等補助金収入	537,989
基金取崩収入	254,159
貸付金元金回収収入	1,429,706
資産売却収入	160,372
その他の収入	0
投資活動収支	△ 1,155,924
【財務活動収支】	
財務活動支出	4,495,766
地方債償還支出	4,495,766
その他の支出	0
財務活動収入	2,149,700
地方債発行収入	2,149,700
その他の収入	0
財務活動収支	△ 2,346,066
本年度資金収支額	292,479
前年度末資金残高	1,057,237
本年度末資金残高	1,349,716
前年度末歳計外現金残高	1,500,878
本年度歳計外現金増減額	△ 24,416
本年度末歳計外現金残高	1,476,462
本年度末現金預金残高	2,826,178

重要な会計方針に関する注記

1. 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

(1) 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

(2) 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

2. 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券・・・・・・・・取得原価

(2) 出資金・・・・・・・・出資金額及び市場価格

3. 有形固定資産等の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・定額法

(2) 無形固定資産・・・定額法

(3) リース資産・・・・・・・・リース期間を耐用年数とし、残存価値をゼロとする定額法

4. 引当金の計上基準及び算定方法

(1) 徴収不能引当金

過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

(2) 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

(3) 損失補償等引当金

履行すべき額が確定していない損失補償債務等のうち、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する将来負担比率の算定に含めた将来負担額を計上しています。

(4) 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

5. リース取引の処理方法

(1) ファイナンス・リース取引

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(2) オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

6. 資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物

なお、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

7. その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品の計上基準

物品については、取得価額が50万円以上の場合に資産として計上しています。

部門別決算成果概要

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
重点施策	WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心

所管部局
各担当部局

事務事業名	新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連経費	所管課	各担当課	
		決算額	5,082,792 千円	
事業内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、物価高騰に伴い、大きく影響を受けた市民・事業者等への支援や感染拡大防止に向けた「新たな生活様式」への対応等に取り組む。			
成果・実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、物価高騰に伴う市民・事業者等への支援や感染拡大を防止するための各種施策を実施した。			
	◎新型コロナウイルス感染症対策に係る主な支援事業一覧			
	事業	決算額 (千円)	課名	事業概要
	水道料金等減免事業補助金	394,149	財政課	市民への給付金等に要した費用
	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業費	41,598	地域福祉課	
	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費	725,977		
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(ひとり親世帯分)	118,562	こども福祉課	
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費(その他世帯分)	111,198		
	傷病手当金	4,181	国民健康保険課	
	入所施設等感染防止対策支援事業費	1,245	介護保険課	事業者等に対する感染症拡大防止対策に要した費用
	感染症対策専門家派遣事業費	20	障害福祉課	
	新型コロナウイルス感染症対策費	41,242	障害福祉課 こども福祉課 保育支援課 保健推進課 介護保険課	
	農業経営支援事業費	591	農林茶業課	
	農地力向上支援事業費	3,769		
	展示会出展支援助成事業費	10,596	産業振興課	事業者等への経営状況改善支援や補助、給付金等に要した費用
	新型コロナウイルス感染症対策強化費	10,358	障害福祉課 介護保険課	
	障害福祉サービス事業所等生産活動拡大支援事業費	1,782	障害福祉課	
	のりあい交通事業臨時支援補助金	2,929	交通政策課	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費喚起に要した費用
	農業情報発信事業費	1,951	農林茶業課	
	宇治のお店おうえんクーポン(プレミアム付デジタルクーポン発行)事業費	231,781	産業振興課	
	商店街等販売促進支援事業費	5,950		
	宇治のうまいもん発信事業費	1,286	デジタル政策課	
	ICT活用推進事業費	13,011		
	デジタルデバйд対策事業費	3,794		
	小・中学校ICT教育充実事業費	279,905	学校教育課	ICTを活用した「新しい生活様式」への対応やオンライン環境整備に要した費用
	電子図書館サービス事業費	12,767	中央図書館	
	スポーツ団体感染症対策事業費	1,959	文化スポーツ課	安心して文化芸術活動やスポーツ活動を継続するための支援に要した費用
	スポーツ気運醸成事業費	2,727		
	文化芸術活動動画配信事業費	1,160		
	虐待児童等見守り強化事業費	9,729	こども福祉課	児童虐待防止の対策強化に要した費用
新型コロナウイルスワクチン接種関連事業費	1,468,971	健康づくり推進課	新型コロナウイルスワクチン接種準備に要した費用	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
重点施策	WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心

所管部局
各担当部局

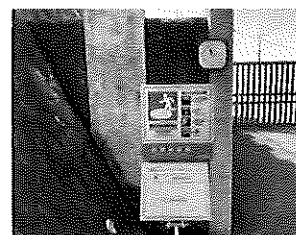
事務事業名	新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関連経費	所管課	各担当課
		決算額	5,082,792 千円
成果・実績	◎物価高騰対策に係る主な支援事業一覧		
	事業	決算額 (千円)	課名
	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費	1,100,150	地域福祉課
	子育て世帯物価高騰対策臨時給付金事業費	435,239	障害福祉課 こども福祉課
	先端設備等導入支援事業費	6,052	産業振興課
	障害福祉施設物価高騰対策事業費	4,293	障害福祉課
	民間保育所等物価高騰対策事業費	7,061	保育支援課
	介護保険施設等物価高騰対策事業費	10,304	介護保険課
	地域公共交通燃料費高騰対策事業費	5,595	交通政策課
	学校給食費高騰緊急支援事業費	9,000	学校管理課
私立幼稚園等物価高騰対策事業費	1,910	学校教育課	
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止や、物価高騰に伴う市民・事業者等への支援に取り組んだ。引き続き、市民生活の状況に応じた支援に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
危機管理室

事務事業名	防災事業費	所管課	危機管理室								
		決算額	8,451千円								
事業内容	防災行政無線の適切な運用にかかる修繕や保守を実施する。また、防災資機材の購入・修繕を行い、市の防災力の維持向上を図る。										
成果・実績	<p>電波法に基づく固定局再免許申請を行い、基地局・固定局定期検査を受検した。また、防災行政無線保守点検及び劣化した避難所看板の更新を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎固定局再免許申請</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">113千円</td> </tr> <tr> <td>◎基地局・固定局定期検査</td> <td style="text-align: right;">417千円</td> </tr> <tr> <td>◎避難所看板更新委託</td> <td style="text-align: right;">2,085千円</td> </tr> <tr> <td>◎防災行政無線保守点検</td> <td style="text-align: right;">5,388千円</td> </tr> </table>			◎固定局再免許申請	113千円	◎基地局・固定局定期検査	417千円	◎避難所看板更新委託	2,085千円	◎防災行政無線保守点検	5,388千円
◎固定局再免許申請	113千円										
◎基地局・固定局定期検査	417千円										
◎避難所看板更新委託	2,085千円										
◎防災行政無線保守点検	5,388千円										
事業評価	固定局再免許申請を行い、基地局・固定局定期検査を受検したことで、防災行政無線の継続運用を可能にした。また、防災行政無線の保守点検に加えて、劣化した避難所看板を更新することにより避難所開設時の受入体制を整えた。今後も防災力を維持向上させるため、各種備品やシステムを十分に活用できるよう努める必要がある。										



事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理室				
		決算額	3,342千円				
事業内容	地域の防災力向上を図り、宇治市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施する。また、備蓄品等の計画的な更新整備を行うとともに、医薬品等の点検、交換を行う。						
成果・実績	<p>宇治市防災訓練は「公助」として各防災関係機関の連携強化を図るとともに、自主防災リーダーの訓練や市民参加型訓練を取り入れ「自助」「互助」「共助」の強化を図ることを目的として開催しており、令和2年度及び令和3年度については新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかったが、令和4年10月23日に防災訓練を実施した。</p> <p>また、備蓄食糧としてカンパン、アルファ米、要配慮者生活用品として紙おむつ、哺乳ボトルの購入を行い、医薬品等の点検・交換を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎備蓄食糧、要配慮者生活用品購入</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,637千円</td> </tr> <tr> <td>◎防災訓練開催、医薬品点検・交換</td> <td style="text-align: right;">705千円</td> </tr> </table>			◎備蓄食糧、要配慮者生活用品購入	2,637千円	◎防災訓練開催、医薬品点検・交換	705千円
◎備蓄食糧、要配慮者生活用品購入	2,637千円						
◎防災訓練開催、医薬品点検・交換	705千円						
事業評価	2年ぶりに宇治市防災訓練を実施したことにより、自主防災リーダーや関係機関との連携等について確認することができた。今後も様々な訓練を通してさらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。						

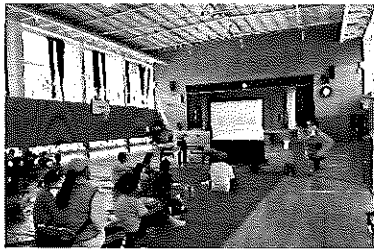


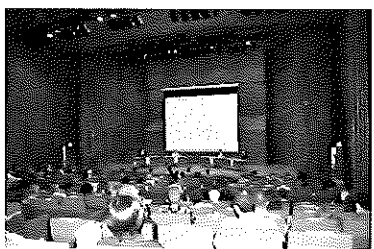
宇治市防災訓練

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
危機管理室



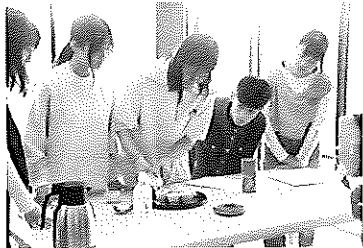
事務事業名	自主防災組織育成事業補助金	所管課	危機管理室
		決算額	547千円
事業内容	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、防災訓練及び講演会などの取組に必要な経費の2分の1（世帯数で上限を設定）を毎年助成する制度により、自主防災組織の育成を図る。		
成果・実績	<p>町内会・自治会等が実施する防災訓練等の経費に対し補助金を交付した。</p> <p>◎補助金交付実績 補助金交付額 547千円 交付団体数 14団体</p> <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">地域の防災訓練</p> </div>		
事業評価	自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などを実施する町内会・自治会等に対して、補助金を交付することにより、地域防災力の向上を促進することができた。今後も引き続き、自主防災組織率の向上を図り、地域の継続的な自主防災活動及び避難行動要支援者の避難支援の促進に努める必要がある。		

事務事業名	災害時地域タイムライン作成支援事業費	所管課	危機管理室
		決算額	103千円
事業内容	洪水浸水想定区域にある自主防災組織や町内会等を対象にした『災害時タイムライン（「いつ」「どこへ」「どのように」避難するかを定めておく計画）』の作成を支援する。		
成果・実績	<p>令和4年度は京都府南部地域豪雨災害から10年を迎えたことを受け、令和4年7月24日に防災シンポジウム（タイムライン作成リーダー養成講座1回目）を、令和4年8月7日・8月21日にタイムライン作成リーダー養成講座（2・3回目）をそれぞれ開催した。</p> <p>◎タイムライン作成実績 8団体</p> <p>◎防災シンポジウム開催 約150人の参加 ・京都大学防災研究所長の講演 ・パネルディスカッション</p> <div style="text-align: right;">  <p style="text-align: center;">防災シンポジウム</p> </div>		
事業評価	防災シンポジウム（タイムライン作成リーダー養成講座）の開催を通じて、自主防災リーダーの方に『災害時タイムライン作成リーダー』としても活躍できる知識を習得してもらったことができた。今後も引き続き、災害時タイムラインの作成支援を行い、自主防災組織等のタイムライン作成率の向上に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

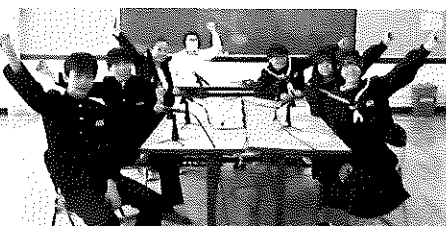
総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	国際交流、平和

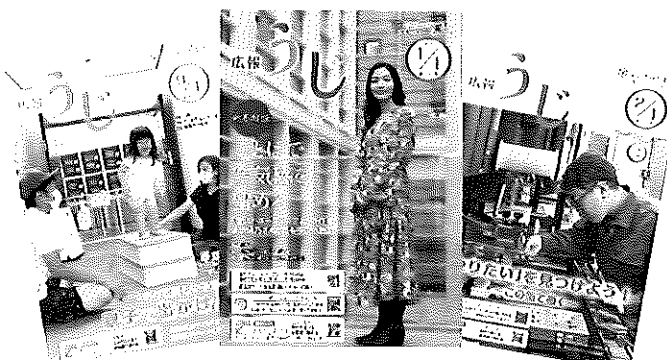
所管部局
市長公室

事務事業名	国際交流促進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	91 千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、市民間の国際交流の発展のため相互の友好親善交流を促進する。		
成果・実績	◎カムループス市交流促進費 91千円 令和4年6月24日、両市長による「オンライン会談」を開催 		
	令和4年10月8日、宇治市在住の中学生5名が参加し「オンラインティーパーティ」を開催  		
	<ul style="list-style-type: none"> ・カムループス市公式訪問団 中止 ・宇治市中学生訪問団の派遣 中止 ・トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 中止 		
	◎咸陽市交流促進費 令和4年10月26日、日中国交正常化50周年の節目にあたり、咸陽市と友好都市である宇治市・成田市とともに、陝西省等主催の「中日歴史文化主要都市フォーラム」にオンラインで参加		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、公式訪問団等の派遣及び受入れなど、人的交流は行うことができなかったが、オンラインの活用及び文化的交流を行うことにより、友好都市との交流を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	市長公室
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信	

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	24,650 千円
事業内容	コミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアであり、その特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。また、災害時において、有効な情報伝達媒体として市民に発信することができる。		
成果・実績	<p>エフエム宇治放送の番組「宇治市探検」において、月曜日から金曜日までの毎日30分間、市政情報を発信したほか、環境問題及び男女共同参画などの啓発スポット放送を流した。また、「宇治市探検」の冒頭に新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起やワクチン接種に関する情報を放送するなど情報発信媒体としてその役割を果たした。</p> <p>さらに、新番組として、小中学校の児童生徒と保護者をつなぎ、地域にも魅力を発信することを目的に「宇治っ子放送部」を開始し、月1回程度放送した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ◎「宇治っ子放送部」放送回数 7回 ◎「宇治市探検」放送回数 258回 ◎新型コロナウイルス感染症に関する情報 1,242回 ◎災害時等緊急時 放送回数 187回  </div>		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送を活用することにより、市民に広く市政情報の発信ができた。今後も引き続き放送内容の充実を図るとともに、緊急時における時宜を得た効果的な情報の発信手法を検討する必要がある。		

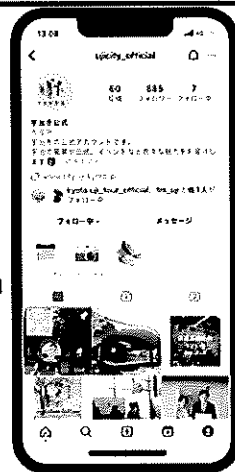
事務事業名	市政だより発行費	所管課	秘書広報課
		決算額	32,373 千円
事業内容	市政に関することを市民に知らせるため、広報誌「宇治市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。		
成果・実績	<p>誌面デザインの一部を外部委託するなど、市政情報の効果的な発信を図っている。ポスティングにより、市内全戸へ配布するとともに、市ホームページに掲載するなど広く発信をした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> ◎年間発行部数 1,969,680部  </div>		
事業評価	今後も引き続き、より読みやすく分かりやすい誌面構成に努めるとともに、市ホームページ及びSNSなどとの連携による効果的な市政情報の発信手法を引き続き検討する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	広報活動費	所管課	秘書広報課
		決算額	3,216 千円
事業内容	<p>広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページ、SNSなどの運用を行う。また、市に関する情報を、動画でわかりやすく発信する。</p>		
成果・実績	<p>市長自らが市政運営のビジョンや施策の考え方など、市政に関する情報を市民に向けて広く届けるため市長記者会見を実施し、宇治日刊記者クラブに対しては、報道資料の提供及び記者発表を行った。</p> <p>また、SNS及びインターネット動画サイトによる効果的な情報発信として、市公式LINEでは、幅広い世代に向け、防災、子育て及びイベント・催し、ごみの出し方などの総合的な市政情報を発信し、道路及び公園遊具の損傷などの連絡について、機能を活用し受け付けた。</p> <p>加えて、より多くの人に宇治の魅力を届けるため、市公式Instagramを活用し、宇治の風景及び伝統、イベントなど様々な魅力を発信した。</p>		
事業評価	<p>市長記者会見の実施や市ホームページ、市公式LINE及びInstagramなどを活用した積極的な情報発信を図ることができた。引き続き、より効果的な市政情報の発信手法を検討する。</p>		



事務事業名	情報発信力強化事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	1,156 千円
事業内容	<p>視覚に障害がある人、識字が困難な人や外国人への情報発信として市政情報を音声化・多言語化する。</p> <p>また、多文化共生の推進に向けて、職員の外国人住民への理解を促進する。</p>		
成果・実績	<p>市ホームページのテキストデータの音声化及び市広報誌等PDFデータの音声化・多言語化を実施した。</p> <p>外国人が暮らしやすいまちづくりを進めるため、外国人住民を取り巻く現状について、管理職を対象に研修を行った。</p> <p>◎研修名 多文化共生推進について ◎講師派遣依頼先 (公財) 京都府国際センター ◎受講者数 約80名</p>		
事業評価	<p>市ホームページやホームページ上の市広報誌等の音声化や多言語化を行うツールにより、市政情報を必要とする人が利用できるように周知を図る。</p> <p>また、外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるため、職員の多文化共生に対する意識啓発や醸成を図る。</p>		



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信

所管部局
市長公室

事務事業名	戦略的広報推進事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	4,171 千円
事業内容	ターゲットを定め、わかりやすく、各種メディアの特性を活かした広報と、市民との双方向コミュニケーションの促進を目的とした戦略的広報を推進する。		
成果・実績	<p>戦略的広報を推進するため庁内体制の強化及び職員研修などを実施した。また、外部人材である広報戦略プロデューサーを配置し、広報に関することならあらゆる相談が可能な「広報なんでも相談」を開始するなど、庁内のサポート体制を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎職員研修 5回 ◎広報なんでも相談 98件 ◎チラシ等デザイン作成 19件 		
事業評価	研修や広報に関する相談等を通じて、広報活動への意識向上、戦略的広報の必要性の理解を深めることができた。今後も、職員向け研修、広報に関する相談、さらにはSNS等を活用したプロモーションの実施などを通じて市役所全体の情報発信力の強化を図る。		



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進	市長公室
取組の方向	市民・産・学・官等との連携・協働	

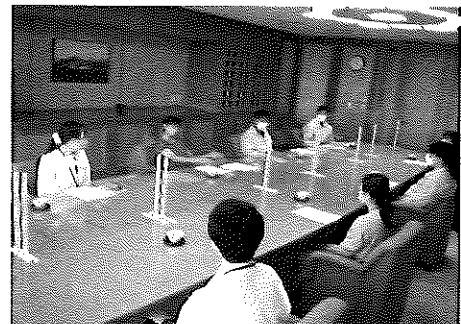
事務事業名	市長とにぎわいミーティング事業費	所管課	秘書広報課
		決算額	16千円
事業内容	<p>市民参画・協働によるまちづくりのため、市長が市民の方が活動されている現場へ出向き、その活動を体験等することにより活動に対する理解を深める。</p> <p>また、意見交換を実施し、活動されている方々の活動に対する思い及び取り巻く状況、意見などを聴き、市政への反映を図る。</p>		
成果・実績	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、以下のとおり全7回開催した。		
	開催日	対象団体	内容
	5月6日(金)	横浜東地区防災対策会議	地域防災について
	7月29日(金)	NPO法人まきしま絆の会、 京都文教大学・京都文教短期大学	子育て支援について
	9月7日(水)	おぐらばんごはん会	食を通じた地域交流について
	10月2日(日)	宇治っ子朗読劇団☆Genji	子どもの文化活動について
	10月16日(日)	宇治市介護者(家族)の会	介護者家族の交流・支援について
	12月5日(月)	株式会社横井製作所	働きやすい職場づくりについて
	2月3日(金)	本の修理ボランティア	地域のボランティア活動について
			
事業評価	<p>幅広い分野において、地域で活動する市民等と活発な意見交換を行うことができた。</p> <p>今後も、市民の思い及び取り巻く状況を把握し、市民協働のまちづくりの推進に努める。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	3,107千円
事業内容	宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。		
成果・実績	<p>人口減少や少子高齢社会が進行する中で、市民ニーズを的確に把握しながら、時代の変化を敏感に察知し、活力にあふれ持続的に発展する魅力ある宇治市を築いていくため、「宇治市職員人材育成基本方針」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>◎求められる職員像 Change「変える・変わる職員」 (1) Collaborate「市民と協働する職員」 地域の方々と連携し、市民参画・協働を促進 (2) Catch「ニーズや変化をキャッチする職員」 市民ニーズを的確に把握、時代の変化を敏感に察知 (3) Create「創造する職員」 長期的かつ多面的な視野で新しい宇治市を創造 (4) Communicate「コミュニケーション能力の高い職員」 市民から信頼される誠実な対応、周囲との積極的な意思疎通 (5) Challenge「チャレンジする職員」 困難な状況や課題に対して前向きに挑戦</p> <p>◎基本研修 新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、管理職研修など</p> <p>◎特別研修 市長とAfternoonTeaミーティング、新任庶務担当者研修、安全運転研修、人権研修など</p> <p>◎派遣研修 京都府市町村振興協会 全国市町村国際文化研修所など</p>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、集合研修を実施したほか、京都府市町村振興協会及び各種団体が実施するeラーニング及びオンライン研修を積極的に活用する中で、職務の遂行に必要な知識・技能の向上などを図った。</p> <p>引き続き、時代の変化に的確に対応できる人材の育成を目指し、効率的かつ効果的な研修を実施する。</p>		

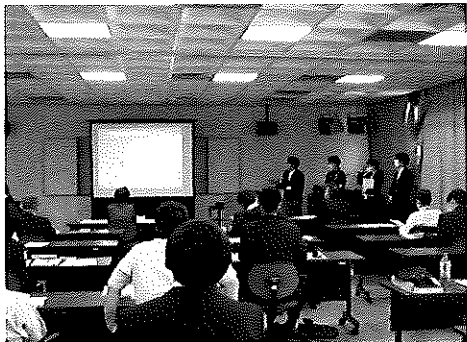


市長とAfternoonTeaミーティング

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
市長公室

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	人事課
		決算額	2,536千円
事業内容	各部から選出された若手職員がチームを組み、チームごとに政策研究テーマを設定し、課題を自ら発見し、チームで共有、検討しながら課題解決につなげることができる能力の向上を図るワークショップ型の研修を実施する。最終的に研修参加者が幹部職員の前で自ら立案した政策をプレゼンテーションする。		
成果・実績	<p>12名の参加者が3チームに分かれ、①宇治市超高齢社会への歩み、②#バズる観光、③地域密着型スポーツで若者人口増加、と題し、それぞれのテーマについての政策研究を行った。</p> <p>◎組織横断的に職員が参加したことにより、職種間の新たな交流や、多様な価値観に触れる機会が生まれた。</p> <p>◎市の課題を自ら発見する中で、より広い視野で市の現状を捉える機会が生まれた。</p> <p>◎提案そのものの事業化には至らなかったものの、提案内容の一部アイデアについて予算化された。</p>		
			
	チーム型政策研究プログラム発表の様子		
事業評価	<p>チーム単位で取り組むテーマを決定し、決定したテーマについて研究・検討を重ねることで、より深い議論のもと政策研究が実施できた。また、行政運営上の課題の解決手法及び重点施策をより推進する手法などについて、知識を吸収するだけでなく、職員の政策立案能力の向上が図れた。</p> <p>今後も職員の自発性及び積極性の向上に留まらず、調査・研究を行った提案の事業化・予算化の実現も視野に入れ、他課との連携をはじめ、より効果的な手法を検討しながら、継続的に事業を実施する。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

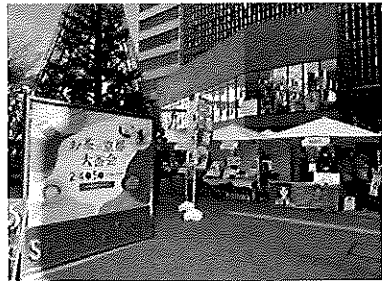

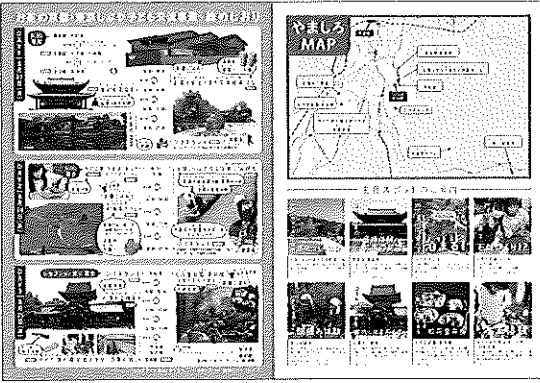
所管部局
市長公室

事務事業名	職員健康管理費	所管課 決算額	職員厚生課 25,780 千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健康診断及びメンタルヘルスケアのための相談業務などを行う。		
成果・実績	<p>労働安全衛生法に基づき、職員を対象に定期健康診断を実施した。受診後のフォロー及び職員の健康意識向上のため、生活習慣改善教室、産業医による個別指導などを行った。</p> <p>職場のメンタルヘルスケアを推進するため、「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき、予防から再発防止までの対策として、産業医による相談事業、職場復帰訓練（試し出勤）などを実施した。</p> <p>長時間勤務による健康被害を予防するため、超過勤務者等に対して健康調査及び産業医による面接指導を実施した。</p> <p>◎職員健康管理医師報酬 1,440千円 産業医2人（精神科医、内科医）による復職相談及び安全衛生管理業務など 産業医による面談 24回（月2回定期的に実施）</p> <p>◎「心の相談」カウンセラー等謝礼 951千円 相談事業の実施、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>◎職員（嘱託含む）各種健診手数料 12,082千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査、深夜業務健康診断など</p> <p>◎特殊健康診断等委託料 10,450千円 定期健康診断の有所見者のフォロー（二次健診、生活習慣改善教室など） 頸肩腕・腰痛予防の健診及びVDT作業従事者健診、職業病予防の健康教室、メンタル不調予防のためのストレスチェックなど</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として実施する職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握及び疾病防止を行い、メンタルヘルス対策について正しい情報を提供することにより、職員の心身の健康増進を図ることができた。今後も引き続き、職員の健康の保持・増進に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	地方創生の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	東京しぶや連携交流事業費	所管課 決算額	政策戦略課 3,368 千円
事業内容	<p>京都府山城地域の12市町村及び東京都渋谷区が連携し、「人」や「企業等」が、日本固有の「和文化」と国際的な「多文化」の融合を図り、それぞれの地域が一過性ではない「深い交流」を持続的に展開する環境を創り出すことにより、両地域の「関係人口」の創出・拡大を目指す。</p>		
成果・実績	<p>京都やましろ地域×東京しぶや連携 ～和文化×多文化 関係人口創出プロジェクト～ 東京都渋谷区と連携し、関係人口の創出に向けた取組を実施した。</p> <p>◎東京の資源を活用した京都の茶文化進化学業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶の京都大茶会の開催 日時：令和5年2月4日・5日 場所：渋谷キャスト →「究極のやましろお茶セット」のお披露目及び「12市町村物販&PR」を実施  <p>◎京都の資源を活用した渋谷カルチャー進化学業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験ツアープログラムの実施 →京都山城地域への訪問及び体験を実施し、「究極のやましろお茶セット」を開発  <p>◎お茶の京都・東京しぶや戦略的交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区の子どもを対象にした山城地域体験ツアーを実施  <p>日時：8月23日～25日 2泊3日 参加者数 10名（子どものみ） ※応募総数 94名 →宇治市では、茶づなでの茶筒作り及び黄檗山萬福寺の座禅体験などを実施</p>		
事業評価	<p>京都府山城地域と東京都渋谷区の文化及び特産品を活かし、それぞれの地域で「交流」を図ることができた。令和4年度で本事業は終了するが、これまでに築いた関係性を活かしながら、今後も「関係人口」の創出・拡大を目指し、地域資源を活かした取組を進める必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信

所管部局
政策企画部

事務事業名	子育てにやさしいまちプロモーション事業費	所管課	政策戦略課
		決算額	990 千円
事業内容	子育てにやさしいまち実現プロジェクトの取組により創出された地域の子育て環境やまちの賑わいを、市内外へ戦略的に広報するとともに、子育てにやさしいまち実現プロジェクトの広がりを発信することにより、プロジェクトの取組全体を推進する。		
成果・実績	子育てにやさしいまち実現プロジェクトの取組を紹介する動画を作成するとともに、各媒体で情報発信を行った。 ◎プロモーション動画の作成 子育てにやさしいまち実現プロジェクトの取組内容及びプロジェクトを通じて関わった市民の声を集め、プロジェクトの全体概要を伝える動画を作成。 <ul style="list-style-type: none"> ・全体版（10分） ・概要版（3分） ◎動画を活用したプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・市公式YouTubeにて公開 （市ホームページからも閲覧可能） 視聴回数：10,841回（令和4年度末時点） ・市設置のデジタルサイネージで放映 		
事業評価	子育てにやさしいまち実現プロジェクトの取組を紹介する動画を作成し、各媒体で発信することにより、広く取組を周知することができた。引き続き、更なる情報発信に取り組みながら全市域での施策展開につなげる。		



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進	政策企画部
取組の方向	市民・産・学・官等との連携・協働	

事務事業名	「まちにわ」ネットワーク形成事業費	所管課	政策戦略課
		決算額	2,486 千円
事業内容	<p>中宇治地域の三角形街区（宇治橋通り・県通り・本町通りに囲まれたエリア）周辺に広がる空間を、地域の人及び訪れた人が共有して使うことのできる「まちにわ」として活用することで、子育てにやさしいまち（誰もが暮らしやすい豊かなまち）を目指す。</p>		
成果・実績	<p>地域の多世代の方が、子どもたちと一緒に、自らの手で交流の場を創出するワークショップを社会実験として実施するとともに、まちの魅力を発見するフィールドワークを実施した。</p> <p>◎「まちにわ」ワークショップ 地域にお住まいの方々や子どもたちがまちづくりに参画する機会の創出及び子どもの視点によるまちづくりの推進のため、ワークショップを実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">第1回　6月18日　参加者数　229名 第2回　11月23日　参加者数　207名</p> <p>◎まちの魅力を発見するフィールドワーク 子どもの視点でまちの魅力を発見するフィールドワークを実施した。「色」をテーマにカラーハンティングを行い、クレヨンづくりまでをフィールドワークの一環で行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">第1回　6月18日　参加者数　9名 第2回　11月23日　参加者数　14名</p>		
事業評価	<p>ワークショップやフィールドワークを実施し、中宇治地域における子育てにやさしいまちの実現に向けた取組を推進することができた。「まちにわ」を含む交流の場形成に向けては、市民協働によるまちづくりを推進する必要があることから、今後も地域のつながりづくりのきっかけとなる取組を進める。</p>		



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
政策企画部

事務事業名	有料広告事業（歳入）	所管課	政策戦略課他		
		決算額	48,632 千円		
事業内容	新たな歳入の創出、財源の確保に関する取組の一環として、市広報媒体への有料広告の掲載を実施しており、広告媒体の拡充及び広告料収入を活用した新たなサービスツールの導入など、業務改善、市民サービスの向上に努める。				
成果・実績	◎広告料収入実績及び効果額				
		令和3年度		令和4年度	
	媒体名	歳入	効果額 (歳出減相当)	歳入	効果額 (歳出減相当)
	ホームページバナー	550	-	557	-
	市政だより	3,630	-	3,898	-
	車両（公用車・ごみ収集車・水道）	1,344	-	1,548	-
	トイレ壁面・公共施設マップ	792	-	792	-
	窓口用封筒	-	300	-	300
	源氏物語ミュージアム事業案内リーフレット	140	-	140	-
	宇治子育て情報誌	-	5,000	-	5,000
	窓口案内システム	104	600	104	600
	総合情報誌（くらしの便利帳）	-	-	-	30,000
	納税通知書送付用封筒	-	276	-	276
空き家情報誌	-	150	-	150	
観光案内所サイネージ	-	-	148	5,000	
高齢者向け情報誌（生きがい探しのすすめ）	-	-	119	-	
小計	6,560	6,326	7,306	41,326	
合計		12,886		48,632	
事業評価	市広告媒体への有料広告の掲載により、歳入の確保及び市民サービスの向上を図ることができた。引き続き、広告媒体の拡充について検討し、新たな歳入の確保に努める。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
政策企画部

事務事業名	ふるさと応援寄附金（歳入）	所管課	政策戦略課																								
		決算額	187,098 千円																								
事業内容	<p>自治体に寄附をすると住民税等が控除となるふるさと納税制度について、宇治市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。</p> <p>また、自治体に寄附をすると税制上の優遇措置が受けられる企業版ふるさと納税制度について、「地域再生計画」を作成し、国からの認定を受け、寄附受入の取組を行っている。</p>																										
成果・実績	<p>◎ふるさと応援寄附金の推移</p> <p>大手寄附受付ポータルサイトへの掲載継続、返礼品の追加などにより、寄附件数、寄附金額ともに増加した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>138</td> <td>247</td> <td>315</td> <td>356</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>3,410</td> <td>1,937</td> <td>4,765</td> <td>10,839</td> <td>11,441</td> </tr> <tr> <td>金額(千円)</td> <td>70,080</td> <td>59,433</td> <td>103,057</td> <td>176,901</td> <td>182,098</td> </tr> </tbody> </table> <p>※品目数は、各年度3月31日現在</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>◎企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・件数 2件 ・金額 5,000千円 			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	品目数	138	247	315	356	402	件数	3,410	1,937	4,765	10,839	11,441	金額(千円)	70,080	59,433	103,057	176,901	182,098
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
品目数	138	247	315	356	402																						
件数	3,410	1,937	4,765	10,839	11,441																						
金額(千円)	70,080	59,433	103,057	176,901	182,098																						
事業評価	<p>多くの方々から寄附をいただき、市政運営に役立てることができた。更なる内容の充実及び広報により、寄附受入件数、金額の増加を図る。企業版ふるさと納税については、地域再生計画が認定されてから初めての受入となった。引き続き受入件数、金額が増加するよう制度の周知及び企業へのアプローチを行う。</p>																										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	組織改革・人材育成の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	政策形成プログラム推進事業費	所管課	政策戦略課																	
		決算額	1,172 千円																	
事業内容	行政課題に対して、組織的に課題解決の手法を研究、提案、実施することで課題解決能力の向上及び政策立案能力の向上を図る。																			
成果・実績	<p>◎政策研究</p> <p>庁内で募集した研究課題の中から市民ニーズ等を踏まえ、担当課において研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 採択事業一覧 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>まち美化推進課</td> <td>小学生制作の手前取り推奨POPによる食品ロス削減に関する研究</td> </tr> <tr> <td>秘書広報課</td> <td>市民との協働・連携による情報発信手法の研究</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	まち美化推進課	小学生制作の手前取り推奨POPによる食品ロス削減に関する研究	秘書広報課	市民との協働・連携による情報発信手法の研究											
	担当課	研究テーマ																		
まち美化推進課	小学生制作の手前取り推奨POPによる食品ロス削減に関する研究																			
秘書広報課	市民との協働・連携による情報発信手法の研究																			
<p>◎政策アイデア 3件（フリー部門1件、事務提案アイデア2件）</p> <p>職員からのアイデア及び事務事業の改善に効果を発揮するアイデアの募集を行い、市政への参加意欲及び政策立案能力の向上を図った。</p> <p>◎優秀政策表彰</p> <p>市民サービスの向上等に効果を上げたと認められる優れた取組を表彰し周知することで、全庁的な取組への波及及び職員の企画立案の意欲向上の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月11日表彰（令和3年度の取組）4件 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>案件名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民協働推進課</td> <td>市民協働のステップアップ ～地域の思いをかたちへ～</td> </tr> <tr> <td>産業振興課</td> <td>こども未来キャンパス</td> </tr> <tr> <td>観光振興課</td> <td>放ち鶴飼プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>長寿生きがい課</td> <td>地域包括ケア体制推進</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月1日表彰（令和4年度の取組）3件 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">担当課</th> <th>案件名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化スポーツ課</td> <td>高校生文化芸術祭典</td> </tr> <tr> <td>まち美化推進課</td> <td>都市鉱山発掘プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>都市計画課</td> <td>都市計画マスタープラン まちづくりオープンハウス&意見交換会</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	案件名	市民協働推進課	市民協働のステップアップ ～地域の思いをかたちへ～	産業振興課	こども未来キャンパス	観光振興課	放ち鶴飼プロジェクト	長寿生きがい課	地域包括ケア体制推進	担当課	案件名	文化スポーツ課	高校生文化芸術祭典	まち美化推進課	都市鉱山発掘プロジェクト	都市計画課	都市計画マスタープラン まちづくりオープンハウス&意見交換会
担当課	案件名																			
市民協働推進課	市民協働のステップアップ ～地域の思いをかたちへ～																			
産業振興課	こども未来キャンパス																			
観光振興課	放ち鶴飼プロジェクト																			
長寿生きがい課	地域包括ケア体制推進																			
担当課	案件名																			
文化スポーツ課	高校生文化芸術祭典																			
まち美化推進課	都市鉱山発掘プロジェクト																			
都市計画課	都市計画マスタープラン まちづくりオープンハウス&意見交換会																			
事業評価	行政課題を発見し、解決に向けた研究の実施、改善の提案などに取り組むことにより、職員の政策立案能力の向上に資することができた。また、大学との連携により、専門的な知識を活かした研究を行うことができた。引き続き、庁内での積極的な政策研究、政策提案の促進を図り、幅広い行政分野での課題解決に向けた取組を検討する。																			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	ICT活用推進事業費	所管課	デジタル政策課															
		決算額	13,011 千円															
事業内容	ICT活用推進の取組としてタブレット端末、テレワーク端末などを活用し、業務の効率化、充実化を図る。																	
成果・実績	<p>タブレット端末（iPad）については、翻訳アプリの活用による窓口での多言語対応を図るとともに、ペーパーレス会議システムの導入による印刷事務の軽減及び避難所開設時の情報共有ツールとして活用を行った。テレワーク端末については、オンライン会議や選挙事務などにおいて活用を行った。</p> <p>公共施設の利用者が、オンライン会議や活動内容の配信などができるように、Wi-Fi設備の活用を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎タブレット端末関連経費（135台）</td> <td style="width: 75%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">7,441千円</td> </tr> <tr> <td>◎ペーパーレス会議システム関連経費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,542千円</td> </tr> <tr> <td>◎テレワーク端末関連経費（70台）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,297千円</td> </tr> <tr> <td>◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）</td> <td></td> <td style="text-align: right;">501千円</td> </tr> <tr> <td>◎オンライン申請環境関連経費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">230千円</td> </tr> </table>			◎タブレット端末関連経費（135台）		7,441千円	◎ペーパーレス会議システム関連経費		1,542千円	◎テレワーク端末関連経費（70台）		3,297千円	◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）		501千円	◎オンライン申請環境関連経費		230千円
◎タブレット端末関連経費（135台）		7,441千円																
◎ペーパーレス会議システム関連経費		1,542千円																
◎テレワーク端末関連経費（70台）		3,297千円																
◎公共施設Wi-Fi環境関連経費（63台）		501千円																
◎オンライン申請環境関連経費		230千円																
事業評価	市民の利便性の向上と業務の効率化を図るための環境の維持更新等を行った。今後も状況に応じて、運用方法の見直しや台数の精査・変更など、更に効果的・効率的な活用を検討する。																	

事務事業名	情報システムセキュリティ強化費	所管課	デジタル政策課												
		決算額	158,263 千円												
事業内容	宇治市が保有する情報資産を適正に管理するため、情報セキュリティ対策を講じる。														
成果・実績	<p>マイナンバー利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系からなるネットワーク構成等の三層の対策を踏まえ、情報セキュリティの確保のため、機器やソフトウェアの適正な維持・更新等を行い、外部からの不正アクセス対策を徹底した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 5%;">◎ネットワーク保守業務委託料</td> <td style="width: 75%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">18,204千円</td> </tr> <tr> <td>◎個人認証システム保守業務委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,432千円</td> </tr> <tr> <td>◎サーバ等更新業務委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">17,820千円</td> </tr> <tr> <td>◎サーバ等備品購入費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">105,861千円</td> </tr> </table>			◎ネットワーク保守業務委託料		18,204千円	◎個人認証システム保守業務委託料		3,432千円	◎サーバ等更新業務委託料		17,820千円	◎サーバ等備品購入費		105,861千円
◎ネットワーク保守業務委託料		18,204千円													
◎個人認証システム保守業務委託料		3,432千円													
◎サーバ等更新業務委託料		17,820千円													
◎サーバ等備品購入費		105,861千円													
事業評価	情報セキュリティの強化を行い、情報資産の適正管理を徹底できた。今後も国・京都府の動向を注視しながら、情報セキュリティの強靱化に努める。														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	オンライン申請環境整備事業費	所管課	デジタル政策課
事業内容	行政手続きのオンライン化の取組として、市民サービスの向上と窓口の混雑緩和及び事務の簡素化のため、オンラインによる証明書の交付申請等手続の環境整備を行う。	決算額	35,608 千円

成果・実績	<p>◎オンライン申請対応手続き</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">子育て関係 (15手続)</td> </tr> <tr><td>児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求</td></tr> <tr><td>児童手当等の額の改定の請求及び届出</td></tr> <tr><td>氏名変更/住所変更等の届出</td></tr> <tr><td>受給事由消滅の届出</td></tr> <tr><td>未支払の児童手当等の請求</td></tr> <tr><td>児童手当等に係る寄附の申出</td></tr> <tr><td>児童手当に係る寄附変更等の申出</td></tr> <tr><td>受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出</td></tr> <tr><td>受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出</td></tr> <tr><td>児童手当等の現況届</td></tr> <tr><td>支給認定の申請</td></tr> <tr><td>保育施設等の利用申込</td></tr> <tr><td>保育施設等の現況届</td></tr> <tr><td>児童扶養手当の現況届の事前送信</td></tr> <tr><td>妊娠の届出</td></tr> <tr> <td colspan="2">介護関係 (11手続)</td> </tr> <tr><td>要介護・要支援認定の申請</td></tr> <tr><td>要介護・要支援更新認定の申請</td></tr> <tr><td>要介護・要支援状態区分変更認定の申請</td></tr> <tr><td>居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出</td></tr> <tr><td>介護保険負担割合証の再交付申請</td></tr> <tr><td>被保険者証の再交付申請</td></tr> <tr><td>高額介護(予防)サービス費の支給申請</td></tr> <tr><td>介護保険負担限度額認定申請</td></tr> <tr><td>居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請</td></tr> <tr><td>居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請</td></tr> <tr><td>住所移転後の要介護・要支援認定申請</td></tr> <tr> <td colspan="2">被災者支援関係 (1手続)</td> </tr> <tr><td>罹災証明書の発行申請</td></tr> <tr> <td colspan="2">転出・転入予約手続き</td> </tr> <tr><td>転出届の提出、転入手続きの予約</td></tr> </table>	子育て関係 (15手続)		児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求	児童手当等の額の改定の請求及び届出	氏名変更/住所変更等の届出	受給事由消滅の届出	未支払の児童手当等の請求	児童手当等に係る寄附の申出	児童手当に係る寄附変更等の申出	受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出	受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出	児童手当等の現況届	支給認定の申請	保育施設等の利用申込	保育施設等の現況届	児童扶養手当の現況届の事前送信	妊娠の届出	介護関係 (11手続)		要介護・要支援認定の申請	要介護・要支援更新認定の申請	要介護・要支援状態区分変更認定の申請	居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出	介護保険負担割合証の再交付申請	被保険者証の再交付申請	高額介護(予防)サービス費の支給申請	介護保険負担限度額認定申請	居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請	居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請	住所移転後の要介護・要支援認定申請	被災者支援関係 (1手続)		罹災証明書の発行申請	転出・転入予約手続き		転出届の提出、転入手続きの予約
子育て関係 (15手続)																																					
児童手当等の受給資格及び児童手当の額についての認定請求																																					
児童手当等の額の改定の請求及び届出																																					
氏名変更/住所変更等の届出																																					
受給事由消滅の届出																																					
未支払の児童手当等の請求																																					
児童手当等に係る寄附の申出																																					
児童手当に係る寄附変更等の申出																																					
受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出																																					
受給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出																																					
児童手当等の現況届																																					
支給認定の申請																																					
保育施設等の利用申込																																					
保育施設等の現況届																																					
児童扶養手当の現況届の事前送信																																					
妊娠の届出																																					
介護関係 (11手続)																																					
要介護・要支援認定の申請																																					
要介護・要支援更新認定の申請																																					
要介護・要支援状態区分変更認定の申請																																					
居住(介護予防)サービス計画作成(変更)依頼の届出																																					
介護保険負担割合証の再交付申請																																					
被保険者証の再交付申請																																					
高額介護(予防)サービス費の支給申請																																					
介護保険負担限度額認定申請																																					
居宅介護(介護予防)福祉用具購入費の支給申請																																					
居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給申請																																					
住所移転後の要介護・要支援認定申請																																					
被災者支援関係 (1手続)																																					
罹災証明書の発行申請																																					
転出・転入予約手続き																																					
転出届の提出、転入手続きの予約																																					

事業評価	紙面での手続きに加えて、オンラインでも申請できる環境を構築することで、来庁不要で申請が完了することによる市民の利便性向上、窓口対応等の時間削減による行政事務の効率化等の取組を推進できた。
------	---

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

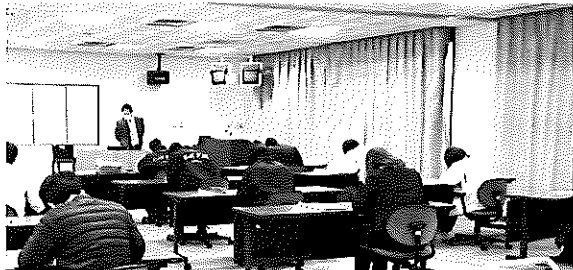
事務事業名	デジタルデバインド対策事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	3,794 千円
事業内容	誰もがデジタルの恩恵を受けることのできる社会を目指し、身近なデジタル機器であるスマートフォンの操作講座や市オンライン申請の問合せ対応など、周知・広報などを実施する。		
成果・実績	<p>国のデジタル活用支援推進事業等を活用しながら、電源の入れ方や電話のかけ方といった基礎的な内容や、アプリの使い方、Wi-Fiのつなぎ方といった基本的な操作方法を中心に、各公共施設等においてスマートフォン操作講座を実施した。</p> <p>◎スマートフォン操作講座（83回開催、639人参加）</p> <p>◎オンライン申請コールセンター</p>		<p style="text-align: right;">1,487千円</p> <p style="text-align: right;">2,307千円</p>
事業評価	<p>少人数、個別指導形式でテキスト配付等によって講座を実施し、参加者のスマートフォンの操作の理解を深めることができた。今後も国等の事業を活用しながら積極的な事業実施に努める。</p>		





事務事業名	AI・RPA活用事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	499 千円
事業内容	AIによる認識機能や、コンピュータ上のロボットによる定型作業を自動化することにより、事務の効率化を図り、業務見直しを促進する。		
成果・実績	<p>試行実施として2業務を選定し、操作性や動作状況、文字認識の状況などを確認しながら、AI-OCRやRPAシステムなどを活用した。</p> <p>◎市政だより原稿編集作業（秘書広報課）</p> <p>◎育成学級土曜日通級申請者一覧表作成作業（こども福祉課）</p>		
事業評価	AI-OCRやRPAシステムの操作支援を踏まえた上で、職員自らがBotを作成することで、事務の効率化とデジタルスキルの向上に繋がった。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営	政策企画部
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進	

事務事業名	デジタル政策推進事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	9,837 千円
事業内容	行政サービスや行政事務、地域社会のデジタル化といった、宇治市全体のデジタル化を推進するため、専門的な支援や助言、人材育成などを図るため、外部人材等を確保する。		
成果・実績	<p>外部人材（デジタル政策プロデューサー）を活用して、デジタル化推進指針の策定及び推進や人材育成に関する取組、デジタル技術を活用した庁内業務効率化等の取組を行った。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">デジタル政策プロデューサーによる研修</p>		
事業評価	業務委託の形態で外部人材等を確保することにより、様々な分野に応じた業務支援を受けることができる環境を構築でき、職員研修の実施等を通じて、デジタルリテラシーの向上を図ることができた。		

事務事業名	マイナンバーカード申請サポート事業費	所管課	デジタル政策課
		決算額	80,101 千円
事業内容	マイナンバーカードの普及促進を図り、ご自身でのマイナンバーカードの申請やマイナポイントの申請が困難な方等の支援を行うため、市内公共施設をはじめ、宇治市外を含めた商業施設等において出張申請サポート等を実施する。		
成果・実績	<p>市政だよりや新聞折り込みなどにより、早い時期に、広い範囲で、長期的な期間（2・3か月の予定表）の広報に努めるとともに、特設ホームページや市公式LINEといったSNSを活用して、マイナンバーカードの申請機会の積極的な利用を促進した。</p> <p>◎会計年度任用職員（嘱託） 3,022千円 ◎出張申請サポート業務委託（240回・13,788件） 77,079千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	市内公共施設とともに市内外の商業施設において、積極的に事業を展開したことで、多くの方の申請支援を行うことができた。また、市庁舎におけるマイナンバーカードの交付事務との重複を避け、混雑の緩和を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	人に優しいデジタル社会の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	マイナンバーカード普及促進事業費	所管課	デジタル政策課	
		決算額	100,950 千円	
事業内容	マイナンバーカードの交付を行うほか、電子証明書の発行・更新や暗証番号の再設定など、マイナンバーカードに関連する諸手続きを行う。			
成果・実績	窓口混雑情報サイト「宇治市なう！」の活用や、完全予約制で月2回程度休日交付を行うなど、マイナンバーカード専用窓口において、マイナンバーカードの円滑な交付を図るとともに、健康保険証の連携や公金受取口座の登録、マイナポイントの申込支援に取り組んだ。			
	◎マイナンバーカード交付状況			
	年度	交付数 (件)	交付数累計 (件)	交付率 (%)
	平成27年度	1,665	1,665	0.9
	平成28年度	14,694	16,359	8.7
	平成29年度	3,252	19,611	10.4
	平成30年度	2,248	21,859	11.6
	令和元年度	3,860	25,719	13.7
	令和2年度	25,206	50,925	27.4
	令和3年度	26,368	77,293	41.8
令和4年度	45,135	122,428	66.7	
事業評価	繁忙期等には、非常に多くの方に来庁いただいたため、カードの受取りや暗証番号の再設定などに時間を要することがあったが、窓口混雑情報サイト等を有効的に活用することで、待ち時間の目途をお伝えするなど、可能な限り混雑緩和に努めた。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	地方創生の推進

所管部局
政策企画部

事務事業名	デジタル田園都市国家構想交付金（歳入）	所管課	政策戦略課・財政課																								
		決算額	50,999 千円																								
事業内容	<p>京都府全域において宇治市の持つ地域資源を国内外へ広く発信するとともに、伝統文化の活用・継承による関係人口の創出及び地域人材・資源の育成・活用による移住定住の促進を図る。</p> <p>また、地域の住民及び企業などの多様な主体がつながり、社会全体で子どもを見守り、子育てを支援する子育て・子育てにやさしいまちづくりを推進する。</p> <p>加えて、京都府山城地域と東京都渋谷区が連携し、企業間・住民間などの多様な繋がり構築を進め、関係人口の創出と拡大を推進する。</p>																										
成果・実績	<p>◎デジタル田園都市国家構想交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らしを」 ～みんなが主役の地域振興事業～ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お茶の京都DMO負担金</td> <td style="text-align: right;">7,431 千円</td> </tr> <tr> <td>滞在誘発のための魅力発信事業</td> <td style="text-align: right;">4,633 千円</td> </tr> <tr> <td>伝統文化活用・継承による関係人口創出事業</td> <td style="text-align: right;">8,695 千円</td> </tr> <tr> <td>暮らしやすさ向上による移住定住促進事業</td> <td style="text-align: right;">1,100 千円</td> </tr> <tr> <td>新たな都市整備によるコミュニティ活性化事業</td> <td style="text-align: right;">1,136 千円</td> </tr> <tr> <td>地域まちづくり共生事業</td> <td style="text-align: right;">4,947 千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">27,942 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てにやさしいまちの核づくり事業</td> <td style="text-align: right;">21,373 千円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都やましろ地域×東京しぶや連携～和文化×多文化関係人口創出プロジェクト～」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">対象事業</th> <th style="width: 30%;">充当事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業負担金</td> <td style="text-align: right;">1,684 千円</td> </tr> </tbody> </table>			対象事業	充当事業費	お茶の京都DMO負担金	7,431 千円	滞在誘発のための魅力発信事業	4,633 千円	伝統文化活用・継承による関係人口創出事業	8,695 千円	暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	1,100 千円	新たな都市整備によるコミュニティ活性化事業	1,136 千円	地域まちづくり共生事業	4,947 千円	合 計	27,942 千円	対象事業	充当事業費	子育てにやさしいまちの核づくり事業	21,373 千円	対象事業	充当事業費	事業負担金	1,684 千円
対象事業	充当事業費																										
お茶の京都DMO負担金	7,431 千円																										
滞在誘発のための魅力発信事業	4,633 千円																										
伝統文化活用・継承による関係人口創出事業	8,695 千円																										
暮らしやすさ向上による移住定住促進事業	1,100 千円																										
新たな都市整備によるコミュニティ活性化事業	1,136 千円																										
地域まちづくり共生事業	4,947 千円																										
合 計	27,942 千円																										
対象事業	充当事業費																										
子育てにやさしいまちの核づくり事業	21,373 千円																										
対象事業	充当事業費																										
事業負担金	1,684 千円																										
事業評価	<p>交付金を活用して、本市の地域資源の積極的な発信をはじめ、子育てに関する交流の場や居場所づくりなどの地域全体で子育て・子育てを支援する施策、広域連携による関係人口創出に資する施策を推進することができた。今後も、国の動向を注視し、各種事業の状況把握、効果などの分析に努め、実施事業を検討する必要がある。</p>																										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	上下水道

所管部局
政策企画部

事務事業名	水道料金等減免事業補助金	所管課	財政課
		決算額	394,149 千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた市民及び事業者等の支援を目的とした水道料金の基本使用料、量水器使用料を免除する公営企業上下水道部に対して補助を行う。		
成果・実績	<p>公営企業上下水道部が実施した水道料金等減免事業により減収した給水収益等に対し補助を行った。</p> <p>(参考) 水道料金等減免事業 水道料金の基本使用料、量水器使用料を3期(6か月)分免除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第4期分 基本使用料等の全額 ・ 第5・6期分 基本使用料等の半額 ・ 延べ免除件数 183,445件 		
事業評価	補助金の交付を行い、手洗い機会の増加などの生活環境や、経済活動支援を目的に、市民や事業者などの負担軽減を図った。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	896 千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、「宇治市安全・安心まちづくり条例」に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>地域における自主的な防犯活動の支援に取り組んだ。</p> <p>◎安全・安心まちづくり補助金の交付 地域住民への防犯啓発、通学路の点検、児童・生徒の登下校時の見守り活動、団体内部における防犯情報の共有、地域ぐるみの防犯パトロールの実施などに取り組む防犯推進団体に対して、活動を支援するための補助金を交付した。</p> <p>◎市民の防犯意識の啓発 12月の「市民安全・安心推進旬間」に「落語から学ぶ、特殊詐欺の手口と対策」をテーマに防犯講演会を開催した。</p>		
事業評価	防犯推進団体への活動支援等により、安全・安心なまちづくりに資する取組を推進できた。地域における自主的な防犯活動が一層推進されるよう、今後も引き続き「宇治市第4次防犯推進計画」に定める各種施策に着実に取り組む必要がある。		


事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	180 千円
事業内容	犯罪被害者等が置かれた状況が社会に十分理解され、犯罪被害者等が孤立することなくその権利利益が保護されるよう、関係機関等と連携しながら犯罪被害者等への支援を行う。		
成果・実績	<p>犯罪被害者等への支援や、支援の必要性に対する市民理解の浸透に向けた広報・啓発を実施した。</p> <p>◎犯罪被害者等支援の情報提供 総務課のワンストップ窓口での相談とともに（公社）京都犯罪被害者支援センターをはじめ関係部署等と連携した犯罪被害者支援講演会や研修の開催、広報活動に取り組んだ。</p> <p>◎「ホンデリングプロジェクト」の実施 犯罪被害者週間を中心とした11月21日から12月3日までの間、古本等の回収箱を市内公共施設17か所に設置し、売却収益を犯罪被害者等の支援に充てる「ホンデリングプロジェクト」に取り組んだ。</p>		
事業評価	犯罪被害者等への支援及び関係機関との連携による啓発の実施等により犯罪被害者支援施策の推進を図った。今後も引き続き適切な支援及び関係機関との連携による効果的な啓発の実施等に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	防犯カメラ設置事業補助金	所管課	総務課
		決算額	891 千円
事業内容	街頭での高齢者や子どもの見守り、犯罪発生を抑止及び体感治安の向上を図るため、自治会・町内会などを対象に防犯カメラの設置に係る費用のうち、補助対象経費の1/2（上限10万円/台）を補助する。		
成果・実績	町内会・自治会などが実施する防犯カメラ設置にかかる費用に対し、補助金を交付した。 ◎交付実績 台数 9台 団体数 5団体		
事業評価	防犯推進組織の活動支援等の取組により、安全・安心なまちづくりを推進できた。今後も引き続き、「宇治市第4次防犯推進計画」に基づき、地域における自主的な防犯活動の一層の推進に取り組む必要がある。		

事務事業名	地域安全・安心見守り事業費	所管課	総務課
		決算額	5,478 千円
事業内容	日常生活の中で防犯活動への参加機会を増やす「ながら」防犯の推進を図るとともに、各小学校への防犯カメラの設置を行う。		
成果・実績	◎「できる人が、できる時に、できることから」を基本に、日常生活を普段通りに送り「ながら」防犯の視点を持って地域や子どもを見守る「ながら」防犯スタート式を開催した。 <div style="text-align: center;">  </div> ◎小学校区ごとの地域安全マップを基にした地域や学校との協働による防犯カメラの設置を行った。 台数 22台 小学校区数 10校区		
事業評価	「ながら」防犯の推進や各小学校区への防犯カメラの設置により、地域における防犯、環境の整備に寄与することができた。今後も引き続き犯罪や非行が起こりにくい地域環境づくりの推進に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	総務課
		決算額	4,029 千円
事業内容	「統計法」の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢などについて実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として、下表の基幹統計に関する業務を実施した。		
	名称 (所管等)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	令和4年5月1日 (毎年・全数調査)	幼稚園、小・中学校、専門学校などの生徒、教員などの人数及び施設などを調査し、学校に関する基礎資料を得る。
	経済センサス調査区管理 (総務省)	—	調査実施上の支障が生じないように、必要に応じ調査区を修正する。追加された事業所情報等について調査区の確認を行う。
	就業構造基本調査 (総務省)	令和4年10月1日 (5年・抽出調査)	国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る。
	住宅・土地統計調査 (単位区設定)	令和5年2月1日 (5年・抽出調査)	本調査の実施に先立ち、調査区域を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を図る。
	◎調査員確保対策事業(所管：総務省) 50千円 統計調査員の募集チラシを作成し、市内公共施設に配架を行い、登録調査員の確保を図った。		
事業評価	調査員と連携し、各種統計調査を適正に実施したことにより、宇治市の人口・経済・社会情勢などの実態を把握することができ、市の各施策へ活用することのできる、統計資料の基礎資料を作成することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	国際交流、平和

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	3,129千円
事業内容	宇治市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、宇治市平和都市推進協議会が実施する、市民平和祈念集会を始め、長崎への平和訪問団の派遣、戦争体験アーカイブの作成などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 ◎平和都市推進協議会補助金 3,129千円		
事業評価	啓発等の平和事業を実施したことにより、平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も引き続き、さらなる事業効果の向上のため、事業内容の工夫・検討により、平和事業への参加者増加を図るとともに、あらゆる機会を通して平和への啓発を実施する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	消費生活振興費	所管課	市民協働推進課
		決算額	1,711 千円
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きにおいて生じた困り事に対し、専門の消費生活相談員が助言・情報提供・あっせんなどを行う。また、市民の消費生活の向上を図るため、情報発信や啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに相談員3名を配置し、1,164件の相談に応じた。 また、消費生活に関する出前講座や消費者月間ロビー展示・消費生活市民講座などを通じて、市民啓発や消費者団体の育成を図った。		
	◎啓発事業		
	事業名	実施時期	成果
	出前講座	通年	32回574人参加
	消費者月間ロビー展示	5月16日～20日	250人参加
	消費生活市民講座	10月4日	50人参加
	見守り人材養成講座	1月26日	33人参加
	消費生活センターだより発行	1月1日号	81,667部配布
事業評価	専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行うことにより、消費生活の改善・向上に寄与することができた。令和4年度からの成年年齢引き下げをはじめ、今後も、広範な消費生活に関する苦情及び相談が想定されることから、様々な手法により市民啓発を図るとともに、各種研修会等への参加を通じて相談員の一層の資質向上に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	市民協働推進課										
		決算額	87 千円										
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行及び優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。												
成果・実績	<p>◎地域社会貢献者 23回目となる令和4年度は、9件の受賞者であった。</p> <p>◎受賞者名</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・安藤 裕 氏</td> <td style="width: 50%;">・奥村 幸子 氏</td> </tr> <tr> <td>・小笹 耕司 氏</td> <td>・下山 登 氏</td> </tr> <tr> <td>・南陵町地区まちづくり協議会</td> <td>・西川 建男 氏</td> </tr> <tr> <td>・西澤 悦子 氏</td> <td>・古川 悦子 氏</td> </tr> <tr> <td>・山崎 絹子 氏</td> <td></td> </tr> </table>			・安藤 裕 氏	・奥村 幸子 氏	・小笹 耕司 氏	・下山 登 氏	・南陵町地区まちづくり協議会	・西川 建男 氏	・西澤 悦子 氏	・古川 悦子 氏	・山崎 絹子 氏	
・安藤 裕 氏	・奥村 幸子 氏												
・小笹 耕司 氏	・下山 登 氏												
・南陵町地区まちづくり協議会	・西川 建男 氏												
・西澤 悦子 氏	・古川 悦子 氏												
・山崎 絹子 氏													
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰することにより、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図ることができた。今後も引き続き、明るく住み良い心豊かな地域社会づくりを推進するため、地域活動の活性化及び社会貢献に対する市民の意欲向上を図る必要がある。												

事務事業名	菟道ふれあいセンター運営費	所管課	市民協働推進課
		決算額	2,942 千円
事業内容	地域のコミュニティ形成の場である菟道ふれあいセンターの管理運営を行う。		
成果・実績	<p>子どもから高齢者まで、地域住民の交流、趣味、娯楽、各種会合、講習会及びスポーツといった幅広い活動に利用された。</p> <p>◎菟道ふれあいセンター年間延べ利用人数 9,725人</p>		
事業評価	菟道ふれあいセンターの適切な管理運営により、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	市民協働推進課
		決算額	79,237 千円
事業内容	平成18年度から地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。		
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・槇島の4つのコミュニティセンターで合わせて11,453件、延べ112,513人の利用があった。 ◎西小倉コミュニティセンター運営費 15,441千円 ◎東宇治コミュニティセンター運営費 20,792千円 ◎南宇治コミュニティセンター運営費 20,256千円 ◎槇島コミュニティセンター運営費 22,748千円		
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。地域コミュニティの拠点施設として、今後も適切な施設の管理運営に努める必要がある。		

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	市民協働推進課
		決算額	36,822 千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	公立集会所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて修繕を実施し環境整備を行った。		
事業評価	公立集会所の適切な管理運営により、地域住民の身近な活動の場として地域コミュニティの活性化を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	民間集会所支援補助金	所管課	市民協働推進課
		決算額	10,111千円
事業内容	町内会・自治会などが自主的に管理運営する民間集会所の新築または修繕などについて補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、33件に補助金を交付した。 ◎改修等 5件 7,187千円 ◎維持管理 28件 2,924千円		
事業評価	地域住民の身近な活動の場である民間集会所の改修等に補助することにより、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。今後も継続的に地域のニーズに沿った効果的な補助制度の運用を検討する必要がある。		

事務事業名	コミュニティ助成事業補助金	所管課	市民協働推進課
		決算額	15,000千円
事業内容	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、地域コミュニティ活動の充実・強化を目的に、募集等を行い、町内会・自治会などに補助金を交付する。		
成果・実績	地域コミュニティ活動の充実・強化を目的に、五ヶ庄南部連合町内会の所有する南部第一公会堂の大規模改修に対し、補助金を交付した。 ◎コミュニティセンター助成事業 1件 15,000千円		
事業評価	一般財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成を活用し、町内会・自治会などに対して、制度を周知の上、補助金を交付することで、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域コミュニティ

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	地域のつながり促進事業費	所管課	市民協働推進課																				
		決算額	4,858千円																				
事業内容	人と人とのつながりが希薄化している中、地域のつながりの促進に向け、「人」と「空間」に着目した各種取組を行う。																						
成果・実績	<p>地域コミュニティ活性化や地域課題の解決に向けて、地域コミュニティ活性化事業補助金を拡充し、交付した。</p> <p>中宇治地区をモデルエリアに設定し、地域まちづくり交流空間促進事業補助金により、交流空間における「きっかけ」の創出や「つながり」の促進に対して支援した。</p> <p>また、令和2年度に地域への無償譲渡を行った西浦東集会所の改修等に対し、集会所地域移行支援補助金を交付した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">「人」</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">①</td> <td style="width: 45%;">地域コミュニティ活性化事業補助金</td> <td style="width: 10%;">5件</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">964千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「空間」</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>地域まちづくり交流空間促進事業補助金</td> <td>10件</td> <td style="text-align: right;">2,281千円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>集会所地域移行支援補助金</td> <td>1件</td> <td style="text-align: right;">1,163千円</td> </tr> </table>			「人」				①	地域コミュニティ活性化事業補助金	5件	964千円	「空間」				②	地域まちづくり交流空間促進事業補助金	10件	2,281千円	③	集会所地域移行支援補助金	1件	1,163千円
「人」																							
①	地域コミュニティ活性化事業補助金	5件	964千円																				
「空間」																							
②	地域まちづくり交流空間促進事業補助金	10件	2,281千円																				
③	集会所地域移行支援補助金	1件	1,163千円																				
事業評価	「人」と「空間」に着目し、それぞれの観点で支援を行うことで、地域のつながりの促進に寄与することができた。																						

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	広聴事務費	所管課	市民協働推進課
		決算額	101千円
事業内容	市民の行政に対する意見、要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談・行政懇談会などの内容を関係部課に伝え、適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設27か所に設置している「市民の声」投書箱により、広い範囲から市政に対する意見、要望などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩み事、心配事など日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介するなどの対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,662件 （市政相談1,396件、他の公共機関等62件、民事相談ほか204件） ・行政懇談会 6回 ・行政相談 12回（毎月第3木曜日） 		
事業評価	市民相談・行政懇談会などを通じて市民ニーズを把握し、市民の要望を市政に反映することができた。今後も、市民に親しまれる身近な相談窓口として、より効果的な広聴手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
総務・市民協働部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課
		決算額	59,547 千円
事業内容	小倉、木幡など市内6か所の行政サービスコーナーにおいて、住民票の写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。		
成果・実績	諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。		
	◎市民課業務の年間取扱件数（公用請求を除く）		
	名称	件数	
	小倉行政サービスコーナー	9,779	
	木幡行政サービスコーナー	11,706	
	南宇治行政サービスコーナー	6,858	
榎島行政サービスコーナー	6,203		
東宇治行政サービスコーナー	5,403		
開行政サービスコーナー	4,521		
事業評価	諸証明の発行業務を市内6か所で実施することにより、地域住民の利便性向上に努めた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める必要がある。		

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課
		決算額	3,111 千円
事業内容	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部事項証明書などの諸証明発行業務を行う。		
成果・実績	◎住民票の写し等諸証明発行数（行政サービスコーナー分を含む）		
	（通）		
	名称	交付数	
	印鑑登録証明書	45,699	
	住民票の写し	68,228	
	戸籍全部事項証明書等	18,742	
	戸籍個人事項証明書等	3,351	
	除かれた戸籍全部事項証明書等	8,573	
	除かれた戸籍個人事項証明書等	140	
	戸籍附票	2,928	
	閲覧	22 ※	
諸証明	7,105		
印鑑登録証	5,427		
	※は件数		
事業評価	各種証明書の発行等の事務を適正に執行した。令和4年1月からは行政サービスの向上と事務の簡素化及び窓口の混雑緩和のため、住民票の写し等のオンライン申請を導入している。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実・改善に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	新規就農者確保事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,250 千円
事業内容	農業者の高齢化が急速に進展する中、新規就農者を確保し農業を持続させるため、経営確立に資する資金の交付等により、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		
成果・実績	次世代を担う農業者となることを目指す新規就農者に対して、経営開始時の早期の経営確立を支援した。 ◎農業次世代人材投資事業（経営開始型） ・件数 3件 ◎新規就農育成総合対策（経営開始資金） ・件数 1件		
事業評価	新規就農者に対し、早期の経営確立を支援する資金を交付することにより、農業の持続と振興を図ることができた。農業者の高齢化に対応する取組が必要であるため、今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		

事務事業名	農地中間管理事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	715 千円
事業内容	平成26年度から農地利用最適化を進める手法として、各都道府県に一つ農地中間管理機構が設立された。市街化区域外の農地を借り受け、担い手に対して貸出を行う農地中間管理機構の委託を受け、農地集積・耕作放棄地解消を図る。また機構を通して農地集積に協力した農業者へ支援を行う。		
成果・実績	農地の借受希望及び貸付希望の公募を支援し、マッチングを行った結果、約1.51haの農地を担い手へ集積し、耕作放棄地化の解消・防止とともに担い手の農業経営基盤を強化した。また、売買を支援する特例事業にも取り組んだが、利用はなかった。 ◎農地中間管理事業（貸借） ・マッチング 7件 ・貸付面積 約1.51ha		
事業評価	農地の借受希望者と貸出希望者のマッチングにより、農地集積を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き当該機構を活用した農業者への支援に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	つながる農地づくり事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	358 千円
事業内容	農業生産基盤としての農地を守り、担い手や次世代へつなぐため、農地集積の取組を強化するとともに、産地として農地を保全する取組等を支援する。		
成果・実績	<p>◎ジャンボタニシ対策支援事業 水稲農家が行う害虫対策費用（農薬購入費）の一部を支援（1,000円/10a） ・件数 4件（27人）</p> <p>◎農業用廃プラスチック等適正処理推進事業 農業者が使用した農業用廃プラスチックの回収・処分に要する経費の一部について補助 ・件数 1件（24人）</p>		
事業評価	ジャンボタニシにかかる農薬購入費の一部を補助することにより、ジャンボタニシ駆除の取組への支援を行うことができた。また、農業用廃プラスチックの処分に要する経費の一部を補助することにより、農業用廃プラスチックの排出にかかる適正処理を推進することができた。今後も制度の周知を図り、安定した農業経営を促進する。		

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課
		決算額	2,869 千円
事業内容	鳥獣による農林業生産物への被害を防止するため、シカ及びイノシシの捕獲を進める。		
成果・実績	<p>東部山間地を中心に、農林業生産物への被害防止を目的に宇治猟友会に委託して捕獲事業を実施したほか、被害防止のための捕獲及び狩猟によるシカ捕獲に対して捕獲奨励金を交付した。イノシシについては捕獲実績なし。</p> <p>◎捕獲事業 ・宇治猟友会による捕獲頭数 79頭</p> <p>◎奨励金事業 ・被害防止捕獲 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業対象捕獲頭数 79頭</p> <p>・狩猟 猟期中のシカ捕獲強化事業による捕獲頭数 172頭 （うち奨励金対象捕獲頭数 168頭）</p>		
事業評価	有害鳥獣捕獲業務の委託及び捕獲奨励金を交付することなどにより、農林業生産物の被害の軽減を図ることができた。今後も国・京都府の動向を注視し、引き続き事業の効果を検証しながら、農林業生産物被害の軽減等に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農業経営支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	591 千円
事業内容	専門家を活用することにより多様な経営規模拡大を支援するとともに、農商工連携や販路拡大による営農モデルとなる取組を支援する。		
成果・実績	◎農業者等経営改善支援事業 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者等に対し、早急な出荷・販売の回復など、事業継続のための取組及びWITHコロナ・POSTコロナ社会に対応できる安全・安心への取組に対する支援を行った。 ・件数 2件		
事業評価	新たな販路開拓、新商品の開発、マスク・消毒液などの経費の一部を補助することにより、事業継続や安全・安心への取組に対する支援を行うことができた。今後も国・京都府の動向を注視するとともに、積極的な制度周知を行い、的確な支援に努める。		

事務事業名	農業用施設等導入チャレンジ事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,225 千円
事業内容	高収益作物への転換や生産性の向上を促進して農業者の経営安定を図るため、パイプハウス等の農業用施設の導入を支援する。		
成果・実績	◎園芸作物用施設整備 高収益作物の作付を推進するため、園芸作物用施設（パイプハウス等）の初期費用に対し、国・京都府の補助事業に市独自の上乗せ支援を行った。 ・件数 2件 ◎新規水源確保支援事業 安定的に農業用水を確保するため、農業用井戸の掘削費用等、新規水源確保の整備にかかる経費に対し支援を行った。 ・件数 4件		
事業評価	市内農業者の農業用施設整備の負担を軽減し、計画的な農業経営を促進することができた。今後も制度の周知を行い、安定した農業経営の継続を図る。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	スマート農業等導入チャレンジ事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	899 千円
事業内容	ICT技術を活用した省力化、品質向上・増収効果が期待できるスマート農業や新しい技術等の導入などの農業者の取組を支援し、生産性の向上や農作業の効率化による農業経営拡充支援を図る。		
成果・実績	<p>農業者の新しいチャレンジを支援するため、スマート農業技術の導入の費用に対し、支援を行った。</p> <p>◎国・京都府利用型 国・京都府の補助金制度を利用した場合に上乘せ補助</p> <p>・件数 1件</p> <p>◎市単独型 国・京都府制度が活用できない場合に市単独で補助</p> <p>実績なし</p>		
事業評価	農業施設での新たなスマート技術の導入による品質向上や収量増加を支援することができた。今後も制度の周知を図り、安定した農業経営を促進する。		

事務事業名	農業情報発信事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,951 千円
事業内容	市内産農産物を周知し、消費や販路拡大を促進するため、イベント出展や直売の機会創出などを支援する。		
成果・実績	<p>◎宇治を食べようキャンペーン 市内農業者と飲食店をマッチングする機会を提供し、市内産農産物を用いたメニューの提供を行うキャンペーンによって地産地消や地元農業をPRした。</p> <p>・メニュー提供店 14店舗 ・食材提供農業者 10人</p> <p>◎市内農産物等魅力発信事業（宇治めぐりPR委員会） ・イベント出展 3回</p> <p>◎米消費を喚起する機会の支援 新型コロナウイルス感染症により販売額が減少した主食用米の普及促進の取組に対し補助を実施した。</p> <p>・宇治市産こだわり米の直接販売（5kg袋1,000袋） 「お茶と宇治のまち歴史公園」（茶づな）、JA京都やましろ・市内JA各支店 ・JAイベントでの試食用おにぎりのふるまい（1,000個）</p>		
事業評価	キャンペーンやイベント出展などを通して市内産農産物を消費者に向けて情報発信するとともに、販路拡大や直売の取組につなげることができた。本市の主要な作付け品種であるヒノヒカリは「コメの食味ランキング」で2年連続「特A」と評価されており、今後もJA京都やましろや生産団体と連携して市内産農産物の普及促進に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	農地力向上支援事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	3,769 千円
事業内容	肥料コストの低減及び作物の収量、品質の安定・向上を目指し、土壌診断をきっかけに生産力の向上など、体質改善に取り組む農業者への転換を促進する。		
成果・実績	<p>農業者の生産力・品質の向上を目的とした土壌診断及び施肥計画書の作成並びに肥料購入費の一部に対して補助を実施した。</p> <p>・件数 2件 (36人)</p>		
事業評価	肥料コストの低減や作物の収量、品質の安定・向上への取組のために要した費用へ補助することにより、生産力向上など体質改善に取り組む農業者へ支援をすることができた。今後も国・京都府の動向を注視するとともに、的確な支援に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	26,890 千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適正な管理及び運転を行い、水害の未然防止に寄与した。		
事業評価	関係団体と巨椋池排水機場管理協議会を組織し、排水機場の維持管理を行ったことにより、災害の未然防止を図ることができた。建設後20年近くが経過しており、国、京都府と協議のうえ、適切な時期に改修、更新を図り、施設の維持管理に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	森林経営管理運営費	所管課	農林茶業課
		決算額	5,424 千円
事業内容	市内の私有人口林における森林経営管理を行う。		
成果・実績	炭山底広に位置する人工林(森林簿 宇治市18林班4~6小班)において、京都府森林経営サポートセンターに委託し森林経営管理調査等業務を実施した。 ◎実施内容 ・対象人工林面積 14.4ha (森林簿面積 15.0ha) : スギ 2.73ha、ヒノキ 11.37ha、徐地 0.30ha ・令和5年3月28日 森林所有者2人、森林組合、森林経営サポートセンター2人、市職員の立ち合いによる境界確定を実施した。		
事業評価	森林環境譲与税を活用し、森林経営管理の対象森林の調査を行うことができた。今後は、調査を実施した対象森林において、森林経営管理の運営を進める。		

事務事業名	森林保全地域連携活動事業費	所管課	農林茶業課																								
		決算額	7,796 千円																								
事業内容	本市における森林の持つ多面的機能を守り育て、より豊かなものとして次世代に伝えていくため、森林の整備や保全、森林資源の循環利用、森林の多様な重要性について、市民理解の促進に取り組む。																										
成果・実績	◎森林の整備及び保全 (千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事業</th> <th style="width: 20%;">課名</th> <th style="width: 40%;">事業概要</th> <th style="width: 20%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊かな森を育てる事業</td> <td>農林茶業課</td> <td>・森林施業路の整備に係る補助 (1か所 520m)</td> <td style="text-align: right;">647</td> </tr> <tr> <td>森林保全地域連携活動事業</td> <td>農林茶業課</td> <td>・炭山林道周辺の支障枝木伐採 事業量: 5,250㎡ (炭山林道沿い L 1,050m×5m) 支障木: 8本</td> <td style="text-align: right;">4,070</td> </tr> </tbody> </table> ◎府内産木材の利用促進事業 (千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事業</th> <th style="width: 20%;">課名</th> <th style="width: 40%;">事業概要</th> <th style="width: 20%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光案内所 府内産木製備品等整備事業</td> <td>観光振興課</td> <td>・観光案内所内の木質化整備 (カウンター 4基)</td> <td style="text-align: right;">879</td> </tr> <tr> <td>来庁者子育て支援コーナー 府内産木製備品等整備事業</td> <td>こども福祉課</td> <td>・来庁者子育て支援コーナー (丸テーブル1台、下駄箱1台等)</td> <td style="text-align: right;">2,200</td> </tr> </tbody> </table>			事業	課名	事業概要	事業費	豊かな森を育てる事業	農林茶業課	・森林施業路の整備に係る補助 (1か所 520m)	647	森林保全地域連携活動事業	農林茶業課	・炭山林道周辺の支障枝木伐採 事業量: 5,250㎡ (炭山林道沿い L 1,050m×5m) 支障木: 8本	4,070	事業	課名	事業概要	事業費	観光案内所 府内産木製備品等整備事業	観光振興課	・観光案内所内の木質化整備 (カウンター 4基)	879	来庁者子育て支援コーナー 府内産木製備品等整備事業	こども福祉課	・来庁者子育て支援コーナー (丸テーブル1台、下駄箱1台等)	2,200
事業	課名	事業概要	事業費																								
豊かな森を育てる事業	農林茶業課	・森林施業路の整備に係る補助 (1か所 520m)	647																								
森林保全地域連携活動事業	農林茶業課	・炭山林道周辺の支障枝木伐採 事業量: 5,250㎡ (炭山林道沿い L 1,050m×5m) 支障木: 8本	4,070																								
事業	課名	事業概要	事業費																								
観光案内所 府内産木製備品等整備事業	観光振興課	・観光案内所内の木質化整備 (カウンター 4基)	879																								
来庁者子育て支援コーナー 府内産木製備品等整備事業	こども福祉課	・来庁者子育て支援コーナー (丸テーブル1台、下駄箱1台等)	2,200																								
事業評価	京都府豊かな森を育てる府民税市町村交付金を活用し、森林の整備及び保全などを行うことができた。今後も交付金事業の趣旨を踏まえ、より効果的・効率的に森林整備及び保全などに取り組む必要がある。																										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち	産業観光部	
関連分野	農林水産業		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,402 千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民及び観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	<p>宇治川・志津川・笠取川などで行われた稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。</p> <p>◎放流実績 あゆ：5万尾 ふな：5千尾 うなぎ：4千尾 あまご：1千尾 はえ：5千尾</p> <p>はえの種苗は入手困難のため、代替措置として産卵床の造成が行われたが、造成実施後に種苗を入手できたため、放流を行った。</p>		
事業評価	京都府制度に基づき、種苗放流事業に助成することにより、水産資源の増殖及び河川環境改善などを図ることができた。宇治川の快適な水辺空間の創出は観光にも寄与するため、今後もより効果的な支援に努める。		

総合計画の体系		所管部局	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち	産業観光部	
関連分野	宇治茶		

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	6,792 千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金及び入賞報奨金などを交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>第76回 全国茶品評会</th> <th>第74回 関西茶品評会</th> <th>第55回 宇治市茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出品数</td> <td>60</td> <td>44</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>優等数</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td> 1等</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 2等</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td> 3等</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>農林水産大臣賞</td> <td>受賞</td> <td>受賞</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産地賞</td> <td>受賞</td> <td>受賞</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				第76回 全国茶品評会	第74回 関西茶品評会	第55回 宇治市茶品評会	出品数	60	44	45	優等数			2	1等	6	3	4	2等	5	5	5	3等	8	9	3	農林水産大臣賞	受賞	受賞		産地賞	受賞	受賞	
	第76回 全国茶品評会	第74回 関西茶品評会	第55回 宇治市茶品評会																																
出品数	60	44	45																																
優等数			2																																
1等	6	3	4																																
2等	5	5	5																																
3等	8	9	3																																
農林水産大臣賞	受賞	受賞																																	
産地賞	受賞	受賞																																	
事業評価	全国茶品評会等各種品評会への出品を奨励することにより、生産者の生産意欲を高め、ブランド力の向上に繋げることができた。今後も引き続き質の高い宇治茶が生産されるように効果的な支援に努める。																																		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	全国お茶まつり開催負担金	所管課	農林茶業課															
		決算額	3,000 千円															
事業内容	<p>全国お茶まつりは、茶の生産技術の向上を図り、我が国の茶業の発展に資するため、毎年茶の主要産地が持ち回りで開催する。令和4年度は9年ぶりに宇治市での開催となった。</p> <p>全国お茶まつりでは、全国茶品評会（審査会・褒賞授与式）や消費拡大イベント等の事業が行われた。全国茶品評会では、茶種ごとに最も優秀な成績を取めた市町村に贈られる「産地賞」を宇治市がてん茶の部で受賞した。</p> <p>◎宇治市にて開催された全国茶品評会及び全国お茶まつり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 30%;">日程</th> <th style="width: 40%;">会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国茶品評会審査会</td> <td>8月23日～26日</td> <td>宇治茶会館</td> </tr> <tr> <td>擬賞会議</td> <td>8月26日</td> <td>宇治茶会館</td> </tr> <tr> <td>出品茶入札販売会</td> <td>9月13日</td> <td>宇治茶流通センター</td> </tr> <tr> <td>全国お茶まつり</td> <td>11月19日、20日</td> <td>茶づな・宇治公園ほか</td> </tr> </tbody> </table>			名称	日程	会場	全国茶品評会審査会	8月23日～26日	宇治茶会館	擬賞会議	8月26日	宇治茶会館	出品茶入札販売会	9月13日	宇治茶流通センター	全国お茶まつり	11月19日、20日	茶づな・宇治公園ほか
名称	日程	会場																
全国茶品評会審査会	8月23日～26日	宇治茶会館																
擬賞会議	8月26日	宇治茶会館																
出品茶入札販売会	9月13日	宇治茶流通センター																
全国お茶まつり	11月19日、20日	茶づな・宇治公園ほか																
事業評価	<p>お茶と言えば宇治。宇治茶の郷である宇治市から宇治茶の魅力を広く発信することができた。また、全国茶品評会においても、産地賞を受賞し、地元宇治から、高品質な市内産宇治茶の名声を全国に示すことができた。</p>																	

事務事業名	宇治茶おもてなし推進事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	651 千円
事業内容	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき、おもてなしの心を醸成するために必要な事業を実施する。</p>		
成果・実績	<p>◎各種イベントにて市内産宇治茶の普及啓発を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月13日 ソルコンフェスティバル 宇治市内産水出し玉露の振る舞い ・11月19日、20日 全国お茶まつり 宇治市内産抹茶の振る舞い <p>◎市主催の会議等において宇治市内産玉露かりがねを提供（297袋）</p> <p>◎新規採用職員向けにお茶の淹れ方研修を実施</p>		
事業評価	<p>「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」に基づき各種事業を実施することにより、宇治茶の伝統及び茶業の情報発信を図ることができた。今後も引き続き、宇治茶、とりわけ市内産宇治茶の効果的・効率的な普及啓発に努める。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	宇治茶

所管部局
産業観光部

事務事業名	高品質茶ブランド力強化事業費	所管課	農林茶業課	
		決算額	6,301 千円	
事業内容	宇治茶の歴史と伝統を継承し、高品質茶としてのブランド力を維持・発展させるために支援を行う。			
成果・実績	◎高品質茶推進事業			
		実施件数	面積 (a)	
	環境にやさしい茶生産対策	17	1,446.6	
	手摘み茶推進対策	30	-	
	凍霜害対策	0	-	
	伝統技術継承対策	12	190.1	
	高品質茶 生産振興	寒冷紗二重式	2	36.0
		寒冷紗一重式	0	-
		棚整備 (永久棚)	3	18.5
		被覆張替え	2	12.5
		点滴灌水	0	-
	茶業振興対策	0	-	
	合計	66	1,703.7	
		◎優良茶園振興事業		
		事業実施件数	面積 (a)	
茶園拡大	0	-		
新植	0	-		
改植	9	95.3		
合計	9	95.3		
	◎宇治茶海外輸出支援事業 実績なし			
事業評価	高品質茶推進事業においては、伝統的な宇治茶の生産方法の継承を図り高品質な茶の生産振興を図ることができた。また、優良茶園振興事業においては、改植事業に対し助成することにより、宇治茶の生産振興を図ることができた。引き続き、より効果的な支援に努める。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業創業支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	12,000 千円
事業内容	創業初期の経営安定化及び地域経済の活性化等を目的として、新たに創業する者や第二創業を行う者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助する。		
成果・実績	◎宇治市創業支援補助金 新たに創業する者に対して、その創業等に要する経費の一部を補助した。 ・交付件数 12件（うち空き家活用2件）		
事業評価	創業支援ネットワーク「宇治チャレンジスクエア」との連携により、「宇治市産業戦略」の中で目標としている補助金を活用した創業を6件以上支援することができた。今後も引き続き、各機関と連携・協働して市内での起業を促進する必要がある。		

事務事業名	企業用地確保推進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	298 千円
事業内容	宇治市産業戦略に位置付けた「新たな工業用地の確保」の実現のため、都市計画マスタープランで示された産業立地検討エリアの「国道24号沿道地区」への産業立地及び土地利用転換に向けて、市内外企業のニーズ把握、関係機関等との調整等を実施する。		
成果・実績	土地利用転換等に向け、令和4年5月に「宇治市都市計画マスタープラン」を改訂し、国道24号沿道地区、市道宇治榎島線沿道地区、市道宇治白川線沿道地区の3か所を「産業立地検討エリア」として設定、令和4年9月には地域未来投資促進法における土地利用調整計画の京都府の同意を得るとともに、進出予定企業の「地域経済牽引事業計画」作成の支援を行った。		
事業評価	1日も早い産業立地の実現に向けて、農業、都市計画等の関係者、関係機関等と協議しながら、土地利用転換に向けた取組を進める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	子ども未来キャンパス事業費	所管課 決算額	産業振興課 12,708千円
事業内容	産業交流拠点「うじらぼ」において、子どもと若者を対象に、起業・体験スクールを開催し、多様な働き方が選択できる「にぎわいのあるまちづくり」を推進するとともに、未来を担う人材の育成に努め、ふるさとへの愛着を醸成する。		
成果・実績	◎宇治市子ども未来キャンパス（小・中学生向け） 全22回 10,118千円 子ども達が自分の社会の繋がり方を身につけ、共に社会に挑戦するスクール。未来を担う子ども達が今後、多様な働き方を選択し、挑戦できる体験を提供。 ・体験会3回：参加92名（定員90名／申込204名） ・本スクール：参加34名（定員30名／申込69名）		
	◎宇治市子ども未来キャンパスオンライン（小・中学生向け） 全12回 上記スクールへ参加できない子ども向けに、オンラインでのスクールを開催。 参加：482名		
	◎宇治市未来キャンパス（高校・大学生向け） 全9回 2,590千円 宇治市を舞台に、多様な働き方を知り、地域課題を解決しながら、「将来こんなこと(事業)をやってみたい」を具現化するスクール。 参加：15名 （高校生3名、大学生10名、大学院生2名）		
事業評価	地域のお店や商店街の実際に働く現場を知ることによる「学び」、未経験なことに実際に触れ・挑戦してみる「体験」、若い世代が描く将来の夢やビジョンの「実現」の機会を提供するとともに、地域と関わりながら実施することで、地域全体で宇治市の未来を担う子どもたちを育む機運醸成を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	産業振興課																					
		決算額	12,770 千円																					
事業内容	宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながっている。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。																							
成果・実績	<p>◎施設利用状況</p> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">710</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">92</td> <td style="text-align: center;">3,668</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">2,563</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">158</td> <td style="text-align: center;">1,915</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">109</td> <td style="text-align: center;">1,057</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">546</td> <td style="text-align: center;">9,913</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">※産業交流拠点「うじらぼ」 コワーキング利用状況 会員登録者数 211名 延べ利用者数 1,553名</p>				件数	人数	産業情報コーナー	42	710	多目的ホール	92	3,668	第一研修室	145	2,563	第二研修室	158	1,915	茶室	109	1,057	合計	546	9,913
	件数	人数																						
産業情報コーナー	42	710																						
多目的ホール	92	3,668																						
第一研修室	145	2,563																						
第二研修室	158	1,915																						
茶室	109	1,057																						
合計	546	9,913																						
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後もさらなる商工業の振興に向けて、新たな交流・起業拠点とするなど、施設の有効活用を図る必要がある。																							

事務事業名	産業会館改修事業費	所管課	産業振興課
		決算額	90,708 千円
事業内容	令和元年に策定した宇治市産業会館「現況調査及び改修計画」に基づき、改修工事を実施する。		
成果・実績	<p>◎宇治市産業会館外壁ほか改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外壁改修工事 68,074千円 ・屋上防水改修工事（EV機械室屋上） 4,573千円 ・1階便所改修工事（男子・女子） 17,841千円 ※子育てにやさしいまち実現プロジェクトにおける事業の一環として実施 <p>◎産業会館アンテナ移設 220千円 ※上記工事に伴い、支障となるアンテナを移設</p>		
事業評価	当該事業については、適正かつ概ね予定通り実施され、円滑に事業を実施することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	1,501,657 千円															
事業内容	市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であることを条件に融資する。なお、原則として法人代表者以外の連帯保証人は不要としている。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。																	
成果・実績	◎宇治市中小企業低利融資 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">379</td> <td style="text-align: center;">39,351</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">862</td> <td style="text-align: center;">71,930</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2,376</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> 融資実行は385件、融資金額は4,417,610円				件数	金額 (千円)	保証料補給	379	39,351	利子補給	862	71,930	損失補償	3	2,376	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額 (千円)																
保証料補給	379	39,351																
利子補給	862	71,930																
損失補償	3	2,376																
預託金	5金融機関	1,388,000																
事業評価	市内の中小企業者に対し、事業資金の低利融資や保証料・利子の補給などを行うことにより、中小企業経営の安定化に努めることができた。今後も健全な事業資金供給を行うため、効果的な融資及び補給などの支援に努める。																	

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	産業振興課									
		決算額	3,000 千円									
事業内容	商店街等が行う商店街施設（アーケード・街路灯・防犯カメラ等）を設置する事業及び商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。											
成果・実績	商店街等が実施する活性化・情報化対策事業に対して、5件3団体に対し補助を行い、商店街等の振興に努めた。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2,005</td> </tr> <tr> <td>情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">995</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額 (千円)	活性化対策事業	3	2,005	情報化対策事業	2	995
	件数	金額 (千円)										
活性化対策事業	3	2,005										
情報化対策事業	2	995										
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助することにより、商店街等の振興に努めることができた。今後も、各商店街等の特性を活かして自立・自主性を高めるとともに、商店街等の活性化に繋がるためのより効果的な支援に努める必要がある。											

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部


事務事業名	宇治のお店おうえんクーポン（プレミアム付デジタルクーポン発行）事業費	所管課	産業振興課
		決算額	231,781千円
事業内容	これまでの新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油高や物価高騰等により厳しい経営状況が長引く市内事業者等の売上回復・向上を支援するため、「宇治のお店おうえんクーポン（プレミアム付デジタルクーポン発行）事業」を実施する。		
成果・実績	◎事業実施状況		
		繰越分	現年度分
	販売冊数	50,000冊 ※1冊あたり5,000円（500円券×14枚）	
	販売・使用期間	令和4年1月5日（水）～ 令和4年5月15日（日）	令和4年12月1日（木）～ 令和5年2月28日（火）
	プレミアム率	40%	
	販売金額	250,000,000円	250,000,000円
	換金枚数	318,352枚	698,583枚
	換金金額	159,176,000円	349,291,500円
		うち元金部分	うち元金部分
		113,697,143円	249,493,929円
		うちプレミアム分	うちプレミアム分
		45,478,857円	99,797,571円
販売方法	デジタル（支払方法：クレジットカードまたは銀行振込）		
取扱店舗数	475店舗	544店舗	
事業評価	これまでの新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油高や物価高騰などにより厳しい経営状況が長引く市内事業者等の売上回復・向上を支援することができた。デジタルクーポンについては、これまでと同様の仕組みで運用したこともあり、大きな混乱もなく、円滑に実施できた。		

事務事業名	商店街等販売促進支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	5,950千円
事業内容	市内全域の店舗等で実施するプレミアム付デジタルクーポン発行事業と呼応して、市民に身近な商店街等が実施する消費喚起、販売促進などの取組に要する経費に対する補助を行う。		
成果・実績	◎事業実施状況		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付額 補助率：3/4、上限額2,000千円 ・ 交付件数 6件 		
事業評価	市民に身近な商店街等が独自に行う消費喚起や販売促進などの取組を支援することにより、子どもから高齢者まで幅広い市民を対象とした市内経済対策の一環として実施できた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	宇治のうまいもん発信事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	1,286 千円															
事業内容	地元「宇治」にしかない魅力の再発見や掘り起し、市内経済の活性化を目的として、飲食店等の動画撮影・配信を行う。																	
成果・実績	◎YouTube「宇治飯うまいもんチャンネル」 市内飲食店等の一押しの「美味しい」料理と店主の熟練した「上手い」技術など、地域に根付いた「地元飯」を撮影し、動画（YouTube）で発信を行った。																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>撮影店舗数</th> <th>視聴回数</th> <th>登録者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">38店</td> <td style="text-align: center;">16,585回</td> <td style="text-align: center;">450人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">16店</td> <td style="text-align: center;">44,066回</td> <td style="text-align: center;">345人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">54店</td> <td style="text-align: center;">60,651回</td> <td style="text-align: center;">795人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	撮影店舗数	視聴回数	登録者数	令和3年度	38店	16,585回	450人	令和4年度	16店	44,066回	345人	合計	54店	60,651回	795人	
年度	撮影店舗数	視聴回数	登録者数															
令和3年度	38店	16,585回	450人															
令和4年度	16店	44,066回	345人															
合計	54店	60,651回	795人															
	◎宇治飯公式アンバサダー募集キャンペーン 「宇治飯」の認知度を高め、集客促進を図るため、事業のPRをする公式アンバサダーをInstagramにて募集を行い、10名の就任者とともに宇治飯対象店舗の周知・発信を実施した。																	
	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram投稿件数（店舗来店数） 243件 ・Instagramアカウントリーチ数 113,000人 																	
事業評価	YouTubeによる動画配信とキャンペーン（イベント）の実施により、飲食店等の魅力を発信し、市内経済の活性化を図った。更なる市内経済活性化のため、今後も効果的な発信を図る必要がある。																	

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	21,608 千円
事業内容	「宇治市企業立地促進条例」に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。令和4年度から要件を緩和し、支援対象の拡充を行った。		
	◎交付社数 5社		
事業評価	市内において工場等を新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付することにより、市内への企業の立地を促進し、市内経済の活性化を図った。本事業は企業の市内立地への動機づけの一つであり、今後は、新たな事業用地の確保や良質な物件の整備誘導に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	14,972 千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内の既存企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	<p>◎VIF入居企業支援</p> <p>入居企業のニーズに合わせた多様な育成支援活動を展開している（事業計画策定、販路開拓、技術開発、資金調達、業務改善、知財・法務、人事労務など）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援件数 74件 ・ マッチング件数 14件 <p>◎市内企業支援</p> <p>令和元年6月1日に宇治NEXTを開設。週4日、コーディネーターが常駐することにより、市内企業支援に重点を置いた。新型コロナウイルス感染症の影響によりアポイント以外の企業訪問は自粛したため、メールやWeb会議による企業フォローに転換。新型コロナウイルス感染症の事業への影響に関するヒアリングや資金調達、新規事業に関する支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対応件数 102件 		
事業評価	<p>宇治ベンチャー企業育成工場入居企業だけではなく、市内全体の企業へも支援を拡大することで、市内経済の活性化につながっている。コロナ禍において公的機関の補助金制度等の周知や申請支援も積極的に行うことができた。</p> <p>市内経済の活性化のため、今後も引き続き効果的な支援に努める必要がある。</p>		

事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業振興課
		決算額	10,596 千円
事業内容	市内の中小企業（製造業及び情報系産業など）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業とのマッチングを契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、更なる産業振興を図る。		
成果・実績	<p>企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等が開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた企業の販路拡大支援のため、助成率を1/2から4/5に、助成上限額を年間40万円から60万円に拡充した。</p> <p>◎助成社数 22社</p>		
事業評価	<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を緩和するため、令和3年度と同様に助成率・助成上限額の引き上げを実施し、例年より多くの企業に対して助成することができた。助成を受けた企業は展示会への出展により新たな営業機会を得ることができ、企業の新規取引先の開拓による市内企業の活性化を図ることができた。今後もより効果的な助成に努める必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業振興課
		決算額	12,708 千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>同一敷地内にある宇治ベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を図る中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。</p> <p>◎使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール 90回 3,116人 ・会議室 189回 2,063人 		
事業評価	市内企業への支援については産業支援拠点宇治NEXTに機能移転を行う中、貸館業務をはじめとする産業振興の拠点のひとつとして円滑な運営に努めた。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な運営に努める必要がある。		

事務事業名	中小企業人材確保支援事業費	所管課	産業振興課														
		決算額	1,872 千円														
事業内容	宇治市内中小企業（製造業）の多くが抱える課題である人材確保を支援するため、宇治市の主催により、市内企業が出展する合同企業説明会を実施し、求職者とのマッチング機会の提供を行う。																
成果・実績	<p>令和5年3月9日に京都産業会館ホール（京都経済センター2階）において、「宇治市ものづくり企業合同企業説明会」を開催。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <tr> <td style="text-align: center;">参加企業数</td> <td style="text-align: center;">18社</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">来場求職者数</td> <td style="text-align: center;">26人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2024年3月卒</td> <td style="text-align: center;">11人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 2023年3月卒</td> <td style="text-align: center;">6人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 既卒</td> <td style="text-align: center;">9人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">企業ブース来場者数</td> <td style="text-align: center;">延べ101人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内定者</td> <td style="text-align: center;">延べ4人</td> </tr> </table> <p>※内定者は令和5年5月25日現在</p>			参加企業数	18社	来場求職者数	26人	2024年3月卒	11人	2023年3月卒	6人	既卒	9人	企業ブース来場者数	延べ101人	内定者	延べ4人
参加企業数	18社																
来場求職者数	26人																
2024年3月卒	11人																
2023年3月卒	6人																
既卒	9人																
企業ブース来場者数	延べ101人																
内定者	延べ4人																
事業評価	全国的に企業の人材確保が困難な状況の中、合同企業説明会に参加した企業の中には、実際に採用につながった企業もあり、一定の成果が上がっている。今後も企業等のニーズを把握する中で、引き続き効果的な支援に努める必要がある。また、合同企業説明会の来場求職者数増加につながる更なる取組が必要である。																



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業情報発信事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,941 千円
事業内容	<p>市内製造業をPRするため、顧客創出、雇用の確保、魅力的な市内企業情報の発信を目的とした工場見学ツアーを実施する。また、宇治市内企業情報誌を作成し、当該情報誌を用いたプロモーションの実施により、市内企業の情報発信を行う。</p>		
成果・実績	<p>◎宇治子ども夏まつり ものづくりフェス 協力企業：7社 来場人数：95組342人（うち子ども179人）</p> <p>◎宇治子ども夏まつり ものづくりツアー 協力企業：6社 申込人数：99組234人（うち子ども129人） 参加人数：10組25人（うち子ども15人）</p> <p>◎宇治の職人ワザ体験ツアー（DESIGN WEEK KYOTO in 宇治） 協力企業：5社 申込人数：61組152人（うち子ども83人） 参加人数：9組23人（うち子ども13人）</p> <p>◎企業情報誌 市及び宇治商工会議所の選定により市内製造事業者8社を新たに掲載した「2023宇治市ものづくり企業ガイドブック」を作成し、宇治市内の製造業のPRを行った。</p>		
事業評価	<p>オープンファクトリーに関しては、市内製造業のPRの他、異業種連携にも繋がった。企業情報誌については、近畿圏内の製造業者等に配布することにより、市内製造業を幅広くPRできた。 今後も引き続き効果的な情報発信事業を実施する必要がある。</p>		

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	産業振興課
		決算額	1,885 千円
事業内容	<p>技能労働者の養成と在職者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。</p>		
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記講座などを開催した。</p> <p>◎講座数 25 講座 ◎受講人数 143 人</p>		
事業評価	<p>職業訓練事業に補助することにより、求職者及び在職者の職業能力開発向上を図ることができた。今後も同協会において利用者ニーズの把握・分析に努め、さらなる効果発現に向けて検討する必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	産業振興課																		
		決算額	285 千円																		
事業内容	永く同一の職業に従事し優れた技能を持つ方の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。																				
成果・実績	◎技能功労者 10人 (内訳) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 60%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">職種</th> <th style="text-align: center;">表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>柔道整復職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>大工職</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>調理職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>組ひも工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>造園工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>しょう油製造職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>土木・舗装工事職</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>製茶工職</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	柔道整復職	1	大工職	2	調理職	1	組ひも工職	1	造園工職	1	しょう油製造職	1	土木・舗装工事職	2	製茶工職	1
職種	表彰人数																				
柔道整復職	1																				
大工職	2																				
調理職	1																				
組ひも工職	1																				
造園工職	1																				
しょう油製造職	1																				
土木・舗装工事職	2																				
製茶工職	1																				
事業評価	技能功労者を表彰することにより、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運を高めることができた。技能継承等の状況を把握する中で、今後も引き続き実施する必要がある。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業事業承継支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	3,984 千円
事業内容	市内事業者の円滑な事業承継を促し経営者年齢の若返りと廃業件数の抑制を図ることにより、市内事業者の持続的な経営を支援することを目的に、事業承継の早期取組を促すためのイベント・セミナーを実施する。		
成果・実績	<p>◎製造業に特化した交流会・セミナー 事業承継に向けて課題を持っている次期経営者候補等を対象に、事業承継の実績のある2代目社長を講師として招き、セミナーと交流会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 4回 ・参加人数 延べ30人（講師除く） <p>◎小規模で継続的な交流会・セミナー アトツギ仲間とのディスカッションと互いのフィードバックを通じて学ぶHR型の講座を実施。経営者に必要なノウハウを各テーマのプロから学び、具体的な行動へ移すためのきっかけづくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 8回 ・参加人数 延べ44人 <p>◎アトツギの掘り起こしを目的とした交流会・セミナー 新たなアトツギの発掘と交流及び小規模セミナーの入り口を目的としてイベントを開催。家業の経営資源を活かしたクリエイティブな事業を実践するアトツギ経営者を講師として招き、講演会と交流会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 2回 ・参加人数 延べ38人 		
事業評価	<p>製造業に特化した交流会・セミナーについては、開催を通じ2代目社長ネットワークの構築を目標としていたところ、参加者同士で自発的に連絡先を交換するなど交流が促進された。事業連携や人材育成などに繋げるため、継続して実施する必要がある。</p> <p>小規模で継続的な交流会・セミナーなどについては、参加者による学びの創出とアトツギコミュニティの形成ができた。今後も各機関と連携しながら事業の発信に努め、新たなアトツギの掘り起こしを図る。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	先端設備等導入支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	6,052 千円
事業内容	市内中小事業者が生産性を向上することにより、燃料高、原材料高に対応できる経営力強化を促進するため、先端設備等の導入を行う事業者に対し、「宇治市先端設備等導入支援補助金」を交付する。		
成果・実績	令和4年6月1日～令和5年1月末に「先端設備等導入計画」の認定を受け、令和4年7月1日～令和5年2月末に設備導入を行う事業者に対して補助金を交付した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助件数 12 件 ・ 補助金額 6,052 千円 ・ 設備数 14 件 ・ 設備投資金額 180,027 千円 		
事業評価	国等の補助金対象とならない設備投資に対して補助金交付を行うことにより、労働生産性向上を支援することができた。引き続き、先端設備等の取得に要する経費やDX推進にかかる経費の一部を補助することで、中小事業者が行う労働生産性の向上や付加価値の増加に対する支援を行い、経営力強化を促進する必要がある。		

事務事業名	中小企業交流促進事業費	所管課	産業振興課
		決算額	2,453 千円
事業内容	企業や事業者間の交流連携の強化及び新しい事業や商品などの新たな価値の創出を目的に市内事業者を対象とした各種セミナー及び同・異業種交流会などを実施する。		
成果・実績	事業者間の取引拡大、新たな技術開発や商品開発などを目指して、同・異業種交流や各種セミナー事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ◎セミナー開催（開催回数13回） 学びを入口に事業者の経営支援とあわせて交流会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事で役立つデザインの考え方講座 ・ 創業支援セミナー ほか ◎交流会開催（開催回数3回） 同業種の情報交換や異業種の出会いの場の提供及び起業を目指す方の交流会を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛される会社づくり ・ 副業・パラレルキャリア はじめの一步 ◎QUESTION連携（開催回数1回） 宇治の魅力を発信するイベントをQUESTION（京都信用金庫）で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ うじ魅力FES in QUESTION 		
事業評価	事業者間の取引拡大等を目的としたセミナー及び交流会などの実施により、参加者同士で積極的にコミュニケーションを図り、事業のマッチング及び取引が成立するなど交流連携が強化された。事業連携及び新たな価値の創出に向けて、今後も引き続き効果の検証をしつつ、継続して実施していく必要がある。		




令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	産業

所管部局
産業観光部

事務事業名	中小企業BCP策定支援事業費	所管課	産業振興課
		決算額	1,000 千円
事業内容	近年、多発する自然災害等の緊急事態に遭った場合、「企業が生き抜くための準備」としてBCPの策定・運用は大変有効であるため、宇治NEXTIにおいて、実践的なセミナー・ワークショップを実施し、市内事業者に対してBCP策定の伴走支援を行う。		
成果・実績	<p>包括連携協定締結企業である三井住友海上火災保険株式会社によるセミナー等を開催することでBCP策定支援を行った。</p> <p>第1回 BCP(事業継続計画)セミナー 第2回 BCP策定ワークショップ 第3回 BCP策定に関する個別相談会 第4回 BCP机上訓練(体験会)</p> <p>策定事業者 8社</p>		
事業評価	市内事業者に対してBCP策定の伴走支援を行うことができた。一方で参加事業者の業種に偏りがあったため、今後は様々な媒体を用いての事業周知に力を入れていく。		

事務事業名	産学連携交流促進事業費	所管課	産業振興課															
		決算額	39 千円															
事業内容	私立大学を中心とした理系大学の研究室の研究内容を市内製造業事業者を紹介し、また事業者も自社の事業内容や課題などを紹介することにより、両者が連携する機会を提供し、市内事業者のイノベーション促進を、また同時に、理系大学研究室とのつながりを持つことで、研究室に所属する学生に宇治市内事業者を知ってもらい、就職先として検討してもらう機会になることも見据えた事業を実施する。																	
成果・実績	<p>産学交流のきっかけづくりを行うセミナーを大学と共に実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>大学</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月11日</td> <td>京都先端科学大学</td> <td>10社・11人</td> </tr> <tr> <td>12月7日</td> <td>京都工芸繊維大学</td> <td>4社・6人</td> </tr> <tr> <td>12月15日</td> <td>龍谷大学</td> <td>7社・7人</td> </tr> <tr> <td>12月20日</td> <td>立命館大学</td> <td>4社・5人</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			日	大学	参加者数	10月11日	京都先端科学大学	10社・11人	12月7日	京都工芸繊維大学	4社・6人	12月15日	龍谷大学	7社・7人	12月20日	立命館大学	4社・5人
日	大学	参加者数																
10月11日	京都先端科学大学	10社・11人																
12月7日	京都工芸繊維大学	4社・6人																
12月15日	龍谷大学	7社・7人																
12月20日	立命館大学	4社・5人																
事業評価	産学連携の検討のため、市内事業者と共に大学を訪問し研究委託や共同研究・産学連携窓口の紹介の他、大学施設の見学などが実施できた。研究委託や共同研究などにつなげるため、より深いつながりを持つことが必要と考えており、今後は産学連携強化に向け、更なる事業展開を検討する必要がある。																	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	観光振興課						
		決算額	10,704 千円						
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。								
成果・実績	◎入館者数 : 68,337人 ◎観光案内件数 : 22,964件 ◎貸館状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">81 (うち有料件数3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">5 (うち有料件数1)</td> </tr> </tbody> </table>			利用件数		展示会場	81 (うち有料件数3)	和室	5 (うち有料件数1)
利用件数									
展示会場	81 (うち有料件数3)								
和室	5 (うち有料件数1)								
事業評価	指定管理者により適切に管理運営ができた。宇治観光の拠点施設として、より効果的な施設の運営に努める必要がある。								

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	観光振興課
		決算額	14,652 千円
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（公社）宇治市観光協会を指定管理者としている。		
成果・実績	◎入席者数 : 6,077人 うち有料券数 : 5,034人 うち招待券数 : 1,043人 ◎専用利用状況 件数 : 1件 (うち有料件数1件)		
事業評価	指定管理者による適切な管理運営を通じて、観光客等に宇治茶を提供し、宇治茶の普及及び観光の振興に努めた。国内外の観光客が戻りつつある中、引き続き国内外に対して施設のPR強化に努めるとともに、より効果的・効率的な宇治茶の普及及び観光の振興を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光おもてなし推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,541 千円
事業内容	宇治市観光案内所（JR宇治駅前・近鉄大久保駅・京阪宇治駅前）を運営し、宇治を訪れる観光客への案内業務を行う。（公社）宇治市観光協会を管理運営者としている。		
成果・実績	◎観光案内所での案内業務件数 <ul style="list-style-type: none"> ・ JR宇治駅前観光案内所 件数：95,150人（うちインバウンド：3,432人） ・ 近鉄大久保駅観光案内所 件数：4,984人（うちインバウンド：35人） ・ 京阪宇治駅前観光案内所 件数：37,770人（うちインバウンド：1,428人） 		
事業評価	宇治観光の玄関口となる各駅前の観光案内所において、必要とされる観光情報を案内することができた。今後も観光客の視点に立った案内業務に努め、おもてなし力の向上に取り組む必要がある。		

事務事業名	宇治茶巡りガイドツアー事業費	所管課	観光振興課
		決算額	70 千円
事業内容	観光客に宇治茶への興味を持ってもらい、より多くの宇治の魅力を感じてもらうために、宇治観光ボランティアガイドクラブの案内による宇治茶関連施設の無料ツアーを行う。		
成果・実績	◎ツアー開催回数：70回 ◎ツアー参加者数：256人 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵</p> <p style="text-align: center;">宇治茶巡り ガイドツアー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">参加費 無料</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">当日参加 OK</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">先着 10名</div> </div> <p style="font-size: small; text-align: center;">宇治といえ(宇治茶)！ 宇治茶のルーツを知る際に地元ガイドがご案内 宇治茶を知るともっと宇治が楽しくなりますよ！</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">TEL 075-821-0000 FAX 075-821-0001</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">土曜約3キロメートル 所要約2時間～2時間30分</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">コース ①宇治駅～宇治川通り（新橋家、茶村屋敷、茶田屋敷） ②宇治橋～茶園～世界遺産 宇治上神社～世界遺産 宇治絞 ③宇治川～宇治茶園～宇治川～宇治川</p> <p style="text-align: center;">🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵 🍵</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">ツアー詳細</p> </div> 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる日があったが、令和4年度はすべての日程において開催できた。参加者からは観光客が個人で宇治市内を巡るだけでは知ることのできない宇治茶のルーツを知ることができると好評であった。		
事業評価	宇治茶を活かした観光振興の取組として、宇治茶に関する情報提供及び施設見学を行うことにより、宇治茶のブランド力の強化と宇治の魅力発信に努めることができた。今後も宇治の魅力を伝える取組として、より効果的な手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光インバウンド推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	9,156 千円
事業内容	海外からの観光客誘客のために、様々なメディアによる海外向けの情報発信を行う。また、効果的なPRを行うため、宇治の情報を海外向けの情報誌に掲載する。		
成果・実績	海外のPOSTコロナ社会における観光動向について調査・分析を行い、海外の旅行代理店及び国内の観光事業者に対して継続的な情報発信を行った。 ◎宇治市観光PR動画の再編集 ◎WEB及びインバウンド情報誌への記事掲載 ◎インバウンドセミナー「観光英会話入門講座」（全6回）開催 ◎ファムトリップの実施 ◎国内や台湾での商談会へ参加 ◎海外情報収集・分析業務の実施 ◎インターネット、SNSを通じた海外ユーザーへの魅力発信		
事業評価	海外に向けて宇治の情報発信・魅力発信を継続して行うことにより、海外からの観光誘客につなげる取組を行った。インバウンド回復に伴う外国人観光客のさらなる誘客のため、引き続き様々なメディアを利用し効果的な情報発信に努める必要がある。		


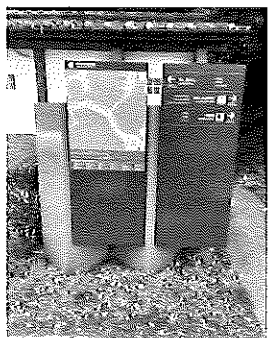
事務事業名	観光関連補助事業費	所管課	観光振興課
		決算額	6,108 千円
事業内容	宇治の観光振興に係るイベント及び放ち鶉飼プロジェクトなどに対して（公社）宇治市観光協会等へ助成を行う。		
成果・実績	◎観光活性化事業補助金 ・観光宣伝事業 ・鶉飼事業 ・観光ボランティアガイド運営事業 ・県祭り安全対策事業 ◎放ち鶉飼事業補助金 宇治にしかない観光資源としての魅力を発信するため、放ち鶉飼と宇治の魅力を発信する取組について支援を行った。		
事業評価	観光振興に係る諸事業への補助を通じ、宇治観光のイメージアップを図る取組に努めた。今後も引き続き、（公社）宇治市観光協会との協働により、さらなる観光振興のための観光コンテンツの強化に向け、各種観光事業に対するより効果的な補助の手法について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	観光情報発信事業費	所管課	観光振興課
		決算額	21,112 千円
事業内容	宇治市の観光資源の情報発信として、各地での観光プロモーションの実施、パンフレット等の発行、広報物への観光情報の掲載を行う。また、新たな観光資源であるアニメーションを活用し、他団体との連携業務を行う。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎宇治市観光PR素材の撮影業務 ◎京都市認定通訳ガイドの育成 ◎「宇治市×京阪電車 響け！ユーフォニアムコラボレーションフェスタ」実施 ◎公共交通機関での観光情報の掲示 ◎観光パンフレット、観光ポスター印刷 ◎JR宇治駅前観光案内所デジタルサイネージの設置 		
事業評価	宇治の観光情報発信として様々な取組を取り入れることにより、宇治の認知度及び宇治への訪問意欲の向上に努めることができた。引き続き宇治の魅力を国内外へ積極的に・戦略的に発信することで、POSTコロナ社会における宇治への訪問意欲の喚起につながる取組を進める必要がある。		

事務事業名	観光案内サイン整備事業費	所管課	観光振興課
		決算額	15,356 千円
事業内容	平成28年4月に策定した「宇治市観光案内サイン整備ガイドライン」に基づき、計画的に観光案内サインの整備を行う。		
成果・実績	<p>◎サイン整備実施分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR宇治駅、白川、三室戸、黄檗周辺 新設 : 9基 撤去 : 26基 リノベーション : 10基 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>		
事業評価	観光動向調査において課題の一つとなっている観光案内サイン整備に計画的に取り組むことにより、観光客に対するおもてなし力の向上に努めた。今後も多様な観光客により長く滞在してもらい、リピーターとして訪問してもらうため、観光案内の充実を図り、必要とされている情報を提供できるよう取り組む。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

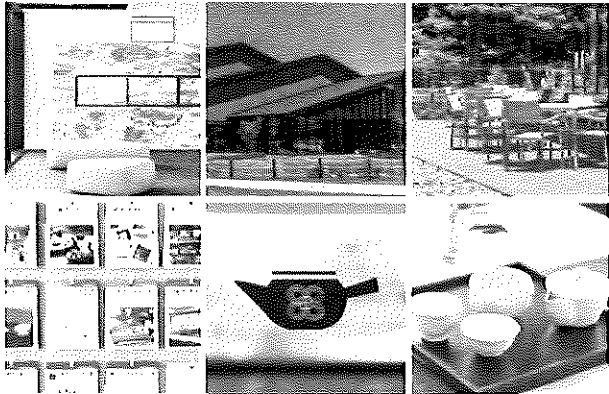
事務事業名	ワーケーション受入体制支援事業費	所管課	観光振興課
		決算額	1,627 千円
事業内容	親子で参加するワーケーションのモニターツアーを実施することにより、宇治市の魅力をPRすることで、子育て世代の将来的な移住や関係人口の創出につなげる。		
成果・実績	<p>◎ワーケーションモニターツアー実施業務 親子で参加するワーケーションモニターツアーの造成・実施を行う。年3回企画し、各回5歳～12歳の子どもを含む親子3組を募集。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 7月22日(金)～24日(日) 3組9人(大人4人、子ども5人)の参加 ・第2回 8月19日(金)～21日(日) 3組8人(大人3人、子ども5人)の参加 ・第3回 11月18日(金)～20日(日) ※参加者が集まらなかったため中止 		
事業評価	モニターツアーを実施することで、整備したワーキングスペースの活用や、親子で宇治ならではの様々な体験ができることをPRできた。今後も子育て世代が宇治の伝統や文化を体感することにより、宇治の魅力をPRにつなげるよう取り組む。		

事務事業名	歴史文化再発見事業費	所管課	観光振興課
		決算額	5,513 千円
事業内容	2022年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送でスポットが当たる平安末から鎌倉初期の時代の宇治について、歴史や文化を掘り下げることで新たな宇治の魅力を発見する。		
成果・実績	<p>◎連続講座「鎌倉への道 宇治川がつなぐ時代の流れ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：全9回 ・参加者数：延べ719人 <p>◎「京から鎌倉へ」スタンプラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一の段 令和4年3月 7日(月)～5月 8日(日) 参加者数：299人 ・二の段 令和4年5月13日(金)～9月30日(金) 参加者数：580人 <p>◎宇治川合戦絵巻ガイドツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：46回 ・参加者数：94人 <p>◎大河ドラマ「鎌倉殿の13人」スペシャルトークショーin宇治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月29日(金・祝) ・参加者数：487人 		
事業評価	中世の宇治の歴史と文化を再発見できる、WITHコロナ・POSTコロナ社会におけるDXを活用した新たな観光の取組とすることができた。近隣市と連携し、今後も地域の魅力の再発見につながる取組を展開する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	お茶と宇治のまち歴史公園運営費	所管課	観光振興課
		決算額	68,827 千円
事業内容	「史跡の保存・活用」「宇治の歴史・文化・観光に関する情報発信」「宇治茶に関する魅力発信」を目的として整備した、お茶と宇治のまち歴史公園の維持管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>◎来園者総数 : 135,167人</p> <p>◎入館者数 : 85,357人</p> <p>◎ミュージアム入館者数 : 11,687人</p> <p>◎講座・体験事業参加者数 : 7,409人</p>		
			
事業評価	史跡宇治川太閤堤跡を含む宇治の歴史や、宇治茶を中心とした宇治の文化を分かりやすく伝える新たな施設として、宇治茶の魅力や観光情報の発信を行った。市内周遊観光の拠点として効果的な施設運営や活用について、引き続き指定管理者と取り組む必要がある。		

事務事業名	観光振興計画策定費	所管課	観光振興課
		決算額	9,088 千円
事業内容	中・長期的な観光振興の方向性を示すものとして、令和5年度から開始する「第2期宇治市観光振興計画」の策定を行う。また、計画策定において基礎的データを取得するため、宇治市観光動向調査を実施する。		
成果・実績	<p>◎第2期宇治市観光振興計画の策定</p> <p>令和5年度からの11年間を見据えた、宇治市の観光振興の柱となる基本方針を定めるとともに、令和5年度から令和7年度までの3年間の詳細な実施計画を盛り込んだ前期アクションプランを策定した。</p> <p>また、計画策定にあたり、宇治市観光振興計画策定委員会、ワーキンググループでの議論、パブリックコメントを実施した。</p> <p>さらに、宇治市内への観光入込客の旅行目的、消費額、満足度などの実態を把握するため、宇治市観光動向調査を実施し、その特性、傾向などの分析、考察を行った。</p>		
事業評価	第2期宇治市観光振興計画では、POSTコロナにおける宇治市の観光施策の方針を策定した。今後は計画に基づき様々な施策を実施し、観光振興に向けて取り組むとともに、宇治市観光振興計画推進委員会により計画の推進、進行管理を行う。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	観光

所管部局
産業観光部

事務事業名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進事業費	所管課	観光振興課
		決算額	5,093 千円
事業内容	天ヶ瀬ダム周辺のみならず、宇治橋周辺の新たなにぎわい拠点を含め、一体的に観光資源として活用し、宇治川を軸とした回遊性の向上を図ることを目的とする。		
成果・実績	<p>令和元年度に実施した調査結果及び新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴うこの間の社会情勢等の変化を踏まえ、天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光推進に係る調査業務を実施した。</p> <p>◎民間事業者へのヒアリングの実施 本事業への興味・関心、事業内容への意見・アイデア、望ましい事業スキーム・事業条件などについて、ディベロッパーや宿泊事業者などの民間事業者に対してヒアリングを行った。</p> <p>◎ガーデンズ天ヶ瀬跡地における利活用計画の検討</p>		
事業評価	<p>今回の調査により、POSTコロナにおける天ヶ瀬ダム周辺の周遊観光について、民間事業者の意向を確認できた。</p> <p>今後はこの調査結果等を踏まえ、関係者等との協議を通じて、回遊性の向上に資する取組の検討を慎重に進める。</p>		

事務事業名	「京の七夕 in Uji」事業費	所管課	観光振興課
		決算額	8,000 千円
事業内容	京都各地で開催されている「京の七夕」と連携し、宇治の風情を醸し出す情緒豊かな「京の七夕 in Uji」としてオリジナルの演出で実施する。		
成果・実績	<p>◎実施期間 8月4日(木)～8月11日(木・祝)</p> <p>◎参加者数 23,000人</p> <p>◎実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灯りのみち（宇治川周辺ライトアップ） ・願いがかなう道（笹飾りと願い事コーナー） ・シンポジウム「五節句文化を次世代に！～七夕に寄せて～」 ・夜間特別拝観（興聖寺、萬福寺） ・宇治発電所特別公開 ・ハッシュタグキャンペーン ・スマイルサタデー クラフトビール夜市（宇治橋通り商店街） ・お茶の香りの演出（平等院表参道） ・かけはしマルシェ（興聖寺） 		
事業評価	宇治オリジナルの夜の演出により、観光の振興と活性化を図ることができた。引き続き関係機関と連携し、時間のうつろいを感じられる観光につながる取組を進めていく。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,835千円
事業内容	市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。		
成果・実績	基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。 ◎府民総体選手派遣費 663千円 ・参加団体数 19団体 ◎世界大会等出場者激励金 1,122千円 ・交付件数 145件 ・交付人数 233人 ◎生涯スポーツ育成事業 275千円 (一財)宇治市スポーツ協会に委託 ・参加団体数 12団体 ◎ジュニア技術講習会 150千円 宇治市中学校体育連盟に委託 ・参加者数 351人		
事業評価	基金を活用して各種事業を実施し、市民スポーツの水準向上と競技人口の拡大を図った。今後も引き続き、基金の有効活用に努めるとともに、より効果をあげられるよう事業内容を精査し、スポーツ交流の促進等を図る。		

事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	文化スポーツ課
		決算額	4,351千円
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。		
成果・実績	大会等に助成を行い、自主活動の促進及び団体育成に努めた。 ◎市長杯等各種競技大会補助金 985千円 ・参加者数 6,517人 ◎地域体育振興事業補助金 1,500千円 ・加盟数 31,506世帯 ◎スポーツ少年団育成事業補助金 1,100千円 ・団体数 56団体 ◎体育団体設立記念事業補助金 766千円 ・団体数 5団体		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、宇治市の競技レベルの向上及び市民スポーツの推進を図った。市民ニーズを把握し、宇治市のスポーツ推進に寄与するため、より効果的な支援に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部

事務事業名	スポーツ団体感染症対策事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,959千円
事業内容	1団体あたり10万円を上限とし、各競技団体等の大会や、地域イベントの実施に向け、安全に練習等の準備活動に取り組むことや、安心して大会等を開催することができるよう新型コロナウイルス感染症対策の取組を支援し、スポーツの場づくりを促進する。		
成果・実績	<p>安心してスポーツ活動を継続できるよう、スポーツ関係団体が行う新型コロナウイルス感染症対策の取組を支援した。</p> <p>◎（一財）宇治市スポーツ協会 1,509千円 ・加盟団体 24団体</p> <p>◎宇治市体育振興会連合会 450千円 ・加盟体振 19体振</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策に係る支援を行うことで、スポーツ関係団体におけるスポーツ活動の継続に資することができた。スポーツ団体によっては、活動そのものができていない状況があった中、引き続き感染症対策に係る情報提供等を行う必要がある。		

事務事業名	スポーツ気運醸成事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,727千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたスポーツイベントについて、感染症対策を適切に行い、また、内容の充実を図ることにより、安全安心に、かつ新たな魅力を創出し、スポーツ気運を醸成する。		
成果・実績	<p>宇治川マラソン大会はコースの見直しやゲストランナー招聘を行い、4年ぶりの開催となった。障害者スポーツ大会は大会そのものは中止となったものの、団体ごとのスポーツ・レクリエーションイベントの実施をサポートすることで、運動・スポーツ実施の機会、交流の場の提供を図った。</p> <p>◎宇治川マラソン大会事業補助金 2,520千円 ・参加者数 1,320人</p> <p>◎障害者スポーツ事業にかかる実施支援（用具購入） 207千円 ・連携実施回数 19回</p>		
事業評価	宇治川マラソン大会の開催や障害者スポーツにおけるイベント等の支援を行うことにより、スポーツ気運の醸成を図った。今後もスポーツ推進に寄与するため、より効果的な支援に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	スポーツ

所管部局
産業観光部


事務事業名	スポーツ次世代育成事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	194 千円
事業内容	子どものスポーツ実施率向上を目的に、市スポーツ施設において各種スポーツ体験イベントを開催し、スポーツを行うきっかけづくりの場を提供する。		
成果・実績	<p>西宇治公園でスポーツ少年団による各種競技スポーツの体験コーナーを実施し、スタンプラリー形式にて子ども同士や親子で参加してもらうことで、様々なスポーツを始める機会を提供した。</p> <p>◎2022Ujiこどもスポーツフェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 8月7日（日） ・会場 西宇治公園 ・参加者数 延べ1,200人 		
事業評価	子どものスポーツ実施のきっかけづくりと実施率向上を目的として、様々なスポーツ種目の体験の場を提供することができた。今後も各スポーツ団体とより連携を図りながら、スポーツ推進に努める。		



事務事業名	フライングディスクのまち宇治推進事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	778 千円
事業内容	ワールドマスターズゲームズ2027関西において、宇治市がフライングディスク（アルティメット）競技の開催会場となることを契機に、フライングディスクの活用による地域の活性化、スポーツ実施率の向上を図る。		
成果・実績	<p>市内小中学校等に宇治市普及版フライングディスクを配付し、また、市内小中学校教師等に講習会を実施することで、市内でのフライングディスク認知度向上を図るとともに、スポーツ実施の機会を提供した。</p> <p>◎宇治市普及版フライングディスク配付 733千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校 計414枚 ・各地域体育振興会 計190枚 <p>◎フライングディスク講習会実施 45千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計3回 		
事業評価	市主催事業だけでなく、身近な学校や地域行事の中でもフライングディスクに触れることができる環境整備を行った。ワールドマスターズゲームズ2027関西に向け、今後も引き続きフライングディスク及びワールドマスターズゲームズの認知度向上を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,800 千円
事業内容	市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。		
成果・実績	市民文化芸術祭では、展示や舞台披露を開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業として、市民いけばな展・フェニックスコンサート・市民写真展・市民絵画展を開催した。		
	◎市民文化芸術祭	開催日	10月22日、23日
		参加者数	約660人
		来場者数	約3,450人
	◎同参加事業	参加者数	約370人
		来場者数	約1,550人
			
	市民文化芸術祭		
事業評価	市民等が日頃の文化芸術活動の成果を発表することにより、文化芸術活動者間の交流を促進し、それぞれの活動への理解が深まるきっかけづくりができた。		

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	135,219 千円
事業内容	アクティオ株式会社を指定管理者とし、文化センターの健全な管理・運営を行う。多様で質の高い文化芸術事業を提供し、市民文化の振興を図る。また、市民参画の機会を提供し、市内の文化芸術団体を対象に、文化会館の使用に際し使用料の助成を行う。		
成果・実績	源氏物語朗読劇や宇治セレクトシネマ、落語会やコンサート、ピアノリサイタルなど、主催・共催併せて30の事業を実施し、延べ12,831人が鑑賞し、1,219人の市民が事業実施に参加した。		
	ワンコインコンサートを開催し、市民が気軽に文化芸術に触れる機会の創出や、絵本ライブなど親子向け事業を開催し、日常的に文化芸術に触れる機会の充実に努めた。		
	また、市民の文化芸術活動の普及と振興を図るため、19の市民団体等に対して、文化会館の使用料の助成を行った。		
			
			
事業評価	文化センターの適切な管理・運営と多様で質の高い文化芸術事業の提供ができた。また様々なジャンルのプロの公演等を開催し、市民が文化芸術に触れる機会を充実させることができた。今後も引き続き適切な管理・運営に努めるとともに、指定管理者の有するノウハウ等の積極的な活用を検討する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	15,812 千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式をはじめとした「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての宇治市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>◎第32回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月27日（日）に紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式及び受賞者講演会を実施した。後日、市公式YouTubeチャンネル「宇治市ちはや茶んねる」にて動画配信した。</p>		
	<p>第Ⅰ部 贈呈式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紫式部文学賞（全国から58作品の推薦） 奈倉 有里 氏 「夕暮れに夜明けの歌を 文学を探しにロシアに行く」 ・紫式部市民文化賞（42作品の応募・推薦） 鳥本 純平 氏 「葉の上の露」 ・紫式部市民文化賞奨励賞 今村 貴久子 氏 「詩集 ちゅうぶらりん」 ・紫式部市民文化賞ユース賞 小嶋 彩加 氏 「思い思い描く、たった一つの青く光る一瞬の煌めきを」 <p>第Ⅱ部 紫式部文学賞受賞者講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 「海をわたる文学 - 源氏物語とロシアの思い出」 奈倉 有里 氏（第32回紫式部文学賞受賞者） 		
事業評価	<p>◎宇治田楽まつり 平安時代の民俗芸能である田楽を市民のまつりとして復活し、10月15日（土）に府立宇治公園（中の島）にて、宇治田楽まつり実行委員会関係者と市民参加者で盛大に開催した。宇治市文化芸術活動おうえんチャンネルで動画配信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者数 66人 ・観覧者数 700人 		
	<p>◎宇治十帖スタンプラリー 宇治橋周辺の宇治十帖ゆかりの地など21か所をスタンプスポットとし、スマートフォン等のGPS機能を使用したデジタルスタンプラリーを実施した。またウォーキングマップを用意し、スマートフォンをお持ちでない方もクイズを楽しみながら参加できるように工夫した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日数 61日（10月1日～11月30日） ・踏破者数 5,480人（スマートフォン3,669人、ウォーキングマップ1,811人） 		
<p>「紫式部市民文化賞奨励賞」「紫式部市民文化賞ユース賞」を新設し、若年層が文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めた。また、『源氏物語』をテーマとするイベントの開催により、地域の文化資源や市民による文化芸術活動に触れる機会の充実とともに、市民の文化芸術活動の活性化と「源氏物語のまちづくり」の定着を図ることができた。</p>			

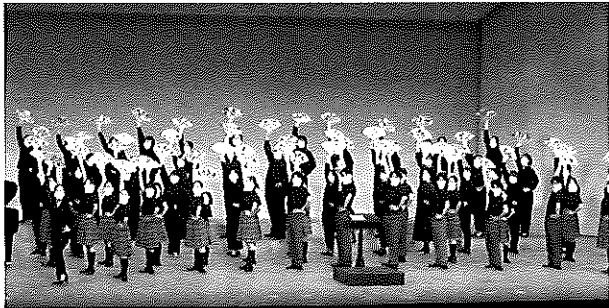



紫式部文学賞贈呈式

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	2,259 千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習及び定期演奏会の開催のほか、各種発表会・市の公式行事などに出演する。		
成果・実績	<p>団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約30人で、土曜日午後の練習、コンサート出演などの活動を行った。</p> <p>主な活動として、京都こども合唱祭、音連ミュージックフェスティバル、全日本少年少女合唱祭全国大会などに参加するとともに、定期演奏会を開催した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>第42回定期演奏会</p> </div>		
事業評価	合唱団活動に取り組むことにより、小・中学生の文化意識及び協調性などを育てることができた。今後もさらなる活性化に向けて、市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努めるとともに、持続可能な運営手法について検討する必要がある。		

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	148 千円
事業内容	昼休憩時間にミニコンサートを開催。気軽な音楽活動を発表する場として市庁舎を提供し、音楽文化の促進と市民相互の交流を図る。さらに、ピアノの自動演奏機能を活用し、音楽に親しむ機会を広く市民に提供する。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止していたが、9月から再開し、午後0時15分～45分に、市役所1階市民交流ロビーを会場として全7回開催した。毎回ほぼ定員（40人）に達した。</p> <p>◎延べ観覧者数 265人</p> <div style="text-align: center;">  </div>		
事業評価	市民交流ロビーコンサートを開催することで、文化芸術の発表にとどまらず、市庁舎という身近な場所で、広く市民に文化芸術に触れる機会を提供することができた。引き続き市民等が積極的に文化芸術活動に取り組める発表の機会の創出に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光部

事務事業名	文化芸術活動動画配信事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,160 千円
事業内容	<p>多様な媒体を活用した文化芸術に関する情報発信のため、インターネット上の動画配信という形で、市内で活動している団体・個人の文化芸術作品を専用のYouTubeチャンネルにて配信を行う。</p>		
成果・実績	<p>YouTube内の「宇治市文化芸術活動おうえんチャンネル」で、市内で文化芸術活動をされている個人・団体などが作成された動画を配信した。 また、動画撮影・編集講座を各2コース、計7日間開催した。</p> <p>◎配信動画数 39本 ◎延べ視聴回数 80,579回（令和5年3月末時点） ◎動画撮影・編集講座参加者数 26人</p>		
事業評価	<p>動画配信という新しい生活様式に対応した文化芸術活動の発表の場を提供することにより、市内外の多くの人に見ていただくことで、文化芸術に触れる機会を創出できた。今後は、講座を地域展開し、関心がある層が受講しやすい環境を作り、市民の文化芸術活動の活性化を図る。</p>		

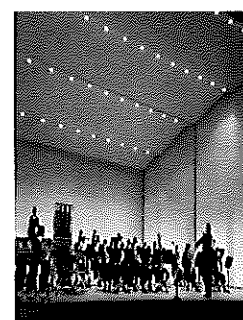
事務事業名	文化センター長寿命化事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	26,670 千円
事業内容	<p>令和2年6月に策定した「宇治市文化センター改修実施方針」に基づき、施設の長寿命化のための改修等を実施する。</p>		
成果・実績	<p>文化センター屋上防水改修工事、文化会館ワイヤレスマイクシステム更新を行った。</p>		
事業評価	<p>改修により、施設の耐久性と利用環境の向上を図ることができた。引き続き長寿命化の観点から、計画的な改修について取り組む必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
産業観光課

事務事業名	高校生文化芸術祭典事業費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	1,195 千円
事業内容	若年層の文化活動者の学校を越えた交流と、文化芸術のさらなる活性化を目的として、市内の高校生による舞台発表や作品展示を行う。		
成果・実績	<p>市内の全7校の高校生約300人が文化センターにて、12月22日(木)・23日(金)の2日間にわたり舞台発表や作品展示を行った。 また、高校生で組織する実行委員会を開催し、企画立案及び当日の運営などを行った。</p> <p>◎高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES ・参加者数 300人(18団体) ・入場者数 793人</p> <p>◎高校生文化芸術祭典FUN×FAN×FES実行委員会 ・開催回数 4回 ・実行委員数 29人</p>		
事業評価	<p>高校生の発表や作品の鑑賞、芸術祭の企画・運営を通じて、互いの活動や工夫などの情報交換の場とし、新たなつながりや活動を生み出す契機を提供できた。今後は事業実施にあたり、より効果的な手法を検討し、参加者と入場者の増加を図る必要がある。</p>		



事務事業名	つむぐみらい文化芸術推進費	所管課	文化スポーツ課
		決算額	100 千円
事業内容	「宇治市文化芸術振興基本計画」に基づき、文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宇治市文化芸術推進委員会を設置し、様々な見地から意見交換を行う。		
成果・実績	<p>宇治市文化芸術推進委員会において、「宇治市文化芸術振興基本計画」に基づき各種事業について意見交換を行った。</p> <p>◎文化芸術推進委員会開催数 1回 ◎文化芸術推進委員会委員数 12人 オブザーバー 2人</p>		
事業評価	<p>「宇治市文化芸術振興基本計画」を着実に推進していくため、宇治市文化芸術推進委員会を設置し、計画に基づく取組の実施について様々な見地から意見交換を行った。各取組の進捗確認や評価を報告し、委員会での意見を踏まえながら文化芸術の推進に努める。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	人権教育・啓発

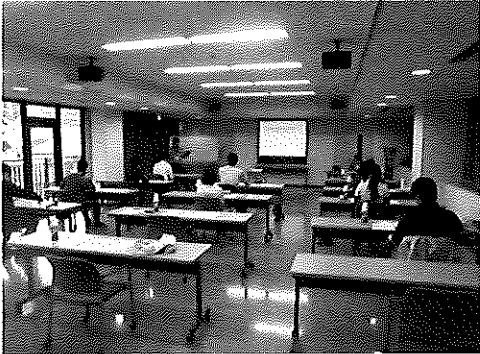
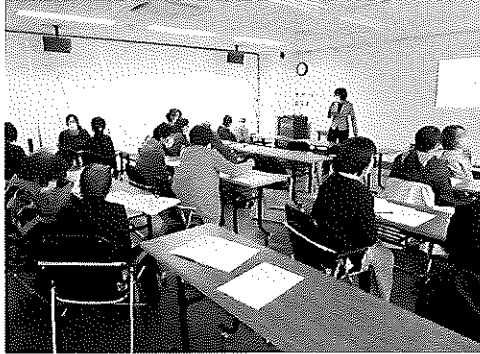
所管部局
人権環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	2,918 千円
事業内容	人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市第2次人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組む。		
成果・実績	◎人権強調月間（8月）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	平和☆ひゅうまん夏フェスタ	文化センター	大雨警報発表のため中止
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	—
	◎人権週間（12/4～12/10）の取組		
	事業名	実施場所	成果等
	ひゅうまんフェスタうじ	生涯学習センター周辺一帯	320人参加
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送
	人権啓発パネル展示	市役所市民交流ロビー	—
◎その他の取組			
事業名	実施時期	実施場所	成果等
情報紙「jinken」配布	8月・1月	—	各号約8万部
身近に感じる人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	309人参加
人権の花運動	10月～3月	市内小学校	3校で実施
人権啓発物品配布	年間	各種催し	4,600個配布
啓発教材（DVD等）貸出	年間	—	年14本貸出
市政だよりによる広報・啓発	年間	—	—
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	—
啓発教材上映会	年2回	市役所庁舎	延べ12人
◎山城地区広域連携事業			
山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。			
			人権擁護委員の取組への活動支援（人権の花運動）
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を制限するなどの対策を行ったこと等により、参加人数等が減少したものの、各種の広報・啓発事業を実施することで、人権尊重理念を普及し、様々な人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握・分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践できる効果的な取組を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	人権教育・啓発

所管部局
人権環境部

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業費	所管課	人権啓発課
		決算額	14,012 千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流促進に向けた、地域福祉の推進を図るため、事業及び各種人権啓発交流事業に取り組む。		
成果・実績	◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,352千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業及び学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。		
	◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 3,660千円 人権尊重理念の普及及び様々な人権問題の解決に向け、交流講座の開催及び人権啓発事業を実施した。		
	 <p>人権問題講演会（うじ館）</p>	 <p>人権問題講演会（こはた館）</p>	
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の縮小等を強いられたものの、感染症対策を十分に行った上で、各種人権啓発交流事業等に取り組むことにより、市民活動及び市民交流の促進を図ることができた。さらなる利用者増を含め、今後も人権教育・啓発のために効果的な取組を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	男女共同参画

所管部局
人権環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課
		決算額	14,977千円
事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、「宇治市男女生き生きまちづくり条例」及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業並びに学習機会の提供、市民活動支援を行う。また、女性・男性のための相談事業及び女性問題アドバイザー派遣事業を行う。		

成果・実績	◎広報・啓発			
		事業名	実施時期	実施場所
		男女共同参画情報誌「リズム」発行	6・10・12・2月	—
		市政だよりによる広報・啓発	年間	—
		男女共同参画UJIのつどい講演会	6月25日	男女共同参画支援センター
		UJIあさぎりフェスティバル	10月1・2日	延べ1,400人参加
		各2,000部		
		年36回掲載		
		106人参加		
	◎学習機会の提供・市民活動支援			
	事業名	実施時期	実施場所	成果
	各種セミナー（全10回）	年間	男女共同参画支援センターほか	延べ455人参加 （オンライン含む）
	ここからチャレンジ相談 （全24回のうち2回出前相談）			延べ109人参加
	市民企画事業奨励事業（3件）			延べ439人参加
	市民企画サポート事業（4件）			
	ここからチャレンジマルシェ	6・10・11・3月	JR宇治駅前広場	延べ108ブース
	◎女性問題アドバイザー派遣実績 8件 行政6件、民間2件			
	◎女性のための相談事業実績			
	相談区分	件数 （うち主訴がDV）		
	一般相談	来館相談	135（27）	
		電話相談	225（18）	
		合計	360（45）	
	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	108	
		こころとからだの相談	6	
		法律相談	34	
		合計	148	
	◎男性のための相談事業実績 33件			

事業評価	女性・男性のための相談や女性問題アドバイザーの派遣、また、新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインによるセミナーを実施するなど、男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会の推進に努めた。今後も、市民・事業者などと協働・連携し、より効果的な事業を実施する必要がある。
-------------	---

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費	所管課	環境企画課
		決算額	501 千円
事業内容	「宇治市第2次地球温暖化対策地域推進計画」等に基づき、市民・事業者へ温室効果ガス排出削減の効果的な取組の普及啓発を行う。		
成果・実績	<p>◎緑のカーテン推進費 192千円 小学校（4校）、中学校（4校）、幼稚園（3園）、その他公共施設（7か所）がゴーヤ等のつる性植物を用いた「緑のカーテン」の設置に取り組み、建物の蓄熱を抑える等の対策を行った。また、取組状況をホームページへ掲載する等、市民への啓発に努めた。</p>		
事業評価	緑のカーテンの設置及び普及啓発事業を実施することにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。引き続き普及啓発に取り組む。		

事務事業名	家庭用雨水タンク設置事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	322 千円
事業内容	雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図るため、雨水タンクを設置する者に対し購入費用の一部を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる雨水タンク設置費に対して、費用の一部を補助した。 ・購入金額の3/4を補助（上限2万円）</p> <p>補助件数 19件 交付金額 322千円</p>		
事業評価	雨水タンクの設置費用の一部を補助することにより、雨水タンクの設置を促進し雨水利用を通じた環境意識及び防災意識の向上を図ることができた。今後も京都府の動向等を注視し、より設置促進に向けた効果的な手法について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部


事務事業名	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金	所管課	環境企画課
		決算額	4,939 千円
事業内容	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、住居に太陽光発電・蓄電設備を同時設置した者に対し設置費用の一部を補助する。		
成果・実績	補助対象となる太陽光発電・蓄電設備設置費に対して、費用の一部を補助した。 ・太陽光発電量 1kWあたり1万円（上限4万円） ・蓄電容量 1kWhあたり2万円（上限12万円） 補助件数 32件 交付金額 4,939千円		
事業評価	家庭におけるエネルギー自立化を促進するため、設備の設置費用に対し補助を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。引き続きエネルギー自立化促進のため、補助事業を行う。		

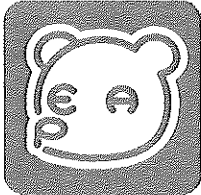

事務事業名	ゼロ・エネルギー・ハウス普及促進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	300 千円
事業内容	住宅の省エネルギー対策の強化を図るため、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅、ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の導入費用の一部を補助し、ZEHの普及促進を行う。		
成果・実績	補助対象となるZEH導入費用に対して、費用の一部を補助した。 ・1件あたり30万円 補助件数 1件 交付金額 300千円		
事業評価	ZEHの導入費用の一部を補助し、普及促進を行うことにより、市内の温室効果ガス排出量の低減をはじめとした地球温暖化対策を推進することができた。今後も、国の動向等を注視し、より普及促進ができる効果的な手法について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境管理制度認証登録支援事業費	所管課 決算額	環境企画課 51千円
事業内容	市内の事業者が新たにKES・環境マネジメントシステム・スタンダードを認証取得された場合、それに要した費用の一部を補助する。		
成果・実績	<p>補助対象となる費用の一部を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認証取得に要したコンサルタント料の2分の1（上限19,800円） ・新規認証取得に要した新規審査・登録料の2分の1（上限30,800円） <p>補助件数 1件 交付金額 51千円</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	事業者にKES認証取得費用の一部を補助することにより、事業活動による環境への負荷を低減することができた。今後も認証取得促進に向けた効果的な手法について検討する必要がある。		

事務事業名	エコ・アクション推進事業費	所管課 決算額	環境企画課 943千円
事業内容	環境省が推奨する全国共通のポイントプログラム「エコ・アクション・ポイント」を活用することで地球温暖化対策への関心を深めるとともに、市民の環境に対する意識改革、行動変容を促し、市域の温室効果ガス排出量削減を目指す。		
成果・実績	<p>市域で「エコ・アクション・ポイント」アプリの利用推進を行い、宇治市民限定のエコ・アクションに取り組んだ方にポイントを付与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 1,275人 ・総ポイント付与数 718,322ポイント ・ポイント付与に要した金額 719千円 ・システム使用料（10か月分） 220千円 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">   </div>		
事業評価	エコ・アクション・ポイントを活用することにより、市民一人ひとりが日々の暮らしの中で継続してエコ活動を行うきっかけとすることができた。さらに多くの市民が参加できるように、今後も効果的な取組を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境保全関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	8,542千円
事業内容	生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。		
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも概ね良好であった。</p> <p>◎環境監視費 1,684千円 ◎発生源監視費 791千円 ◎自動車排出ガス監視測定局運営費 6,067千円</p>		
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施することにより、生活環境保全に努めることができた。測定結果を公表し周知するとともに、今後も引き続き環境測定及び発生源監視測定を行い、環境保全の推進に努める必要がある。		



事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課												
		決算額	2,047千円												
事業内容	狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付などを行う。														
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計23か所で集合注射接種会場を設け、659頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに574頭の登録を行い、総登録数8,812頭となった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>犬の登録頭数</th> <th>集合注射利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">8,806頭</td> <td style="text-align: center;">743頭</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">8,986頭</td> <td style="text-align: center;">724頭</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">8,812頭</td> <td style="text-align: center;">659頭</td> </tr> </tbody> </table>			年度	犬の登録頭数	集合注射利用数	令和2年度	8,806頭	743頭	令和3年度	8,986頭	724頭	令和4年度	8,812頭	659頭
年度	犬の登録頭数	集合注射利用数													
令和2年度	8,806頭	743頭													
令和3年度	8,986頭	724頭													
令和4年度	8,812頭	659頭													
事業評価	狂犬病予防のため、予防注射の推進及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与することができた。今後も公衆衛生の更なる向上を図るため、引き続き効果的・効率的な啓発を行う必要がある。														

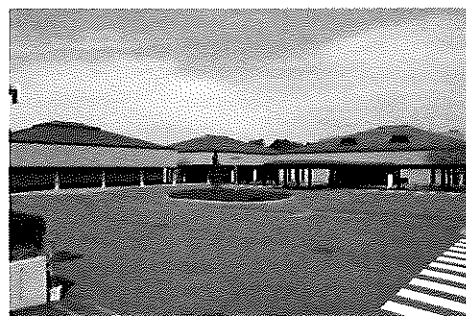
令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	環境衛生対策関連事業費	所管課	環境企画課
		決算額	1,328 千円
事業内容	良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。		
成果・実績	<p>◎そ族及び衛生害虫対策費 758千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トビケラ駆除薬剤散布 年3回（宇治川兩岸） ・電撃殺虫機の稼働 春から秋にかけて稼働（宇治川兩岸） <p>◎あき地雑草等除去費 570千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通知件数 55件 （うち処理済件数 55件） （うち未処理件数 0件） 		
事業評価	衛生害虫対策、あき地の適正管理に関する指導などを実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。住宅周辺の生活環境を改善するため、今後も引き続き環境衛生対策に努める必要がある。		

事務事業名	斎場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	91,299 千円								
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬・葬祭等の利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	<p>日本管財・五輪グループを指定管理者として、葬祭場・有料待合室・安置室については、利用料金制により運営した。</p> <p>◎斎場利用実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>火葬場</td> <td style="text-align: right;">4,105件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td style="text-align: right;">145件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td style="text-align: right;">315件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td style="text-align: right;">338件</td> </tr> </table>			火葬場	4,105件	葬祭場	145件	待合室	315件	安置室	338件
火葬場	4,105件										
葬祭場	145件										
待合室	315件										
安置室	338件										
事業評価	民間事業者の専門性や実績を活かし、利便性の向上を図るなど、適切に管理運営ができた。今後も適切な施設管理に努める必要がある。										

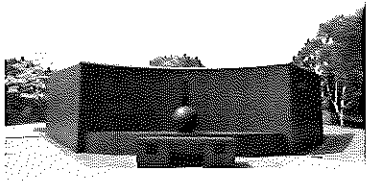


令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	斎場施設改修費	所管課	環境企画課
		決算額	6,411 千円
事業内容	宇治市斎場は、宇治市民のみならず近隣市町村からも広く利用されており、利用率が高い施設となっている。施設を安全に利用するため、計画的に改修を実施する。		
成果・実績	◎斎場施設改修費 6,411千円 ・斎場地下貯蔵タンク改修設計 ・斎場現況調査及び改修計画策定		
事業評価	大規模改修等に向けて適切な設計や計画策定を行うことができた。今後も引き続き、施設の安全性を高めるため、計画的に改修を実施する。		

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課																																										
		決算額	26,137 千円																																										
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、公営の墓地として公平性・持続性を踏まえた運営を行い、使用者が永代にわたり安心して墓参できる墓園環境を保持する。																																												
成果・実績	日本管財・五輪グループを指定管理者として、管理運営を行った。																																												
	◎墓所 墓所使用者を年1回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用区画数は、2,960区画となった。	新規使用許可数（墓所） <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">2㎡</td> <td style="text-align: center;">12 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3㎡</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4㎡</td> <td style="text-align: center;">1 件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">14 件</td> </tr> </table>		2㎡	12 件	3㎡	1 件	4㎡	1 件	合計	14 件																																		
2㎡	12 件																																												
3㎡	1 件																																												
4㎡	1 件																																												
合計	14 件																																												
	◎合葬式墓地 令和3年7月から供用を開始し、令和4年度の使用許可件数は101件であった。																																												
	合葬式墓地使用許可件数 (単位:件)																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設の区分</th> <th rowspan="2">申請数</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> </tr> <tr> <th>焼骨有</th> <th>生前予約</th> <th>焼骨有</th> <th>生前予約</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合葬室</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>10年</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>20年</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>記名版</td> <td style="text-align: center;">52</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table>					施設の区分	申請数	市内		市外		焼骨有	生前予約	焼骨有	生前予約	合葬室	99	55	36	5	3	10年	2	2	0	0	0	20年	0	0	0	0	0	合計	101	57	36	5	3	記名版	52	30	18	2	2
施設の区分	申請数	市内		市外																																									
		焼骨有	生前予約	焼骨有	生前予約																																								
合葬室	99	55	36	5	3																																								
10年	2	2	0	0	0																																								
20年	0	0	0	0	0																																								
合計	101	57	36	5	3																																								
記名版	52	30	18	2	2																																								
事業評価	今までの墓所に加え、令和3年度から合葬式墓地を供用開始したが、指定管理者によって適切に管理された。今後も引き続き、適切な墓地公園管理に努めるとともに、墓地に関する市民意識を踏まえた運用を検討する必要がある。																																												

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課																						
		決算額	1,972 千円																						
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。																								
成果・実績	補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区分</th> <th style="width: 15%;">設置数</th> <th style="width: 15%;">補助単価 (千円)</th> <th style="width: 15%;">交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">本体設置費</td> <td style="text-align: center;">5人槽</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">332</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6～7人槽</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">414</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8～10人槽</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">宅内配管工事費</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">300</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単独処理浄化槽撤去費</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> </tbody> </table>			区分	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)	本体設置費	5人槽	1	332	6～7人槽	3	414	8～10人槽	0	0	宅内配管工事費		1	300	単独処理浄化槽撤去費		1	90
	区分	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)																					
	本体設置費	5人槽	1	332																					
		6～7人槽	3	414																					
		8～10人槽	0	0																					
宅内配管工事費		1	300																						
単独処理浄化槽撤去費		1	90																						
事業評価																									
下水道事業計画区域外等の地域において、浄化槽設置を促進し、河川・水路などの水質改善に寄与した。今後も国の動向を注視し、より効果的な補助の手法について検討する必要がある。																									

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	不法投棄防止対策事業費	所管課	まち美化推進課
		決算額	1,960 千円
事業内容	不法投棄の抑止及び不法投棄されたごみなどの回収のため、特に不法投棄が多い市内山間地について、地域住民にパトロールを委託する。		
成果・実績	◎パトロール実施状況 延べ 560人、306日		
事業評価	不法投棄されたごみ等を早期発見し回収することにより、不法投棄の連鎖的な発生を抑止することができた。今後も不法投棄の発生を抑止するため、効果的な手法について検討する必要がある。		

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	まち美化推進課
		決算額	139 千円
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、製造業者等が指定した引取場所や国の認定を受けた事業者の再資源化施設に運搬し、適切な処理を図る。		
成果・実績	◎不法投棄分処理台数 (台)		
	年度	令和2年度	令和3年度
	品目	令和2年度	令和3年度
	テレビ	92	47
	冷蔵庫 (冷凍庫含む)	12	21
	洗濯機・衣類乾燥機	19	9
	エアコン	1	2
	パソコン	0	0
	その他	4	0
	合計	128	79
事業評価	「特定家庭用機器再商品化法」及び「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、不法投棄された廃家電について、適切に処理することができた。今後は、不法投棄の減少に向け、発生の抑止に向けた効果的な手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業費	所管課	まち美化推進課		
		決算額	353,325 千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を民間委託を活用しながら実施する。				
成果・実績	◎可燃物等収集運搬委託費	209,944千円			
	◎不燃物収集運搬委託費	98,406千円			
	◎びん・ペットボトル収集運搬委託費	39,985千円			
	◎溝土収集運搬委託費	4,990千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	収集方法等
	可燃ごみ	24,169	23,650	22,981	直営 (一部委託)
	不燃ごみ	6,884	5,749	5,310	委託 (一部地域除く)
	プラマーク	1,698	1,742	1,807	直営
	缶	381	389	319	直営 (一部委託)
	びん	1,085	1,059	1,034	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	583	586	583	委託 (一部地域除く)
	紙パック	17	14	13	直営
	溝土	27	25	32	委託
家電リサイクル法 対象家電製品	300台	269台	285台	直営	
死獣	1,096頭	1,011頭	957頭	直営 (一部委託)	
小型家電	8	11	17	直営	
ごみ出しが困難な高齢者世帯等に対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施 ふれあい収集 総世帯数486世帯(令和4年度末現在)					
事業評価	一般家庭から排出される廃棄物について、民間委託を活用しながら適切に収集することにより、快適な市民生活を支えることができた。今後も適切な収集に努める中で、ごみの減量化に向けた効果的な手法を検討する必要がある。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	環境保全、ごみ減量

所管部局
人権環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	まち美化推進課																							
		決算額	31,754 千円																							
事業内容	宇治市と協定を締結した古紙類の集団回収に取り組む町内会・自治会などに対し、民間再生事業者へ引き渡した古紙類の量に応じて報償金を交付する。																									
成果・実績	<p>引き渡した古紙類の量に応じて、1kgあたり5円の報償金を交付した。</p> <p>◎古紙回収報償金 31,376千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">各年度の古紙類回収量(t)</th> </tr> <tr> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集団回収</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6,390</td> <td style="text-align: center;">5,240</td> <td style="text-align: center;">6,275</td> </tr> <tr> <td>直営回収</td> <td></td> <td style="text-align: center;">232</td> <td style="text-align: center;">222</td> <td style="text-align: center;">237</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6,622</td> <td style="text-align: center;">5,462</td> <td style="text-align: center;">6,512</td> </tr> </tbody> </table>			種別	年度	各年度の古紙類回収量(t)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	集団回収		6,390	5,240	6,275	直営回収		232	222	237	合計		6,622	5,462	6,512
種別	年度	各年度の古紙類回収量(t)																								
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																						
集団回収		6,390	5,240	6,275																						
直営回収		232	222	237																						
合計		6,622	5,462	6,512																						
事業評価	市民のリサイクルに対する意識を高め、ごみの減量化と資源のリサイクルを促進することができた。集団回収の状況の把握・分析に努める中で、より効果的な手法について検討する必要がある。																									

事務事業名	リサイクル事業費	所管課	まち美化推進課																												
		決算額	3,954 千円																												
事業内容	第6次総合計画で掲げる「ごみの減量化・資源化の促進」として、ごみの発生抑制ならびに再使用を市民と協働で取り組むため、使わなくなった状態の良い「かばん、くつ、ぬいぐるみ、衣類等」を集め、海外で再使用してもらう取組である「海外リユース事業」を実施する。																														
成果・実績	<p>◎海外リユース事業 市役所庁舎と木幡公民館に、常設の回収ボックスを設置</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>回収量</th> <th>売却収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">約58 t</td> <td style="text-align: center;">289千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">約75 t</td> <td style="text-align: center;">375千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">約71 t</td> <td style="text-align: center;">341千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら多くの市民に参加いただける啓発事業として、ドライブスルーによるリサイクル・リユース品を回収するイベント「ドライブスルーdeリサイクル」を実施した。</p> <p>ドライブスルーdeリサイクル実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>開催回数</th> <th>回収量</th> <th>来場台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約31 t</td> <td style="text-align: center;">1,729台</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約31 t</td> <td style="text-align: center;">1,590台</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">約27 t</td> <td style="text-align: center;">1,420台</td> </tr> </tbody> </table> <p>回収した海外リユースの品物は単にリユース業者へ提供するだけでなく、1kg当り5円（雑貨、食器については1kg当り1円）で売却することで新たな収入を創出した。</p>			実績	回収量	売却収入	令和2年度	約58 t	289千円	令和3年度	約75 t	375千円	令和4年度	約71 t	341千円	実績	開催回数	回収量	来場台数	令和2年度	2回	約31 t	1,729台	令和3年度	2回	約31 t	1,590台	令和4年度	2回	約27 t	1,420台
実績	回収量	売却収入																													
令和2年度	約58 t	289千円																													
令和3年度	約75 t	375千円																													
令和4年度	約71 t	341千円																													
実績	開催回数	回収量	来場台数																												
令和2年度	2回	約31 t	1,729台																												
令和3年度	2回	約31 t	1,590台																												
令和4年度	2回	約27 t	1,420台																												
事業評価	ごみの発生抑制並びに再使用を市民と協働で取り組み、ごみ処理費の抑制と新たな収入の確保につながった。今後も本事業を市民と協働して取組を進めるため、引き続き広報を行い、市民周知を図る中で、回収量の増加に努める。																														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
人権環境部

事務事業名	ごみ処理手数料キャッシュレス決済推進費	所管課	まち美化推進課	
		決算額	65千円	
事業内容	市民サービス向上及びごみの有料収集業務の効率化を図るため、ごみ処理手数料の収受にスマートフォンを用いたキャッシュレス決済を実施する。			
成果・実績	◎利用実績			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	利用件数	53件	73件	72件
	手数料収入	137千円	299千円	175千円
事業評価	キャッシュレス決済により、利用者の利便性の向上及び業務の効率化を図ることができた。今後も引き続き利用件数の増加に努める。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	324 千円
事業内容	「宇治市地域福祉計画」及び「宇治市自殺対策計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため実施する各事業の進行管理を行う。		
成果・実績	地域福祉推進委員会において、令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」の進行管理方法の検討を行った。 ◎地域福祉推進委員会開催数 2回		
事業評価	令和4年3月に策定した「第3期宇治市地域福祉計画」に基づき地域福祉の推進がされているか、地域福祉推進委員会を開催し、進行管理方法の検討を行った。 来年度以降は検討を行った進行管理の方法を用いて、地域福祉推進の取組についての管理を行う。		

事務事業名	宇治市社会福祉協議会活動助成金	所管課	地域福祉課
		決算額	65,919 千円
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政的援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。		
成果・実績	（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。 ◎宇治市社会福祉協議会事務所運営費事業補助金 54,372千円 ◎福祉活動専門員設置事業補助金 2,535千円 ◎福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金 979千円 ◎ボランティアコーディネーター設置事業補助金 1,959千円 ◎ふれあい福祉センター事業補助金 3,600千円 ◎学区福祉委員会活動事業補助金 2,324千円 ◎災害ボランティアセンター体制整備事業補助金 150千円		
事業評価	民間組織の自主性と法に基づく公共性を持つ社会福祉協議会の活動を支援し、地域住民が主体となった地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展に伴い、福祉ニーズが複雑・多様化する中で、今後も引き続き、連携・協働して地域福祉の推進に取り組む必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	38,894 千円						
事業内容	<p>「民生委員法」・「児童福祉法」に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎民生児童委員活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">36,130千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">357千円</td> </tr> <tr> <td>◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">2,407千円</td> </tr> </table>			◎民生児童委員活動費補助金	36,130千円	◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	357千円	◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,407千円
◎民生児童委員活動費補助金	36,130千円								
◎民生児童委員協議会会長活動費補助金	357千円								
◎民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	2,407千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動を助成し、地域福祉の推進を図った。少子高齢化の進展による老老介護や8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなど社会状況の変化に伴い、その活動は複雑・多様化している中で、民生児童委員の確保と相談などに的確に対処するための研修活動及び委員相互の連携強化に努める必要がある。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課								
		決算額	32,341 千円								
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館（昭和58年1月開館）を管理・運営する。</p>										
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">◎総合福祉会館指定管理料</td> <td style="text-align: right;">31,149千円</td> </tr> <tr> <td>◎建物定期点検・調査業務委託</td> <td style="text-align: right;">272千円</td> </tr> <tr> <td>◎総合福祉会館修繕費等</td> <td style="text-align: right;">832千円</td> </tr> <tr> <td>◎アスベスト調査</td> <td style="text-align: right;">88千円</td> </tr> </table>			◎総合福祉会館指定管理料	31,149千円	◎建物定期点検・調査業務委託	272千円	◎総合福祉会館修繕費等	832千円	◎アスベスト調査	88千円
◎総合福祉会館指定管理料	31,149千円										
◎建物定期点検・調査業務委託	272千円										
◎総合福祉会館修繕費等	832千円										
◎アスベスト調査	88千円										
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営が執行された。施設の経年劣化や利用者ニーズの多様化に対応するため、引き続き指定管理者と連携してサービスの向上に努めつつ、宇治市の福祉拠点施設としての役割を果たせるよう、管理運営に努める。</p>										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域福祉活動応援事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	517 千円
事業内容	子どもの貧困、ひきこもり、地域福祉の担い手確保などの今日的課題の解決並びに地域共生社会の実現を目指し、(福)宇治市社会福祉協議会による間接助成として、地域における主体的な取組を行う団体等の支援により地域福祉の推進を図る。		
成果・実績	<p>新たに「地域福祉活動応援事業」を実施し、地域共生社会の推進を図った。</p> <p>◎地域福祉活動応援事業費 517千円</p> <p>◎補助団体数 3団体</p>		
事業評価	地域課題の解決に向けて既に活動している団体を支援し、地域福祉活動のさらなる充実を図った。今後も、地域共生社会の実現に向け、引き続き、今日的課題の解決等に取り組む団体等を支援する必要がある。		

事務事業名	地域ボランティア等担い手育成事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	1,000 千円
事業内容	(福)宇治市社会福祉協議会が取り組む、地域福祉の担い手の育成、地域資源のネットワーク化の促進、地域福祉活動の相談支援の充実に向けた活動を支援し、地域福祉の推進を図る。		
成果・実績	<p>新たに「地域ボランティア等担い手育成事業」を実施し、地域共生社会の推進を図った。</p> <p>◎地域ボランティア等担い手育成事業費 1,000千円</p>		
事業評価	地域福祉活動の担い手の育成や、ネットワーク構築などの活動を支援することで、地域福祉活動をしやすい環境づくりを行った。今後も支援を継続し、団体との協働による地域福祉の推進を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域共生社会実現サポート事業補助金	所管課	地域福祉課
		決算額	1,540 千円
事業内容	地域において社会福祉法人等が実施する社会貢献活動並びに福祉サービスの質の向上を促進し、共に生き、共に支え合う社会の実現を図るため、京都府が実施する「地域共生社会実現サポート事業」と協調して実施する。		
成果・実績	社会福祉法人に対し補助を行い、小規模法人の処遇改善、災害時の対応力向上を図った。 ◎地域共生社会実現サポート事業補助金 1,540千円 補助実績 : 7法人 17事業所		
事業評価	京都府と連携し、社会福祉法人等が行う地域課題の解消に向けた取組等の支援を実施した。今後も地域共生社会の実現に向け、社会福祉法人等と連携し、地域福祉の推進を図る必要がある。		

事務事業名	自殺対策計画推進事業費	所管課	地域福祉課																														
		決算額	103 千円																														
事業内容	平成28年4月に改正された「自殺対策基本法」に基づき、宇治市において「宇治市自殺対策計画」を策定し、「自殺者ゼロ」を目標に誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指す。																																
成果・実績	◎自殺対策関連セミナーの開催 ・宇治市ゲートキーパー入門講座 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和5年2月4日（土）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">※参加人数：21人</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市産業会館多目的ホール</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="2">NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏</td> </tr> </table> ・男性のストレス対策セミナー <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和5年1月21日（土）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">※参加人数：6人</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市産業会館多目的ホール</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="2">京都橘大学 健康科学部心理学科 准教授 濱田 智崇 氏</td> </tr> </table> ・若年層向け自殺予防啓発事業 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">日 時</td> <td>令和5年3月26日（日）</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">※参加人数：41人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(会場：26人 オンライン：15人)</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td colspan="2">宇治市男女共同参画センター会議室1</td> </tr> <tr> <td>講 師</td> <td colspan="2">京都文教大学 臨床心理学部 准教授 松田 美枝 氏</td> </tr> </table>			日 時	令和5年2月4日（土）	※参加人数：21人	場 所	宇治市産業会館多目的ホール		講 師	NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏		日 時	令和5年1月21日（土）	※参加人数：6人	場 所	宇治市産業会館多目的ホール		講 師	京都橘大学 健康科学部心理学科 准教授 濱田 智崇 氏		日 時	令和5年3月26日（日）	※参加人数：41人			(会場：26人 オンライン：15人)	場 所	宇治市男女共同参画センター会議室1		講 師	京都文教大学 臨床心理学部 准教授 松田 美枝 氏	
日 時	令和5年2月4日（土）	※参加人数：21人																															
場 所	宇治市産業会館多目的ホール																																
講 師	NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏																																
日 時	令和5年1月21日（土）	※参加人数：6人																															
場 所	宇治市産業会館多目的ホール																																
講 師	京都橘大学 健康科学部心理学科 准教授 濱田 智崇 氏																																
日 時	令和5年3月26日（日）	※参加人数：41人																															
		(会場：26人 オンライン：15人)																															
場 所	宇治市男女共同参画センター会議室1																																
講 師	京都文教大学 臨床心理学部 准教授 松田 美枝 氏																																
事業評価	各種研修・講座を通じて、市民や民生児童委員などに対して、自殺に悩む人を1人でも救うために重要な“気づき”について等、理解を深めることができた。今後は、行政職員に対してもゲートキーパー研修を行い、全庁的に自殺ゼロに向けて取り組む必要がある。																																

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	ひきこもり相談窓口設置事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	5,000 千円
事業内容	ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置をはじめ、支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業などを通して、ひきこもりの悩みを抱える人が相談しやすい環境を作り、専門の窓口や必要な支援に繋がるとともに、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深める。		
成果・実績	<p>ひきこもり相談窓口を令和2年10月1日に開設。事業の委託を行い、ひきこもり状態にある人や家族などに対する相談、支援や居場所づくりなどを行った。</p> <p>◎ひきこもり相談窓口設置など委託料 5,000千円 相談回数 : 89回 相談人数 : 36人 居場所活動 : 9回 (参加者14人) 研修・会議 : 4回</p>		
事業評価	宇治市ひきこもり支援ネットワークに参加している団体がどのような支援を行っているか一目でわかるひきこもり支援マップを作成し、市内各所へ配架した。今後とも、悩みを抱える本人や家族にとって相談しやすい環境整備、ひきこもり支援ネットワークの強化、窓口周知などに取り組む必要がある。		

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																												
		決算額	4,780 千円																																												
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託し、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、冬期）、貸付限度額10万円（夏期・冬期の合計）、償還期間最長20か月返済で貸し付ける。																																														
成果・実績	<p>厳しい生活状況に置かれた市民に対して、本事業により生活の安定を図った。令和4年度は件数、金額ともに前年度を上回った。</p> <p>◎くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>6</td> <td>600</td> <td>14</td> <td>1,400</td> <td>15</td> <td>1,500</td> <td>15</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>冬期</td> <td>9</td> <td>880</td> <td>23</td> <td>2,250</td> <td>13</td> <td>1,300</td> <td>25</td> <td>2,450</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>15</td> <td>1,480</td> <td>37</td> <td>3,650</td> <td>28</td> <td>2,800</td> <td>40</td> <td>3,950</td> </tr> </tbody> </table>				令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	6	600	14	1,400	15	1,500	15	1,500	冬期	9	880	23	2,250	13	1,300	25	2,450	合計	15	1,480	37	3,650	28	2,800	40	3,950
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度																																								
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																																							
夏期	6	600	14	1,400	15	1,500	15	1,500																																							
冬期	9	880	23	2,250	13	1,300	25	2,450																																							
合計	15	1,480	37	3,650	28	2,800	40	3,950																																							
事業評価	資金貸付により、低所得者等の生活意欲の向上と自立助成に一定の効果を上げることができた。前年度と比べて令和4年度は貸付件数が増加しており、今後も引き続き、必要な支援に努める。																																														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	住居確保給付金給付費	所管課	地域福祉課
		決算額	12,313 千円
事業内容	離職・廃業後2年以内、または自己の責や都合によらない理由で収入が減少し、離職や廃業と同程度の状況にある者のうち、住宅を喪失するおそれのある者に対して、家賃相当額の住居確保給付金を支給する。		
成果・実績	◎支給状況等 ・支給対象者数 74人 ・支給額合計 12,313千円 ・支給決定者数 74人 ・不支給決定者数 1人		
事業評価	「生活困窮者自立支援法」に基づき、失業者に対する住居確保のセーフティネットとして適正に支援を実施した。今後も引き続き国、京都府等の動向に注視し、失業者が住居を喪失することが無いよう、ハローワーク及び京都府との連携により、生活困窮者自立支援制度の周知拡大とあわせて、取組をより一層推進する必要がある。		

事務事業名	生活困窮世帯等の子どもの学習支援事業費	所管課	地域福祉課															
		決算額	3,621 千円															
事業内容	生活困窮世帯等の子どもとその保護者に対して、個々の世帯の置かれている生活環境の状況を踏まえ学習支援、その他養育に関する相談支援等を行う。																	
成果・実績	◎支援状況等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">実施拠点</th> <th style="width: 20%;">事業回数</th> <th style="width: 50%;">事業利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">宇治市総合福祉会館</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">108</td> <td>中学1年生 5人</td> </tr> <tr> <td>中学2年生 6人</td> </tr> <tr> <td>中学3年生 6人</td> </tr> <tr> <td>合計 17人</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">宇治市大久保青少年センター</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">93</td> <td>中学1年生 5人</td> </tr> <tr> <td>中学2年生 4人</td> </tr> <tr> <td>中学3年生 10人</td> </tr> <tr> <td>合計 19人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">※うち10人（中学3年生は5名）は年度途中で支援終了 ※中学3年生11人が希望する高校へ進学</p>			実施拠点	事業回数	事業利用者数	宇治市総合福祉会館	108	中学1年生 5人	中学2年生 6人	中学3年生 6人	合計 17人	宇治市大久保青少年センター	93	中学1年生 5人	中学2年生 4人	中学3年生 10人	合計 19人
実施拠点	事業回数	事業利用者数																
宇治市総合福祉会館	108	中学1年生 5人																
		中学2年生 6人																
		中学3年生 6人																
		合計 17人																
宇治市大久保青少年センター	93	中学1年生 5人																
		中学2年生 4人																
		中学3年生 10人																
		合計 19人																
事業評価	学習支援を行うことにより、学習習慣の定着、居場所づくり、家庭の教育力の醸成を進めることができた。令和5年度に学習支援拠点の開設を行うことも含め、今後も交通手段がない等の理由により参加できない生徒への対応等について、より効果の高い実施手法を検討する必要がある。																	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活困窮世帯等の家計改善支援事業費	所管課	地域福祉課			
		決算額	780 千円			
事業内容	<p>家計収支の均衡が取れていない等、家計に課題を抱える相談者からの相談に応じ、相談者自身が置かれている家計状況を理解できるよう家計の「見える化」を図る。また「家計表」や「家計再生プラン」などを作成し支援の方向性を提案し、生活の再生に向けた意欲を高めるとともに、家計の視点から必要な情報提供や専門的な助言などを行い、相談者の家計管理の力を高めていく支援を行う。</p>					
成果・実績	◎支援状況等					
	支援内容		人数	R4年度末までの状況		
				対応中	終結	
	支援対象者		15人	8人	7人	
	うち、 具体的 支援の 内容	家計管理に関する支援		15人	8人	7人
		滞納の解消や給付制度利用支援		13人	8人	5人
債務整理に関する支援		5人	3人	2人		
貸付のあっせん		2人	2人	0人		
進学相談		2人	2人	0人		
※1人の対象者が複数の具体的支援を受けている場合あり						
	◎支援内容					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談者からの聞き取りや書類の確認により家計表を作成する ・ 来庁が困難な相談者に対し、アウトリーチによる支援を行う ・ 法テラスや弁護士事務所に同行し、債務整理に関する手続きの支援を行う ・ 生活保護世帯の高校生の進路相談にかかる支援を行う 					
事業評価	<p>生活困窮者の家計の状況を把握し、中長期的な生活設計を図るために、家計に関する課題のより踏み込んだ相談に対応することができた。今後も専門性を生かし、生活保護受給者を含め自ら家計管理ができることを目標として、支援に取り組む。</p>					

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費	所管課 決算額	地域福祉課 725,977千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の現金を「プッシュ型」で給付する。		
成果・実績	◎令和3年度繰越分 ・事業費（給付金） 309,700千円 ・事務費 20,886千円 ◎現年度 ・事業費（給付金） 374,000千円 ・事務費 21,391千円 ◎給付世帯数 24,924世帯		
事業評価	給付対象と見込まれる世帯には、順次、確認書を送付し、円滑に給付を行うことができた。		

事務事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費	所管課 決算額	地域福祉課 1,100,150千円
事業内容	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり5万円を「プッシュ型」で支給する。		
成果・実績	◎事業費（給付金） 1,061,400千円 ◎事務費 38,750千円 ◎給付世帯数 21,228世帯		
事業評価	給付対象と見込まれる世帯には、順次、確認書を送付し、円滑に給付を行うことができた。		

令和 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	社会福祉施設等振興備品配付事業費	所管課	地域福祉課
		決算額	13,447 千円
事業内容	福祉基金を取り崩し、市内の社会福祉施設等に対して振興備品を配布する。		
成果・実績	福祉基金を活用し、市内の社会福祉施設等に対して振興備品を配布した。 ◎配布対象 ・団体数 52法人 ・施設数 142施設 ・配布品目 パソコン・冷蔵庫等 33品目		
事業評価	宇治市福祉基金条例に基づき、福祉基金を活用して市内の社会福祉施設等に対して振興備品を配付し、社会福祉事業の推進を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	地域福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																										
		決算額	4,692,679千円																										
事業内容	「日本国憲法」第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。																												
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭など扶助を実施した。被保護世帯は令和4年度中の月平均で2,116世帯、被保護人員は2,871人であった。</p> <p>◎生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,407,044</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">781,300</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">17,775</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">90,382</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">2,328,101</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">222</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">19,211</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">15,182</td></tr> <tr><td>施設事務費</td><td style="text-align: right;">27,015</td></tr> <tr><td>就労自立給付金</td><td style="text-align: right;">1,747</td></tr> <tr><td>進学準備給付金</td><td style="text-align: right;">4,700</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,692,679</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,407,044	住宅	781,300	教育	17,775	介護	90,382	医療	2,328,101	出産	222	生業	19,211	葬祭	15,182	施設事務費	27,015	就労自立給付金	1,747	進学準備給付金	4,700	合計	4,692,679
扶助の種類	扶助費																												
生活	1,407,044																												
住宅	781,300																												
教育	17,775																												
介護	90,382																												
医療	2,328,101																												
出産	222																												
生業	19,211																												
葬祭	15,182																												
施設事務費	27,015																												
就労自立給付金	1,747																												
進学準備給付金	4,700																												
合計	4,692,679																												
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図った。今後も濫給・漏給の防止等、法令遵守を徹底した生活保護運営に努めるとともに、受給者の自立に向けた支援を実施する。																												

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課
		決算額	1,145千円
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。		
成果・実績	<p>◎貸付件数 82件</p> <p>◎貸付額合計 1,145千円</p>		
事業評価	適正に貸付を実施し、対象者の生活安定を図ることができた。今後も、申請者の状況に応じた一時的な支援として、関連施策との連携を図りながら、適正な実施手法を検討する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	福祉こども部
関連分野	地域福祉	

事務事業名	被保護者自立支援事業費	所管課	生活支援課
		決算額	8,811千円
事業内容	生活保護世帯の自立支援を図るため、就労支援体制を強化し、就労準備支援、家計改善支援と一体的に実施する。		
成果・実績	<p>◎被保護者就労支援事業 就労支援員2名を配置し、ハローワークや就労支援事業所と連携した就労支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援対象者数 185名 <li style="padding-left: 40px;">うち就職（増収）者数 52名 うち就職（増収）による保護廃止者数 4名 <p>◎被保護者就労準備支援事業 延べ支援回数 271回 雇用による就業が著しく困難な生活保護受給者に対し、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行った。</p> <p>◎被保護者家計改善支援事業 家計に課題を抱える被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言を行い、家計管理の力を高めるための支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実支援対象者数 3人 ・延べ支援回数 6回 		
事業評価	就労支援員を配置し、ハローワーク等との連携を強化するとともに、就労準備支援、家計改善支援の各事業を活用することができた。生活保護受給者の課題解決に向けて、引き続き一体的実施を図る必要がある。		

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課														
		決算額	28,028千円														
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより、平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容はこれまでの生活保護費に代わるものである。																
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給及び日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎中国残留邦人等支援給付費 24,963千円（対象：8世帯、10人） ◎中国残留邦人等支援事務費 937千円 ◎中国残留邦人日本語教室等委託料 2,128千円 <p>◎支援給付費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>支援の種類</th> <th>生活</th> <th>住宅</th> <th>介護</th> <th>医療</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援給付費</td> <td style="text-align: right;">8,927</td> <td style="text-align: right;">1,847</td> <td style="text-align: right;">428</td> <td style="text-align: right;">13,761</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td style="text-align: right;">24,963</td> </tr> </tbody> </table>			支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計	支援給付費	8,927	1,847	428	13,761	0	24,963
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	その他	合計											
支援給付費	8,927	1,847	428	13,761	0	24,963											
事業評価	国制度に基づき、対象者の生活支援を実施した。今後も引き続き適正な事務執行に努める。																

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,039 千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害支援区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づき、障害者の障害支援区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。</p> <p>◎審査会開催数 24 回 ◎審査判定件数 488 件 （宇治田原町分19件を含む）</p>		
事業評価	「障害者総合支援法」に基づき、引き続き適正な運営に努める。		

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	292,786 千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	<p>◎自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去または軽減し、日常生活及び職業生活に適應するように改善するため、医療費の一部を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院 471人 ・入院外 651人 <p>◎自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法、ストマ周辺の感染防止等のための治療、及びぼうこう・直腸の機能障害の原因疾患の治療を受けている該当障害3級の手帳所持者に対し、医療費の一部を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給人数 20人 		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、身体の機能障害を除去または軽減させる治療を促進することができた。今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	143,075 千円
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し手当を支給し、経済的負担の軽減を図った。 ◎特別障害者手当延べ支給人数 3,854 人 ◎障害児福祉手当延べ支給人数 2,502 人 ◎経過的福祉手当延べ支給人数 36 人		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,285,311 千円
事業内容	「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害児・者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な支援を受けることにより、障害児・者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。		
成果・実績	「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費の給付を行った。 ◎障害者介護給付利用延べ人数 28,994 人		
事業評価	国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害児・者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,432,897 千円
事業内容	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費の給付を行う。障害福祉サービスの支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な就労訓練等を行うことにより、障害者が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。</p>		
成果・実績	<p>「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費の給付を行った。</p> <p>◎障害者訓練等給付利用延べ人数 10,029 人</p>		
事業評価	<p>国制度に基づき、適正に執行し、個々の障害の状況に応じた給付により、障害者の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	59,212 千円
事業内容	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。</p>		
成果・実績	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。</p> <p>◎給付件数 5,091 件</p>		
事業評価	<p>在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与し、障害児・者が在宅で日常生活を送れるよう支援した。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	50,181 千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いすなどの補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 ◎延べ支給件数 480 件		
事業評価	国制度に基づき適正に事務を執行し、引き続き障害児・者の福祉の推進に努める。		

事務事業名	障害者意思疎通支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,567 千円
事業内容	聴覚障害者に対し、日常生活及び社会生活に必要な意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者・要約筆記者の派遣を行う。		
成果・実績	聴覚障害者の意思疎通支援を行うため、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 ◎手話通訳者派遣延べ件数 263 件 ◎要約筆記者派遣延べ件数 402 件		
事業評価	手話通訳者・要約筆記者を派遣し、聴覚障害者の意思疎通の円滑化及び社会参加を促進した。聴覚障害以外の障害者に対しても意思疎通を円滑に行い、社会参加を促進できるよう、ニーズの把握・分析に努め、今後の事業実施の手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,734 千円
事業内容	聴覚障害者の意思疎通支援を行う手話奉仕員を養成する講座を開催する。		
成果・実績	<p>手話奉仕員を早期に養成するため、市内在住・在勤・在学の方を対象とし、1か年の講座課程で手話奉仕員養成講座を実施した。</p> <p>◎受講者数 18 人</p>		
事業評価	講座課程を1か年で実施することにより、早期に手話奉仕員を養成し、京都府の養成講座につながられている。手話通訳者の高齢化が進んでおり、人数が減っている中、養成した受講者が聴覚障害者の意思疎通支援に携わることができるような環境を構築するなど、さらに成果が高まる手法を検討する必要がある。		

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	71,582 千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害児・者に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	<p>屋外での移動が困難な障害児・者に対して、外出を支援した。</p> <p>◎利用時間 24,659 時間</p>		
事業評価	屋外での移動が困難な障害児・者に対して外出のための支援を実施し、障害児・者の地域における自立生活及び社会参加を促進した。利用者ニーズの把握・分析などに努め、今後も実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉子ども部

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	96,858 千円
事業内容	障害児・者の家族の就労支援及び障害児・者を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に障害児・者に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	<p>日中に障害児・者の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援及び一時的な休息を図った。</p> <p>◎利用時間 88,450 時間</p>		
事業評価	障害児・者に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練などの支援を行うことで、家族の就労支援及び介護者の負担軽減を図った。利用者ニーズの把握・分析などに努め、今後も実施する。		

事務事業名	福祉タクシー・ガソリン料金助成事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	28,466 千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>1か月あたり1,000円の福祉タクシー利用券又は1か月あたり700円の福祉ガソリン利用券を交付し、タクシー料金及び自動車の燃料費の一部助成を行った。</p> <p>◎交付件数 3,559 件</p>		
事業評価	対象者に福祉タクシー利用券及び令和2年度より福祉ガソリン券を交付し、外出困難な重度心身障害者の社会参加の促進を図った。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者施設等通所交通費助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	8,795 千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。 ◎延べ助成者数 537 人		
事業評価	施設に通所する障害者に交通費の一部助成を実施することにより、経済的な負担の軽減を図るとともに、障害者の自立生活及び社会参加を促進した。障害者の社会参加や負担軽減のため、今後も実施する。		

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,337 千円
事業内容	在宅において心身障害児・者を介護している介護者に対して、一時的に心身障害児・者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している障害者施設にて介護支援を行い、介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害児・者の一時的な介護を実施した。 ◎利用回数 1,952 回		
事業評価	在宅障害児・者の一時的な介護支援を行い、介護に従事する家族等の負担軽減を図った。セーフティネットとしての役割を踏まえ、今後も実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	22,864 千円
事業内容	障害児・者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるように、障害福祉サービス等利用に関する相談及び情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者生活支援センターを運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。		
成果・実績	障害児・者及びその家族などの各種の相談に応じて、地域における生活を支援し福祉の向上を図った。 ◎相談件数 7,209 件 成年後見制度に係る費用の負担が経済的に困難な65歳未満の障害者に対し、申立費用及び後見人等報酬を助成することにより、制度の利用を支援した。 ◎市長申立件数 0 件 ◎成年後見扶助件数 34 件		
事業評価	相談件数の動向や相談内容の把握・分析に基づき、事業の方向性を明確化する中で、相談支援体制の充実を図る必要がある。また、関係部局・機関と連携した成年後見制度の利用支援のあり方についても検討する必要がある。		

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	2,914 千円
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導や本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会参加を促進する。		
成果・実績	宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作及びゲームなどのプログラムを通して、作業能力及び生活能力を高め、社会生活への適応を図ることができるように、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を実施した。 ◎中途失明者点字講習会開催数 48 回 ◎精神障害者社会復帰集団指導事業実施回数 38 回 ◎精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数 157 人		
事業評価	様々な生活支援事業を実施し、障害者の社会生活への適応を図った。社会的な交流の場としての役割を有する一方、社会復帰に向けた他事業へのつながりが課題となっており、より一層効果的な事業実施となるよう手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	13,558 千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	4か所の地域活動支援センターに通う障害者に対し支援を行った。 ◎地域活動支援センター延べ利用人数 676人		
事業評価	地域活動支援センターにおいて社会交流等の事業を実施し、障害者の自立した社会生活及び社会参加を促進した。利用状況等を的確に把握する中で、今後も実施する。		

事務事業名	障害児通所給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	970,498 千円
事業内容	「児童福祉法」に基づき、障害児が利用する児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等の障害児通所支援に係る費用について給付を行うとともに、それに伴う相談支援等についても給付を行う。		
成果・実績	「児童福祉法」に基づく障害児通所支援の利用に対し、障害児通所給付費の給付を行った。 ◎障害児通所給付利用延べ人数 15,233 人		
事業評価	国制度に基づき、適正に事務を執行し、障害児の福祉の推進を図った。今後も適正な事業運営に努め、引き続き実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者自立支援医療費(育成医療)	所管課	障害福祉課
		決算額	1,129 千円
事業内容	「児童福祉法」第4条第2項に規定する障害児(障害に係る医療を行わないときは将来障害を残すと認められる疾患がある児童を含む。)で、その身体障害を除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して提供される、生活の能力を得るために必要な自立支援医療費の支給を行う。		
成果・実績	生活の能力を得るために必要な医療費の一部を18人に支給した。		
事業評価	国・京都府制度に基づき、適正に執行し、障害児の身体障害を除去及び軽減させる治療を促進することができた。的確かつ円滑な事務の遂行に努めるとともに、今後も安心して医療が受けられるよう引き続き実施する。		

事務事業名	音訳ボランティア支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	100 千円
事業内容	視覚障害者への情報提供のために、支援を行う音訳ボランティアを養成する講座の主催団体に対して補助する。		
成果・実績	視覚障害者への情報提供のために、支援を行う音訳ボランティアの養成に向けた初級講座を主催するボランティア団体に対して、補助を実施した。 ◎受講者数 18 人		
事業評価	講座を実施することにより、音訳ボランティアの養成及び音訳技術の向上などの支援を図ることができた。音訳ボランティアが継続して活動できるよう、今後も引き続き、実施手法の検討が必要である。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	感染症対策専門家派遣事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	20 千円
事業内容	障害福祉施設の職員等に対し、専門家を講師として派遣し、施設運営における感染予防対策の徹底及び感染発生時の処置に関する実地研修を実施する。		
成果・実績	<p>感染が発生した障害福祉施設のうち、研修の受講を希望される施設に対し、衛生管理について専門性を有する看護師を講師として施設に派遣して実地研修を実施した。</p> <p>◎研修実施施設 2施設</p>		
事業評価	施設運営における衛生管理の徹底等に関して、施設職員が多くの情報を得ることができ、以降の感染予防の強化につなげることができた。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、令和4年度で事業を終了する。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,843 千円
事業内容	障害福祉施設等を運営する法人に対し、施設・法人の規模に応じた上限額の範囲内で、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための費用（消耗品・備品購入費その他の関連経費）を補助する。		
成果・実績	<p>宇治市内で障害福祉施設等を運営する法人に対し、感染防止経費に係る補助金を交付した。</p> <p>◎補助対象法人 20法人</p>		
事業評価	市内の施設運営法人に対する補助金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、令和4年度で事業を終了する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策強化費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,498 千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した障害福祉施設を運営する法人に対し、発生以降の感染拡大防止及び再発防止のため、50万円を上限に、対策強化に係る費用を補助する。		
成果・実績	集団感染が発生した施設の運営法人に対し、補助金を交付した。 ◎補助対象法人 7法人		
事業評価	集団感染の発生に伴って多額の対応費用が発生した施設に対し、支援を行うことで安全・安心な施設の運営を図ることができた。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、令和4年度で事業を終了する。		

事務事業名	障害福祉サービス事業所等生産活動拡大支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,782 千円
事業内容	コロナ禍により就労支援事業所等における自主製品の販売機会が減少している状況に対し、自主製品の製造販売に関する新規取組の費用を補助することにより、事業所の創意工夫を喚起し、生産活動の拡大を図る。		
成果・実績	自主製品の製造販売に関する新規取組を実施する就労支援事業所等に対し、補助金を交付した。 ◎補助対象事業所 10事業所		
事業評価	新商品の開発等の新規取組に対して補助金を交付し、就労支援事業所等の生産活動を支援することができた。新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、令和4年度の単年度で事業を終了する一方で、引き続き生産活動の活性化に向けた手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害福祉施設物価高騰対策事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,293 千円
事業内容	障害福祉施設等を運営する法人が、物価高騰の影響下にあっても継続してサービスを提供できるよう、光熱費の高騰分を補助する。		
成果・実績	光熱費の高騰の影響を受けた障害福祉施設等の運営法人に対し、補助金を交付した。 ◎補助対象法人 21法人		
事業評価	障害福祉施設等の運営法人に対して光熱費の高騰分を補助し、物価高騰下での施設運営の負担を緩和することができた。引き続き物価高騰の状況や施設等のニーズの把握に努め、必要に応じて関係部局と連携して支援施策を検討・実施する。		

事務事業名	子育て世帯物価高騰対策臨時給付金事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,720 千円
事業内容	物価高騰による家計への影響が特に大きい子育て世帯を支援するため、特別児童扶養手当又は障害児福祉手当の対象である障害児（宇治市から児童手当を受給する者を除く）を養育する保護者等に対し、一律2万円の給付金を支給する。		
成果・実績	障害児を養育する保護者等に対し、物価高騰対策に係る補助金を交付した。 ◎補助対象件数 185件		
事業評価	障害児を養育する保護者等に対して定額の給付金を交付し、物価高騰による家計への影響緩和を図ることができた。引き続き物価高騰の状況や障害児・者のニーズの把握に努め、必要に応じて関係部局と連携して支援施策を検討・実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	障害者福祉

所管部局
福祉こども部

事務事業名	障害者福祉基本計画推進事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,449 千円
事業内容	障害福祉施策の推進のため、宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催するとともに、次期の障害者福祉基本計画等の策定に向けたアンケート調査を実施する。		
成果・実績	<p>宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催し、障害福祉施策の推進及び次期計画の策定準備としてのアンケート調査の実施等について協議した。</p> <p>◎協議会開催回数 2回</p> <p>また、令和6年度を開始年度とする第3期宇治市障害者福祉基本計画の策定準備として、障害当事者を対象にアンケート調査を実施した。</p> <p>◎アンケート回答数 1,635件</p>		
事業評価	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会を開催し、宇治市の障害福祉の推進等に関して幅広い意見を得るとともに、アンケート調査により、次期計画の策定に向けた当事者の意見を募集することができた。令和5年度には、アンケート調査の結果等を踏まえ、次期計画の策定を行う。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	308 千円
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童の養育・保護を行う。		
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <p>◎実施施設</p> <p style="margin-left: 20px;">桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町） 平安養育院（京都市東山区） 和敬学園（京都市上京区） メリーアティックボンド（京都市伏見区）</p> <p>◎利用日数</p> <p style="margin-left: 20px;">54日</p>		
事業評価	一定数の利用があり、今後も引き続きセーフティネットとしての機能を維持するとともに、必要な方に必要な支援を活用してもらえるよう、制度の周知に努める。		


事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	7,867 千円
事業内容	子育て等の援助を行いたい人と受けたい人で構成される会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあ うじ」に事務所を設置している。		
成果・実績	<p>事業委託先（社会福祉法人宇治福祉園）においてファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を支援した。</p> <p>◎援助会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">142人</p> <p>◎依頼会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">1,114人</p> <p>◎両方会員数</p> <p style="margin-left: 20px;">11人</p> <p>◎利用件数</p> <p style="margin-left: 20px;">1,302件</p>		
事業評価	市民等で構成される会員組織による地域における相互援助活動を支援し、安心して働くことのできる環境づくりを推進した。今後も引き続き、委託事業者と連携しながら、ファミリー・サポート・センター事業の充実に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	児童虐待防止対策強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	30,722 千円
事業内容	要保護児童対策地域協議会の運営や児童相談所との連携強化、啓発・研修などを実施し、児童虐待の未然防止と早期発見に努める。		
成果・実績	<p>◎要保護児童対策地域協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議開催日 第1回：令和4年8月30日 第2回：令和5年3月1日 ・調整会議開催日 毎月第3金曜日（4月を除く計11回） ・児童虐待ケースの延べ対応件数 777件 <p>◎啓発・研修 「児童虐待防止推進月間」と「女性に対する暴力をなくす運動」それぞれの活動のシンボルを合わせた「オレンジリボン・パープルリボン・キャンペーン」を、毎年11月に男女共同参画課と共催で実施</p>		
事業評価	子ども家庭総合支援拠点として、子どもや妊婦などに必要な支援を行った。今後も引き続き、児童相談所及び関係機関との連携、研修会の開催及び広報・啓発活動などを通じ、児童虐待防止に努める必要がある。		

事務事業名	子ども・子育て情報発信事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	659 千円
事業内容	子育て世帯への情報発信の充実を図るため、宇治子育て情報誌やSNSなどの多様な媒体による子育て支援事業等の広報を実施する。		
成果・実績	<p>有料広告事業を活用し、フルカラー印刷で子育てに役立つ情報をコンパクトにまとめた宇治子育て情報誌を、子育て家庭に幅広く活用していただけるよう、未就学児のいる全家庭に郵送するとともに、電子書籍版を作成し、スマートフォンやパソコンでも閲覧できるよう、広報に努めた。</p> <p>◎情報誌送付世帯数 5,616世帯</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
事業評価	子育て情報誌以外にも、地域子育て支援拠点の取組をLINEを活用して発信するなど、子育て支援情報を幅広く周知した。今後も、利用状況及び子育て家庭のニーズなどを踏まえ、より効果的な情報発信に向けて検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																												
		決算額	76,459 千円																																												
事業内容	地域子育て支援拠点において、子育て世代や親子が気軽に集い、相互に交流を図る場を提供するとともに、子育てについての相談及び情報の提供、講習などの実施を行う。																																														
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運営</th> <th>延べ利用者数</th> <th>相談件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 西部地域子育て支援センター</td> <td>直営</td> <td>4,577 人</td> <td>149 件</td> </tr> <tr> <td>2 げんきひろば</td> <td>委託</td> <td>13,558 人</td> <td>798 件</td> </tr> <tr> <td>3 南部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>1,837 人</td> <td>98 件</td> </tr> <tr> <td>4 東部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>4,113 人</td> <td>91 件</td> </tr> <tr> <td>5 北部地域子育て支援センター</td> <td>委託</td> <td>5,859 人</td> <td>76 件</td> </tr> <tr> <td>6 りぼん</td> <td>委託</td> <td>10,840 人</td> <td>1,136 件</td> </tr> <tr> <td>7 ぶんきょうにこにこルーム</td> <td>委託</td> <td>4,244 人</td> <td>79 件</td> </tr> <tr> <td>8 ひあ にしおぐら</td> <td>委託</td> <td>1,488 人</td> <td>497 件</td> </tr> <tr> <td>9 toridori (とりどり)</td> <td>委託</td> <td>6,603 人</td> <td>413 件</td> </tr> <tr> <td>10 ぽけっと</td> <td>委託</td> <td>2,751 人</td> <td>350 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※延べ利用者数・相談件数は出張ひろば分を含む。</p>			名称	運営	延べ利用者数	相談件数	1 西部地域子育て支援センター	直営	4,577 人	149 件	2 げんきひろば	委託	13,558 人	798 件	3 南部地域子育て支援センター	委託	1,837 人	98 件	4 東部地域子育て支援センター	委託	4,113 人	91 件	5 北部地域子育て支援センター	委託	5,859 人	76 件	6 りぼん	委託	10,840 人	1,136 件	7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	4,244 人	79 件	8 ひあ にしおぐら	委託	1,488 人	497 件	9 toridori (とりどり)	委託	6,603 人	413 件	10 ぽけっと	委託	2,751 人	350 件
名称	運営	延べ利用者数	相談件数																																												
1 西部地域子育て支援センター	直営	4,577 人	149 件																																												
2 げんきひろば	委託	13,558 人	798 件																																												
3 南部地域子育て支援センター	委託	1,837 人	98 件																																												
4 東部地域子育て支援センター	委託	4,113 人	91 件																																												
5 北部地域子育て支援センター	委託	5,859 人	76 件																																												
6 りぼん	委託	10,840 人	1,136 件																																												
7 ぶんきょうにこにこルーム	委託	4,244 人	79 件																																												
8 ひあ にしおぐら	委託	1,488 人	497 件																																												
9 toridori (とりどり)	委託	6,603 人	413 件																																												
10 ぽけっと	委託	2,751 人	350 件																																												
事業評価	各施設において身近で気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気づくりに努めており、多くの子育て世代や親子の利用があった。今後も各施設の特色を活かすとともに、互いに情報共有しながらより良い拠点作りに努める。																																														

事務事業名	子育ておうえん環境整備事業費	所管課	こども福祉課																		
		決算額	3,114 千円																		
事業内容	子育て世代の外出支援として、乳幼児がいる家庭でも安心して外出し、周遊できるよう、モデルエリア内である中宇治地区（宇治中学校区）の店舗や団体が実施する環境整備等に対する支援を行う。																				
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設整備</th> <th>子育て支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象経費</td> <td>授乳室、子ども用トイレ、プレイルーム等、一時預かりスペース等の設置</td> <td>幼児用チェア、おむつ交換台等の購入費、キッズメニューの開発、子育て世代対象イベント等</td> </tr> <tr> <td>補助上限</td> <td>200万円</td> <td>20万円</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>2/3</td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>2件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>2,108,606円</td> <td>1,005,338円</td> </tr> </tbody> </table>				施設整備	子育て支援	対象経費	授乳室、子ども用トイレ、プレイルーム等、一時預かりスペース等の設置	幼児用チェア、おむつ交換台等の購入費、キッズメニューの開発、子育て世代対象イベント等	補助上限	200万円	20万円	補助率	2/3	2/3	件数	2件	9件	補助額	2,108,606円	1,005,338円
	施設整備	子育て支援																			
対象経費	授乳室、子ども用トイレ、プレイルーム等、一時預かりスペース等の設置	幼児用チェア、おむつ交換台等の購入費、キッズメニューの開発、子育て世代対象イベント等																			
補助上限	200万円	20万円																			
補助率	2/3	2/3																			
件数	2件	9件																			
補助額	2,108,606円	1,005,338円																			
事業評価	新型コロナウイルス感染症に伴う影響があったものの、各種環境整備等への支援を行った。今後も引き続き、子育て世代が安心して外出できる環境の整備に努める。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	虐待児童等見守り強化事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	9,729 千円
事業内容	児童虐待のリスクを軽減するため、地域の中で支援を必要とする子どものいる家庭を訪問し、食事の提供等を通じて、子どもの状況の把握や他の支援につなぐ等の見守り強化を行う。		
成果・実績	<p>訪問による声かけ、食事の提供等により児童の現認、家庭との関係構築を行い児童虐待防止に努めた。</p> <p>◎訪問家庭数 35家庭 ◎対象児童数 66人 ◎訪問回数 333回（延べ対象児童数630人）</p>		
事業評価	見守りが必要な家庭や今まで接触しづらかった家庭等について、本事業を実施することで児童の現認、必要な支援へのつなぎを行うことができた。 今後も引き続き、訪問を続けることにより見守りが必要な家庭の状況を把握し支援につなげる。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	こども福祉課														
		決算額	12,992 千円														
事業内容	地域子ども・子育て支援事業において、感染症に対する体制強化を図り、事業を継続的に実施するための感染症対策を行う。委託事業については、委託事業者に対して必要な経費を補助する。																
成果・実績	<p>下記事業（施設）において、感染症対策を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">実施事業</th> <th style="width: 30%;">事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援拠点</td> <td style="text-align: right;">2,996</td> </tr> <tr> <td>ファミリー・サポート・センター</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> <tr> <td>病児保育</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> <tr> <td>来庁者子育て支援コーナー</td> <td style="text-align: right;">193</td> </tr> <tr> <td>育成学級</td> <td style="text-align: right;">9,203</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">12,992</td> </tr> </tbody> </table>			実施事業	事業費（千円）	地域子育て支援拠点	2,996	ファミリー・サポート・センター	300	病児保育	300	来庁者子育て支援コーナー	193	育成学級	9,203	計	12,992
実施事業	事業費（千円）																
地域子育て支援拠点	2,996																
ファミリー・サポート・センター	300																
病児保育	300																
来庁者子育て支援コーナー	193																
育成学級	9,203																
計	12,992																
事業評価	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りつつ事業を継続するため、消毒液の購入等、各施設の状況に応じて必要な対策を実施した。																

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課								
		決算額	16,105 千円								
事業内容	病気回復期等で集団保育が困難であり、保護者の就労の都合等により家庭での保育が困難な児童に対して保育と看護を行う。平成14年11月から浅妻医院、平成27年7月から宇治徳洲会病院の2か所で実施している。										
成果・実績	<p>児童の病気回復期における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">実施施設</th> <th style="width: 30%;">延べ利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浅妻医院パピールーム（浅妻医院）</td> <td style="text-align: right;">217 人</td> </tr> <tr> <td>宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）</td> <td style="text-align: right;">395 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">612 人</td> </tr> </tbody> </table>			実施施設	延べ利用者数	浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	217 人	宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	395 人	合計	612 人
実施施設	延べ利用者数										
浅妻医院パピールーム（浅妻医院）	217 人										
宇治徳洲会病院ひまわりルーム（宇治徳洲会病院）	395 人										
合計	612 人										
事業評価	医療機関での病児保育を実施し、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援した。緊急時に対応する子育て支援施策として、今後も国の制度改正に対応しつつ適正に実施する。										


事務事業名	ヤングケアラー対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,693 千円
事業内容	ヤングケアラーに関する相談・支援を実施するため、子ども家庭総合支援拠点にヤングケアラー・コーディネーターを配置し、相談窓口を設置して相談・支援を行う。		
成果・実績	<p>事業実施初年度となる令和4年度は、学校訪問等による聞き取り調査やコーディネーターを配置しケース支援を実施するとともに、関係者向けの研修会等を実施した。</p> <p>◎相談窓口開設（令和4年10月） 電話相談の他、家庭訪問や保護者面談、関係機関と連携し支援を行った。</p> <p>◎研修会の実施 学識経験者やNPO法人等から講師を招いた研修会の企画運営（計3回）や、市による出張研修会の開催（計2回）を実施した。</p> <p>◎その他 関係団体の会議等での広報活動やオレンジリボン・パープルリボンキャンペーンにあわせた啓発活動を実施するとともに、京都府ヤングケアラー支援センターとの連携を図った。</p>		
事業評価	コーディネーターの配置、相談窓口の設置により、本人だけでなく、関係者等からの情報提供を得る体制を整備した。引き続き、関係機関との連携を強化し、ヤングケアラーの早期発見・支援に取り組む。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育て支援総合コーディネート事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	6,842 千円
事業内容	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。		
成果・実績	<p>市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設し、通年運営した。</p> <p>◎職員配置 保育士2人 子育て支援総合コーディネーター（専門相談員）1人（週2日）</p> <p>◎利用人数 預かり 1,141人 相談 1,217人</p>		
事業評価	来庁者の子どもの一時預かり及び子育て全般に関する相談を実施し、子育て家庭への支援の充実を図った。今後も利用状況の分析に努めながら、気軽に相談しやすい環境づくりを行う。		

事務事業名	子育て支援コーナー・木のぬくもり整備事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	2,200 千円
事業内容	「来庁者子育て支援コーナー」において、豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業を活用し、次代を担う子どもたちとその家族に木の良さや大切さを伝える取組の一環として、府内産木材を利用した遊具等を整備する。		
成果・実績	<p>「来庁者子育て支援コーナー」の整備を行った。</p> <p>◎整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面及び壁面の木質化 ・入口扉、壁掛けフック、3段ラック、丸テーブル、下駄箱、ビー玉ころがし、掲示板の作成 		
			
事業評価	暖かみのあるコーナー整備を行った。今後も親しみやすく、利用しやすい環境づくりを行い、子どもの一時預かりだけでなく子育て相談や問い合わせが気軽にできるコーナーづくりに努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子ども・子育て会議運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	380 千円
事業内容	宇治市の子ども・子育て支援に関して必要な事項を調査・審議するため、宇治市子ども・子育て会議を設置し、運営する。		
成果・実績	<p>「宇治市子ども・子育て支援事業計画」及び「宇治市子どもの貧困対策推進計画」の進捗状況の管理・評価などを行うため、会議を開催した。</p> <p>◎子ども・子育て会議 委員数 24人 第1回：令和4年7月6日 第2回：令和5年3月6日</p>		
事業評価	「宇治市子ども・子育て会議」を開催し、令和4年度の取組状況の報告、令和3年度の取組の進捗状況の報告等を行った。今後も宇治市の子育て支援全般に対する意見を各種施策に反映できるよう、引き続き実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課
		決算額	670,304千円
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する父または母などに対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。		
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎受給資格世帯 1,527世帯 （うち 受給世帯 1,257世帯） ◎支給対象児童数 1,911人 ◎児童扶養手当扶助費 669,706千円 		
事業評価	国制度に基づき、手当受給申請に対して適正に審査・支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童福祉の増進を図った。引き続き、国の制度改正に対応しつつ、制度の周知及び適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯分）	所管課	こども福祉課
		決算額	118,562千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親世帯に対し、特別給付金を支給する。		
成果・実績	<p>児童扶養手当受給者、児童扶養手当の支給を受けていない公的年金給付等受給者で児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る者及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がったひとり親世帯を対象に給付金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎支給金額 児童一人当たり一律5万円 ◎支給件数 1,515世帯 ◎支給総額 117,050千円 		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・支給を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたひとり親世帯への支援を図った。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（その他世帯分）	所管課	こども福祉課
		決算額	111,198千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯（ひとり親世帯を除く）に対し、特別給付金を支給する。		
成果・実績	<p>18歳未満の児童（障害児の場合は20歳未満）を養育する非課税の子育て世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税相当の収入となった子育て世帯を対象に給付金を支給した。</p> <p>◎支給金額 児童一人当たり一律5万円 ◎支給件数 1,173世帯 ◎支給総額 105,650千円</p>		
事業評価	国制度に基づき、対象者に対して適正に審査・支給を行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯への支援を図った。		

事務事業名	子育て世帯物価高騰対策臨時給付金事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	431,519千円
事業内容	物価高騰等の影響により、厳しい環境にある子育て世帯を支援する観点から、児童手当の受給者に対し、宇治市独自の臨時給付金を支給する。		
成果・実績	<p>児童手当を受給している子育て世帯を対象に、中学生までの児童一人あたり2万円の給付金を支給した。</p> <p>◎支給金額 児童一人当たり一律2万円 ◎支給件数 12,854世帯 ◎支給総額 427,340千円</p>		
事業評価	対象者に対して適正に審査・支給を行い、物価高騰の影響を受けた子育て世帯への支援を図った。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	奨学金返還支援事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	11,099 千円
事業内容	若年層の宇治市への定住促進、「子育てしやすいまちづくり」を目的に、日本学生支援機構等の奨学金の返還に対する支援金を最長5年間交付する。子育て世帯を優先とし、対象年度に結婚や出産のライフイベントがあった年度は支援額を増額する。		
成果・実績	<p>対象者（申請前年度の3月31日時点で、満35歳未満で、今後5年以上宇治市に在住予定、就労していること、前年中の合計所得金額が276万円以下であること、宇治市に納付すべき市税等を滞納していないことなどの要件をすべて満たす者）に支援金を交付した。</p> <p>◎返還支援額 前年度10月から1年間の奨学金返還額の1/2（85,000円上限） ライフイベント時は返還額の3/4 （130,000円上限）</p> <p>◎支援者数 130人 うち令和4年度新規登録者数 44人 （うち子育て世帯17人・ライフイベント該当者6人）</p>		
事業評価	奨学金の返還支援事業により、若年層の宇治市への定住促進を図るとともに、子育て世帯を優先とし、結婚や出産のライフイベントがあった年度は増額することで「子育てしやすいまちづくり」の実現に努めた。今後も引き続き、効果的な取組となるよう検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	362,449 千円
事業内容	宇治市立小学校に就学する児童であって、下校しても保護者の就労等の理由により保護に欠ける児童を組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <p>◎開設学校数 20校</p> <p>◎学級数 20学級（44クラス）※令和4年5月1日現在</p> <p>◎入級児童数 2,005人 ※令和4年5月1日現在</p>		
事業評価	育成学級の運営により、放課後に保護者が不在である児童の健全な育成を図ることができた。子ども・子育て支援新制度を踏まえ、教育部と連携した総合的な放課後児童対策を引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,232 千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日及び夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視及び来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、安全・安心な学級運営に努めた。引き続き安全確保を図りつつ、今後の実施手法について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	放課後児童健全育成事業補助金	所管課	こども福祉課
		決算額	14,750 千円
事業内容	育成学級の定員を超える児童を受け入れる民間事業者に補助を行い、総合的な放課後児童対策の充実を図る。		
成果・実績	<p>1人あたりの面積などの条例基準を満たし、放課後児童健全育成事業の届出をしている民間事業者に対し、補助を行った。</p> <p>◎補助対象民間事業者数 3法人</p> <p>◎補助対象児童数 延べ2,950人</p>		
事業評価	民間事業者の放課後児童健全育成事業への補助を行い、待機児童の解消と放課後の児童の健全育成を図った。利用ニーズの把握に努め、今後の事業実施を検討する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	公立保育所運営経費	所管課	保育支援課																																																																								
		決算額	1,441,683千円																																																																								
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																																																																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所数</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">10,490人</td> </tr> <tr> <td>・定員</td> <td style="text-align: center;">940人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎保育所運営費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">55,324千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎保育所維持修繕費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">12,542千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎会計年度任用職員費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">193,117千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎保育所児童健康管理費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,292千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎保育所給食費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">74,911千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎パート保育士設置費</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">118,318千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎障害児特別保育費（報酬・旅費）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">57,689千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎保育士等職員給</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">923,490千円</td> </tr> </table>			◎公立保育所数	7園	延べ入所数	10,490人	・定員	940人			◎保育所運営費							55,324千円	◎保育所維持修繕費							12,542千円	◎会計年度任用職員費							193,117千円	◎保育所児童健康管理費							6,292千円	◎保育所給食費							74,911千円	◎パート保育士設置費							118,318千円	◎障害児特別保育費（報酬・旅費）							57,689千円	◎保育士等職員給							923,490千円
◎公立保育所数	7園	延べ入所数	10,490人																																																																								
・定員	940人																																																																										
◎保育所運営費																																																																											
			55,324千円																																																																								
◎保育所維持修繕費																																																																											
			12,542千円																																																																								
◎会計年度任用職員費																																																																											
			193,117千円																																																																								
◎保育所児童健康管理費																																																																											
			6,292千円																																																																								
◎保育所給食費																																																																											
			74,911千円																																																																								
◎パート保育士設置費																																																																											
			118,318千円																																																																								
◎障害児特別保育費（報酬・旅費）																																																																											
			57,689千円																																																																								
◎保育士等職員給																																																																											
			923,490千円																																																																								
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費を適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境などを確保したことにより、子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図ることができた。今後も引き続き、保育ニーズに対応した適正な運営に努める。																																																																										

事務事業名	保育所等緊急安全対策事業費	所管課	保育支援課																				
		決算額	31,901千円																				
事業内容	安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所（園）・民間認定こども園においても保育所等安全運営支援員の配置等に対して補助を行う。																						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">◎公立保育所</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 30%;">8,385千円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">◎民間保育所（園）・民間認定こども園</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">23,516千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保育所等安全運営支援員の配置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			◎公立保育所		8,385千円		保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等				◎民間保育所（園）・民間認定こども園						23,516千円		保育所等安全運営支援員の配置			
◎公立保育所		8,385千円																					
保育所等安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等																							
◎民間保育所（園）・民間認定こども園																							
		23,516千円																					
保育所等安全運営支援員の配置																							
事業評価	保育所等安全運営支援員の配置等により、安全・安心な保育所等の運営を図ることができた。今後も引き続き安全確保に努めるとともに、効果的な安全対策の実施方法について検討する必要がある。																						

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	97,392 千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・木幡花揃 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・神明石塚 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡赤塚 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・開町 (福) 心華会 (ひいらぎこども園) 定員5人 ・木幡陣ノ内 (福) あけぼの会 (登りこども園) 定員5人 ・伊勢田町ウトロ (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員5人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について小規模保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

事務事業名	小規模保育事業費	所管課	保育支援課
		決算額	131,663 千円
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、「児童福祉法」に位置付けられた小規模保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。		
成果・実績	◎開設場所 <ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵奈良町 (福) あけぼの会 (登りこども園、第2登りこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員18人 ・五ヶ庄梅林官有地 (福) 白菊福祉会 (いずみこども園) 定員15人 ・伊勢田町若林 (福) かおり福祉会 (伊勢田こども園) 定員15人 ・榎島町南落合 (福) 同胞会 (こひつじこども園) 定員15人 ・広野町西裏 (福) 同胞会 (同胞こども園) 定員9人 		
事業評価	児童福祉法に位置付けられた小規模保育事業を実施することにより、待機児童対策を図ることができた。子ども・子育て支援新制度の枠組みの中で、有効性について家庭的保育事業との比較検討の必要がある。待機児童の状況を見ながら、今後も引き続き実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	保育支援課
		決算額	23,924 千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化により、保育要件のある世帯に対し、幼保連携型認定こども園の預かり保育、また、認可外保育施設や一時預かり事業（一般型）、ファミリーサポート事業を利用した際に、各種基準額を上限として、給付を行う。		
成果・実績	◎子育て支援施設等利用給付費補助金 延べ申請件数 611件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携型認定こども園 預かり保育事業 417件 6,446千円 ・ 認可外保育事業 177件 17,185千円 ・ 一時預かり保育事業（一般型） 12件 229千円 ・ ファミリーサポート事業 5件 64千円 		
事業評価	幼児教育・保育の無償化の対象施設を利用した際に、補助を実施し、各施設に通う保護者負担の軽減を図った。今後も国制度を活用し、様々な保育ニーズに対応しながら実施する。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	保育支援課
		決算額	21,568 千円
事業内容	各施設において安全・安心な保育・教育の提供を行うため、新型コロナウイルス感染症対策として必要な備品・消耗品の購入等に対して、補助を行う。		
成果・実績	◎感染症対策事業補助金 実績件数 40施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立保育所 7施設 ・ 民間保育園・認定こども園 20施設 ・ 地域型保育事業 11施設 ・ 認可外保育施設 2施設 		
事業評価	今後も必要に応じて、各保育施設での備品等の購入に対して補助を行うことにより、安全・安心な保育・教育の提供に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	宇治茶ふれあい事業費	所管課	保育支援課
		決算額	700 千円
事業内容	宇治茶を通じて宇治への愛着を醸成するため、保育所等に通う児童を対象に宇治茶に触れる機会を創出する。		
成果・実績	<p>保育所等に通う5歳児を対象に宇治茶の作り方や淹れ方について触れる機会を創出し、事業実施に要した講師費用（謝礼）や、お茶代などについての補助を行った。</p> <p>※令和4年度は市内全域を対象として実施</p> <p>◎実績件数 24施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立保育所 7施設 ・ 民間保育園・認定こども園 17施設 		
事業評価	茶摘み体験をはじめ、茶匠を講師として招いての授業、宇治茶の試飲などを通じて、宇治茶と触れ合い、住んでいるまちの伝統産業を身近に感じる体験を創出することができた。今後も引き続き、宇治茶を通じた宇治への愛着醸成に向けて取組を進める必要がある。		

事務事業名	保育士確保対策強化事業費	所管課	保育支援課
		決算額	30,465 千円
事業内容	保育人材の確保等に必要な措置を講じることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備を行うため、保育士確保対策強化事業を実施する民間保育施設に対して、必要な経費を補助する。		
成果・実績	<p>これまで、保育士及び保育士以外の職員が前年同月比で同数以上であることを補助要件としていたが、令和4年度からは保育士等の業務負担軽減や勤務環境改善に関する取組の実施計画書を提出した場合にも補助を行なうこととした。</p> <p>◎宇治市保育体制強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 8施設 8,793千円</p> <p>◎宇治市保育補助者雇上強化事業費補助金 実績件数：民間保育園・認定こども園 6施設 21,672千円</p>		
事業評価	保育補助者、又は保育支援者の配置や雇用に必要な費用の補助を行うことで待機児童の解消をはじめ、保育士の業務負担の軽減、保育士の離職防止に取り組んだ。今後も引き続き、適切な支援に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	保育士等処遇改善臨時特例事業費	所管課	保育支援課
		決算額	56,111 千円
事業内容	保育所、認定こども園及び地域型保育事業所などにおける保育士・保育教諭などの処遇改善のため、令和4年2月から収入を3%程度引き上げを図る。 (実施期間：令和4年2月～令和4年9月)		
成果・実績	◎保育士等処遇改善臨時特例事業費 実績件数 34施設 ・民間保育園・認定こども園 22施設 (分園含む) ・地域型保育事業 12施設		
事業評価	通常の教育・保育に加え、新型コロナウイルス感染症への対応など多岐に渡り、保育現場の最前線で働く、保育士・保育教諭などの処遇改善のため、各施設に補助を交付し、職員の処遇改善に寄与することができた。		

事務事業名	幼児教育・保育のあり方検討委員会運営費	所管課	保育支援課
		決算額	310 千円
事業内容	第三者委員会を設置し、乳幼児期の教育・保育についての様々な課題について、公立及び私立、民間の就学前施設それぞれが果たすべき役割を踏まえつつ、具体的な取組の方向性について議論を行う。		
成果・実績	◎宇治市乳幼児期の教育・保育のあり方検討委員会 全5回 宇治市の乳幼児期の教育・保育を取り巻く様々な課題について、公立及び私立、民間の就学前施設それぞれが果たすべき役割を確かめながら議論を行った。 ・第1回 令和4年4月26日 ・第2回 令和4年5月13日 ・第3回 令和4年5月25日 ・第4回 令和4年6月22日 ・第5回 令和4年8月18日 令和4年8月に検討委員会より「宇治市の乳幼児期の教育・保育の今後のあり方に関する意見書」を受けた。		
事業評価	上記意見書を踏まえ、宇治市の乳幼児期の教育・保育の今後のあり方について取りまとめを行うことができた。 今後、全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、「保幼小連携」「研究・研修」「発達・子育ての支援」に取り組む必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
福祉こども部

事務事業名	民間保育所等物価高騰対策事業費	所管課	保育支援課
		決算額	7,061千円
事業内容	エネルギー（電気・ガス）の物価高騰の影響を受けた事業者に対し、地方自治体が一定額補助することにより、地域の実情に応じてきめ細やかな支援を行う。		
成果・実績	<p>◎民間保育所等物価高騰対策事業費</p> <p>交付施設 34施設 交付金額 7,061千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育園・認定こども園 22施設（分園含む） ・地域型保育事業 12施設 		
事業評価	物価高騰対策については、国、京都府などさまざまな支援がなされているところである。京都府においては、同様の支援を助成型（プッシュ型）により規模に応じて定額交付しているが、宇治市では法人の実費用額に応じて一定基準額交付しており、法人の状況に応じた寄り添った対応ができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部 健康長寿部

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康づくり推進課																																														
		決算額	488,942 千円																																														
事業内容	「予防接種法」に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																																
成果・実績	<p>「予防接種法」に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関などで実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種健診時、市政だより、市ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">予防接種名</th> <th style="width: 20%;">接種者数（人）</th> <th style="width: 50%;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,037</td> <td>健やかセンター（うじ安心館内）</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td rowspan="18" style="text-align: center; vertical-align: middle;">協力医療機関等</td> </tr> <tr> <td>4種混合</td> <td style="text-align: center;">4,155</td> </tr> <tr> <td>3種混合</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td style="text-align: center;">1,031</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">2,317</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">5,928</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td style="text-align: center;">2,701</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td style="text-align: center;">4,063</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">4,077</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td style="text-align: center;">2,070</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td style="text-align: center;">2,958</td> </tr> <tr> <td>ロタ</td> <td style="text-align: center;">2,403</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td style="text-align: center;">29,847</td> </tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td> <td style="text-align: center;">1,535</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風しん（成人）</td> <td>抗体検査</td> <td style="text-align: center;">1,197</td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td style="text-align: center;">253</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">※ヒブ及び小児用肺炎球菌は平成25年4月、水痘は平成26年10月、 B型肝炎は平成28年10月、ロタは令和2年10月から定期接種化 ※子宮頸がんは、令和4年度より定期接種対象者（小学校6年生を除く）と キャッチアップ接種対象者のうち未接種者に個別通知にて接種勧奨を実施 ※風しん（成人）は接種機会がなかった世代（昭和37～53年度生まれの男性） を対象に令和5年3月31日まで延長して実施</p>			予防接種名	接種者数（人）	実施場所	BCG	1,037	健やかセンター（うじ安心館内）	不活化ポリオ	0	協力医療機関等	4種混合	4,155	3種混合	0	2種混合	1,031	麻しん風しん混合	2,317	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	5,928	子宮頸がん	2,701	ヒブ	4,063	小児用肺炎球菌	4,077	水痘	2,070	B型肝炎	2,958	ロタ	2,403	BCG	11	高齢者インフルエンザ	29,847	高齢者肺炎球菌	1,535	風しん（成人）	抗体検査	1,197	予防接種	253
	予防接種名	接種者数（人）	実施場所																																														
	BCG	1,037	健やかセンター（うじ安心館内）																																														
	不活化ポリオ	0	協力医療機関等																																														
	4種混合	4,155																																															
	3種混合	0																																															
	2種混合	1,031																																															
	麻しん風しん混合	2,317																																															
	麻しん	0																																															
	風しん	0																																															
	日本脳炎	5,928																																															
	子宮頸がん	2,701																																															
	ヒブ	4,063																																															
	小児用肺炎球菌	4,077																																															
	水痘	2,070																																															
	B型肝炎	2,958																																															
	ロタ	2,403																																															
	BCG	11																																															
	高齢者インフルエンザ	29,847																																															
	高齢者肺炎球菌	1,535																																															
風しん（成人）	抗体検査	1,197																																															
	予防接種	253																																															
事業評価	「予防接種法」に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図った。今後も、国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める。																																																

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	妊産婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	94,873 千円
事業内容	健やかな母体と胎児の保健管理の向上、及び産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、受診券を交付し、妊産婦の経済的負担の軽減及び妊娠・出産・子育てに支障を及ぼす疾病等の早期発見・早期治療を推進する。		
成果・実績	<p>妊娠・出産・子育てに支障を及ぼす疾病等の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。また、多胎妊婦健康診査支援では、基準回数を超える健康診査に助成を行った。</p> <p>◎母子健康手帳交付件数 1,008件 ◎多胎妊婦健診受診券交付件数 12件 ◎産婦健康診査助成件数 1,745件</p>		
事業評価	妊娠早期に、母子健康手帳の発行と合わせて、健診費用の助成を行うことにより、妊産婦の健康管理の促進と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き実施し、健やかな母体と胎児の保健管理や、健診において支援が必要と判断された母子について、早期に情報提供されるよう、医療機関との連携に努める。		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	10,402 千円
事業内容	不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び先進医療について、1年度につき6万円（先進医療を含む場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。 不育治療は1回の妊娠につき10万円までを限度に治療等に要した医療費の自己負担額の2分の1を助成した。</p> <p>◎助成件数 353件</p>		
事業評価	不妊治療等経費を助成することにより、対象者の経済的負担の軽減と少子化対策の推進に努めた。今後も京都府との連携により、引き続き助成を実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち	福祉こども部
関連分野	子どもの成長・発達	

事務事業名	乳幼児健康診査費	所管課	保健推進課																						
		決算額	21,331 千円																						
事業内容	内科（小児科）健診、身体計測、保健・栄養指導などを実施し、必要に応じて個別の栄養相談を行う。総合的な判断と指導により、乳幼児期の疾病及び問題の早期発見をし、健やかな成長・発達を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。																								
成果・実績	乳幼児期の健康の保持・増進を図った。																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">健診名</th> <th style="width: 20%;">受診数（人）</th> <th style="width: 20%;">受診率（％）</th> <th style="width: 30%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3か月児健診</td> <td>1,019</td> <td>97.6</td> <td rowspan="3">健やかセンター 月3～4回</td> </tr> <tr> <td>1歳8か月児健診</td> <td>1,110</td> <td>97.6</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>1,154</td> <td>98.0</td> </tr> <tr> <td>10か月児健診</td> <td>1,036</td> <td>93.7</td> <td>（一社）宇治久世医師会委託</td> </tr> <tr> <td>10か月児経過健診</td> <td>100</td> <td></td> <td>健やかセンター一月1回</td> </tr> </tbody> </table>			健診名	受診数（人）	受診率（％）		3か月児健診	1,019	97.6	健やかセンター 月3～4回	1歳8か月児健診	1,110	97.6	3歳児健診	1,154	98.0	10か月児健診	1,036	93.7	（一社）宇治久世医師会委託	10か月児経過健診	100		健やかセンター一月1回
健診名	受診数（人）	受診率（％）																							
3か月児健診	1,019	97.6	健やかセンター 月3～4回																						
1歳8か月児健診	1,110	97.6																							
3歳児健診	1,154	98.0																							
10か月児健診	1,036	93.7	（一社）宇治久世医師会委託																						
10か月児経過健診	100		健やかセンター一月1回																						
事業評価	子どもの発達段階に合わせた健診を実施し、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援などにつながることができた。また、3歳児健診において、「フォトスクリーナー（スポットビジョンスクリーナー）」を活用した精度の高い視覚検査を実施し、幼児の視覚異常の早期発見・早期治療に努めた。引き続きさらなる受診率の向上に向けて、市民への周知を行う。																								

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	409 千円
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身に付け、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。		
成果・実績	<p>親が子どもの食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。</p> <p>◎開催回数 22回</p> <p>◎参加者数 126人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第一子の保護者を優先とし、各回午前の部定員8名、午後の部定員12名で教室内容を一部変更して実施</p> <p>※調理実習なし、試食のみ</p>		
事業評価	教室の開催やYouTubeによる動画配信により、子どもの健康づくりの促進を図った。今後も引き続き、発達年齢に応じた支援を行う必要があるため、子どもの食生活に関する知識の普及について、効率的な手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	107千円
事業内容	子育て支援を図ることを目的に、3か月児健康診査受診児保護者と1歳8か月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作りとし、パンフレットを配付するなど絵本とのふれあい体験の機会を提供する。		
成果・実績	3か月児健診時及び1歳8か月児健診時に、パンフレットを配付。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本の読み聞かせ等は中止した。 ◎3か月児健診受診児数 1,019人 ◎1歳8か月児健診受診児数 1,110人		
事業評価	健やかな親子の関係を育むために絵本の読みきかせの効果について周知啓発を行った。今後も引き続き図書館等と連携した事業内容のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課																		
		決算額	24,755千円																		
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において子ども及び保護者に対し、指導・訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会、NPO法人アジュール舎及び(福)不動園に、障害児通所給付費のほかに市単費補助金を交付する。																				
成果・実績	障害児通園(児童発達支援)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら入園にいらなかった子どもに対し、親子サポート事業(教室)を1クラスで実施した。 <table border="1" style="width: 100%; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 15%;">療育通所児数</th> <th style="width: 25%;">療育延べ通所児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">児童発達支援事業所等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">(人)</td> </tr> <tr> <td>児童デイころぼっくる(アジュール舎)</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">525</td> </tr> <tr> <td>みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">644</td> </tr> <tr> <td>かおり之園(かおり福祉会)</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">515</td> </tr> <tr> <td>子ども発達さぽーとセンターあゆみ園(不動園)</td> <td style="text-align: center;">71</td> <td style="text-align: center;">845</td> </tr> </tbody> </table>				療育通所児数	療育延べ通所児数	児童発達支援事業所等		(人)	児童デイころぼっくる(アジュール舎)	44	525	みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)	55	644	かおり之園(かおり福祉会)	44	515	子ども発達さぽーとセンターあゆみ園(不動園)	71	845
	療育通所児数	療育延べ通所児数																			
児童発達支援事業所等		(人)																			
児童デイころぼっくる(アジュール舎)	44	525																			
みんなのきしゅしゅ(宇治福祉園)	55	644																			
かおり之園(かおり福祉会)	44	515																			
子ども発達さぽーとセンターあゆみ園(不動園)	71	845																			
事業評価	心身障害児支援のため、通園施設が行う親への支援に対して適正に補助を執行し、心身障害児等の育成に努めた。発達支援が必要な子どもの割合は増加傾向にあり、利用状況の把握、分析に努める必要がある。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	5,626 千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問などを通して、発育・発達上に課題がある子ども（疑いも含む）、並びに子どもへの関わりに不安及び心配のある保護者に対し、発達相談（個別相談、診断）を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子どもの健やかな成長を図った。 ◎実人員 712件 ◎延べ相談件数 1,045件		
事業評価	発達相談を実施し、子どもの健やかな成長への支援を図った。今後も適切な指導・援助が実施できるよう事業執行に努める。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	1,575 千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある子どもに対する早期支援として、子どもの課題にあわせた発達支援を行い、障害から生じる困難を予防する。保護者及び就園先の関係者と必要な関わり並びに手立てを相談するなど、保護者懇談及び園連携を行う少人数の教室を開催する。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士及び作業療法士が行い、子どもの発達を促した。また、保護者及び幼稚園・保育所（園）などの担当者に子どもの特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 ◎開催数 1クール全7回を4クラス（オリエンテーションを含む） 月1回全10回を1クラス ◎処遇児数 32人		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援を図った。発達支援が必要な子どもの割合は増加傾向であり、利用ニーズの把握・分析に努め、より効果的な運営方法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	2,354 千円
事業内容	1歳8か月児健康診査の中で、発達面で経過観察の必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師及び保育士が運営する。		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p>◎開催数 1クール全10回を4クラス 1クール全11回を2クラス</p> <p>◎処遇児数 67人</p>		
事業評価	教室の開催により、子どもの発達段階に応じた健やかな成長支援を図った。発達支援が必要な子どもの割合は増加傾向であり、利用ニーズの把握・分析に努め、より効果的な運営方法を検討する必要がある。		

事務事業名	風しん予防接種助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	401 千円
事業内容	妊婦と産まれてくる子どもの健康を守るため、京都府の助成制度を活用し、風しん予防接種にかかる費用を助成する。		
成果・実績	<p>風しん（R）ワクチン及び麻しん風しん混合（MR）ワクチンを全額自己負担にて接種した後に、1人1回を限度に費用の2/3程度を助成した。</p> <p>◎助成者数 67人</p>		
事業評価	京都府が実施する抗体検査等で抗体価が低いと診断された対象者の風しん予防接種にかかる費用の助成を行い、ワクチン接種を促進した。今後も国や京都府の制度に対応し実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉子ども部 健康長寿部

事務事業名	未熟児養育医療費給付費	所管課	保健推進課・年金医療課
		決算額	10,364 千円
事業内容	未熟児の養育に必要な医療の給付を行う。		
成果・実績	<p>入院養育にかかる「医療費（医療保険各法の適用範囲内）の患者負担額」及び「食事療養費の患者負担額」について、その自己負担額（食事療養費については標準負担額）の一部を助成した。</p> <p>◎給付決定児数 55人 ◎給付延べ件数 102件 ◎給付延べ日数 1,573日</p>		
事業評価	国制度に基づき、適正に医療給付を行った。今後も国の制度改正等に対応し、適切な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	妊婦歯科健診費	所管課	保健推進課
		決算額	1,333 千円
事業内容	妊娠中の口腔の健康状態を確保し、妊婦の健康及び安全な分娩と健康な子の出産を支援するため、歯科健診にかかる費用を助成することで、健診の受診を推進する。		
成果・実績	<p>妊婦と胎児の健康を保ち、早産や低体重児出産のリスクを抑えるため、歯科健診にかかる費用の助成を行った。</p> <p>◎助成件数 377件 ◎受診率 37.4%</p>		
事業評価	妊婦の歯科健診にかかる費用助成により、受診を促進し、妊婦及び胎児の健康保持を支援した。助成件数は伸びているが、引き続き受診率の向上を図るため制度の周知に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課
		決算額	4,111 千円
事業内容	生後4か月になるまでの子どもがいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩み及び不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、子ども及びその保護者の心身の状況並びに養育環境などの把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスにつなげる。		
成果・実績	親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげる。 ◎訪問件数 174件		
事業評価	生後4か月未満の子どもがいる家庭を訪問することで、子育ての孤立化を防ぐとともに、子育て支援に関する情報提供を行い、適切な支援の提供を図った。今後も、関係機関等との連携に努めつつ、訪問事業全体の効率的な実施手法について検討する必要がある。		

事務事業名	妊婦面談事業費	所管課	保健推進課
		決算額	813 千円
事業内容	子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、行政とのファーストタッチとして保健推進課の地区担当保健師を紹介し、安心して相談できる場を提供する。		
成果・実績	母子健康手帳の交付時に、保健師による面談を行い、必要に応じて子育て支援サービスが利用しやすいように、支援プランを作成し、利用の手助けを行う。また、絵本を配付することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとする。 ◎面談等件数 1,052件（うち電話対応12件） ※郵送等で届出のあった妊婦には電話による体調確認と情報提供等を実施		
事業評価	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで安心して相談でき、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートができるよう、関係性の構築を図った。令和元年度から開始した産後ケア事業により、妊婦面談後の関わりも増えてきており、引き続き、切れ目のない子育て支援を継続していくよう努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	妊娠・産後支援事業費	所管課	保健推進課																																								
		決算額	2,754 千円																																								
事業内容	子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポートを行うにあたり、妊娠・出産・子育てに関する悩みなどの相談支援を行い、不安及び困りごとなどの軽減並びに孤立感の解消を図る。																																										
成果・実績	<p>妊娠、出産及び子育てに関する悩みを専門職が傾聴し、妊娠期から母親に寄り添った相談支援を行えるよう、これまでの乳幼児相談事業及びパパママスタート事業を再編し、「講座・指導」形式から、一部事業に「交流」形式を取り入れ、母親の孤立感の軽減・解消を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">◎ストレッチでボディケア</td> <td style="width: 15%;">12 回開催</td> <td style="width: 20%;">参加人数</td> <td style="width: 25%; text-align: right;">49 人</td> </tr> <tr> <td>◎産後のママのための育児相談会</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">70 人</td> </tr> <tr> <td>◎お世話体験</td> <td>7 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">180 人</td> </tr> <tr> <td>◎プレママの食事</td> <td>11 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">57 人</td> </tr> <tr> <td>◎沐浴</td> <td>12 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">245 人</td> </tr> <tr> <td>◎妊婦訪問</td> <td></td> <td>訪問人数</td> <td style="text-align: right;">延べ 57 人</td> </tr> <tr> <td>◎乳幼児相談</td> <td>41 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">817 人</td> </tr> <tr> <td>◎ママのためのおはなし会</td> <td>11 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">253 人</td> </tr> <tr> <td>◎あんしんかんDEお話タイム</td> <td>15 回開催</td> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">433 人</td> </tr> </table> <p>※参加人数には、妊産婦以外の配偶者やその他家族などを含む</p> <p>※以下の事業で、「交流」形式を実施</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎ストレッチでボディケア</td> <td style="width: 50%;">◎産後のママのための育児相談会</td> </tr> <tr> <td>◎ママのためのおはなし会</td> <td>◎あんしんかんDEお話タイム</td> </tr> </table>			◎ストレッチでボディケア	12 回開催	参加人数	49 人	◎産後のママのための育児相談会	12 回開催	参加人数	70 人	◎お世話体験	7 回開催	参加人数	180 人	◎プレママの食事	11 回開催	参加人数	57 人	◎沐浴	12 回開催	参加人数	245 人	◎妊婦訪問		訪問人数	延べ 57 人	◎乳幼児相談	41 回開催	参加人数	817 人	◎ママのためのおはなし会	11 回開催	参加人数	253 人	◎あんしんかんDEお話タイム	15 回開催	参加人数	433 人	◎ストレッチでボディケア	◎産後のママのための育児相談会	◎ママのためのおはなし会	◎あんしんかんDEお話タイム
◎ストレッチでボディケア	12 回開催	参加人数	49 人																																								
◎産後のママのための育児相談会	12 回開催	参加人数	70 人																																								
◎お世話体験	7 回開催	参加人数	180 人																																								
◎プレママの食事	11 回開催	参加人数	57 人																																								
◎沐浴	12 回開催	参加人数	245 人																																								
◎妊婦訪問		訪問人数	延べ 57 人																																								
◎乳幼児相談	41 回開催	参加人数	817 人																																								
◎ママのためのおはなし会	11 回開催	参加人数	253 人																																								
◎あんしんかんDEお話タイム	15 回開催	参加人数	433 人																																								
◎ストレッチでボディケア	◎産後のママのための育児相談会																																										
◎ママのためのおはなし会	◎あんしんかんDEお話タイム																																										
事業評価	これまで実施してきた事業を再編し、講座・指導による形式から交流形式を取り入れることで、今まで以上に育児不安等の解消に向けた取組を推進した。今後もより効果的な事業実施となるよう、利用状況等の把握に努め、適切な事業実施に努める。																																										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	産後ケア事業費	所管課	保健推進課												
		決算額	3,552 千円												
事業内容	産後において家族等の援助が受けられず支援を必要とする母子に対して、心身のケア、育児の支援その他母子の健康・増進に必要な支援を実施し、母親の身体的回復及び心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母親及びその家族が健やかな育児ができるように支援する。														
成果・実績	妊娠期から申請ができるため、妊婦は産後の支援体制を具体的に考えることができ、妊娠期から不安の軽減を図った。また、事業の利用により、産婦の心身の安定を図った。 ◎利用実人数 75人 (再掲) 利用実人数 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">宿泊型</td> <td style="padding-right: 10px;">13人</td> <td style="padding-right: 10px;">(延べ 42日)</td> </tr> <tr> <td>訪問型 (助産師)</td> <td>29人</td> <td>(延べ 43日)</td> </tr> <tr> <td>訪問型 (介護福祉士)</td> <td>24人</td> <td>(延べ109日)</td> </tr> <tr> <td>日帰り型</td> <td>43人</td> <td>(延べ 72日)</td> </tr> </table>			宿泊型	13人	(延べ 42日)	訪問型 (助産師)	29人	(延べ 43日)	訪問型 (介護福祉士)	24人	(延べ109日)	日帰り型	43人	(延べ 72日)
宿泊型	13人	(延べ 42日)													
訪問型 (助産師)	29人	(延べ 43日)													
訪問型 (介護福祉士)	24人	(延べ109日)													
日帰り型	43人	(延べ 72日)													
事業評価	妊婦面談及び訪問などを通して妊産婦の状態を把握することにより、必要な方への適切な支援に努めた。今後も関係機関等と連携し、健やかな育児につながるよう支援する。														

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	保健推進課
		決算額	600 千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生用品及び備品などを購入するほか、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業を行う事業者の感染拡大防止に資する備品等の購入に対して補助を行う。		
成果・実績	安全・安心に事業を継続するため、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。 ◎補助事業者数 1事業者 一般社団法人宇治市福祉サービス公社		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要な衛生用品及び備品などを購入、または事業者への補助を行うことで安全・安心な環境で事業を継続することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
福祉こども部

事務事業名	新生児聴覚スクリーニング検査費	所管課	保健推進課
		決算額	2,890 千円
事業内容	聴覚障害の有無を早期に発見するための新生児聴覚スクリーニング検査の受診券を母子健康手帳交付時に配付する。		
成果・実績	生後28日未満の新生児を対象に新生児聴覚スクリーニング検査にかかる費用を助成した。		
	◎助成内容		
	対象となる検査	助成金額上限	
	聴性脳幹反応検査 (ABR検査)	4,020円	
	耳音響放射検査 (OAE検査)	1,500円	
	◎助成件数 798件		
事業評価	新生児期の聴覚検査を実施し、要精密検査と判定された場合には、医療機関との連携や本人への支援などを行うことで、聴覚障害の早期発見と、早期治療等の実施を図った。今後も関係機関と連携し、効果的な事業実施に努める。		

事務事業名	出産・子育てあんしんサポート事業費	所管課	保健推進課
		決算額	123,945 千円
事業内容	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産、子育てできるように、妊娠期から出産期まで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と、出産・子育てあんしんサポート給付金の支給による経済的支援を一体的に実施する。		
成果・実績	国の令和4年度第2次補正予算で創設された「出産・子育て応援交付金」に対応し、令和5年1月より伴走型相談支援として妊娠8か月ごろの妊婦への面談等を実施するとともに、経済的支援として令和4年4月1日以降に妊娠の届出をした妊婦及び出生児の養育者へ給付金（各5万円）を支給した。		
	◎面談対応実績 108件		
	◎給付金支給件数 2,406件		
事業評価	妊娠8か月ごろの面談と、妊婦・子育て世帯への給付金支給を12月補正予算可決後速やかに始めることができた。今後は面談体制の充実を図るとともに、給付金をより出産・子育ての用途に使ってもらえるよう支給方法の見直しを図る。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,795 千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツなどの年間を通じて恒常的かつ計画的な活動を支援する。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成し、元気な高齢者の生きがいがづくりに努めた。 ◎会員数 2,215人（令和4年4月現在） ◎クラブ数 53団体		
事業評価	宇治市連合喜老会への活動助成等を適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進した。新型コロナウイルス感染症等を受け、会員数やクラブ数が減少傾向にある中、感染対策に留意した活動の在り方について、検討する必要がある。		

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	長寿生きがい課																		
		決算額	4,182 千円																		
事業内容	高齢者の生きがいがづくり、社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。																				
成果・実績	7か所550区画を管理し、希望する60歳以上の者に1世帯約10㎡を1区画として貸与するとともに、全利用者を対象に園芸教室を開催した。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">園芸ひろば名称</th> <th style="text-align: center;">区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">大久保</td><td style="text-align: center;">88</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">槇島</td><td style="text-align: center;">117</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">木幡</td><td style="text-align: center;">80</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">小倉寺内</td><td style="text-align: center;">60</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">合計</td><td style="text-align: center;">550</td></tr> </tbody> </table>			園芸ひろば名称	区画数	芝ノ東	95	大久保	88	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	117	木幡	80	小倉寺内	60	合計	550
園芸ひろば名称	区画数																				
芝ノ東	95																				
大久保	88																				
伊勢田第2	55																				
羽戸山	55																				
槇島	117																				
木幡	80																				
小倉寺内	60																				
合計	550																				
事業評価	高齢者の社会交流、心身の健康の増進を図った。園芸教室の内容充実など、より一層の高齢者の生きがいがづくりにつながる取組の充実に努める。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	宇治市シルバー人材センター運営助成費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	12,469 千円
事業内容	定年退職後等においても能力を活用し、就業を通じて生きがいの充実等を希望する60歳以上の方に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供する（公社）宇治市シルバー人材センターの運営を支援する。		
成果・実績	<p>（公社）宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、就業を通じ、高齢者の生きがいづくりを促進した。</p> <p>◎会員数 536人 （男性 401人 女性135人） （令和4年度末現在）</p>		
事業評価	（公社）宇治市シルバー人材センターの運営助成を通じ、高齢者の労働能力を発揮してもらうとともに、生きがい増進を図った。今後も適正な執行に努めるとともに、見守りをはじめとする日常生活支援等の可能性についても、新たに検討する。		

事務事業名	デイホーム管理運営費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	8,171 千円
事業内容	高齢者施策の充実と世代間・地域交流を促進するために、小倉小学校・平盛小学校の空き教室を改築して開設したデイホームの管理・運営を行う。		
成果・実績	<p>市内2か所のデイホームについて、管理者を指定し、管理・運営を行った。</p> <p>◎小倉デイホーム管理運営費 4,291千円 ・指定管理者：（福）宇治明星園</p> <p>◎平盛デイホーム管理運営費 3,880千円 ・指定管理者：（福）不動園</p>		
事業評価	小学校との複合施設である各デイホームの管理・運営を適正に実施した。地域住民の福祉ニーズに応じ、高齢者福祉の向上だけでなく、世代間・地域交流の促進を図った。地域福祉の拠点としての役割等を踏まえ、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,412千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消及び社会参加の促進のために、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスを支援する。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 ◎延べ給配食数 6,892食		
事業評価	社会的支援が必要な一人暮らし高齢者等への給配食サービスを実施し、在宅福祉の向上を図った。今後も引き続き地域・他団体との連携等を強化し、効果分析や改善に努める。		

事務事業名	地域介護・福祉空間整備費補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,447千円
事業内容	「宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域において適切に介護サービスを提供できるよう、高齢者施設等の防災・減災対策に対する補助を実施する。		
成果・実績	◎認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業 認知症対応型共同生活介護 6,447千円 整備法人 株式会社 ケアトラスト 整備施設名称 グループホーム メイプルリーフ宇治 施設場所 宇治市榎島町本屋敷10-1		
事業評価	利用者及び利用者家族が安心して利用できるよう、グループホームの防災改修等を支援した。今後も介護サービスの提供に際した防災・減災対策に関するニーズを的確に把握し、効果的かつ計画的な施設整備に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,795 千円
事業内容	運動機能が低下しても安心して在宅での生活を送り続けられるよう、在宅での転倒事故を未然に防ぐための住宅改修工事経費の一部を支援する。		
成果・実績	<p>生活機能に関する「安心住まいチェックリスト」による運動器の機能低下が見られ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅の介護保険給付対象工事に要する経費の一部を助成した。</p> <p>◎助成件数 13件</p>		
事業評価	介護保険給付対象工事となる住宅改造費を助成し、転倒事故の防止対策を図ることに より、介護予防の促進に努めた。今後も転倒等の事故を未然に防ぎ、運動機能が低下し て安心して在宅生活を送り続けられるよう支援する。		

事務事業名	高齢者アカデミー運営費	所管課	長寿生きがい課																						
		決算額	3,426 千円																						
事業内容	高齢者の社会参加、生きがいにづくりに寄与するとともに、地域社会に貢献する人材を養成するため、京都文教大学・京都文教短期大学にて、65歳以上の市民を対象に、「高 齢者アカデミー」を開校する。																								
成果・実績	<p>プログラムは2年制（1年＝秋期・春期）で、受講生は週1回の科目履修と月1回のアカデミーアワーを受講する。</p> <p>◎入学者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <th>1期生</th><th>2期生</th><th>3期生</th><th>4期生</th><th>5期生</th><th>6期生</th><th>7期生</th><th>8期生</th><th>9期生</th><th>10期生</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">22人</td><td style="text-align: center;">21人</td><td style="text-align: center;">14人</td><td style="text-align: center;">23人</td><td style="text-align: center;">37人</td><td style="text-align: center;">13人</td><td style="text-align: center;">15人</td><td style="text-align: center;">12人</td><td style="text-align: center;">10人</td><td style="text-align: center;">16人</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">合計</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px 5px;">183人</td> </tr> </table> </div>			1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	10人	16人	合計	183人
1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生																
22人	21人	14人	23人	37人	13人	15人	12人	10人	16人																
合計																									
183人																									
事業評価	高齢者の交流機会の創出と生きがいにづくりの促進を図った。卒業研究で培ったノウハ ウを生かし、卒業生グループによる喫茶が、市役所庁舎8階喫茶スペースでプレオープン した。今後も京都文教大学・京都文教短期大学と連携し、受講生が卒業後に地域で活 躍、貢献できる仕組みづくりを進める。																								

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域密着型サービス等整備費補助金	所管課	長寿生きがい課
		決算額	12,863 千円
事業内容	「宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域において適切に介護サービスを提供できるよう、施設整備を計画的に進める。		
成果・実績	<p>◎家族面会室整備等経費支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設 2,380 千円 整備法人 社会福祉法人 あじろぎ会 整備施設名称 平成老人保健施設 施設場所 宇治市五ヶ庄芝ノ東54-2 ・認知症対応型共同生活介護 2,838 千円 整備法人 社会福祉法人 京都悠仁福祉会 整備施設名称 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 施設場所 宇治市宇治里尻36-35 <p>◎簡易陰圧装置設置経費支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型共同生活介護 1,287 千円 整備法人 医療法人 啓信会 整備施設名称 グループホーム リエゾン宇治おおくぼ 施設場所 宇治市大久保町山ノ内55-2 ・認知症対応型共同生活介護 1,287 千円 整備法人 社会福祉法人 暮らしのハーモニー 整備施設名称 ハーモニーやまはた 施設場所 宇治市木幡北山畑23 ・小規模多機能型居宅介護 1,287 千円 整備法人 医療法人 啓信会 整備施設名称 小規模多機能ホーム リエゾン宇治おおくぼ 施設場所 宇治市大久保町山ノ内55-2 ・小規模多機能型居宅介護 1,287 千円 整備法人 社会福祉法人 暮らしのハーモニー 整備施設名称 ハーモニーやまはた 施設場所 宇治市木幡北山畑23 ・サービス付き高齢者向け住宅 2,497 千円 整備法人 社会福祉法人 暮らしのハーモニー 整備施設名称 ハーモニー東風館 施設場所 宇治市木幡金草原14-4 		
事業評価	利用者及び利用者家族が安心して利用できるよう、高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策を支援した。今後も介護サービスのニーズを的確に把握し、効果的かつ計画的な施設整備に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	認知症総合センター機能強化事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	5,000 千円
事業内容	包括的な医療・介護サービスを提供する「京都認知症総合センター」の運営を通し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、京都認知症総合センターの初期支援プログラム等の他地域への普及を推進する。		
成果・実績	<p>◎就労・社会参加支援のための体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携の充実・強化（推進協議会） 4回 ・医療・介護施設スタッフ向けの研修会開催 4回 ・一般市民向けの講座の開催 2回 <p>◎若年性認知症の就労・社会参加支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期支援プログラムの開発 10種類 合計91回 ・支援活動の検証会議 12回 ・就労支援、就労活動の実践 40回 <p>◎若年性認知症等の普及啓発（本人発信）・ピアサポート活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症本人・家族・支援者教室 26回 ・ピアサポートの実施 23回 ・認知症当事者実践活動 11回 <p>◎認知症カフェ運営者・スタッフの人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ運営者・スタッフ研修 5回 		
事業評価	「京都認知症総合センター」の運営を通し、認知症に係る医療・介護連携の枠組みの構築をはじめとする各種施策を推進した。より発展的な施策展開となるよう事業内容を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高年齢者保健・介護予防一体的実施事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	2,854 千円
事業内容	健康寿命の延伸や日常生活の質の向上などを図るため、高齢者を対象に介護予防と連携した一体的な保健事業を行う。		
成果・実績	<p>◎75歳以上の高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）</p> <p>健康状態不明者に対し、看護師・歯科衛生士が個別訪問。質問票により健康状態を確認し、必要に応じて医療機関の受診勧奨、介護予防サービスへの連携を図った。</p> <p>・実人数 582人（延べ836人）</p> <p>血圧未治療者に対し、保健師・看護師が個別訪問。生活習慣病重症化予防を目的に、保健指導を実施した。</p> <p>・実人数 33人（延べ58人）</p> <p>◎通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）</p> <p>通いの場等へ保健師・歯科衛生士・栄養士が訪問し、健康教室を通じてフレイル予防を啓発した。</p> <p>・延べ回数 49回</p>		
事業評価	高齢者の健康状態を把握し他機関連携やフレイル予防啓発を行うことで、健康状態・生活機能の維持改善を図った。さらに、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するために、事業の展開を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	地域福祉センター運営費	所管課 決算額	長寿生きがい課 88,605千円
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくり及び生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流及び地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	市内6か所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4か所は管理者を指定し、管理・運営した。 また、地域福祉センターの老朽化への対応や、介護予防教室を実施するために必要な改修を計画的に実施した。		
	◎木幡地域福祉センター管理運営費 ・直営	6,893千円	
	◎開地域福祉センター管理運営費 ・直営	7,415千円	
	◎西小倉地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	18,346千円	
	◎東宇治地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	7,518千円	
	◎広野地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（一財）宇治市福祉サービス公社	8,442千円	
	◎榎島地域福祉センター管理運営費 ・指定管理者：（福）山城福祉会	6,659千円	
	◎地域福祉センター再整備事業費 ・榎島地域福祉センター 下水道接続工事等	33,332千円	
事業評価	各センターの管理・運営を適正に実施し、地域住民の福祉ニーズに応じた事業を行うなど、高齢者福祉の向上を図った。地域福祉の拠点としての役割等を踏まえ、今後の施設の運用方法等について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	訪問型サービスB	所管課	長寿生きがい課
		決算額	440 千円
事業内容	要支援者等の居宅において、住民ボランティア等が主体となり、住民相互の助け合いにより、買い物やゴミ出し、掃除の代行などの生活支援サービスを提供する。		
成果・実績	住民主体（住民ボランティア）の生活支援サービス ◎実施団体数 2 団体 ※うちR4年度に立ち上がった団体 1 団体 ◎支援実績 ・実人数 11 人 ・延べ人数 221 人		
事業評価	ボランティア、後継者不足という各団体に共通する課題が生じている。担い手養成の開催方法・内容等を見直し活動につながるよう工夫する必要がある。さらに活動を広げていけるよう、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

事務事業名	訪問型サービスC	所管課	長寿生きがい課
		決算額	3,734 千円
事業内容	要支援又は介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、訪問型サービスCの利用がふさわしいと判断された者を対象に、理学療法士又は作業療法士、歯科衛生士、栄養士、保健師などのいずれかが、居宅を訪問して指導を行う。		
成果・実績	月1回、3～6か月間、居宅を訪問し、必要な相談・指導等を実施 ◎支援実績 ・実人数 61 人 ・延べ人数 216 人		
事業評価	国制度に基づく事業として、訪問指導を通じ、利用者の生活課題に対し適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう適正に支援した。今後も専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	通所型サービスB	所管課	長寿生きがい課
		決算額	3,247 千円
事業内容	住民主体による要支援者、事業対象者を中心とする自主的な通いの場。定期的に介護予防のための体操、レクリエーション、趣味活動、茶話等を行う。		
成果・実績	週1回の住民主体（住民ボランティア）による通所型サービス ◎実施団体数 8 団体 ※うちR4年度に立ち上がった団体 2 団体 ◎支援実績 ・実人数 65 人 ・延べ人数 2,020 人		
事業評価	多様な住民主体の活動が少しずつ広がっているが、ボランティア、後継者不足という各団体に共通する課題が生じている。担い手養成の開催方法・内容等を見直し活動につながるよう工夫する必要がある。		

事務事業名	通所型サービスC	所管課	長寿生きがい課
		決算額	4,890 千円
事業内容	要支援又は介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、通所型サービスCの利用がふさわしいと判断された者を対象に、個々の心身の状態等に応じて通所によるサービスを実施する。		
成果・実績	週1回、全20回の複合型（口腔指導・栄養指導・運動指導・健康管理）サービス ◎支援実績 ・実人数 35 人 ・延べ人数 275 人		
事業評価	国制度に基づく事業として、通所による指導を通じ、利用者の生活課題に対し適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう適正に支援した。今後も専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	46,179 千円
事業内容	65歳以上の市民を対象に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施。スロートレーニング教室（ミックス）については、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能改善、認知症予防を中心としたプログラムを実施。		
成果・実績	<p>◎パワリハトレーニング教室：心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動及びストレッチ体操などを行う。 (実人数) 160人 (延べ人数) 2,756人</p> <p>◎スロートレーニング教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動及び体操を中心としたトレーニングを行う。 (実人数) 149人 (延べ人数) 2,447人</p> <p>◎スロートレーニング教室（ミックス）：介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。 (実人数) 53人 (延べ人数) 881人</p> <p>◎セルフパワリハ：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な人を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。 (実人数) 202人 (延べ人数) 7,722人</p> <p>◎B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもり傾向にある高齢者などを対象に、閉じこもりを防止し、地域参加を促すとともに、心身機能の維持・改善を図るため、地域の人と交流をしながら、ゲーム及び体操を行う。 (実人数) 153人 (延べ人数) 3,933人</p>		
事業評価	それぞれの段階に応じた心身の機能維持・回復を図るために必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図った。今後もプログラム構成の改善及び他事業との連携など、より効果的な事業実施とするための手法の検討に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	長寿生きがい課										
		決算額	12,753 千円										
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。												
成果・実績	認知症予防を目的とした教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>◎認知症予防教室参加者数（実人数）</td> <td style="text-align: right;">134人</td> </tr> <tr> <td>◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">3,014人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">1,159人</td> </tr> <tr> <td>◎認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）</td> <td style="text-align: right;">21,206人</td> </tr> <tr> <td>◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）</td> <td style="text-align: right;">24人</td> </tr> </table>			◎認知症予防教室参加者数（実人数）	134人	◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）	3,014人	◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	1,159人	◎認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）	21,206人	◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	24人
◎認知症予防教室参加者数（実人数）	134人												
◎脳活性化教室参加者数（延べ人数）	3,014人												
◎認知症あんしんサポーター養成講座（延べ人数）	1,159人												
◎認知症あんしんサポーター養成講座（累計養成人数）	21,206人												
◎キャラバン・メイト養成フォローアップ講座（延べ人数）	24人												
事業評価	認知症の改善や進行の防止を図るための教室及び認知症の正しい理解の普及・啓発を行うための講座を開催し、認知症関連施策の推進を図った。他事業との連携を深め、より効果的な事業実施となるよう、引き続き手法を検討する必要がある。												

事務事業名	地域支援型介護予防教室開催費	所管課	長寿生きがい課						
		決算額	25,410 千円						
事業内容	65歳以上の市民に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症予防について複合的に学ぶことで生活機能全般の改善を図る。また、地域で介護予防を継続できるように仲間づくりを目的に教室を実施する。								
成果・実績	通所により介護予防を目的とした地域支援型介護予防教室を市内14会場で行った。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>◎実人数</td> <td style="text-align: right;">425人</td> </tr> <tr> <td>◎延べ人数</td> <td style="text-align: right;">6,980人</td> </tr> <tr> <td>◎自主グループの立ち上げ</td> <td style="text-align: right;">17団体</td> </tr> </table>			◎実人数	425人	◎延べ人数	6,980人	◎自主グループの立ち上げ	17団体
◎実人数	425人								
◎延べ人数	6,980人								
◎自主グループの立ち上げ	17団体								
事業評価	複合型プログラムを実施し、対象者の生活機能の改善を図った。教室終了後も地域において自主的な介護予防活動ができるよう取組を続ける。								

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

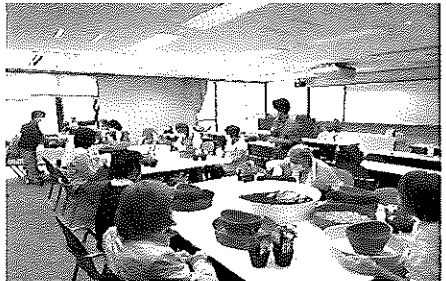
事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	142,955 千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、地域包括支援センターを市内8か所の日常生活圏域に設置。高齢者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように、総合相談、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント、第一号介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	3職種（保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員）の専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、高齢者及びその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。 ◎新規相談者数（実人数） 3,757人 ◎地域包括支援センター運営協議会 年2回開催		
事業評価	国の指針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援した。高齢者数が増加している状況において、包括的支援の充実に向け、引き続き地域包括ケアの推進に努める。		

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	606 千円
事業内容	地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」、「小地域包括ケア会議」及び「自立支援型ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。		
成果・実績	地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。 ◎延べ人数 ・宇治市地域包括ケア会議 47人 ・小地域包括ケア会議 298人 ・自立支援型ケア会議 116人 ・資質向上研修 68人		
事業評価	地域包括ケア会議を開催して地域ネットワークの構築を図るとともに、ケアマネジャー等の資質向上研修を実施し地域包括ケアの推進を図った。今後も効果的な会議のあり方を検討し、関係団体等との連携強化に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	6,345 千円
事業内容	要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、各種事業を実施する。		
成果・実績	◎紙おむつ等給付事業 2,419千円 要介護4・5の在宅高齢者の家族等に紙おむつ等を給付する。(月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等を5千円を上限に給付する。本人及び本人を扶養する親族が市民税非課税) ・給付件数 780件		
	◎介護者リフレッシュ事業 2,429千円 要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等の交流事業を行う。 ・参加者数 77人		
	◎介護知識・技術習得教室 620千円 要支援・要介護認定を受けた高齢者を在宅にて介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術の習得や、外部サービスの適切な利用方法の習得等を内容とした教室を開催する。 ・参加者数 56人	介護者リフレッシュ事業	
	◎家族介護慰労事業 100千円 要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。 ・支給者数 1人		
	◎認知症等高齢者家族安心事業 777千円 認知症等により行方不明となるおそれがある高齢者及びその家族に、GPS機能を備えた機器の貸与費用等を助成する。 ・利用者数 68人		
	事業評価	介護者同士の交流やGPS機器の貸与など、ソフト・ハード両面の支援により、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減を図った。要介護・要支援者数が増えている状況において、在宅生活を支える家族への支援も重要性を増しており、今後もニーズの把握及び取組の啓発に努める必要がある。	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	15,258 千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症等高齢者のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にある者について、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行う。また、成年後見制度の利用に要する費用について助成を受けなければ利用が困難である者に対して、後見人等の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	判断能力がないまたは乏しいことにより契約等の行為が行えない認知症等高齢者に対して、成年後見人等を選任するための申立の代行、報酬助成などを行った。 ◎申立件数 15件（令和3年度 9件） ◎報酬助成件数 79件（令和3年度 52件）		
事業評価	前年度よりも多くの申立の代行及び報酬補助を実施できた。今後も引き続き、成年後見制度の利用促進に努める。		

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	409 千円
事業内容	認知症家族支援プログラム及びOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。 ◎延べ人数 ・認知症家族支援プログラム 26人 ・OB会支援 58人		
事業評価	認知症介護者等によるピアサポートを通し、認知症の人を介護する家族を支援した。プログラムの構成や他事業との連携など、より効果的な事業実施となるよう内容の改善に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	緊急通報装置（シルバーホン）設置事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	16,306 千円
事業内容	高齢者の自立した生活の継続を支援するため、消防本部等との緊急時の連絡手段として緊急通報装置（シルバーホン）を貸与、設置し、家庭内の事故等に随時対応できる体制を整備する。		
成果・実績	本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。 ※令和2年度からモバイル型シルバーホンを導入 ◎新規設置数 133台 ◎年度末設置数 998台		
事業評価	一人暮らし高齢者の住居にシルバーホンを設置し、高齢者が自立して生活を続けられるよう支援した。引き続き、安心して自立した生活を続けられるよう、見守り等の体制を充実させる必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	生活支援体制整備事業費	所管課	長寿生きがい課										
		決算額	16,213 千円										
事業内容	生活支援コーディネーターを配置し、身近な地域で、多様な生活支援のニーズに対応できる支援体制の整備や、地域における支え合い・助け合いの支援体制の充実を図る。												
成果・実績	<p>地域の支え合い仕組みづくり会議を開催し、構成メンバーである関係団体と、事業の進捗状況や各地の地域活動などの情報共有を行った。</p> <p>◎開催数 2回</p> <p>地域住民を中心とした、地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）を立ち上げ、地域課題の解決に向けて勉強会や意見交換を行った。</p> <p>◎ 9団体</p> <p>健康長寿サポーターを担い手とした住民主体活動の立ち上げ支援及び継続的な運営支援に取り組んだ。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">◎訪問B立ち上げ支援</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">1団体</td> </tr> <tr> <td>◎訪問B運営支援</td> <td style="text-align: right;">1団体</td> </tr> <tr> <td>◎通所B立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right;">4団体</td> </tr> <tr> <td>◎通所B継続運営支援</td> <td style="text-align: right;">7団体</td> </tr> <tr> <td>◎その他、通いの場団体立ち上げ支援</td> <td style="text-align: right;">2団体</td> </tr> </table> <p>住民主体型サービスや地域活動の担い手となる人材を養成するため、健康長寿サポーター養成講座（宇治源輝人講座）を開催した。</p> <p>◎養成講座開催数 2回 ◎健康長寿サポーター新規登録者数 24人（累計 214人）</p> <p>サロンや自治会などに出向き、地域の支え合いやつながりの大切さについて意識醸成を図った。</p> <p>◎気かけ合う地域づくり勉強会（出前講座） 16回 ◎参加人数 延べ 290人</p>			◎訪問B立ち上げ支援	1団体	◎訪問B運営支援	1団体	◎通所B立ち上げ支援	4団体	◎通所B継続運営支援	7団体	◎その他、通いの場団体立ち上げ支援	2団体
◎訪問B立ち上げ支援	1団体												
◎訪問B運営支援	1団体												
◎通所B立ち上げ支援	4団体												
◎通所B継続運営支援	7団体												
◎その他、通いの場団体立ち上げ支援	2団体												
事業評価	生活支援コーディネーターを中心に、各地域包括支援センターと情報共有・連携しながら、地域住民を中心とした話し合いの場や勉強会を設けることができた。各地域からの相談も増加しており、地域課題を自分事とする意識や主体性などは着実に向上している。また、民間企業との連携による買い物支援の取組など今ある資源を活用した取組みも実施できた。今後はさらに積極的に地域に出向き、地域住民、民間企業に働きかけ地域づくりを地域全体で進める。												

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	健康長寿部
関連分野	高齢者福祉	

事務事業名	初期認知症総合相談支援事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	20,295 千円
事業内容	認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症コーディネーターを配置し、認知症の人とその家族への効果的な支援を行う。また、医療機関、介護サービス及び地域の支援機関の連携強化などによる支援体制の構築を図る。		
成果・実績	<p>認知症の人とその家族に訪問を実施し、早期発見、早期支援を行った。また、認知症対応型カフェを市内8圏域で37回開催し、認知症の人に社会参加ができる場、居場所、生きがいづくり、ピアサポートの場を提供し、加えて、認知症の人とその家族、地域住民に、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行った。</p> <p>◎認知症対応型カフェ参加者数（延べ人数） 773人 ◎認知症初期集中支援チーム対象事例数 40例 ◎認知症フォーラム参加者数 144人</p> <p style="text-align: center;">令和5年3月21日 宇治市生涯学習センターにて開催</p>		
事業評価	初期認知症の人とその家族に早期の支援を行い、認知症になっても住み慣れた地域で住み続けられるような体制の構築を図った。地域住民に対する正しい知識の普及啓発にも積極的に取り組み、地域全体で支援できるよう引き続き連携強化等に努める必要がある。		

事務事業名	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業費	所管課	長寿生きがい課
		決算額	1,354 千円
事業内容	平成27年3月に宣言した「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。		
成果・実績	<p>◎れもねいど新規加盟企業 4団体（累計84団体）</p> <p>◎れもねいだー（ボランティア）新規登録者数 9人（累計147人）</p> <p>◎認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者等の情報を事前に登録し、事前登録者に対して「身元確認シール」を交付する</p> <p style="text-align: center;">新規登録者数 67人（更新登録者22人含む）</p>		
事業評価	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。今後も一般企業や市民との連携に努め、より一層の施策推進を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康づくり・食育推進事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	269 千円
事業内容	「健康づくり推進プラン」と「食育推進計画」を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向けて、各種団体で構成する協議会において市民の健康づくりと食育の推進に関して宇治市を含めた各団体の取組の共有、協議・検討を行った。</p> <p>協議会開催回数 2回</p> <p>◎第1回（令和4年7月25日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 健康づくり・食育に係る取組報告及び今後の予定 各団体における健康づくり及び食育の取り組みについて ・協議事項 地域に根差した健康づくりのための地域協働について <p>◎第2回（令和5年3月2日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 令和4年度健康づくり・食育に係る取組報告 令和5年度の主な取組予定 ・協議事項 宇治市健康づくり・食育推進計画の策定について 次期計画に向けた考え方について 		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、「健康長寿日本一」の実現に向け、健康づくりと食育を一体的に推進した。協議結果を各種施策に反映できるよう、引き続き取り組む必要がある。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康づくり推進課				
		決算額	409 千円				
事業内容	市民の健康づくり及び生活習慣病予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。						
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>◎（65歳未満） 決算額：221千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 162人 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 49人 </td> </tr> </table> <p>◎（65歳以上） 決算額：188千円</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> 支援活動回数 20回 参加者数 152人 </td> <td style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> 実施回数 2回 参加会員数 49人 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 162人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 49人 	<ul style="list-style-type: none"> 支援活動回数 20回 参加者数 152人 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数 2回 参加会員数 49人
<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 162人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 49人 						
<ul style="list-style-type: none"> 支援活動回数 20回 参加者数 152人 	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数 2回 参加会員数 49人 						
事業評価	ボランティアの活動を支援し、地域での健康増進活動を推進した。会員の高齢化及び会員数の減少などの課題を踏まえ、支援内容を検討する必要がある。						

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	984 千円
事業内容	生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識の普及により、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各専門職を講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防及び健康増進、介護予防など健康に関する正しい知識を普及するほか、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼並びにイベントなどの機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：558千円 ・実施回数 73回 ・実施人数 1,089人</p> <p>◎ (65歳以上) 決算額：426千円 ・実施回数 64回 ・実施人数 988人</p>		
事業評価	各種健康教室を開催し、健康に関する正しい知識の普及を行い、健康の保持増進を図った。今後も、アンケートの実施による市民ニーズの把握に努め、生活習慣病の予防や介護予防など健康に関する正しい知識を普及するための手法を検討する必要がある。		

事務事業名	健康相談費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	135 千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるように実施する。		
成果・実績	<p>市民に対し、個別に健康相談を実施した。</p> <p>◎ (65歳未満) 決算額：37千円 ・実施回数 67回 ・実施人数 143人</p> <p>◎ (65歳以上) 決算額：98千円 ・実施回数 49回 ・実施人数 190人</p>		
事業評価	心身の健康に関する相談に個別対応し、健康の促進を図った。今後も多くの市民の健康増進に向け、広報の見直し及び実施手法の改善に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	各種がん検診等事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	115,335 千円
事業内容	各種がん検診等を実施することにより、がんによる死亡率等を減少させることを目的とし、検診等を実施する。		
成果・実績	対象者に個別検診及び集団検診を実施した。		
	検診名	受診者数（人）	要精検者数（人）
	健康診査	298	-
	胃がん検診	1,486	52
	子宮頸がん検診	3,863	63
	乳がん検診	3,789	286
	肺がん検診	2,811	134
	大腸がん検診	9,445	687
	成人歯科健診	182	155
	肝炎ウイルス検診	1,241	5
結核検診	2,154	0	
前立腺がん検診	1,886	191	
事業評価	検診等を実施し、疾病等の早期発見・治療につなげるとともに、受診率向上のため、広報等の強化を図った。今後も市民ニーズの把握に努め、市民の意識啓発・周知活動など、更なる効果的な事業実施手法を検討する必要がある。		

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	241 千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定及び骨の健康に関する学習をすることにより、現在の骨及び体の状態を把握するとともに、市民自らが生活習慣病予防及び健康づくりを実践する動機付けとなるように実施する。		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の講習と運動実技の体験を行った。		
	◎（65歳未満） 決算額：241千円 ・実施回数 3回 ・実施人数 48人		
事業評価	教室の実施により、市民の食や運動を始めとした生活習慣の改善等を図るための動機付けを行った。市民全体に向けた普及・動機付けが課題であり、引き続き効果的な実施手法について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	11,580 千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	<p>4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。宇治市が事務局となり、10病院等へ補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 ◎社会医療法人岡本病院（財団） 京都岡本記念病院 ◎医療法人社団一心会 都倉病院 ◎宇治武田病院 ◎医療法人啓信会 京都きづ川病院 ◎独立行政法人国立病院機構南京都病院 ◎医療法人八仁会 久御山南病院 ◎社会医療法人美杉会 男山病院 ◎医療法人社団医聖会 八幡中央病院 ◎医療法人社団石鎚会 京都田辺中央病院 		
事業評価	他自治体と広域的に連携し、休日における二次救急医療体制の確立に努めた。今後も医療機関と協力・連携しながら引き続き医療の確保に努める。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	7,067 千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳及び特別児童扶養手当証書の交付を受けた者に、毎週水曜日（年末年始除く）に、歯科サービスセンター（うじ安心館内）で口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	<p>歯科サービスセンターにおいて、京都府宇治久世歯科医師会及び（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎診療日数 52日 ◎受診者数 329人 		
事業評価	歯科サービスセンターにおける歯科治療等により、障害者の健康維持・増進を図った。診察時に利用者からの要望や意見を聞きとり、より効果的な事業実施手法を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	健康アライアンス事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	3,935 千円
事業内容	地域での健康づくり・食育活動を活性化と普及を図るため、地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組む団体同士を結びつけ、団体同士の交流を深める新たなネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」を構築する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎総会の開催（5月） ※ZOOMでのオンライン併用開催 ◎ホームページ、Instagram、Facebookなどでの広報 ◎市民会議（加入団体交流会）の開催（計6回） ◎役員会議の開催（計8回） ※ZOOMでのオンライン開催 ◎コラボ事業（小学生の親子向け講座 うーちゃ学校）の開催（計5回） ◎うーちゃ弁当の販売（計3回 全938食） ◎食育ラジオリレーへの出演（計8回） ◎市役所食堂での適塩ランチ・お弁当の提供（毎月19日）（若葉の会協力） ※委託業者変更のため令和4年12月で終了 ◎市役所食堂での適塩ランチの提供（2月） （京都文教短大、若葉の会協力） ◎アライアンスへの加入促進 加入団体数 健康づくり41団体 食育45団体 ⇒合計86団体（R5.3.31時点） 		
事業評価	健康長寿日本一の実現に向けて「宇治市健康づくり・食育アライアンス U-CHA」の活動を通じて、市民の健康意識の醸成をはじめ、健康行動の変容促進を図るとともに、加入団体相互の有機的な連携を目的とした交流支援を行った。今後も引き続き、アンケート等により市民ニーズを把握し、効果的な支援を図れるよう、事業実施の手法について検討する必要がある。		

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種関連事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	1,468,971 千円
事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種券等の印刷・発送、コールセンターの開設・運営、集団接種会場の運営、協力医療機関での個別接種の実施など接種体制を確保して、円滑なワクチン接種の実施を図る。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎接種体制 市が運営する集団接種と協力医療機関での個別接種の併用により実施 ◎集団接種会場 ・宇治市役所 ・宇治武田病院 ・宇治徳洲会病院 ・宇治市文化センター ◎個別接種会場 市内70以上の協力医療機関及び城陽市、久御山町の協力医療機関 ◎主な事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・集団接種会場運営委託 217,430千円 ・コールセンター運営委託 450,469千円 ・ワクチン配送委託 74,658千円 ・集団接種従事者報償費 101,893千円 ・医療機関への個別接種委託料 461,719千円 		
事業評価	宇治久世医師会等と連携・協力し、集団接種や個別医療機関での接種体制を構築して市民への新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施できた。引き続き、追加接種（春開始接種、秋開始接種）を円滑に実施できるよう取り組む。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	健康づくり推進課									
		決算額	35,008 千円									
事業内容	日曜、祝日、国民の休日及び年末年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	<p>（一社）宇治久世医師会・京都府宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（公社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数（人）</th> <th>診療日数（日）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,812</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">361</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数（人）	診療日数（日）	内科・小児科	1,812	70	歯科	361	72
	受診者数（人）	診療日数（日）										
内科・小児科	1,812	70										
歯科	361	72										
事業評価	休日急病診療所において休日、年末年始における応急診療を行い、市民の健康保持に努めた。第一次救急医療機関として感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できる体制の維持に努める。											

事務事業名	健康診査費	所管課	健康づくり推進課		
		決算額	101,817 千円		
事業内容	疾病の早期発見・治療及び医療費の適正化を図るため、後期高齢者に対し、健康診査及び歯科健診を実施する。健診事業は後期高齢者医療制度において努力目標として明記されているもので、保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して行う。				
成果・実績	<p>6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会及び宇治久世歯科医師会に委託して実施した。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 9,397人 ・健診委託料 96,836千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 18人 ・健診委託料 68千円 </td> </tr> </table>			<p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 9,397人 ・健診委託料 96,836千円 	<p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 18人 ・健診委託料 68千円
<p>◎健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 9,397人 ・健診委託料 96,836千円 	<p>◎歯科健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 18人 ・健診委託料 68千円 				
事業評価	後期高齢者を対象に健康診査及び歯科健診を実施し、被保険者の健康の保持増進を図った。今後も高齢者人口の増加及び医療費の増加が見込まれるため、疾病の早期発見・治療につなぐための制度周知等に努める。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	健康づくり推進課
		決算額	2,767 千円
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の一部を後期高齢者医療事業特別会計から助成する。		
成果・実績	◎受診者数 246人 ◎人間ドック受診委託料 2,706千円（1人あたり11,000円を助成）		
事業評価	令和3年度から定員制を廃止し、人間ドック受診にかかる経費を一部助成しており、希望者全員が受診できる体制を整備している。今後も利用状況等の把握に努め、引き続き実施する。		

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	健康づくり推進課																		
		決算額	115,836 千円																		
事業内容	生活習慣病の予防による医療費の適正化を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																				
成果・実績	特定健康診査は、6月1日～10月31日に（一社）宇治久世医師会に委託して実施した。 ◎特定健康診査委託の支払件数と支払額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">平成30年度</th> <th style="text-align: center;">令和元年度</th> <th style="text-align: center;">令和2年度</th> <th style="text-align: center;">令和3年度</th> <th style="text-align: center;">令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">件数</td> <td style="text-align: center;">9,560</td> <td style="text-align: center;">10,568</td> <td style="text-align: center;">9,970</td> <td style="text-align: center;">10,164</td> <td style="text-align: center;">9,558</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">支払額(千円)</td> <td style="text-align: center;">95,067</td> <td style="text-align: center;">106,282</td> <td style="text-align: center;">102,173</td> <td style="text-align: center;">104,007</td> <td style="text-align: center;">98,224</td> </tr> </tbody> </table>			年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	件数	9,560	10,568	9,970	10,164	9,558	支払額(千円)	95,067	106,282	102,173	104,007	98,224
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																
件数	9,560	10,568	9,970	10,164	9,558																
支払額(千円)	95,067	106,282	102,173	104,007	98,224																
事業評価	メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少に努めた。令和4年度より、受診勧奨通知をはがきから封書に変更し周知の充実に努めるとともに電話勧奨を実施した。また特定保健指導未利用者に対し、電話勧奨を行うとともに、ICT等を活用するなど、利用率向上の取組を実施し、保健指導を行った。引き続き、特定健診受診率向上及び特定保健指導利用率向上に取り組む。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	健康づくり推進課			
		決算額	62,315 千円			
事業内容	35歳以上75歳未満の国民健康保険の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。					
成果・実績	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。					
	◎ドック受診者数と決算額					
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	人間ドック(人)	1,575	1,582	1,306	1,490	1,570
脳ドック(人)	740	747	684	737	737	
決算額(千円)	61,583	62,514	53,071	59,860	62,315	
事業評価	半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助を実施し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図った。今後も受診ニーズの把握に努め、引き続き実施する。					

事務事業名	健康データ分析・地区診断事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	339 千円
事業内容	医療・介護・保健等のデータを結合して分析用ソフト（LIFEDB）を活用することで、地域ごとの健康課題を明確にする。また、市民・地域・行政が一体となって健康づくりを進めるため、分析結果を活用し、その地域特性に合わせた健康づくりの推進を行う。		
成果・実績	健康データ分析に必要なデータを収集し、分析機関である九州大学へデータを提供した。3月末に分析結果が報告された。		
	◎実施内容 令和5年 1月 九州大学による分析実施 3月 九州大学より分析結果フィードバック及び報告書提出		
事業評価	医療・介護・保険データを結合し、宇治市の健康状態の経年的な傾向や、地域ごとの健康課題について把握・分析することができた。今後は分析結果を活用し、地域特性に合わせた事業について検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	糖尿病性腎症重症化予防事業費	所管課	健康づくり推進課
		決算額	304 千円
事業内容	<p>国民健康保険の被保険者を対象に、QOLの向上と医療費の適正化等を目的に、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者又は受診中断者に対し、受診勧奨と保健指導を行う。また糖尿病で通院中であるが血糖コントロール不良のハイリスク者に対し、主治医の了解を得て保健指導を行う。</p>		
成果・実績	<p>未受診者及び治療中断者に対し、受診勧奨の個別通知を行った後、レセプト確認を行い、改善されていない方に市専門職による電話勧奨及び保健指導を実施した。</p> <p>ハイリスク者に対しては、個別通知にて利用勧奨を行い、主治医と適切に連携し、市専門職と京都府栄養士会による並走型の保健指導を実施した。</p> <p>◎実施者数 (計) 128人 ・未受診者 : 62人 ・中断者 : 58人 ・ハイリスク者 : 8人</p> <p>◎ハイリスク者保健指導委託料 153千円</p>		
事業評価	<p>糖尿病性腎症の重症化を予防することによって、人工透析への移行を防止し、被保険者のQOL向上と医療費適正化を図った。今後も、支援対象者の拡大と継続支援に努め、引き続き実施する。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険利用者負担軽減助成費	所管課	介護保険課
		決算額	500千円
事業内容	介護保険の現物給付を受ける著しく生活が困難な低所得の者の介護保険利用者負担について、社会福祉法人等が減免した場合に法人負担の一部を助成する。		
成果・実績	<p>社会福祉法人等が行った利用者負担減額分について、当該法人に対して助成金を交付した。</p> <p>◎認定者数 100人</p> <p>◎対象経費 軽減額等 476千円 事務費等 24千円</p>		
事業評価	国制度に基づき低所得者の経済的負担の軽減を図った。今後も国制度に基づき適正に助成するとともに、広報啓発に努める。		

事務事業名	介護認定審査会費	所管課	介護保険課																					
		決算額	110,612千円																					
事業内容	公平・公正に要介護・要支援認定申請者の認定を行うため、認定調査及び介護認定審査会の運営を行う。																							
成果・実績	<p>認定調査員及び介護認定審査会委員への研修を行い、適正な認定を図った。</p> <p>申請件数 10,674件 審査会開催回数 258回</p> <p>◎介護認定審査会委員報酬 15,718千円</p> <p>◎介護認定審査会運営費 6,039千円</p> <p>◎認定調査事務費 88,855千円</p> <p>◎認定者数（令和4年度末現在） (人)</p> <table border="1"> <tr> <td>要支援1</td> <td>要支援2</td> <td>要介護1</td> <td>要介護2</td> <td>要介護3</td> <td>要介護4</td> <td>要介護5</td> </tr> <tr> <td>1,769</td> <td>1,420</td> <td>2,996</td> <td>1,734</td> <td>1,418</td> <td>1,066</td> <td>702</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td colspan="5">11,105人（※宇治市独自集計値）</td> </tr> </table>			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	1,769	1,420	2,996	1,734	1,418	1,066	702	合計		11,105人（※宇治市独自集計値）				
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5																		
1,769	1,420	2,996	1,734	1,418	1,066	702																		
合計		11,105人（※宇治市独自集計値）																						
事業評価	「介護保険法」に基づき、適正に認定調査及び認定審査の運営を行った。今後も引き続き、適正な認定事務の執行に努める。																							

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	14,745,121 千円
事業内容	要介護・要支援認定者が介護サービス・介護予防サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		令和4年度	令和3年度
	介護サービス等諸費	14,375,634	14,102,451
	居宅介護サービス	5,877,433	5,694,668
	地域密着型介護サービス	2,269,406	2,171,508
	施設介護サービス	4,632,244	4,587,038
	特定入所者介護サービス	260,394	317,733
	その他	1,336,157	1,331,504
	介護予防サービス等諸費	352,467	338,158
	介護予防サービス	246,112	236,824
	地域密着型介護予防サービス	437	426
	特定入所者介護予防サービス	395	492
	その他	105,523	100,416
	その他諸費	17,020	16,517
	審査支払手数料	17,020	16,517
事業評価	国制度に基づき適正に給付した。今後も高齢者数の増加に伴い、認定者数及びサービス利用者数が増加する見込みであることから、持続可能な事業運営のため、適正な執行に努めるとともに、ニーズを的確に把握し、事業計画に反映する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護サービス相談員派遣事業費	所管課	介護保険課															
		決算額	1,296 千円															
事業内容	申し出のあったサービス事業者に介護サービス相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問及び不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質の向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者・家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。																	
成果・実績	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護サービス相談員の事業所への訪問は中止し、文書及びオンラインでの活動を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">派遣事業所種別</th> <th style="text-align: center;">派遣事業所数 (カ所)</th> <th style="text-align: center;">派遣人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>指定地域密着型特別養護老人ホーム</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> ※文書での活動は全30事業所、オンラインでの活動は9事業所で実施			派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)	特別養護老人ホーム	8	18	介護老人保健施設	3	7	グループホーム	18	18	指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2
派遣事業所種別	派遣事業所数 (カ所)	派遣人数 (人)																
特別養護老人ホーム	8	18																
介護老人保健施設	3	7																
グループホーム	18	18																
指定地域密着型特別養護老人ホーム	1	2																
事業評価	施設利用者の疑問及び不安を解消するとともに、サービスの質の向上を図った。介護サービス相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っているため、今後も介護サービス相談員の資質の向上に努める。																	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課
		決算額	770 千円
事業内容	介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。		
成果・実績	公益財団法人介護労働安定センターに委託し、介護サービス事業所職員を対象に研修を行った。		
	研修名	参加者数(人)	対象者
	制度や活用可能な社会資源を学ぶ「宇治市の行政施策等」	39	ケアマネジャー
	対人コミュニケーション技術向上研修「アサーション」	31	介護サービス事業所職員
	今さら聞けない！「適切なケアマネジメントによるサービスの活用」	16	ケアマネジャー
	リハビリテーション研修 ①地域リハビリテーション支援センターについて②完全仰臥位・側臥位法実践編～ほんまに寝て食べてエエの？～	22	介護サービス事業所職員
	虐待に関する研修 高齢者の暮らしの質を守るための支援を学ぼう！～気づきの感度UP研修～	24	介護サービス事業所職員
	精神疾患がある方への支援「その人の生活を支えるために」	26	介護サービス事業所職員
	ケアマネジメント基礎研修「介護支援専門員の倫理と自立支援に資するケアプランの作成」	22	ケアマネジャー
	医療介護連携について	12	介護サービス事業所職員
事例発表・情報交換会 ①居宅介護支援事業所～インフォーマル支援の発掘と活用事例～②認知症対応型通所介護～「その人らしい」を支え続ける実践事例～③小規模多機能型居宅介護～「多機能」だからできること～	32	介護サービス事業所職員	
感染予防の知識について	23	介護サービス事業所職員	
事業評価	介護サービス事業所職員に対して研修を実施し、介護サービス事業者が提供するサービスの質の向上・確保を図った。今後も介護サービス事業所の質をより高めるための支援・指導の手法について、引き続き検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業費	所管課	介護保険課
		決算額	4,557 千円
事業内容	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、地域における医療・介護の関係機関の連携体制を構築する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域の医療・介護サービス資源の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとの情報把握 ◎在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討会議 ◎切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進 <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携センター運営委員会 ◎医療・介護関係者の情報共有の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ココカラまるごとねっとの情報発信 ◎在宅医療・介護連携に関する相談支援（26回） <ul style="list-style-type: none"> ・在宅サポート医制度勉強会 ・地域包括支援センターからの各種困難支援事例の相談対応 ◎医療・介護関係者の研修（12回） <ul style="list-style-type: none"> ・多職種事例検討会 ・出張講座 ◎地域住民への普及啓発（6回） <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療についての住民向け講演会の実施 ・市政だよりでの広報活動 ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について住民向け啓発の実施 ◎在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・城陽市、久御山町との連携 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">} (11回)</div>		
事業評価	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関との連携体制の構築に努めた。今後も関係機関との連携を図り、地域における支援の手法について引き続き検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課	
		決算額	3,408,728 千円	
事業内容	令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料は、第8期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等をもとに算出し、15段階の設定としている。			
成果・実績	◎第1号被保険者数	54,380人（令和4年度末現在）		
	◎保険料収納率	現年度分	99.59 %	
		滞納繰越分	13.96 %	
		合計	98.45 %	
	【令和4年度の保険料段階別年間保険料額】			
	保険料段階		年間保険料額(円)	
	第1段階		17,010	※ ※ (基準額)
	第2段階		23,820	
	第3段階		44,220	
	第4段階		54,430	
	第5段階		68,030	
	第6段階		74,840	
	第7段階		88,440	
	第8段階		112,250	
	第9段階		132,660	
第10段階		142,870		
第11段階		153,070		
第12段階		163,280		
第13段階		173,480		
第14段階		183,690		
第15段階		200,690		
※ 保険料段階が第2段階または第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている				
事業評価	第8期介護保険事業計画期間における保険給付費等を見通し、保険料収入を確保する原則に基づき適切な事業運営を行った。今後もケースに応じた納付指導等により収納率の向上を図り、安定的な事業運営に努める。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策費	所管課	介護保険課
		決算額	4,239 千円
事業内容	介護保険施設等を運営する法人に対し、施設・法人の規模に応じた上限額の範囲内で、新型コロナウイルス感染症の感染防止のための費用（消耗品・備品購入費その他の関連経費）を補助する。		
成果・実績	<p>申請のあった法人に対し、感染防止経費に係る補助金を交付した。</p> <p>◎補助対象法人 44 法人</p>		
事業評価	各事業者に対して補助金を交付し、施設等における感染防止対策を支援することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	入所施設等感染防止対策支援事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,245 千円
事業内容	介護保険施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生を未然に防ぐため、施設新規入所者を実施するPCR検査の費用を入所する施設が負担した場合、その費用を当該施設に補助する。		
成果・実績	<p>新規入所者が実施したPCR検査の費用について、施設の運営法人に対し補助金を交付した。</p> <p>◎ 補助対象法人 5 法人</p>		
事業評価	施設の運営法人に対する補助金の交付により、施設における感染防止対策を支援することができた。		

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策強化費	所管課	介護保険課
		決算額	6,860 千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した介護保険施設等を運営する法人に対し、発生以降の感染拡大防止及び再発生の予防のため、50万円を上限に、対策強化に係る費用を補助する。		
成果・実績	<p>集団感染が発生した施設の運営法人に対し、補助金を交付した。</p> <p>◎ 補助対象法人 14 法人</p>		
事業評価	集団感染の発生に伴って多額の対応費用が発生した施設に対し、支援を行うことで安全・安心な施設の運営を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	高齢者福祉

所管部局
健康長寿部

事務事業名	介護保険施設等物価高騰対策事業費	所管課	介護保険課
		決算額	10,304 千円
事業内容	原油価格・物価高騰の影響を踏まえ、介護保険施設等を運営する法人に対し、光熱費の負担軽減を図るため、費用の一部を補助する。		
成果・実績	<p>申請のあった法人に対し、物価高騰対策に係る補助金を交付した。</p> <p>◎補助対象法人 44 法人</p>		
事業評価	各事業者に対して補助金を交付し、施設等における物価高騰対策を支援することができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
健康長寿部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	550,961 千円
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成しており、申請に基づいて乳幼児、小学生及び中学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式又は償還給付方式で助成を行う。		
成果・実績	子育て支援の観点から子育て家庭の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。 ◎受給者数 20,428人 ◎扶助費 535,018千円 一部負担金（1医療機関 月200円負担）		
	入院	外来	市独自
	0歳	1歳	2歳
	3歳	4歳	5歳
	小学校卒業まで	中学校卒業まで	
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。子育てに要する経済的負担の軽減については、引き続き国等に要望する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課		
		決算額	445,299 千円		
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者並びにひとり親家庭児及びその親などに対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち自己負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。				
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,715人 ・ ひとり親家庭児 2,139人 ・ ひとり親家庭児の親 1,423人 ・ 扶助費 421,213千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 249人 ・ 扶助費 17,898千円 </td> </tr> </table>			<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,715人 ・ ひとり親家庭児 2,139人 ・ ひとり親家庭児の親 1,423人 ・ 扶助費 421,213千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 249人 ・ 扶助費 17,898千円
<p>◎ひとり親家庭・重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度障害者 1,715人 ・ ひとり親家庭児 2,139人 ・ ひとり親家庭児の親 1,423人 ・ 扶助費 421,213千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 療育手帳Bのみ 249人 ・ 扶助費 17,898千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課		
		決算額	140,967 千円		
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人等に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。				
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,511人 ・ 扶助費 139,473千円 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1人 ・ 扶助費 70千円 </td> </tr> </table>			<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,511人 ・ 扶助費 139,473千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1人 ・ 扶助費 70千円
<p>◎重度障害者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1,511人 ・ 扶助費 139,473千円 	<p>◎療育手帳Bのみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受給者数 1人 ・ 扶助費 70千円 				
事業評価	京都府制度と市独自制度を適正に執行し、対象者の健康の保持と経済的負担の軽減を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努めるとともに、京都府の動向を注視しながら制度対象の拡大等について要望等を行う必要がある。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	健康・保険

所管部局
健康長寿部


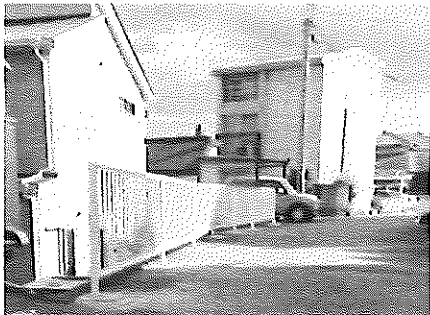
事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課		
		決算額	3,203,080 千円		
事業内容	宇治市の国民健康保険料については、制度改革に伴い、京都府が示す標準保険料率に基づき設定することを基本としつつ、宇治市国民健康保険運営協議会の答申を踏まえ、設定する。				
成果・実績	◎加入世帯数 22,905世帯（一般22,905世帯、退職0世帯）				
	◎被保険者数 34,269人（一般34,269人、退職0人）（令和4年度末現在）				
	◎保険収納率 現年度分 96.07% 滞納繰越分 33.47% 合計 89.99%				
	◎令和4年度 国民健康保険料率				
		所得割	均等割	平等割	賦課限度額
	医療給付費分	7.75 %	27,900円	18,000円	65万円
	後期高齢者支援金分	2.78 %	9,600円	6,200円	20万円
	介護納付金分	2.97 %	12,200円	6,000円	17万円
事業評価	国民健康保険事業特別会計においては、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保するという原則に基づき、京都府と連携しながら適切な事業運営を行った。				

事務事業名	傷病手当金	所管課	国民健康保険課	
		決算額	4,181 千円	
事業内容	国民健康保険の被保険者で被用者のうち、新型コロナウイルス感染症の感染等により、労務に服することができなくなった日から起算して3日を経過した日から労務に服することができない期間について、直近3か月間の平均日額の3分の2の額に就労を予定していた日数を乗じた額を支給する。			
成果・実績	事業主から給与等の全部、又は一部を受けることができなかった場合に傷病手当金を支給した。			
	◎支給件数 118件			
事業評価	新型コロナウイルス感染症に感染したこと、または発熱等の症状があり、感染が疑われることにより、就労ができず給与を受けられない国民健康保険に加入している被用者に対し、傷病手当金の支給を実施することで支援を行った。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

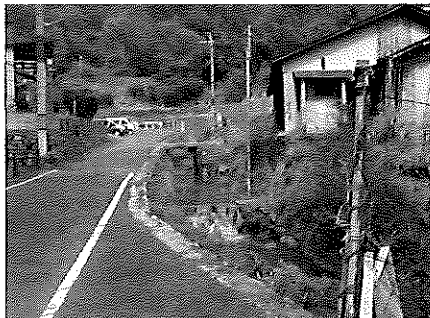
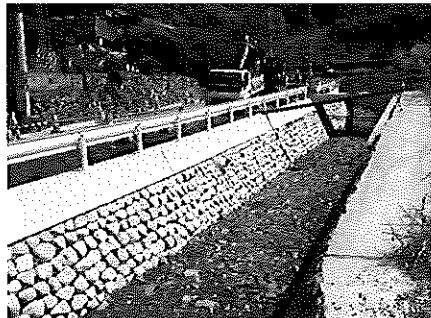
事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	18,541 千円
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、防護柵、歩道の設置、段差解消などを実施する。		
成果・実績	<p>交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 市内全域を対象として交通安全施設の設置を行うなど、歩行者等の安全確保の取組を進めた。</p> <p>◎安全施設設置 14,793 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡設置 26 基 ・防護柵設置 48 m ・薄層カラー舗装 34 m² ・区画線設置 1,314 m <p>◎安全対策事業等 2,813 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天神台市管理道路ほか3路線 <p>◎測量・設計委託等 935 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎島町23号線ほか1路線 <p style="text-align: center;">安全施設設置（防護柵） 神明86号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	道路の安全対策に係る施設整備を実施したことにより、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も各地域の歩行者等の交通安全対策を実施するとともに、宇治市通学路交通安全プログラムの取組を継続して進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部




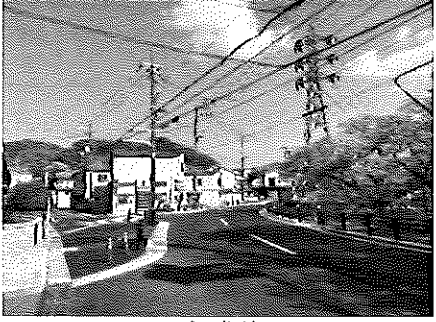
事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	53,022 千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	地元町内会等からの要望を受け、伊勢田町156号線ほか8路線の道路改良工事及び5路線の測量等業務委託を実施した。また、宇治五ヶ庄線の瓦塚工区では、歩道整備のための用地売買契約を1件締結した。		
	伊勢田町156号線		
			
	着工前	完成後	
事業評価	市民の要望等を受け、道路改良工事を実施したことにより、安全で安心な道路網を確保できた。今後も事業箇所を精査し、道路整備を実施する。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	15,596 千円
事業内容	「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき、笠取地区、炭山地区、二尾・池尾地区における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	平出中畑線の一部区間で、道路拡幅に向けた東笠取川の護岸工事を実施した。		
	平出中畑線		
			
	着工前	現況	
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る取組を進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路



所管部局
建設部


事務事業名	菟道志津川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	114,674 千円
事業内容	谷下り工区では、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に併せて、大鳳寺踏切の拡幅改良を行うとともに歩道拡幅整備を行い、歩行者の安全を確保する。また、門前工区では、狭隘箇所交通安全対策として道路拡幅整備及び交差点改良を実施する。		
成果・実績	谷下り工区では、令和2年度より着手した踏切拡幅工事や、踏切東側の拡幅工事が完成した。 門前工区では、一部区間の道路拡幅工事が完成した。		
	菟道志津川線（谷下り工区）		
	 <p>着工前</p>	 <p>完成後</p>	
	菟道志津川線（門前工区）		
	 <p>着工前</p>	 <p>完成後</p>	
事業評価	鉄道事業者や関係者との調整を図り、道路拡幅に向けた取組を進めることができた。今後も歩行者の安全確保に向けた取組を進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

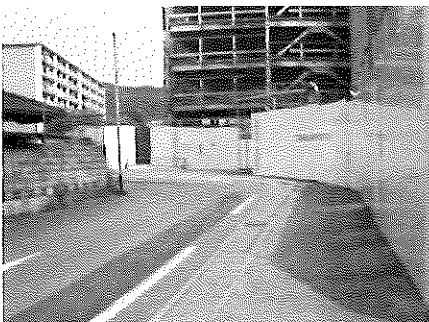

事務事業名	JR六地蔵駅前広場整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	99,159 千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業に合わせて行うJR六地蔵駅の改良に伴い、駅前広場の再整備を行う。		
成果・実績	JR六地蔵駅駅舎移転に伴い、駅前広場の新駅舎付近の再整備及び関係機関との調整に取り組んだ。 <div style="text-align: center;">JR六地蔵駅前広場現況</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
事業評価	JR六地蔵駅の改良事業との工程調整を行いながら、駅前広場の新駅舎付近の再整備を行った。引き続き関係機関及び地域などとの調整を図りながら、再整備に取り組む。		

事務事業名	宇治白川線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	15,211 千円
事業内容	宇治白川線と下居大久保線の交差点において、宇治白川線の左折レーン延伸工事を実施し、交通渋滞の緩和を図る。		
成果・実績	左折レーンの延伸に向け、詳細設計及び関係機関協議などに取り組んだ。 <div style="text-align: center;">宇治白川線</div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">現況</div>		
事業評価	関係機関等と調整を行いながら、詳細設計に取り組んだ。引き続き左折レーンの延伸に向けた取組を進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

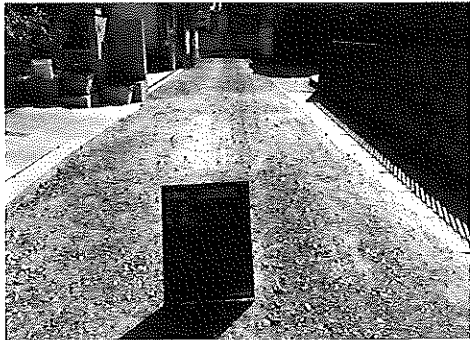
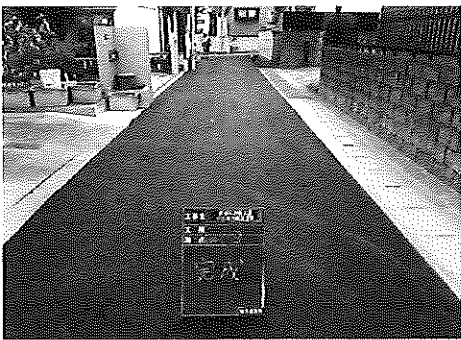
事務事業名	六地蔵地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	34,158 千円
事業内容	JR六地蔵駅北周辺地区地区計画に基づき、区画道路及び自転車歩行者専用道路を整備し、交通利便性の向上を図る。		
成果・実績	六地蔵30号線の道路改良工事、道路照明灯設置工事を実施した。		
	<p style="text-align: center;">六地蔵30号線</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着手前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現況</p> </div> </div>		
事業評価	隣接する開発工事との工程調整を行いながら、京都市道外環状線と接続する六地蔵30号線の道路改良工事を行った。引き続き関係機関及び地域などとの調整を図りながら、区画道路及び自転車歩行者専用道路の整備を進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路

所管部局
建設部

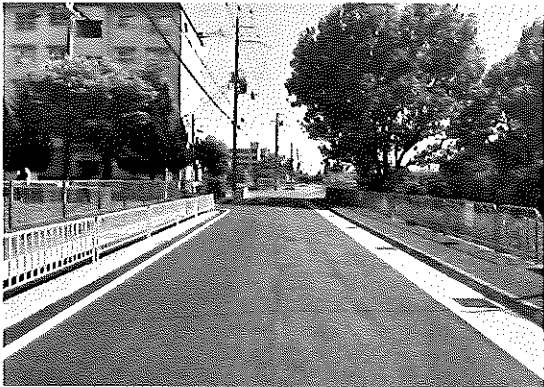
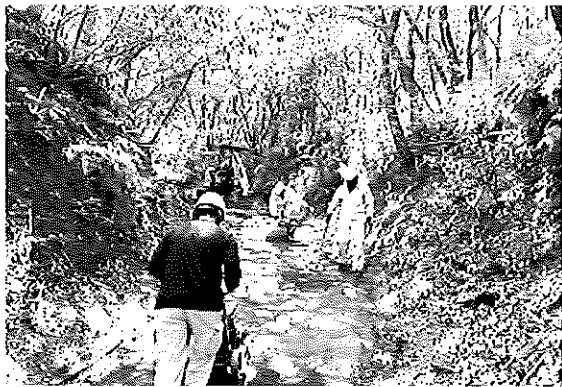
事務事業名	道路インフラ長寿命化事業費	所管課	維持課
		決算額	158,581 千円
事業内容	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の道路施設について長寿命化を図るため、計画的な点検や修繕などを実施する。		
成果・実績	道路（舗装、小規模付属物）、橋梁、トンネル等の長寿命化計画に基づき、橋梁定期点検や大峰橋及び落合4号橋の修繕設計、黄檗トンネルの道路照明LED化設計業務を行った。 また、工事においては大納言橋の修繕工事、宇治白川線ほか2路線の舗装工事を行った。		
事業評価	定期的な点検や修繕工事により、道路施設の長寿命化を図ることができた。引き続き、個別施設の長寿命化計画を更新し、長寿命化に向けて計画的に取り組む。		

事務事業名	私道改良事業費	所管課	維持課
		決算額	11,851 千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良・補修工事を実施する自治会等に対して、その対象工事費の80%を補助する。（平成21年度より横断側溝は90%）		
成果・実績	<p>◎実施数 3件 ◎補助金額 11,851千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	自治会等に対して工事費を補助したことにより、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、要望に応えつつ、適正な運営に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	道路


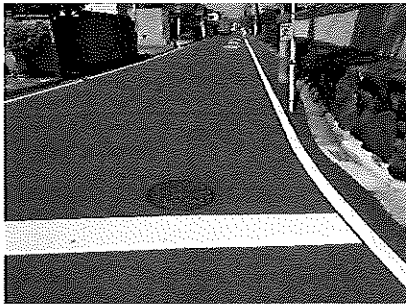
所管部局
建設部

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課 決算額	維持課 599,639 千円
事業内容	<p>道路を常に安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（1,989m）及び舗装補修（7,589㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝などの清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植などの道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕278件、道路保全483件、交通安全施設の補修等103件、防災関係76件、溶接関係33件で、全体では1,537件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は14件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <p>◎道路維持修繕事業費 551,948千円 ◎街灯設置保全事業費 47,691千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>大久保町6号線（歩道改修工事）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による作業状況</p> </div> </div>		
事業評価	<p>道路の修繕並びに清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施するとともに、即時、緊急対応を行ったことにより、着実に道路等の環境整備及び事故の未然防止、安全な通行の確保を図ることができた。一方、町内会等からの側溝改修等の要望は年々増加しており、安全で快適な道路管理を今後も引き続き実施する。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水



所管部局
建設部

事務事業名	排水路改好事業費	所管課	治水対策課
		決算額	27,138千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下及び近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、老朽化施設（排水路）の改良工事や調査、測量設計業務を行った。		
	◎改良工事等		26,960千円
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広野町7号線排水路改良工事 工事延長 L=85.7m ・ 他5件 		
	広野町7号線排水路改良工事		
			
	着工前	完成後	
事業評価	排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改良工事を実施したことにより、浸水被害の軽減に向けた安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。引き続き、治水能力の向上に向け、計画的に実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水


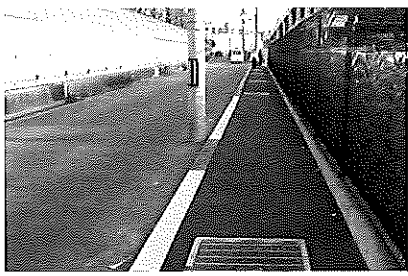
所管部局
建設部

事務事業名	河川改修事業費	所管課	治水対策課
		決算額	18,384千円
事業内容	都市化の進行に伴う雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については重点整備を行う。		
成果・実績	<p>河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川改修工事や調査、測量業務を行った。</p> <p>◎改修工事等 18,384千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山王ヶ谷川改修工事 工事延長 L=49.5m ・他2件 <p style="text-align: center;">山王ヶ谷川改修工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	河川の機能増強等を実施したことにより、雨水流出量の増加と護岸等の老朽化に対応した水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
建設部

事務事業名	河川維持管理費	所管課	治水対策課
		決算額	19,944千円
事業内容	河川施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	<p>河川（排水路）の修繕工事や老朽化したポンプ設備等の更新業務を行った。</p> <p>◎修繕工事等 19,944千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治12号系統排水路修繕工事 工事延長 L=45.0m ・他5件 <p style="text-align: center;">宇治12号系統排水路修繕工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	河川施設等の適正な維持管理を実施したことにより、排水機能の向上を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	市営住宅施設改良事業費	所管課	住宅課
		決算額	67,519千円
事業内容	市営住宅の入居者の居住性の向上やストックの長寿命化を図るため、「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改良事業を実施する。		
成果・実績	<p>各計画に基づき、事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 槇島吹前市営住宅8号棟外壁ほか改修工事 54,040千円 ・ 宇治東山市営住宅新棟エレベーター改修工事 6,985千円 ・ 五ヶ庄福角市営住宅1・2棟外壁屋根改修設計業務委託 3,300千円 ・ 五ヶ庄福角市営住宅ほか現況調査及び改修計画策定業務委託 2,860千円 		
事業評価	「宇治市公営住宅等長寿命化計画」等に基づき、既存市営住宅の計画的な改修工事及び設計業務などを実施することができた。今後も引き続き、施設の長寿命化に向けて取り組む必要がある。		

事務事業名	空き家等対策関連事業費	所管課	住宅課
		決算額	4,555千円
事業内容	「宇治市空き家等対策計画」に基づき、管理が行われていない空き家等の発生を抑制し、地域住民の生活環境の保全を図るとともに、併せて空き家等の利活用に取り組み、空き家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎管理不全な空き家等への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理不全な空き家等の解決件数 31件 ◎管理不全な空き家等の発生抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家等アドバイザーの派遣 14件 ・ 空き家情報誌（ハンドブック）の作成 900部 ・ 固定資産税納税通知への啓発チラシの同封 約70,000通 ◎流通・利活用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市三世代近居住宅支援事業補助金（空き家型） ・ 空き家等利活用推進補助金（就業場所の確保） ・ 空き家活用促進まちづくり支援補助金（アドバイザー業務） 		
事業評価	空き家を対象にした補助制度を通じて、空き家の流通・利活用に対する市民理解と啓発につながった。また、管理不全空き家等への対応として、関係各課と連携をとり効果的に取り組んだ。引き続き、より効果的な事業実施について検証を進める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
建設部

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	10,142千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化及び入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	<p>高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。</p> <p>◎交付件数 1件 ◎補助金額 10,142千円</p>		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に、入居者の家賃減額分に対する補助を交付することにより、高齢者の居住の安定に努めることができた。今後も国及び京都府の制度の動向を注視しつつ、引き続き実施する。		

事務事業名	ウトロ地区住環境改善事業費	所管課	住宅課他																				
		決算額	495,225千円																				
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、平成26年度に策定した「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき、国・京都府・宇治市の三者の連携のもとウトロ地区小規模住宅地区改良事業を推進する。																						
成果・実績	<p>「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき各事業を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">担当課</th> <th style="width: 25%;">事業費（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区周辺道路 補償費算定業務等</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">道路建設課</td> <td style="text-align: right;">627</td> </tr> <tr> <td>地区周辺道路 用地補償</td> <td style="text-align: right;">12,445</td> </tr> <tr> <td>地区周辺道路 整備工事</td> <td style="text-align: right;">82,936</td> </tr> <tr> <td>地区内道路 物件移転補償</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">住宅課</td> <td style="text-align: right;">59</td> </tr> <tr> <td>公的住宅 第2期棟建設工事</td> <td style="text-align: right;">397,919</td> </tr> <tr> <td>公的住宅 第2期棟建設に伴う電波障害調査</td> <td style="text-align: right;">462</td> </tr> <tr> <td>除却予定住宅 吹付材サンプル調査</td> <td></td> <td style="text-align: right;">127</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	担当課	事業費（千円）	地区周辺道路 補償費算定業務等	道路建設課	627	地区周辺道路 用地補償	12,445	地区周辺道路 整備工事	82,936	地区内道路 物件移転補償	住宅課	59	公的住宅 第2期棟建設工事	397,919	公的住宅 第2期棟建設に伴う電波障害調査	462	除却予定住宅 吹付材サンプル調査		127
事業名	担当課	事業費（千円）																					
地区周辺道路 補償費算定業務等	道路建設課	627																					
地区周辺道路 用地補償		12,445																					
地区周辺道路 整備工事		82,936																					
地区内道路 物件移転補償	住宅課	59																					
公的住宅 第2期棟建設工事		397,919																					
公的住宅 第2期棟建設に伴う電波障害調査		462																					
除却予定住宅 吹付材サンプル調査		127																					
事業評価	「ウトロ地区小規模住宅地区改良事業計画」に基づき事業を実施し、ウトロ地区における住環境を改善する取組を進め、公的住宅等を整備することができた。事業完了まで引き続き三者連携のもと事業推進に取り組む。																						

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	55 千円
事業内容	「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施し、保全のために処置が必要な場合には補助金を交付する。		
成果・実績	<p>貴重な名木を保全するため、東部・西部、山間部の3つのエリアに分け、毎年1エリアずつ順番に調査しており、令和4年度は山間部エリアの調査をした。</p> <p>毎年申請に基づき処置が必要な名木に対し、適切な保全事業補助金を交付しているが、令和4年度においては申請は0件であった。</p> <p>◎名木調査委託料 20千円 ◎選定名木数 83件</p>		
事業評価	所有者からの相談等に応じて保全のために必要な助言を行い、名木の保全を図ることができた。引き続き、現在選定している名木を維持していく必要がある。		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,173 千円
事業内容	市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、公園や歩道などの一部をボランティア団体等の活動により、花及び木を植えて花壇化する。		
成果・実績	<p>町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理に必要な花苗・肥料などの支給を行った。</p> <p>◎花壇箇所数 63か所（令和4年度末時点）</p>		
事業評価	<p>公共施設の敷地の一部を花壇として維持管理してもらうことで、市内の緑化推進を図るとともに、地域活動の支援を図ることができた。継続して事業に取り組むため、より多くの団体等が参画できる仕組みづくりに努める必要がある。</p>		

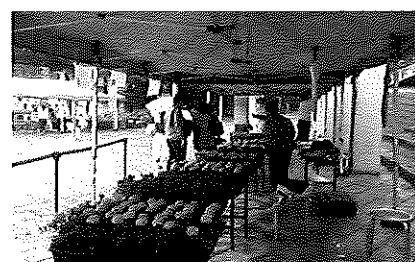


令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	120 千円
事業内容	市民の「みどり」を守り育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「緑のウォークラリー」を中心とした啓発事業を展開する。		
成果・実績	<p>宇治市緑化ボランティア「みどりの会」が植物公園において展示を行い、また「緑のウォークラリー」を実施し、緑化啓発活動を行った。</p> <p>◎みどりの会春展 開催時期：令和4年4月16日～5月8日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <p>◎みどりの会秋展 開催時期：令和4年10月1日～10月30日 開催場所：宇治市植物公園 緑の館前テラス</p> <p>◎緑のウォークラリー 開催日：令和4年4月29日(金・祝) 開催場所：宇治市植物公園及び太陽が丘</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、展示会及びウォークラリーの実施により、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後も事業効果を検証しながら、イベント内容等を工夫し、緑化啓発に努める必要がある。		



事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,179 千円
事業内容	宇治市の緑の拠点である植物公園で市民が園芸の知識及び技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	<p>「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識及び技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。</p> <p>◎ボランティア登録数 52人(令和4年度末時点)</p>		
	活動の様子		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成とその活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園バリアフリー等整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	31,861 千円
事業内容	安全で安心して公園を利用できるように公園施設のバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行う。		
成果・実績	<p>安全で安心して利用できる公園とするため、遊具の更新を行った。</p> <p>◎遊具更新公園数 17公園（琵琶台第1児童公園ほか） ◎遊具更新数 18基（大型滑り台3基、中型滑り台12基、単列シーソー1基、複合遊具1基、2径間鉄棒1基） ※複合遊具…滑り台やジャングルジムなどの遊具を組み合わせた物</p>		
事業評価	遊具の更新を行い、安全で安心して公園利用ができるように努めることができた。引き続き、公園施設の状況を把握し計画的に整備する必要がある。		

事務事業名	公園維持管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	110,651 千円
事業内容	公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。		
成果・実績	<p>公園の運営管理等、利用しやすい環境整備を行った。</p> <p>◎公園の除草・樹木剪定などの業務委託及び公園施設の修繕・維持改良などの工事を実施 ◎地元自治会・町内会の公園管理に対する報償費及び公園に係る光熱水費などの支出 ◎有料公園施設(植物公園、黄檗公園、西宇治公園)の施設修繕工事を実施</p>		
事業評価	清掃及び剪定などについて地元自治会及び外部への委託により、適正な管理に努め、利用しやすい環境を維持することができた。今後は、公園施設の管理・利用状況などを把握する中で、計画的な修繕・更新を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	公園緑地

所管部局
都市整備部

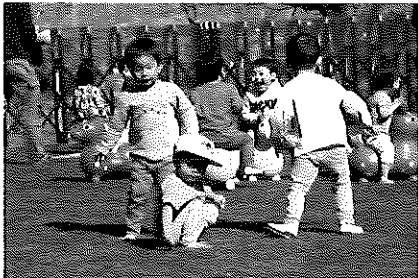

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	258,144 千円
事業内容	有料都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕などを指定管理者である（公財）宇治市公園公社が行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	<p>各施設の運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を十分行う中、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用促進、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。また、令和4年度からは指定管理者制度における利用料金制を採用した。</p> <p>指定管理者である（公財）宇治市公園公社による利用者へのサービス向上の取組として、植物公園は年間入園券、16時以降の入園料金の値下げ等を行い、運動公園はテニスコート、野球場の夏季早朝利用枠の設定等を行った。</p> <p>◎指定管理料 249,600千円</p>		
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営ができた。今後も利用者の利便性向上のため、引き続き効果的・効率的な管理運営に努めるとともに、さらなる魅力増進に向けた施設づくりに努める必要がある。		

事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課												
		決算額	89,393 千円												
事業内容	黄檗公園は、宇治市地域防災計画において防災拠点として位置付けられており、災害時における現地対策本部及び避難場所などの機能を兼ね備えた都市公園として施設の再整備を行う。														
成果・実績	<p>災害発生時の補給物資の荷捌き場として活用できるよう、駐車場の改修工事及び園路改修工事を実施</p> <p>◎駐車場及び園路改修工事の内訳</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">改修工事</td> <td style="width: 20%;">（現年分）</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">59,177千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（繰越分）</td> <td style="text-align: right;">30,000千円</td> </tr> <tr> <td>事務費等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">216千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（合計）</td> <td style="text-align: right;">89,393千円</td> </tr> </table>			改修工事	（現年分）	59,177千円		（繰越分）	30,000千円	事務費等		216千円		（合計）	89,393千円
改修工事	（現年分）	59,177千円													
	（繰越分）	30,000千円													
事務費等		216千円													
	（合計）	89,393千円													
事業評価	防災拠点としての機能強化を図ることができた。今後も国庫補助の交付状況や市の財政状況などを考慮しながら、防災機能の向上に向けて適正な整備を行う必要がある。														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	39,655 千円
事業内容	子育て世代が安全で安心して暮らせる「子育てにやさしいまち」を推進するため、植物公園、黄檗公園及び西宇治公園において、利用環境を整備するとともに、様々な団体と連携し、各種イベントや体験の取組を実施する。		
成果・実績	<ul style="list-style-type: none"> ◎「子どもの遊び」環境整備事業（ハード整備） <ul style="list-style-type: none"> ・宇治市植物公園にこども用花壇を整備 ・黄檗公園芝生広場にある遊具を改修 ・西宇治公園の中庭に人工芝を整備し、赤ちゃんを含む乳幼児親子が安全に使える広場として再生 ◎子育て応援プラットフォームの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭のサポートをしているグループを対象に「子育て応援プラットフォーム」を形成し、グループ間の交流を創出 ◎子育て応援イベント <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操教室（黄檗公園：呼吸法、ヨガ、リトミック等） ・芝生ひろばオープニング（西宇治公園：セレモニー、体操イベント） ・こども花壇植付け体験（植物公園：こども用花壇での植付け） ・キッズフェスタ（植物公園：「春の訪れコンサート」） ・講演会（茶づな：「こどもまんなかの社会実現に向けて」フォーラム） <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">「芝生ひろばオープニング」</p>		
事業評価	子どもが外遊びできる空間を整備するとともに各種イベント等を通じ、親子の交流の場を創出することができた。今後も引き続き、子育てにやさしいまちの実現に向けて、取組を推進する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	275 千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づく市民主体のまちづくりを推進するため、まちづくり活動へのさまざまな支援を行い、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を進め、まちづくりの実現を目指す。		
成果・実績	◎地区まちづくり協議会パネル展 ・開催期間 10月11日～10月14日 ・目的 協議会の活動内容について紹介 ◎うじ井戸端会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 開催見送り ◎宇治市まちづくり審議会 1回開催 委員15人 ・宇治市まちづくり審議会景観部会 1回開催 委員4人		
事業評価	うじ井戸端会議等まちづくりの情報の共有、意見交換により、地域のまちづくり活動のサポートをしてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催を控えている。今後は緩やかに再開しつつあるまちづくり活動を継続できるよう支援に努める。		



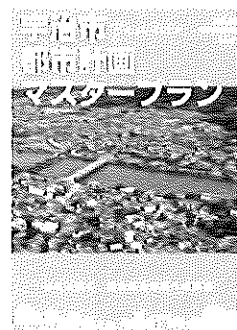
事務事業名	近鉄小倉駅東西移動円滑化概略検討事業費	所管課	都市計画課
		決算額	4,008 千円
事業内容	近鉄小倉駅における東西移動の円滑化及び駅舎改修手法の概略検討に向けて「跨線自由通路案」、「橋上駅舎案」の2案について、物理的・技術的な視点から検討を実施する。		
成果・実績	◎物理的・技術的な検証として「跨線自由通路案」、「橋上駅舎案」の2案について配置・構造に問題がないことを確認し、概算工事費を算出 ◎鉄道利用者の利便性を考慮した視点及び基本構想に示すまちづくりの早期実現の観点、地域意見などから現状の駅舎位置を大きく変更しない「跨線自由通路案」をベースとした検討を実施		
事業評価	鉄道事業者の意向も踏まえ、駅舎形式の比較検討を行うことができた。今後、策定する「まちづくり基本計画」に反映するとともに、具体的な整備手法や実現方策の検討などを進め、「まちづくり基本構想」の推進に取り組む必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	都市計画マスタープラン策定費	所管課	都市計画課
		決算額	14,740 千円
事業内容	「宇治市第6次総合計画」の策定と連携し、概ね20年後の宇治市を展望するため都市計画の基本的な方針を定める「宇治市都市計画マスタープラン」の策定を行う。		
成果・実績	<p>◎宇治市都市計画マスタープランの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画審議会の答申 令和4年4月 ・宇治市都市計画マスタープラン策定 令和4年5月 <p>◎宇治市都市計画マスタープラン策定支援業務委託</p> <p>「宇治市都市計画マスタープラン」を策定するため、上位・関連計画の整理、今後の都市づくりの方向性の整理、将来交通量予測、市の都市構造の特性及び課題の検証を行った。</p>		
事業評価	都市計画マスタープランの策定にあたり、市民の方々との対話による、より良い計画を策定するため、市民参画の新たな手法として「まちづくりオープンハウス&意見交換会」を開催し、市民とともに築く魅力ある未来への都市を基本理念とする「宇治市都市計画マスタープラン」を策定することができた。		





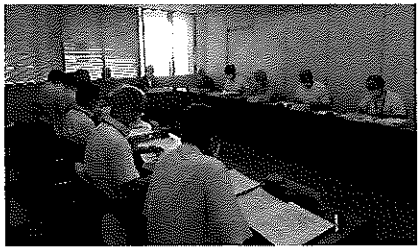
事務事業名	(仮) 未来につなぐ都市づくりプラン策定費	所管課	都市計画課
		決算額	7,796 千円
事業内容	人口減少・少子高齢化が進行するなか、人口密度と都市サービスの維持・確保を図る効率的な土地利用を進めるため、都市計画マスタープランのアクションプランである計画の策定を行う。		
成果・実績	<p>多様な視点での意見を聴取するため、有識者や関係団体で構成する検討委員会を設置し、都市が抱える課題や災害ハザードを踏まえた居住や都市サービス施設を誘導する区域設定の考え方について検討を行った。</p> <p>◎ (仮) 未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会 2回開催 委員9名</p> <p>◎ (仮) 未来につなぐ都市づくりプラン策定業務</p> <p>宇治市の現状と都市が抱える課題の分析、まちづくりの方針、災害のハザードの整理と分析を行い、(仮) 未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会で提示する資料の作成や、誘導すべき区域の考え方の検討を行った。</p>		
事業評価	(仮) 未来につなぐ都市づくりプラン検討委員会にて専門的な議論を重ねることで、宇治市の課題やまちづくりの方向性の整理ができた。今後は、幅広い市民意見の聴取や検討委員会の知見を取り入れながら、引き続き計画策定に向け取り組む。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部


事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	14,641 千円
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定された。平成27年度に策定した整備計画に基づき、重要な構成要素となっている建物の修理・修景工事に補助を行う。		
成果・実績	<p>景観の保全を図るため、重要な構成要素となっている建物の改修について所有者等と調整を行った。修理・修景事業としては、上林家住宅長屋門屋根葺き替え、茶房あじろ屋根等修理、寺川家土蔵外壁補修の3件の工事に補助を行った。また、文化的景観地区連絡協議会の大会や文化庁の研修に参加するなど情報共有を図った。</p> <p style="text-align: center;">茶房あじろ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 修理前 修理後 </p>		
事業評価	重要構成要素の修理等実施することにより、宇治の文化的景観を保存することができた。引き続き、歴史的な資産と一体となった魅力あふれる宇治のまちづくりを進める必要がある。		


事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6,246 千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現とともに平成24年3月に策定した宇治市歴史的風致維持向上計画により、お茶と宇治のまち歴史公園の整備等、様々な取組を総合的に実施する。また、現行計画（第1期計画）期間が終了するため最終評価を行うとともに、第2期計画の策定を行う。		
成果・実績	<p>外部委員等により構成された歴史的風致維持向上協議会を開催して、平成24年3月に認定を受けた第1期計画の進行管理を行うとともに、第2期計画策定に向けて検討した。第2期計画については、令和5年3月国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣3大臣の認定を受けた。</p> <div style="text-align: right;">  <p>歴史的風致維持向上協議会</p> </div>		
事業評価	第1期計画では、歴史公園の整備、無電柱化等を実施することができた。引き続き、第2期計画において歴史公園を活用した情報発信や未指定文化財の保護などに取り組むことで、宇治の歴史的風致維持向上を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	36千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行うとともに、関係機関と協働して違反広告物の一斉撤去を年1回実施する。		
成果・実績	違反広告物追放推進団体員として、1団体2人を登録し、違反広告物の除却を行うとともに、関係機関による違反広告物の一斉撤去を行った。 ◎違反広告物撤去枚数 42枚		
			
事業評価	市民や関係機関と協働して違反広告物の除却を推進したことにより、良好なまちなみ形成と景観への意思向上を図ることができた。今後も、登録団体数の増加を図るとともに、関係機関と連携し地域の目による抑止力の向上及び景観意識の向上に努める必要がある。		


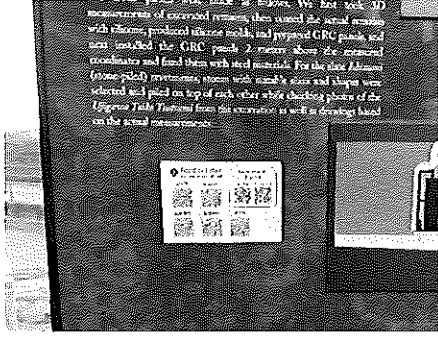
事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	1,463千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を行う。また、京都府、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言を受け、良好な景観の形成を推進する。		
成果・実績	景観形成助成事業として、建築物（1件）及び工作物（1件）に対して、景観形成助成を行った。宇治市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。また、景観アドバイザー会議を3回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成の推進を行った。		
			
	改修前	改修後	
事業評価	景観重要建造物の修繕工事への景観形成助成を行うことで、建造物の保全への支援と、良好な景観の形成を図ることができた。引き続き、建築物や工作物・屋外広告物の新築や改修工事への景観形成助成を行うことで、地域住民の景観に対する意識を高め、良好な景観の形成を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部


事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6千円
事業内容	平成27年4月より京都府から権限移譲を受け、風致地区内の建築行為等の許可事務を行うことで、風致地区内の風致の維持を行う。		
成果・実績	風致地区内の建築行為等の許可事務を行った。 ◎許可事務取扱件数 112件		
事業評価	許可基準及び「宇治市景観計画」に基づき、風致の維持を図ることができた。引き続き、風致の維持と良好な景観の形成を図る。		


事務事業名	お茶と宇治のまち歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	6,650千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、歴史公園の整備を行う。		
成果・実績	遺構の解説版と多言語解説のための二次元コードの設置を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>解説板</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>二次元コード</p> </div> </div>		
事業評価	情報発信の取組として解説版等の設置を行うことができた。なお、令和4年度をもって、整備事業は完了となる。今後は、宇治川太閤堤跡の情報発信及び施設の活用に向けて、取組を推進する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	歴史、景観、文化財保護

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	3,656千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、宇治市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	重要文化財松殿山荘修礼講堂及び事務所ほか1棟の保存修理や、市指定文化財大幣神事など、20件の事業に対して補助を行った。		
			
	大幣神事		
事業評価	文化財の修理等への補助を実施したことにより、文化財の保全に努めることができた。引き続き、優先順位等を見極めて文化財保護の推進を図るとともに、未指定を含めた文化財の修理等への補助を実施する中で、保存・活用に努める必要がある。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	7,337千円
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。		
成果・実績	国庫補助事業としては瓦塚古墳の発掘調査を実施し、遺構の分布状況など遺跡の状況把握に努めた。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、受託事業として宇治市街遺跡の発掘調査を実施した。		
			
	瓦塚古墳 発掘調査		
事業評価	市内に遺存する重要な遺跡について発掘調査及び調査記録の作成することにより、文化財の保存を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	市街地形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																		
		決算額	345 千円																		
事業内容	無秩序な開発事業を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、宇治市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設などの整備について適切な協議及び指導を行う。																				
成果・実績	宇治市における開発事業について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」及び関係法令に基づき適切な協議及び指導を行った。																				
	◎開発指導事務費 345千円 ◎宅地開発等協力寄附金（歳入） <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: right;">19,219</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: right;">7,858</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: right;">625</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: right;">27,702</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額（千円）	宅地開発事業		5	19,219	特定用途 建築行為	集合住宅	6	7,858	集合住宅以外	2	625	合 計		13
		件数	金額（千円）																		
宅地開発事業		5	19,219																		
特定用途 建築行為	集合住宅	6	7,858																		
	集合住宅以外	2	625																		
合 計		13	27,702																		
事業評価	開発事業について条例及び関係法令に基づき適切な協議及び指導を実施したことにより、良好な居住環境の整備を図ることができた。今後も引き続き事業者に対して宇治市のまちづくりへの理解と協力を求め、適切な協議及び指導を行う。																				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
都市整備部

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	25,247千円
事業内容	<p>「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第6条により、平成28年度に「宇治市建築物耐震改修促進計画」を改定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。</p>		
成果・実績	<p>旧耐震住宅の多い地域を中心に、順次、啓発チラシの配布や個別訪問を実施した。また、防災フェア、その他防災関係のイベントなどでパネル展示、耐震化への啓発、リーフレット・チラシ配布などの啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎木造住宅耐震診断 73件 ◎木造住宅耐震改修 27件（本格改修15棟、簡易改修12棟） ◎大規模建築物耐震化支援事業 1件 		
事業評価	<p>耐震診断・耐震改修の助成制度を実施したことにより、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。今後も効果的な取組となるよう検討し、建築物の耐震化を図る必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																			
		決算額	647 千円																			
事業内容	建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事または民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。宇治市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全で安心な、環境にやさしい建築物の供給、法的的確な履行に取り組んでいる。																					
成果・実績	◎建築確認等申請件数（計画通知を含む・計画変更含まず）																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>14</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>564</td> <td>28</td> <td>12</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>578</td> <td>30</td> <td>21</td> <td>629</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築主から建築基準法に基づく申請を受け、建築確認処分を行った。 また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるように以下の各事業に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎違反建築物対策（行政指導件数 38件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発及び現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。 ◎長期優良住宅の認定（認定件数 158件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。 ◎建設リサイクル法に基づく業務（届出362件・通知112件 合計 474件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のため広報及び現場パトロールを実施した。 ◎都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく業務（認定件数 14件） 市街化区域内における低炭素化等の措置が講じられている建築物について、その措置に係る基準に適合していることについて認めた。 ◎建築物省エネルギー法に基づく届出（届出件数 13件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置の届出の受理を行った。 ◎建築物省エネルギー法に基づく省エネ性能向上計画認定（認定件数 1件） 一定規模以上の建築物について義務付けられている省エネルギー措置以上の基準（誘導基準）に適合することについて認めた。なお、規模要件は無い。 ◎京都府地球温暖化対策条例 兼 京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例に基づく業務（届出件数 4件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、2,000㎡以上の建築物に対して義務付けられている計画書等の届出の受理を行った。 ◎京都府再生可能エネルギーの導入の促進に関する条例に基づく完了届出受理（届出件数 3件） 当該条例に基づき、300㎡以上2,000㎡未満の準特定建築物に対して義務付けられる再生可能エネルギー設置完了について届出の受理を行った。 				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	14	2	9	25	民間確認検査機関	564	28	12	604	合計	578	30	21
	建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	14	2	9	25																		
民間確認検査機関	564	28	12	604																		
合計	578	30	21	629																		
事業評価	パトロール等の啓発活動を実施したことにより、建築確認・検査制度の適正な執行及び適正な建築物の供給を担保することができた。今後も効果的な啓発内容を検討しながら、適正な建築物の供給に努める必要がある。																					

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防災、河川・治水

所管部局
都市整備部

事務事業名	近鉄大久保駅付近高架橋耐震改修事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	10,000 千円
事業内容	南海トラフ地震等の大規模地震の発生に備え、災害時の市民の安全や公共交通機関としての移動手段確保のため、宇治市国土強靱化計画に基づき、高架橋等の鉄道施設について利用者の安全を確保する観点から、国・京都府と連携しながら鉄道事業者を支援する。		
成果・実績	近畿日本鉄道(株)が、国の「鉄道施設総合安全対策事業費補助」を活用して実施する事業に対し、補助を実施した。		
事業評価	補助を実施したことにより、令和4年度をもって近鉄大久保駅付近高架橋の耐震補強が完了し、災害時における市民の安全や公共交通機関としての移動手段を確保することができた。		

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	2,039 千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>保育所(園)、認定こども園、幼稚園、小・中・高等学校において、警察の協力のもと、それぞれの学習段階に応じた交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーの普及に努めた。あわせて、宇治市交通安全対策協議会等の関係機関・団体とも連携し、交通安全運動期間における街頭啓発活動を始めとする取組により、市民の交通安全の意識向上を図った。</p> <p>また、地域からの交通安全要望を踏まえ、必要な交通規制及び安全対策を実施するため、警察及び関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全確保に努めた。</p> <p>◎交通安全教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 87回 ・受講者数 延べ約5,900人 		
事業評価	交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全への意識向上を図ることができた。今後も引き続き、関係機関とより一層の連携を図る中で、多様な取組手法により交通安全対策に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	防犯、事故防止

所管部局
都市整備部

事務事業名	高齢者運転免許証自主返納支援事業費	所管課	交通政策課
		決算額	1,000 千円
事業内容	高齢者の運転による交通事故の抑制を図るため、高齢者の運転免許証の自主返納を支援する。		
成果・実績	<p>対象者に対して、ICOCA 2,000円分（デポジット 500円を含む）を支援した。また、市民への支援事業の周知については、街頭啓発活動時のチラシ配布や、FMうじでの放送等により行った。</p> <p>◎対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効な運転免許証を自主的に返納（全部取消）した人 ・自主返納及び申請時点で宇治市に住民登録がある人 ・自主返納した時点で65歳以上の人 ・返納した日から起算して1年以内に支援事業の申請をした人 <p>◎申請状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請者数 476人 		
事業評価	事業を実施することで、運転に不安を感じている高齢者の運転免許証の自主返納を支援することができた。		

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	交通バリアフリー推進事業費	所管課	交通政策課
		決算額	7,164 千円
事業内容	平成17年に策定した「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき、市内のバリアフリー化に取り組んできたが、平成18年の法改正及び平成23年の国の基本方針の見直しを受け、全体構想を見直すとともに、新たに木幡駅・黄檗駅・伊勢田駅周辺地区の基本構想を策定し、更なる市内のバリアフリー化を推進する。		
成果・実績	基本構想をもとに、JR黄檗駅のバリアフリー化工事に向けた調整を行い、詳細設計を行った。引き続き、令和7年度完成に向けて事業を推進する。		
事業評価	駅のバリアフリー化事業に取り組むことにより、高齢者・障害者等の移動の円滑化を進めることができた。引き続き、関係機関と連携しながら駅周辺のバリアフリー対策を進める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	山間地域移動支援事業費	所管課	交通政策課									
		決算額	300 千円									
事業内容	地域の協力体制のもと山間地域の移動手段確保のため、持続的な交通を提案し普及させることを目的とし、炭山助け合い移動支援事業を公共交通空白地有償運送の登録を行い、その運行等について支援を行うとともに、持続可能な交通の検討を行う。											
成果・実績	<p>炭山区町内会において、令和4年2月1日から公共交通空白地有償運送の運行を開始し、運行への支援を行うとともに地域の持続的な交通について協議を行った。</p> <p>◎経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年11月29日 宇治市地域公共交通会議開催 ・ 令和3年12月2日 地域が京都運輸支局へ公共交通空白地有償運送の登録申請提出 ・ 令和4年1月24日 京都運輸支局より登録証発行 ・ 令和4年2月1日 公共交通空白地有償運送運行開始 <p>◎運行実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行回数</td> <td>20回</td> <td>118回</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>22人</td> <td>129人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和3年度は2月から運行</p>				令和3年度	令和4年度	運行回数	20回	118回	延べ利用者数	22人	129人
	令和3年度	令和4年度										
運行回数	20回	118回										
延べ利用者数	22人	129人										
事業評価	定期的に炭山区町内会と協議を行い、持続可能な移動手段確保の検討を進めるとともに、地域に対し支援を行うことにより、移動手段確保に寄与した。今後も引き続き地域と協働して持続可能な移動手段確保の検討を行う。											

事務事業名	のりあい交通事業臨時支援事業費	所管課	交通政策課
		決算額	2,929 千円
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、のりあい交通事業の利用者数が大きく落ち込むなか、宇治市のりあい交通事業に関する要領に基づき、地域の公共交通の確保に取り組む運営委員会活動を臨時的に支援する。		
成果・実績	宇治市のりあい交通事業を活用し運行を継続されている明星町自治会に対して、利用促進等の運営委員会活動にかかる補助を実施した。		
事業評価	運営委員会の活動を支援することで事業継続に繋げることができた。地域の公共交通を維持するために、地域住民、交通事業者、宇治市の三者協働のもと引き続き利用促進に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	地域公共交通活性化事業費	所管課	交通政策課
		決算額	3,718 千円
事業内容	バス路線の再編等により公共交通の利用が困難となった明星町・西小倉・槇島町の3地域において公共交通を確保するため、地域住民と協働で「宇治市のりあい交通事業」に取り組む。また、全市的な利用促進に取り組み、公共交通の活性化を図る。		
成果・実績	<p>明星町・西小倉・槇島町の3地域を対象に創設した「宇治市のりあい交通事業」の活用により、明星町で運行を継続することができた。</p> <p>また、利用促進の取組として、イベントでの啓発やお出かけマップの配布などを行うことで、公共交通の理解を深めることができた。</p> <p>◎宇治市のりあい交通事業 明星町地区のりあい交通事業 利用者数：33,815人</p> <p>◎利用促進の取組 市内各種イベントでの利用啓発 ・令和4年10月22日 「宇治橋通り笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」 ・令和4年11月27日 「宇治環境フェスタ」 お出かけマップ配布数 約2,000枚</p>		
事業評価	宇治市のりあい交通事業や全市的な利用促進に取り組むことにより、公共交通の確保に努めることができた。今後も地域住民と協働して公共交通の利用促進に努めるとともに、利用実態に応じた持続可能な移動手段確保を検討する必要がある。		

事務事業名	地域公共交通燃料費高騰対策事業費	所管課	交通政策課												
		決算額	5,595 千円												
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により経営状況が厳しい中で、燃料油費の高騰により、更なる影響を受けている市内交通事業者に対し、支援を行う。														
成果・実績	<p>市内交通事業者に対し、令和2年2月を基準年とし、高騰分の1/2(ガソリン10円、LPガス5円)を上限に補助を実施した。</p> <p>◎補助実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th>交通事業者</th> <th>件数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バス事業者</td> <td style="text-align: center;">1件</td> <td style="text-align: right;">768,901円</td> </tr> <tr> <td>タクシー事業者</td> <td style="text-align: center;">16件</td> <td style="text-align: right;">4,826,584円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">17件</td> <td style="text-align: right;">5,595,485円</td> </tr> </tbody> </table>			交通事業者	件数	補助額	バス事業者	1件	768,901円	タクシー事業者	16件	4,826,584円	合計	17件	5,595,485円
交通事業者	件数	補助額													
バス事業者	1件	768,901円													
タクシー事業者	16件	4,826,584円													
合計	17件	5,595,485円													
事業評価	燃料価格の高騰により影響を受けている交通事業者に対し、事業継続及び需要回復局面における供給の下支えとして、必要な支援を行うことができた。														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	新たな移動手段確保推進費	所管課	交通政策課
		決算額	245 千円
事業内容	駅やバス停留所から距離のある地域を対象に、移動ニーズの特性を把握する中で、既存公共交通との整合性を図りながら、公共交通に限らない移動手段を含めた検討を行う。		
成果・実績	地域要望、一定規模の居住地、丘陵地などの地形的要因から選定した地域でのヒアリングを通じて移動実態の把握に努めるとともに、榎島町紫ヶ丘地域で開催した学識経験者による「持続可能な公共交通に向けた懇話会」について、当日の映像をホームページ上で公開することで、対象地域を含む市全体に向けて公共交通に関する意識啓発を行った。 また、駅やバス停留所から距離のある地域において、高齢者の買い物支援のための必要最小限の移動手段を確保するために、榎島町紫ヶ丘地域において、地域、病院との協働の取組を進め、令和5年1月20日から宇治徳洲会病院が運行する送迎車両を活用した実証運行を開始した。		
事業評価	地域ごとの移動実態を把握する中で、病院送迎車両を活用した新たな移動手段を検討し、榎島町紫ヶ丘地域で実証運行を開始することができた。今後、同地域での本格運行移行を検討するとともに、他の地域においても地域と協働した新たな取組を検討する必要がある。		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																												
		決算額	161,445 千円																												
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止、歩行者及び通行車両などの安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に16か所の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学などで利用される自転車等を収容する。																														
成果・実績	令和4年度の利用台数は、前年度からは増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比べると、依然として減少傾向にある。 ◎自転車等駐車場利用台数 (台) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">自転車</td> <td>一時利用</td> <td style="text-align: right;">101,642</td> <td style="text-align: right;">73,527</td> <td style="text-align: right;">80,945</td> <td style="text-align: right;">101,599</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td style="text-align: right;">11,155</td> <td style="text-align: right;">9,850</td> <td style="text-align: right;">10,246</td> <td style="text-align: right;">10,395</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原動機付自転車等</td> <td>一時利用</td> <td style="text-align: right;">27,688</td> <td style="text-align: right;">18,293</td> <td style="text-align: right;">21,396</td> <td style="text-align: right;">25,962</td> </tr> <tr> <td>定期利用</td> <td style="text-align: right;">2,541</td> <td style="text-align: right;">2,191</td> <td style="text-align: right;">2,083</td> <td style="text-align: right;">2,011</td> </tr> </tbody> </table>			年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	自転車	一時利用	101,642	73,527	80,945	101,599	定期利用	11,155	9,850	10,246	10,395	原動機付自転車等	一時利用	27,688	18,293	21,396	25,962	定期利用	2,541	2,191	2,083	2,011
年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度																										
自転車	一時利用	101,642	73,527	80,945	101,599																										
	定期利用	11,155	9,850	10,246	10,395																										
原動機付自転車等	一時利用	27,688	18,293	21,396	25,962																										
	定期利用	2,541	2,191	2,083	2,011																										
事業評価	施設の適切な管理運営により、市民の利便性の向上及び自転車等の放置防止に努め、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。施設の老朽化等の問題があるため、利用者ニーズを踏まえながら、自転車等駐車場の利便性の向上や施設規模の適正化を図る必要がある。																														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課		
		決算額	3,087 千円		
事業内容	駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者及び通行車両などの安全確保を図る。				
成果・実績	151台の自転車を撤去し、68台を所有者に返還した。他の自転車はリサイクル自転車として活用するため福祉施設に無償譲渡したほか、有価物として売却を行った。				
	◎放置自転車撤去台数等 (台)				
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	撤去台数	200	98	110	151
	返還台数	74	30	36	68
	売却処理台数	51	49	70	47
事業評価	自転車放置対策に係る啓発及び放置自転車の撤去などを実施したことにより、歩行者及び通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、引き続き事業の効率化を図りつつ、放置防止対策に努める必要がある。				

事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課		
		決算額	5,564 千円		
事業内容	JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。				
成果・実績	駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等に利用されている。令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により、利用台数が減少したが、令和4年度については、増加傾向にある。				
	◎自動車駐車場利用台数 (台)				
	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	JR宇治駅前	25,295	21,806	22,630	24,620
	近鉄大久保駅前	137,136	101,701	137,042	173,607
事業評価	指定管理者によって、適切に管理運営できた。迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、今後も適切な施設管理・運営に努める必要がある。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	交通

所管部局
都市整備部

事務事業名	自転車等駐車場整備費	所管課	交通政策課
		決算額	159,058 千円
事業内容	平成31年3月に策定した「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」に基づき、駅毎の稼働率や施設老朽化の状況などに応じた自転車等駐車場の再整備を実施する。		
成果・実績	JR六地蔵駅前自転車等駐車場及び近鉄小倉駅西側自転車等駐車場を再整備するにあたり、建築工事や用地購入などを行った。		
事業評価	「宇治市自転車等駐車場再整備実施方針」に基づき、JR六地蔵駅及び近鉄小倉駅において建築工事等を行うことで、自転車等駐車場の利便性向上及び規模適正化を進めることができた。		

事務事業名	JR奈良線複線化事業補助金	所管課	交通政策課
		決算額	879,675 千円
事業内容	JR奈良線の高速化・複線化第二期事業については、京都府・宇治市を含む沿線市町・JR西日本で締結された「基本協定書」「実施等に関する協定書」及びこれらの変更協定書に基づき、補助金をJR西日本に支出し、事業の推進を図っている。		
成果・実績	令和元年度末に変更基本協定書、実施等に関する変更協定書が締結され、労務賃金の上昇、環境対策の追加等による総事業費の増加、環境アセスメントの開業後対応などにより、令和6年度まで1年間の工事期間延長を行っている。 令和5年3月18日にJR奈良線の高速化・複線化第二期事業を開業した。 (JR藤森～宇治間、新田～城陽間、山城多賀～玉水間)		
事業評価	第二期複線化開業により、京都～城陽間、山城多賀～玉水間が複線となることで、平日朝通勤時間帯の列車増発、所要時間の短縮、運転間隔の均等化、運行ダイヤの安定性の向上の他、駅の構内改良等による利便性・安全性の向上が図られた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	緊急安全対策関連事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	50,324 千円
事業内容	安全対策に向けて、幼稚園・小学校に地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児・児童の安全確保を図るとともに、防犯カメラの設置等を実施する。		
成果・実績	<p>◎地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 26,793千円 25校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>◎安全対策強化費（教育総務課） 22,828千円 小学校の防犯カメラを更新・増設し、校内及び周辺的安全対策を実施</p> <p>◎幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 703千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った</p>		
事業評価	各校園において安全対策を講じるとともに、私立幼稚園の安全対策に対して適切に補助を行うなど、安全確保に努めた。適切な安全対策の構築を行うため、今後も検討を行うとともに、他の地域安全活動との連携も図りながら、安心して学べる環境づくりに努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校管理課												
		決算額	115,033千円												
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断を実施し、環境衛生の確保に努めるとともに、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。														
成果・実績	<p>園児、児童・生徒の健康診断及び各種検診・検査を実施した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種検診・検査の時期等を調整の上実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">◎結核予防対策費</td> <td style="text-align: right;">11千円</td> </tr> <tr> <td>◎小学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">69,819千円</td> </tr> <tr> <td>◎小学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">5,589千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校保健管理費</td> <td style="text-align: right;">33,269千円</td> </tr> <tr> <td>◎中学校心臓検診充実費</td> <td style="text-align: right;">2,827千円</td> </tr> <tr> <td>◎幼稚園保健管理費</td> <td style="text-align: right;">3,517千円</td> </tr> </table>			◎結核予防対策費	11千円	◎小学校保健管理費	69,819千円	◎小学校心臓検診充実費	5,589千円	◎中学校保健管理費	33,269千円	◎中学校心臓検診充実費	2,827千円	◎幼稚園保健管理費	3,517千円
◎結核予防対策費	11千円														
◎小学校保健管理費	69,819千円														
◎小学校心臓検診充実費	5,589千円														
◎中学校保健管理費	33,269千円														
◎中学校心臓検診充実費	2,827千円														
◎幼稚園保健管理費	3,517千円														
事業評価	法令に定める健康診断及び各種検診・検査を実施し、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図った。今後も引き続き実施する。														


事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校管理課・学校教育課								
		決算額	20,388千円								
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の負担を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。										
成果・実績	<p>笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。（笠取小学校特認校児童等の送迎を含む）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">◎特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">70千円</td> </tr> <tr> <td>◎笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">748千円</td> </tr> <tr> <td>◎笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">17,700千円</td> </tr> <tr> <td>◎笠取地区学校給食運搬車更新</td> <td style="text-align: right;">1,870千円</td> </tr> </table>			◎特認入学パンフレット印刷費	70千円	◎笠取地区通学バス等維持管理費	748千円	◎笠取地区通学バス等運行委託料	17,700千円	◎笠取地区学校給食運搬車更新	1,870千円
◎特認入学パンフレット印刷費	70千円										
◎笠取地区通学バス等維持管理費	748千円										
◎笠取地区通学バス等運行委託料	17,700千円										
◎笠取地区学校給食運搬車更新	1,870千円										
事業評価	スクールバス及び給食配送車を運行し、へき地における教育水準の維持・向上を図った。山間部の通学と特認校制度の運用に必要なとなっているが、車両の有効活用のため、利用状況等を把握し、その他の活用方法についても検討する必要がある。										



令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校管理課												
		決算額	836 千円												
事業内容	児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。														
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施児童数は前年より564人減となった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">◎事業実施児童数</td> <td style="width: 35%;">2,943人</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 35%;"></td> </tr> <tr> <td>◎事業実施率</td> <td>約33.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎平均実施回数</td> <td>26回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			◎事業実施児童数	2,943人			◎事業実施率	約33.2%			◎平均実施回数	26回		
◎事業実施児童数	2,943人														
◎事業実施率	約33.2%														
◎平均実施回数	26回														
事業評価	乳児から永久歯に生え変わる時期に、フッ素化合物による洗口を実施することで、児童の健全な発育を図るとともに、児童の健康に対する自己管理を推進した。京都府の動向を注視しつつ、効果的な実施手法について引き続き検討する必要がある。														

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校管理課												
		決算額	248,165 千円												
事業内容	小学校給食運営の中で、宇治市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の環境整備を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">◎調理業務委託料</td> <td style="width: 35%;">14校委託</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 35%; text-align: right;">216,346千円</td> </tr> <tr> <td>◎非常勤職員（学校栄養士）配置</td> <td>10校</td> <td></td> <td style="text-align: right;">28,128千円</td> </tr> <tr> <td>◎給食用食器・トレイ購入費（更新）など</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,691千円</td> </tr> </table>			◎調理業務委託料	14校委託		216,346千円	◎非常勤職員（学校栄養士）配置	10校		28,128千円	◎給食用食器・トレイ購入費（更新）など			3,691千円
◎調理業務委託料	14校委託		216,346千円												
◎非常勤職員（学校栄養士）配置	10校		28,128千円												
◎給食用食器・トレイ購入費（更新）など			3,691千円												
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、食器の更新等、学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進した。今後も円滑な業務遂行に努める。														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校管理課																								
		決算額	6,783 千円																								
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを基本としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。																										
成果・実績	<p>◎利用実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 25%;">平均利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">3.6%</td> <td>西宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td style="text-align: center;">0.1%</td> <td>広野中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> <td>東宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>北宇治中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> <td>木幡中学校</td> <td style="text-align: center;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>榎島中学校</td> <td style="text-align: center;">0.4%</td> <td>黄檗中学校</td> <td style="text-align: center;">0.5%</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	平均利用率	学校名	平均利用率	南宇治中学校	3.6%	西宇治中学校	0.5%	西小倉中学校	0.1%	広野中学校	0.5%	宇治中学校	0.4%	東宇治中学校	0.2%	北宇治中学校	0.4%	木幡中学校	0.2%	榎島中学校	0.4%	黄檗中学校	0.5%
学校名	平均利用率	学校名	平均利用率																								
南宇治中学校	3.6%	西宇治中学校	0.5%																								
西小倉中学校	0.1%	広野中学校	0.5%																								
宇治中学校	0.4%	東宇治中学校	0.2%																								
北宇治中学校	0.4%	木幡中学校	0.2%																								
榎島中学校	0.4%	黄檗中学校	0.5%																								
事業評価	弁当を持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供し、生徒の健全な発育を促進した。中学校給食の実施までの間、より効率的な事業実施方法を引き続き検討する必要がある。																										

事務事業名	中学校給食準備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	6,364 千円
事業内容	中学校給食の実施に向け、給食センターの用地確保に向けた調整をはじめ、設計・施工の一括発注であるデザインビルド方式による整備に向けて検討を行う。		
成果・実績	<p>中学校給食検討委員会の意見を踏まえ策定した「宇治市中学校給食基本構想」に基づき、給食センターの建設候補地となる用地の確保に向けて関係機関（法務省）との協議や整備手法の検討、各学校現場との調整を行った。</p> <p>また、学校給食センター基本計画の策定、デザインビルド方式による給食センター整備事業の発注準備や各校への配膳室設置に向けての準備を行った。</p> <p>◎給食センター候補地造成計画検討業務委託 5,066千円 ◎配膳室設計前調査等 1,298千円</p>		
事業評価	令和8年4月の中学校給食実施に向けて、用地の早期取得に向けた調整を引き続き行うとともに、給食センター施設整備に向けた契約や各学校現場との調整を進める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	学校給食費高騰緊急支援事業費	所管課	学校管理課
		決算額	9,000 千円
事業内容	原油価格や食料品の価格が上昇している中でも、これまで通りの学校給食が実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、宇治市学校給食会に対して給食費の補助を行う。		
成果・実績	宇治市学校給食会からの実績報告に基づき、事業補助金を交付した。 ◎補助対象期間 令和4年7月1日～令和5年3月31日 ◎補助金額 9,000千円		
事業評価	本補助金を適用することで、食料品等の価格が上昇している中でも、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施することができた。令和5年度も、引き続き、これまで通りの栄養バランスや量を保った学校給食を、保護者の負担を増やすことなく実施できるように学校給食会に対して給食費の補助を行う。		

事務事業名	感染防止用資材等整備事業費	所管課	教育総務課・学校管理課
		決算額	50,960 千円
事業内容	小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液・石鹼・マスクなどの保健衛生物品のほか、サーマルカメラ、パーテーションなどの購入や、校外学習などで密を避けるためのバスの増便などの対応を行う。		
成果・実績	◎消毒液・石鹼・マスク・非接触体温計などの保健衛生物品やサーマルカメラ、パーテーションなどの整備等 36,896千円 ◎校外学習等で密を避けるためのバスの増便や健診器具の滅菌など 14,064千円		
事業評価	国の補助金を活用し、各学校に予算配分を行う中で、学校長の意見を聞きながら物品購入等を行い、児童生徒及び教職員の感染症対策を実施した。令和5年度は、引き続き、各学校における換気対策支援整備を実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校、幼稚園維持整備事業費	所管課	学校管理課
		決算額	212,327 千円
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化や損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施するとともに、体育館非構造部材の耐震改修等、大規模改造事業を実施する。		
成果・実績	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。		
	事業名	主な内容	事業費(千円)
	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理他	73,393
	小学校施設整備費	各小学校施設の環境整備他	17,159
	小学校大規模改造事業費	菟道第二、北槇島小学校体育館 非構造部材耐震改修工事他	86,250
	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理他	26,960
	中学校施設整備費	各中学校施設の環境整備他	7,117
	幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理他	1,448
事業評価	教育施設の老朽化等に対応し、計画的に改修工事等を実施した。今後も計画的に施設の維持・保全に努め、園児、児童・生徒が安全で安心して授業に臨むことができるよう、教育環境の整備を図る。		

事務事業名	学校照明LED化事業費	所管課	学校管理課	
		決算額	75,525 千円	
事業内容	児童・生徒の学習環境の維持向上及び学校施設の脱炭素化を進めるため、照明のLED化を実施する。			
成果・実績	小学校・中学校の照明設備について、LED照明器具への更新を実施			
	小学校	事業費(千円)	中学校	
	菟道第二小学校	46,565	西宇治中学校	28,960
	小倉小学校		木幡中学校	
	大開小学校		東宇治中学校	
	木幡小学校			
	南部小学校			
	伊勢田小学校			
事業評価	照明器具のLED化により学校環境の向上を実現できた。夏休み及び冬休み期間を中心にLED化改修を実施しており、今後、温室効果ガス排出量の削減効果等の検証を行う。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	生涯学習課									
		決算額	1,685 千円									
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、地域住民が学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。											
成果・実績	◎利用状況											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 20%;">視聴覚室</th> <th style="width: 20%;">音楽室</th> <th style="width: 20%;">美術室</th> <th style="width: 20%;">調理室</th> <th style="width: 20%;">図書室</th> </tr> <tr> <td>54件</td> <td>121件</td> <td>54件</td> <td>0件</td> <td>123人</td> </tr> </table>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	54件	121件	54件	0件
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室								
54件	121件	54件	0件	123人								
	◎西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、コーラス及び楽器の演奏など、日頃の活動の成果を発表する場だが、令和4年度は令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。											
事業評価	学校活動の再開に合わせて、年度途中から利用制限を段階的に解除し、利用者の活動も再開され、地域の生涯学習活動の場を提供することができた。活動の成果発表イベントは運営委員会が時期尚早と判断したため中止となったが、中学生と一緒に運営するイベントとして引き続き再開に向けて実施方法を検討する。											

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課												
		決算額	33 千円												
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。														
成果・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら教室及び講座を開催し、延べ162人の参加があった。														
	◎各障害者教室開催状況														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 30%;">対象者</th> <th style="width: 30%;">人数</th> </tr> <tr> <td>やまぶき学級</td> <td>心身障害者</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>合同社会見学</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>合同講座（一般含む）</td> <td>市内在住・在勤</td> <td>122人</td> </tr> </table>			内容	対象者	人数	やまぶき学級	心身障害者	中止	合同社会見学	市内在住・在勤	40人	合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	122人
内容	対象者	人数													
やまぶき学級	心身障害者	中止													
合同社会見学	市内在住・在勤	40人													
合同講座（一般含む）	市内在住・在勤	122人													
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、障害の種別によって中止した事業もあるが、対策を取って府外への社会見学を再開することができた。また、障害がある人・ない人が共に学ぶ講座を設け、共生社会の形成に向けて市民の共通理解を進める場とできた。今後もインクルーシブな学びの機会の提供に努める。														

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	2,191千円	
事業内容	公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲及び社会の変化に対応する各種講座及び教室の開設、文化活動事業など学習機会を提供する。			
成果・実績	◎決算額内訳 中央公民館 1,187千円 宇治公民館 134千円 木幡公民館 290千円 小倉公民館 322千円 広野公民館 258千円			
	◎子どもを対象とした事業、公民館サークル発表会など			
	公民館名	事業名	回数	参加延べ人数
	中央	夏休み親子木工教室	2回	25人
		人形劇フェスティバル	1回	109人
		成人講座（水彩画入門）	3回	42人
		春を呼ぶサタデーコンサート	1回	78人
		子どものあそび場	12回	188人
		中央公民館サークル発表会（2日間）	1回	1,050人
	宇治	トマトケチャップづくり講習会	1回	10人
		味噌づくり講習会	2回	20人
		宇治の形・学びの広場	1回	40人
	木幡	チャレンジ・やってみよう	5回	113人
		こはた大発見	3回	145人
		親と子のちよっとおしゃれな木幡倶楽部	4回	83人
		ケーキづくり	1回	20人
		手づくりみそづくり	2回	18人
		木幡公民館サークル発表会（4日間）	1回	390人
	小倉	おぐらクッキングクラブ	5回	91人
		夏休み子どもふれあい広場	1回	19人
子ども教室（親子農業体験）		3回	184人	
子ども教室（書き初め教室）		1回	46人	
お茶を使ったスイーツづくり		2回	24人	
手づくり味噌講習会		2回	20人	
小倉公民館サークル発表会（2日間）	1回	350人		
広野	子ども茶道教室	8回	111人	
	科学の教室	4回	34人	
	音楽の広場	1回	19人	
	サークル活動展（水彩画・水墨画）	1回	100人	
	広野公民館展示発表会（1日間）	1回	200人	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課	
		決算額	2,191 千円	
成果・実績	◎高齢者を対象とした事業（宇治鳳凰大学・公民館高齢者教室）			
	公民館名	事業名	講座数	
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）		各7回
		宇治鳳凰大学祭		1回
	宇治	宇治鳳凰学級		6回
	木幡	木幡許乃国教室		6回
	小倉	小倉蓮の実教室		6回
広野	広野久里古教室		6回	
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、公民館における活動成果の発表会を全館で開催することができた。高齢者の外出及び学習の機会となる講座や、子どもたちに体験してほしい活動、各館の立地を生かした事業などを実施し、市民の学びの場の確保に取り組む。			

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課	
		決算額	114,752 千円	
事業内容	「自然とのふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。			
成果・実績	野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供する等、生涯学習の推進を図った。平成11年度から令和4年度までの延べ利用者数は約203万人となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施した休所・利用制限の影響で、大幅に減少していた利用者数については、コロナ禍以前の状況に戻りつつある。			
	◎利用者数 (人)			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	宿泊	32,600	30,787	8,401
	日帰り	65,743	66,178	53,732
合計	98,343	96,965	62,133	
事業評価	指定管理者により、適切に管理運営を実施した。コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復傾向にある中で、近年高まっている野外活動のニーズに応えられるよう事業実施に努める。また、教育施設として利用者自身が学び考える力を育む活動や笠取地域の地域振興につながる事業に取り組む。			

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	総合野外活動センター再整備事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	56,455 千円
事業内容	来場者が安全・安心に施設利用できるように、大規模修繕を計画的に実施する。		
成果・実績	◎施設改修費 管理棟手すり改修設計 495千円 管理棟手すり改修工事 34,306千円 放送設備改修設計 2,960千円 排煙窓ほか改修業務 12,265千円 自動火災報知設備改修業務 6,429千円		
事業評価	引き続き、安全・安心な施設利用を継続できるよう、修繕計画を立てて着実に実施し計画的な改修等に取り組む。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子育て環境

所管部局
教育部

事務事業名	幼稚園預かり保育事業費	所管課	学校教育課
		決算額	2,342 千円
事業内容	市立幼稚園の教育課程に係る教育時間終了後に、在籍園児のうち希望する者を対象に預かり保育を行う。 平成30年度より神明幼稚園、木幡幼稚園の2園、令和3年度より東宇治幼稚園を含め、市立幼稚園全3園で実施している。		
成果・実績	市立幼稚園3園において、園の開園日に預かり保育を試行実施した。 ◎実施時間：月・火・木・金 14:00～17:00 水 11:45～17:00 ◎利用料：1時間200円（上限1,000円／日） ◎利用人数（のべ）：神明幼稚園 230人 東宇治幼稚園 1,353人 木幡幼稚園 295人		
事業評価	開園日において保育の必要性がある園児に対する預かり保育を試行実施した。引き続き利用状況や手法などを確認する中で、今後の事業のあり方について検討する。		

事務事業名	私立幼稚園等物価高騰対策事業費	所管課	学校教育課
		決算額	1,910 千円
事業内容	物価高騰の影響に関わらず、安全・安心で質の高い教育サービスを継続して提供できるよう新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、高騰する光熱費等に対して補助金を交付する。		
成果・実績	令和4年11月から令和5年3月までの光熱費等の高騰見合い額の補助を、申請のあった市内の私立幼稚園8園に対して実施した。		
事業評価	各幼稚園への補助金支給を適正に執行し、幼稚園における教育サービスの継続提供に役立てることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課
		決算額	110,889 千円
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。		
成果・実績	<p>新たにオンライン学習通信費に係る援助費を追加し、Wi-Fi環境がなくポケットWi-Fiを市から貸与する世帯を対象に援助を行った。</p> <p>◎小学校就学援助費 73,270千円</p> <p>◎中学校就学援助費 37,619千円</p>		
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会の確保を図った。今後も引き続き適正な支給事務の遂行に努める。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課
		決算額	9,996 千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	<p>◎小学校特別支援教育費 5,869千円</p> <p style="padding-left: 20px;">うち扶助費 4,029千円</p> <p style="padding-left: 20px;">うち備品等 1,840千円</p> <p>◎中学校特別支援教育費 2,339千円</p> <p style="padding-left: 20px;">うち扶助費 1,377千円</p> <p style="padding-left: 20px;">うち備品等 962千円</p> <p>小学校20校43学級、中学校10校24学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。</p> <p>◎小学校特別支援学級開設費 1,279千円</p> <p>◎中学校特別支援学級開設費 509千円</p>		
事業評価	就学奨励費の支給を適正に執行し、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会の確保を図った。また、特別支援教育にかかる物品の購入により教育環境の充実を図った。引き続き、すべての子どもが均等に義務教育を受けられるよう、適正な事業実施に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	子どもの成長・発達

所管部局
教育部

事務事業名	子育て支援施設等利用給付費補助金	所管課	学校教育課
		決算額	460,437 千円
事業内容	令和元年10月から開始された幼児教育保育の無償化により、宇治市に居住する満3～5歳の幼稚園就園児の保育料が無償化（上限25,700円/月）され、就園する私立幼稚園等に保育料分として給付し、保育の必要性があると宇治市から認定を受けた保護者に対して、公立及び私立幼稚園の預かり保育料を給付する（3歳児以上：上限11,300円/月、市民税非課税世帯の満3歳児：上限16,300円/月）。また、年収約360万円未満相当世帯や小学生3年生以下の第3子以降の子どもの副食材料費を補助する。		
成果・実績	◎子育て支援施設等利用給付費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料・入園費分 443,002千円 ・ 預かり保育事業利用料 11,321千円 ・ 副食材料費補助 6,114千円 		
事業評価	幼児教育保育の無償化にかかる事務を適正に執行した。引き続き、保育を必要とする保護者に対して預かり保育事業の利用料の給付、低所得世帯や多子世帯に対して副食材料費の補助を適正に行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	6,999 千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	<p>◎小学校「総合的な学習の時間」推進費 3,599千円 主な学習内容 ・キャリア教育</p> <p>◎中学校「総合的な学習の時間」推進費 3,400千円 主な学習内容 ・キャリア教育 ・国際(異文化)理解</p>		
事業評価	社会人講師等の外部人材の活用により、従来の授業とは異なる総合的な学習を実施し、自主的・実践的な態度を育成する教育振興を図った。今後も、探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能、主体的かつ協働的な取組方、積極的な社会参画の態度の習得に向けて、総合的な学習を推進する。		

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	29,152 千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、学校司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	<p>◎図書館教育充実事業費 29,122千円 令和元年度より各中学校ブロックに学校司書を配置し、児童・生徒の学習活動及び読書活動の充実を図った。</p> <p>◎図書館ボランティア養成事業費 30千円 ・ボランティア登録者数 233人 ※学校図書館ボランティア養成講座を1回開催(令和4年5月13日)</p>		
事業評価	学校司書の定期巡回によって、児童・生徒・教員の学習ニーズに応じた資料準備・提供をするなど、授業支援を行うことができた。今後も児童・生徒の基礎学力の定着・向上のための取組をより一層推進する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	教育だより発行費	所管課	学校教育課
		決算額	593 千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、保育所などの保護者及び市民に対して、本市の教育施策及び特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。		
成果・実績	<p>第91・92・93号を発行し、西小倉地域における小中一貫校の整備、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組、小中一貫教育の取組、学力向上の取組、幼稚園児及び小・中学生の活躍の様子、各幼稚園・小学校・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、新型コロナウイルス感染症対策等を講じた宇治市の教育行政並びに幼稚園・学校教育などに係る情報を記載した。</p> <p>◎教育だより発行回数 3回 ◎教育だより発行部数 18,000部（1回につき）</p>		
事業評価	教育だよりを発行し、保護者等に対し、西小倉地域における小中一貫校の整備、コミュニティ・スクールの取組、小中一貫教育の取組、園児、児童・生徒の活動の様子など、教育行政情報の周知を行った。今後も掲載情報の充実等に努める。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	学校教育課																
		決算額	40,289 千円																
事業内容	児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。 また、英語教員の研修で活用するとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会での活用を図る。																		
成果・実績	<p>JETプログラムの英語指導助手を市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。ふれあい教室にも要請に応じて派遣した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">〈派遣日数〉</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">〈人員配置〉</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">988日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">642日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: center;">66日</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 期</th> <th style="width: 70%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1～3学期</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>			〈派遣日数〉	〈人員配置〉	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">988日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">642日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: center;">66日</td> </tr> </table>	学 校	日 数	小学校	988日	中学校	642日	幼稚園	66日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 期</th> <th style="width: 70%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1～3学期</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </table>	学 期	J E T	1～3学期	10人
〈派遣日数〉	〈人員配置〉																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 校</th> <th style="width: 70%;">日 数</th> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">988日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">642日</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: center;">66日</td> </tr> </table>	学 校	日 数	小学校	988日	中学校	642日	幼稚園	66日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 30%;">学 期</th> <th style="width: 70%;">J E T</th> </tr> <tr> <td>1～3学期</td> <td style="text-align: center;">10人</td> </tr> </table>	学 期	J E T	1～3学期	10人						
学 校	日 数																		
小学校	988日																		
中学校	642日																		
幼稚園	66日																		
学 期	J E T																		
1～3学期	10人																		
事業評価	小・中学校、幼稚園への派遣を行い、園児、児童・生徒の国際理解とコミュニケーション能力の向上を図った。引き続きAETの効果的な活用を検討し、事業を推進する。																		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	いきいき学級支援員設置費	所管課	学校教育課
		決算額	19,513 千円
事業内容	通常の学級での発達障害を含む障害のある児童・生徒の学習面及び生活面での課題の改善を図るため、各小・中学校に支援員を配置して支援体制を整備することにより、特別支援教育の充実を図る。		
成果・実績	<p>児童・生徒の個別の指導計画に基づいて、支援員が授業の指導補助及び個別指導などを行った。</p> <p>◎いきいき学級支援員配置校 小学校 15校 中学校 9校 (京都府特別支援教育充実事業対象校を除く小・中学校に配置)</p> <p>◎通常学級における特別な教育的支援が必要な児童・生徒数及び割合 1,525人 (11.3%)</p>		
事業評価	支援員の配置により特別支援教育体制を整備し、学習・生活の両面において課題の改善を図った。従来の指導に加え、児童・生徒が安心して学習・生活に向かうことができるように新型コロナウイルス感染症に係る衛生面での指導・支援も合わせて行った。発達障害への対応について学校の役割は大きくなる傾向にあり、引き続き効果的な支援体制について検討する必要がある。		

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	学校教育課
		決算額	41,524 千円
事業内容	義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身に付けさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。		
成果・実績	<p>全小・中学校において小中一貫教育を推進するにあたり、令和元年度より全ての中学校に「ラーニングコーディネーター」及び教科連携教員を配置し、系統的・継続的指導を進め、各中学校ブロックでの広報・啓発等を行った。</p> <p>また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。</p> <p>◎小中一貫教育取組推進教員の配置 41,390千円 小中一貫教育非常勤講師として、ラーニングコーディネーターの後補充教員を全中学校ブロックに配置するとともに、府費小中連携教員配置校5校を除く中学校ブロックに教科連携教員を配置することで、系統的・継続的指導を進めた。</p> <p>◎宇治市小中一貫教育推進協議会 134千円 学識経験者、保護者、地域関係団体、教職員により構成し、年間2回会議を開催、宇治市小中一貫教育の取組についての進行管理を行った。また、中学校ブロックへの視察を4回実施し、意見交換や協議を行った。</p>		
事業評価	ラーニングコーディネーターを要とした小中一貫教育推進体制を基盤に、各中学校ブロックの課題を焦点化させることにより、目指す子ども像や学力観について理解を深め、とりわけ、学力定着・向上に向けた取組を進めた。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、研修会や交流など感染状況に応じて取組方法を工夫して事業展開を図った。引き続き、小中一貫教育の取組を推進する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	基礎学力課題支援費	所管課	学校教育課
		決算額	6,184 千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上及び希望進路の実現を図るため、非常勤講師の配置及び補習授業・学習相談の実施、教材・参考図書の配付などを行う。		
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、学びを保障する観点から、引き続き中学校において、少人数授業の指導方法の改善を図るとともに、希望者を対象とした補習授業及びテスト前の学習相談会などを実施した。</p> <p>指導方法及び指導機会の方策について全小・中学校へ啓発するとともに、児童・生徒の学力の充実、希望進路実現に向けて、教材・参考図書の配付等を行った。</p>		
事業評価	児童・生徒の基礎学力の定着、学習意欲の向上を図るとともに、家庭と連携した取組を進めることにより、学びを止めず希望進路の実現につながる支援を図ることができた。今後も児童・生徒の実態に応じて、学習相談を進めたり、指導方法の工夫改善に向けた手法を検討する。		

事務事業名	「宇治学」推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	4,123 千円
事業内容	宇治市小中一貫教育の特色ある教育活動として「総合的な学習の時間」を「宇治学」と称し、全ての市立小学校3年生から中学校3年生の7学年で実施している。この「宇治学」の指導充実を図るため、「宇治学」副読本及び指導の手引きを作成し、対象児童・生徒全員と教員に貸与する。また、すべての市立小学校3年生の宇治抹茶体験学習への支援を実施する。		
成果・実績	<p>発刊から4か年が経過した「宇治学」副読本及び指導の手引き（小学校5年生）、同じく4か年が経過した同副読本（中学校3年生）を改訂し、市立小学校全5年生児童と同中学校全3年生生徒、それぞれの担当教員に貸与した。</p> <p>◎テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと宇治」をすべての人にやさしいまちに（小学校5年生） ・「ふるさと宇治」の未来～私たちができること～（中学校3年生） <p>市立小学校22校の全ての3年生の児童が宇治抹茶（お点前）体験を実施できるよう、年に2回抹茶を配付した。</p>		
事業評価	「宇治学」副読本及び指導の手引きを改訂し、児童・生徒及び各担当教員に貸与することにより、新情報・新制度に対応できるよう内容の充実を図った。今後も各校での「宇治学」の探究的学習がさらに充実したものとなるよう支援・広報に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	教育研究費	所管課	学校教育課															
		決算額	449 千円															
事業内容	宇治市の学校教育において必要となる教育諸課題の解決と一層の教育内容の充実・振興に対応するため、教育研究員による実践研究を実施し、その成果を小・中学校に還元する。																	
成果・実績	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、計画をした4部会で教育研究を実施した。また、成果を教職員研修講座の開催、研究冊子などにより報告する等、周知を図った。</p> <p>◎教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">部会名</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学力向上研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>授業改善、授業に活用される家庭学習の研究</td> </tr> <tr> <td>学校図書館研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>図書館機能及び学校司書活用による授業改善の研究</td> </tr> <tr> <td>ICT教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>1人1台端末の活用についての研究</td> </tr> <tr> <td>幼小接続研究部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>非認知能力に関する研究</td> </tr> </tbody> </table>			部会名	部員数	主な研究内容	学力向上研究部	5	授業改善、授業に活用される家庭学習の研究	学校図書館研究部	5	図書館機能及び学校司書活用による授業改善の研究	ICT教育研究部	6	1人1台端末の活用についての研究	幼小接続研究部	5	非認知能力に関する研究
部会名	部員数	主な研究内容																
学力向上研究部	5	授業改善、授業に活用される家庭学習の研究																
学校図書館研究部	5	図書館機能及び学校司書活用による授業改善の研究																
ICT教育研究部	6	1人1台端末の活用についての研究																
幼小接続研究部	5	非認知能力に関する研究																
事業評価	教育研究員が各々相違工夫し、教育実践に基づき研究を行い、宇治市の学校教育における課題解決を図った。研究成果を学校現場にフィードバックするため、報告会等を開催し、宇治市における教育力の向上につなげられるよう取り組んだ。今後も、宇治市の教育課題に対応するべく部会の設定を行い、教育力の向上に努める。																	

事務事業名	講座等開催費	所管課	学校教育課
		決算額	201 千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修の実施を促し、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>◎職務及び教職経験年数別研修 開催数 4回（実施予定4講座） 受講者数 127人 管理職研修講座、初任者研修講座、人権教育研修講座</p> <p>◎専門研究研修 開催数 8回（実施予定8講座） 受講者数 266人 学力向上研究研修講座、学校図書館活用研修講座 特別支援教育研修講座、幼児教育研修講座 情報教育研修講座 など</p>		
事業評価	社会が変化する中、今後も宇治市が重点とする目標の達成に向け、また、求められる教員の資質能力の向上となるよう、内容を充実させて実施する。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	スクール・サイエンス・サポート事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	290 千円								
事業内容	京都大学宇治キャンパスとの連携協力により、児童・生徒の「知りたい」、「学びたい」という学力向上の第一歩となる科学に対する興味・関心を高める事業として、京都大学宇治キャンパスによる小学生対象の親子理科教室、中学校科学（理科）部員対象の実験実習、小・中学校への出前講座、施設見学などの取組を進める。										
	下記3事業を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名（実施場所）</th> <th style="width: 50%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）</td> <td>小学校5・6年児童及び保護者</td> </tr> <tr> <td>京都大学出前講座（大久保小学校）</td> <td>5年生</td> </tr> <tr> <td>宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）</td> <td>中学校科学（理科）部員</td> </tr> </tbody> </table>			事業名（実施場所）	対象者	夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年児童及び保護者	京都大学出前講座（大久保小学校）	5年生	宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）	中学校科学（理科）部員
事業名（実施場所）	対象者										
夏休み親子理科教室in京大（京都大学宇治キャンパス）	小学校5・6年児童及び保護者										
京都大学出前講座（大久保小学校）	5年生										
宇治市中学生理科教室（京都大学宇治キャンパス）	中学校科学（理科）部員										
事業評価	京都大学宇治キャンパスとの連携により、児童・生徒の興味や関心、学びへの意欲を高める取組を実施できた。とりわけ夏休み親子理科教室は、保護者、児童に好評であった。今後も同キャンパスとの連携を図り、児童・生徒の学習意欲の向上につながる取組を検討する。										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課
		決算額	65,743 千円
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材等の充実を図るとともに、学校図書館図書を充実させて、教育環境の充実を図る。		
成果・実績	<p>小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品、学校図書などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小学校教材充実費 32,831千円 ◎中学校教材充実費 17,099千円 ◎小学校図書館図書充実費 7,829千円 ◎中学校図書館図書充実費 7,714千円 		
事業評価	教材を適正に購入し、児童・生徒の教育環境の整備・充実を図った。また、学校図書標準達成校の増加など、図書館環境整備を進めることができた。ICT教育にかかる教材の充実を含め、引き続き教育環境の整備・充実に努める。		

事務事業名	小・中学校ICT教育充実事業費	所管課	学校教育課
		決算額	279,905 千円
事業内容	市立小・中学校のICT環境を整備し教育環境の充実を図るとともに、効果的に活用することにより学習活動の充実や学習意欲の向上を目指す。		
成果・実績	<p>小・中学校の無線LAN環境未整備箇所に無線アクセスポイントを新・増設し、校内の無線LAN環境の拡充を行い、児童・生徒500人程度以上の学校には通信速度改善のため無線最適化機器を設置し、校内の通信環境の改善を図った。</p> <p>タブレット端末等のICT機器活用を支援するため、ICT支援員が各校を月2回訪問し、授業支援や研修支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎小・中学校コンピュータシステム周辺機器一式貸借 36,432千円 ◎小・中学校無線LAN機器及び教育用無線端末貸借 28,679千円 ◎通信料等 5,551千円 ◎ICT支援員配置に要した経費 19,008千円 訪問回数 各校月2回 ◎小・中学校無線LAN環境拡充に要した経費 <ul style="list-style-type: none"> ・無線アクセスポイント新・増設（32校） 120,000千円 ・無線最適化機器設置（11校） 13,552千円 ◎プログラミングロボット整備 26,019千円 ◎フィルタリングソフト等の導入に要した経費 30,664千円 ◎モバイルルーター貸出件数 小学校 99件、中学校 28件 		
事業評価	普通教室、特別教室の無線LAN環境未整備箇所に無線アクセスポイントを新・増設し、通信環境の充実を図った。平常時のタブレット端末の持ち帰りを実施した。Wi-Fi環境のない家庭にはモバイルルーターを貸し出し、家庭の通信環境整備を支援した。ICT支援員による授業支援や活用事例紹介などを行い、ICTを活用した学習の充実を図った。今後もICTを効果的に活用した授業改善、環境整備に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	教育情報ICT化推進事業費	所管課	学校教育課
		決算額	14,960 千円
事業内容	ICTを活用し、個に応じたきめ細かい教育の実施、業務の効率化、保護者との連携向上を図るため、学校にある児童生徒のデータを連携し、児童・生徒の状況を多角的に可視化するシステム（データ連携・可視化システム）の構築に向けた調査・検討を行う。		
成果・実績	<p>◎アンケート調査・ヒアリング調査（業務実態、学習指導の状況について） 小・中学校教職員へのアンケート調査 ヒアリング調査（小・中学校各2校）</p> <p>◎教育DX推進検討会議（4回）、分野別専門部会（6部会、各3回）を開催 データを利活用した指導や業務の効率化などについて市教委・教職員で議論 データの可視化イメージの実証</p> <p>◎データ連携・可視化システム要件定義書作成</p>		
事業評価	教育DXの実現に向けては、国の動向も注視しながら、データを統合・可視化するシステムの構築、学校のネットワーク構成やセキュリティの確保、教職員への支援について引き続き検討する必要がある。		

事務事業名	小・中学校教員用教科書・指導書	所管課	学校教育課
		決算額	6,003 千円
事業内容	小・中学校で使用する教員用の紙の教科書・指導書を整備する。また、指導者用デジタル教科書を導入しICTを活用した学習活動の充実を図る。		
成果・実績	<p>紙媒体の教科書・指導書に加え、国が実施した学習者用デジタル教科書普及促進のための実証事業に伴い、小学校は5年生以上、中学校は全学年に指導者用デジタル教科書を導入した。（学習者用の教科書、デジタル教科書は、国が無償で提供）</p> <p>◎小学校 3,988千円 ◎中学校 2,015千円</p>		
事業評価	今後も動画等のデジタル教材を効果的に活用し、児童・生徒の学習内容の理解を深めたり、興味関心を高めるなど、ICTを効果的に活用した授業改善に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育

所管部局
教育部

事務事業名	学校支援チーム活動費	所管課	教育支援課
		決算額	8,890 千円
事業内容	いじめ及び不登校といった教育課題への取組を推進するため、学校現場のみでは解決困難な問題について、組織的、体系的な支援を行う。		
成果・実績	<p>校長OBである学校教育指導主事による市立小・中学校への相談対応などの日常的な支援を行うとともに、学校だけでは解決が困難な事象や、解決にあたり時間を要する問題について、社会福祉士、臨床心理士、弁護士、精神科医、警察官、児童相談所員といった専門家を交えた「宇治市学校支援チーム」を設置し、専門的見地からの指導助言による支援を行った。</p> <p>さらに、顧問弁護士による法律相談、スクールソーシャルワーカーによる学校現場の困難な事象解決へ向けたアプローチにより、効果的な支援を行った。</p> <p>◎支援チーム会議開催数 7回</p>		
事業評価	学校現場の円滑な運営のため専門家による学校支援チームを設置し、専門的・組織的な支援を行うことで、学校現場で起こる困難事例に対しても解決を図ることができた。今後も効果的な学校支援に努める。		

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	教育支援課								
		決算額	1,331 千円								
事業内容	児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備などを行う。 また、「いじめ防止月間」を設定し、いじめ防止の取組を強化する。										
成果・実績	<p>児童・生徒の問題行動に対して適切な指導を行うために、生徒指導主任会議を開催して事例交流等を行い、学校の組織としての対応力の向上を図った。 11月の「いじめ防止月間」に啓発活動として、市政だよりへの掲載等の広報活動を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">◎問題行動</td> <td style="width: 20%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 20%;">小学校</td> <td style="width: 40%;">243人（前年比 75人増）</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>中学校</td> <td>276人（前年比 95人減）</td> </tr> </table>			◎問題行動	延べ指導人数	小学校	243人（前年比 75人増）			中学校	276人（前年比 95人減）
◎問題行動	延べ指導人数	小学校	243人（前年比 75人増）								
		中学校	276人（前年比 95人減）								
事業評価	生徒指導の事例研究や研修により児童・生徒の問題行動に対する個々の対応力の向上が図れるとともに、校内での指導体制の整備を図ることにより、問題行動に対する適切な指導が行えた。今後とも、個人、組織の対応力を高めるための取組が重要である。										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働

所管部局
教育部

事務事業名	少年補導活動費	所管課	教育支援課
		決算額	5,055 千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動などを実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、県祭りの街頭補導、地域懇談会、社会環境浄化活動などは中止を余儀なくされたが、ブロック補導をはじめ、年末の一斉補導活動、年始補導出発式は計画通り実施できた。また、不審者情報や爆破予告の情報などを受け、青色防犯パトロールや各校区の少年補導委員ができる範囲でパトロールを実施した。		
事業評価	徐々に事業や取組が再開される中で、各委員ができる範囲でパトロールをはじめとする活動を実施し、青少年の非行の未然防止に取り組むことができた。今後とも、各種団体との協力を図りながら、引き続き青少年の健全育成に努める。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	教育支援課
		決算額	122 千円
事業内容	宇治市教育委員会・宇治市青少年健全育成協議会・宇治市連合育友会の共催により、中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを自己の主張として発表することにより、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、関係者のみに規模を縮小した大会であったが、第41回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。開催後、市長との懇談会の実施や大会のまとめ冊子を作成し、学校関係者やその他の施設に配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第41回宇治市「中学生の主張」大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市長との懇談会</p> </div> </div>		
事業評価	中学生が学校、家庭、地域生活の中で感じたことを発表することで、同世代の青少年の学び合いと、市民の中学生に対する理解と認識の促進を図った。本年度は入場制限を行い、生涯学習センター第1ホールで開催したが、今後は社会状況を踏まえ、より多くの中学生や一般参加者に聞いてもらえるよう事業実施の工夫を図る。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働

所管部局
教育部

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	教育支援課
		決算額	1,264千円
事業内容	青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。		
成果・実績	市内の青少年健全育成を目的に組織されている宇治市青少年健全育成協議会の活動に対して支援を行った。なお、次世代の地域活動を担う人材を育成するため例年実施しているジュニアリーダー養成の学習会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を余儀なくされたが、ジュニアリーダー研修会を日帰りで行うことができた。また、毎年実施の「宇治市青少年健全育成推進大会」は生涯学習センター第1ホールで集会形式で実施することができた。		
	◎青少年健全育成協議会補助金 1,264千円		
事業評価	当協議会の大きな事業の一つである、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会が中止となったが、ジュニアリーダー研修会をはじめ、青少年健全育成推進大会等、各種関係団体が連携し、徐々に事業を再開することができた。今後もコミュニティ・スクールを推進していく中で、各種関係団体と連携を深めつつ、青少年の健全育成に向けて各種事業の実施に努める。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	教育支援課																
		決算額	2,002千円																
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域住民等で構成される推進組織の運営により、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習及びスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の方の協力を得ることによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。																		
成果・実績	遊びと学びの場を提供する地域活動に対して、教育活動推進員及び教育活動サポーターの派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">取組の名称</td> <td style="width: 25%;">放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ</td> <td style="width: 25%;">笠二っ子クラブ</td> <td style="width: 25%;">まなび（宿題）教室</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>北槇島小学校</td> <td>笠取第二小学校</td> <td>平盛小学校</td> </tr> <tr> <td>開催日数</td> <td style="text-align: center;">22日</td> <td style="text-align: center;">176日</td> <td style="text-align: center;">159日</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: center;">延べ820人</td> <td style="text-align: center;">延べ1,009人</td> <td style="text-align: center;">延べ2,281人</td> </tr> </table>			取組の名称	放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび（宿題）教室	開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校	開催日数	22日	176日	159日	参加人数	延べ820人	延べ1,009人	延べ2,281人
取組の名称	放課後学習会 & 北槇っ子くらぶ	笠二っ子クラブ	まなび（宿題）教室																
開催場所	北槇島小学校	笠取第二小学校	平盛小学校																
開催日数	22日	176日	159日																
参加人数	延べ820人	延べ1,009人	延べ2,281人																
事業評価	地域住民等で構成される推進組織の運営により、放課後等の学校において児童の遊びと学びの場を提供した。地域学校協働活動を推進していく中で、引き続き国の動向等を踏まえ、子どもの健全育成に向けた環境づくりを推進する。																		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	家庭・学校・地域の協働


所管部局
教育部

事務事業名	地域学校協働活動推進費	所管課	教育支援課
		決算額	9,312 千円
事業内容	保護者及び幅広い地域住民などが学校運営へ参画する「学校運営協議会」と、社会全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を一体的に推進するコミュニティ・スクールを目指して、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を実現する。		
成果・実績	◎コミュニティ・スクール（学校運営協議会と地域学校協働活動）の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会 6月1日付で全市立小中学校に設置 ・すべての学校で地域学校協働活動がスタート （授業支援、環境整備、行事支援など） ・9校が地域学校協働本部委託料5万円を活用 ・CSコーディネーター連絡会の実施 開催数3回 4月20日 9月28日 令和5年2月8日 ・学校運営協議会委員研修会の実施 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進に係る研修会 開催数2回 6月30日：地域対象（130名参加） 7月5日：教職員対象（35名参加） 		
事業評価	宇治市立全小中学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会と地域学校協働活動）を一体的に推進し、すべての学校で学校運営協議会の設置が完了し、地域学校協働活動がスタートした。今後も各校との連携・協力・支援の継続が必要である。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部


事務事業名	大久保青少年センター活動費	所管課	教育支援課
		決算額	1,196 千円
事業内容	青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性及び協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツなどの活動事業を実施する。また、各種教室・催し物の開催及びこどもクラブでの活動の育成指導を行う。		
成果・実績	子どもたちの参加意識は高く、目的をもったのびのびと主体的に活動する場面が多く見られた。また、学校・学年・地域を越えて友達関係の輪を広げることができた。		
	◎教室・各種事業 ・実施回数 35回 ・参加者数 1,126人		
	◎こどもクラブ ・実施回数 101回 ・参加者数 1,179人		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も事業参加を促すため、子どもたちのニーズを把握し、引き続き事業内容の工夫に努める。		

ストリートダンスクラブの発表風景

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	子育て・子育て支援が充実したまち
関連分野	学校教育環境

所管部局
教育部

事務事業名	(仮) 西小倉地域小中一貫校整備事業費	所管課	学校改革推進課
		決算額	101,515 千円
事業内容	小中一貫教育を推進するため、西小倉中学校敷地に宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校を整備する。		
成果・実績	<p>令和8年4月開校予定の(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に向けて、下記の業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎設計業務 83,820千円 令和3年度からの3か年業務 ◎工事車両進入仮設橋設計業務 7,040千円 ◎地質調査 9,713千円 		
			
	<p>< (仮称) 西小倉地域小中一貫校完成イメージ ></p>		
事業評価	宇治市2校目となる施設一体型小中一貫校の令和8年4月開校に向けて、(仮称)西小倉地域小中一貫校整備に係る設計業務等を実施した。引き続き、設計業務及び整備工事などを着実に進める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム企画展示費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	2,207 千円
事業内容	<p>話題性のある企画展の開催はミュージアムの広報・宣伝にもつながり、企画展を目的としたリピーターを含む来館者を誘致する。館蔵品のみではなく、他館及び関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。</p>		
成果・実績	<p>様々な視点から趣向を凝らし、源氏物語及び平安時代の文化を紹介する展示を行った。令和4年度は、観光振興課の「歴史文化再発見事業」に合わせた企画展「宇治橋 ー彼方 こなた ソナター」や、瀬戸内寂聴氏の名誉館長としての活躍や業績を源氏物語ミュージアムの歴史とともに紹介した企画展「源氏物語から広がる世界 ー名誉館長 瀬戸内寂聴先生とともにー」を開催した。</p> <p>◎企画展 なんといいってもお茶は宇治 ー宇治はよいとこ 北西晴れてー ・4月27日～7月10日 新緑の宇治は、茶摘みの季節。宇治の伝統産業である宇治茶について、宇治市歴史資料館での企画展と合わせて、宇治茶の歴史や製法などについて紹介した。</p> <p>◎企画展 宇治橋 ー彼方 こなた ソナター ・7月13日～9月11日 「橋姫」、「橋合戦」、「宇治橋断碑」など、伝説と史実が織り交ざり、豊かなイメージに彩られてきた宇治橋。名所図や絵画、古文書などを通して、宇治橋について紹介した。</p> <p>◎企画展 源氏物語から広がる世界 ー名誉館長 瀬戸内寂聴先生とともにー ・9月14日～11月20日 瀬戸内寂聴先生の現代語訳『源氏物語』直筆原稿をはじめとする作品を通して、多様な魅力を紹介した。</p> <p>◎空調工事実施のため臨時休館 ・11月21日～令和5年3月13日</p> <p>◎企画展 錦絵にみる宇治の名所 ・令和5年3月15日～5月14日 江戸時代後期、多色刷りの浮世絵が登場し、人気を博した。『源氏物語』や『平家物語』などの舞台となった宇治は、浮世絵にも描かれた。宇治の名所を錦絵などから紹介した。</p>		
事業評価	<p>空調工事に伴う臨時休館もあったが、他課の事業と合わせた企画展や名誉館長であった瀬戸内寂聴氏の活躍や業績を紹介する企画展を実施することができた。いずれも満足度の高い展覧会を通して、観覧者に『源氏物語』をはじめとする古典の持つ魅力を発信し、理解を深めることができた。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム講座等開催費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	719 千円
事業内容	源氏物語及び平安時代の文化について、より理解を深めるために、講演会及び講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧し、源氏物語及び平安時代の文化について、興味・関心を抱いた来館者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座や源氏物語セミナーなどでは、最新の研究成果を織り交ぜた講演により、より深く学べる場と古典に親しむ機会を提供した。</p> <p>◎連続講座「源氏物語繚乱 とき・ところ・ことのは」(全10回) ・5月～令和5年3月 参加者数 延べ735人 (新型コロナウイルス感染症対策のため会場を変更して実施、気象警報発表に伴う振替あり)</p> <p>◎入門講座「超！入門講座 宇治で源氏物語を読むために」(全18回) ・6月～令和5年2月 参加者数 延べ866人</p> <p>◎京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会連携企画講座「川と橋と何方」(全2回) ・8月 参加者数 延べ53人</p> <p>◎源氏物語セミナー「藤原道長の栄華」 ・10月28日 参加者数 73人</p> <p>◎企画展記念講演会「女たちの源氏物語・宇治の橋姫」 ・11月9日 参加者数 94人</p> <p>◎子ども体験型教室「三葉虫を調べよう！」 ・12月4日 参加者数 15人</p> <p>◎古典に親しむ講座「源氏寄席 一川の流れと共に」 ・令和5年2月12日 参加者数 75人</p>		
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、多彩で継続的な学習機会を提供することができた。今後も幅広い世代に向けて、多くの学習機会が提供できるよう努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム管理運営費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	126,156 千円
事業内容	源氏物語ミュージアム施設全体の維持管理、建物・展示物のメンテナンス業務及び受付をはじめとする入館者への対応など博物館の維持管理運営業務を行う。		
成果・実績	<p>通常の管理運営業務に加え、空調機器改修工事を行った。</p> <p>臨時休館期間：令和4年11月21日～令和5年3月13日</p>		
事業評価	適切に館の維持管理、管理運営業務を行うことができた。空調機器改修工事のため臨時休館を行い、工事の遅延があったものの、館の運営に大きな支障はなく、予定通り3月14日から開館できた。今後も引き続き、館の運営及び維持管理など適切な対応に努める。		

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	博物館管理課(源氏物語ミュージアム)
		決算額	410 千円
事業内容	「源氏物語をテーマとしたまちづくり」の中核的役割を担う施設として、初めての来館者の獲得をはじめ、リピーターの増加を目指し、広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	<p>観光振興課の「歴史文化再発見事業」における企画展「宇治橋 一彼方 こなた ソナター」に合せて、京阪電車沿線からの誘客をはかるため、京阪電車主要4駅（出町柳駅・祇園四条駅・北浜駅・淀屋橋駅）にデジタルサイネージを1週間掲出した。</p> <p>また、企画展「源氏物語から広がる世界 一名誉館長 瀬戸内寂聴先生とともに」の開催に合わせ、JR京都駅地下東口にデジタルサイネージを1週間掲載したほか、令和5年3月～9月初旬の間、京都府内のホテルや旅館700施設の各部屋に常設される観光情報誌に、当館の広告を掲載した。</p>		
事業評価	企画展の開催期間や年度末の観覧者増加傾向などを踏まえ、誘客に向けた計画的で効果的な広報活動を行った。引き続き、来館者の増加に向けて、効果的な広報に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	785 千円
事業内容	宇治市教育振興基本計画に基づき、生涯学習センター及び公民館などで、市民のライフステージに対応した講座・イベントを実施し、学習の機会を提供する。		

◎学習機会の提供・拡充

事業名	回数	参加延べ人数
インターネットを使用した講座（動画配信） サークル・地域活動のためのチラシ作り	—	—
歩いて学ぶ防災講座 ～地形からわかるまちの姿とは？～	2回	48人
アウトドアスキルを防災に生かす	1回	18人
夏休み子ども★わくわくフェア（2日間）	1回	508人
子ども向け講座 本格的なプログラミングを体験しよう！	3回	20人
シニア向けスマートフォン体験講座	14回	159人
バリアフリー上映会	1回	100人

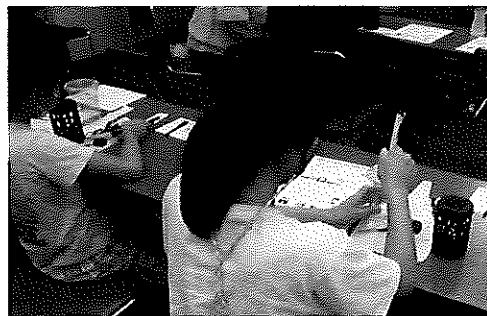
成果・実績



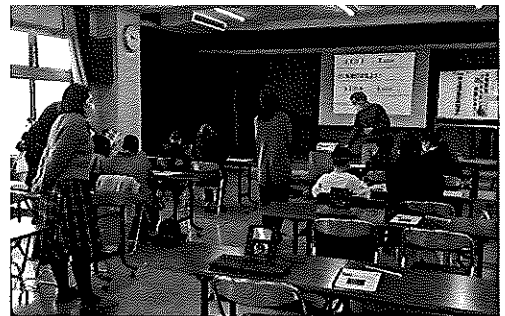
サークル・地域活動のためのチラシ作り



歩いて学ぶ防災講座



夏休み子ども★わくわくフェア
(コーナー名：燃料電池で発電してみよう！)



本格的なプログラミングを体験しよう！
(会場：木幡公民館)

◎学習情報提供の充実
情報紙「生涯学習情報UJI」年4回 計10,000部 発行

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

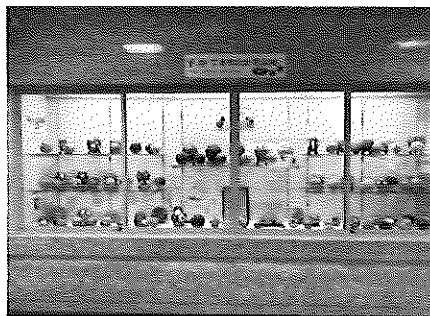
所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	785 千円

◎生涯学習団体等の育成・人材養成と活用

事業名	回数	参加延べ人数
ロビー展示	36回	—
ロビー展示 ミニ講習会	6回	109人
ふれあいワークショップ	1回	8人
うじ市民活動サポート事業（2事業）	9回	41人
Zoom入門講座 自分の手でオンライン会議を開催しよう！	1回	10人
家庭でできるヘアカット講座	6回	73人
木工安全講座	2回	33人
はじめよう！セカンドライフ	4回	58人

成果・実績



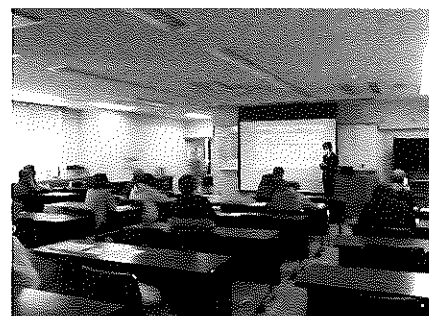
ロビー展示



うじ市民活動サポート事業（ひなのえほん）



家庭でできるヘアカット講座



はじめよう！セカンドライフ

◎生涯学習の基礎づくり

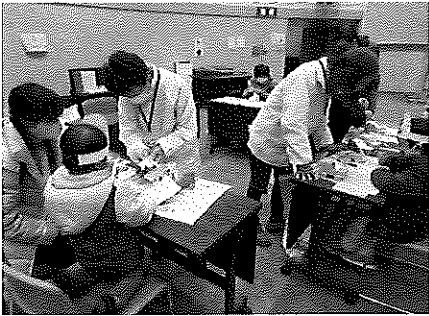

事業名	回数	参加延べ人数
おやこっころんど	12回	228人
小学生の親のための講座 本格的に始まったプログラミング教育	1回	42人

事業評価

同じテーマの講座を参加者や手法を変えて複数回実施するなど、新しい取組を行った。また、生涯学習活動に必要な知識のブラッシュアップ講座を団体のニーズを汲み取り開催した。今後も現代的課題の学習機会の創出と市民ニーズに応じた事業実施に努める。

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち	教育部
関連分野	学べる環境	

事務事業名	市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）	所管課	生涯学習センター
		決算額	246 千円
事業内容	<p>「つながれ・ひろがれ・まなびの“わ”」をテーマに、生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表及び交流の場、これから何かを始めたい市民のきっかけづくりの場として、「市民まなびの集い（宇治まなびんぐ）」を開催する。</p>		
成果・実績	<p>◎宇治まなびんぐフェスタ2023 市民公募による実行員会形式で開催した。実行委員（16人）が準備及び当日運営を、当日のボランティア（10人）も出展者補助等を積極的に行った。</p> <p>開催日 令和5年2月18日（土）～2月19日（日） 出展者 35団体・個人（初出展者は8団体） 参加延べ人数 686人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>わくわく手作りおもちゃ教室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>楽しいマジックuji</p> </div> </div>		
事業評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの開催は2回目となったが、参加者数は令和元年度の8割程度まで回復してきた。実行委員の前向きなアイデアを大事にしながら、出展者・参加者・実行委員が学び合う場の充実に取り組む。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課 決算額	各図書館 17,789千円		
事業内容	市民等の読書活動、生涯学習、調査研究、課題解決などを支援するため、図書、雑誌、新聞、郷土資料、行政資料などの図書館資料を幅広く収集して提供し、長期的に保存すると共に、読書推進や課題解決のための講座、朗読会、おはなし会など様々な企画事業を実施する。				
成果・実績	◎中央図書館資料提供費 10,775千円 ◎東宇治図書館資料提供費 3,530千円 ◎西宇治図書館資料提供費 3,484千円				
	◎資料数				
	館名	購入冊数 (冊)	年度末蔵書数 (冊)	受入雑誌 (誌)	購入新聞 (紙)
	中央図書館	3,480	182,480	80	10
	東宇治図書館	1,661	63,225	49	8
	西宇治図書館	1,710	71,514	46	8
	合計	6,851	317,219	175	26
	◎利用状況				
	館名等	貸出点数 (点)	延べ貸出者数 (人)	登録者数 (人)	市民登録率 (%)
	中央図書館	333,946	78,664	62,896 うち市外 1,379	33.9
東宇治図書館	147,727	37,889			
西宇治図書館	158,162	42,618			
団体貸出	4,076	—			
合計	643,911	159,171			
◎団体貸出					
14団体（地域・家庭文庫、笠取地区、青少年センター、Ujiふれあい教室）に3,682冊の貸出を行った。また、8の幼稚園・小学校に、394冊の学校等団体貸出しを行った。					
◎予約図書配本サービス					
利用者の利便性向上を図るため、事前に予約された図書を、週1回、公共施設等に設置した7か所の配本所に搬送し、15,495冊の貸出を行った。 （令和5年3月、アクトパル宇治に市内7か所目の配本所を開設）					
◎資料の活用（リサイクル事業：年1回）					
図書館資料の有効活用を図るため、リサイクル市を開催し、除籍図書及び保存期限が経過した雑誌等を市民に提供した。 ・提供冊数 5,719冊					

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	17,789 千円
成果・実績	◎テーマ図書展示 季節や時事等に応じ、様々なテーマの図書展示を行った。		
	・成人書	中央図書館 「時の流れを読むー時代小説、集めましたー」他39回 東宇治図書館 「ワクワク？ドキドキ？あなたの新生活を 応援します！！」他19回 西宇治図書館 「散策しませんか？」他18回	
	・児童書	中央図書館 「夏だ！読書まつり！」他21回 東宇治図書館 「はるがきた！」他16回 西宇治図書館 「あかしろ きいろ 花いっぱい」他17回	
	◎読書推進事業等 読書活動及び生涯学習の推進のため、朗読会、講座、おはなし会などを行った。		
	・成人向け	中央図書館 読書週間記念歴史講演会 : 延べ参加者198人 「寂聴先生と文学・そして宇治ー源氏物語に寄せてー」他10回	
		東宇治図書館 開館30周年記念事業 成人読書推進講演会 : 延べ参加者 48人 「東宇治 ちょっと散策」他3回	
		西宇治図書館 開館25周年記念講演会 : 延べ参加者129人 「巨椋池ーそして、干拓は行われたー」他4回	
	・児童向け	中央図書館 「図書館でリアル脱出ゲーム」他13回 : 延べ参加者137人 東宇治図書館 「赤ちゃんクリスマス会0・1・2！」他4回 : 延べ参加者136人 西宇治図書館 「西宇治図書館クイズラリー」他4回 : 延べ参加者332人	
	◎課題解決支援事業 地域の課題解決を支援するための事業を実施した。		
		中央図書館 不登校児童・生徒読書活動支援事業 : 延べ参加者 64人 教育支援課 (Ujiふれあい教室) と共催 図書館のスマートフォン体験講座 4回 : 延べ参加者 40人	
	東宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 3回 : 延べ参加者 19人 西宇治図書館 図書館のスマートフォン体験講座 2回 : 延べ参加者 16人 デイサービスへの出前おはなしサロン 月1回 : 延べ参加者129人		
◎行政支援サービス 図書館の豊富な資料等を行政団体貸出により庁内各課に提供し、行政課題の解決や職員のスキルアップを支援し、ひいては市民サービスの向上を図った。			
	中央図書館 利用所属数 延べ10所属、貸出冊数119冊		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供費等	所管課	各図書館
		決算額	17,789千円

◎おはなし会（出張おはなし会を含む）

館名	回数	参加者数	内容
中央図書館	41	546	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ペープサートなど
東宇治図書館	29	460	
西宇治図書館	38	318	

◎学校等連携

館名	図書館見学等 (小学校・幼稚園等)			中学生の 職場体験学習等		
	学校等 の数	参加者 人数	備考	学校数	人数	備考
中央図書館	1	90		1	2	
東宇治図書館	3	222		1	2	
西宇治図書館	3	145	うち2回は出前形式	2	46	うち1回は職業講話

成果・実績



中央図書館
図書展示「大人のためのぜいたく時間」



中央図書館
「宇治の魅力探訪ツアー」



東宇治図書館
「出張おはなし会 & 工作教室」



西宇治図書館
「図書館見学会」

事業評価

幅広い資料の収集や企画事業などの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の読書活動や生涯学習を促進することができた。今後も社会状況の変化に伴う多様化・高度化したニーズへの対応に努める。

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部

事務事業名	電子図書館サービス事業費（学校連携事業含む）	所管課	中央図書館
		決算額	12,767千円
事業内容	利用者がインターネット上の電子図書館サイトにアクセスすることで、いつでもどこでも電子書籍の貸出や閲覧などができるサービスを提供する。また、学校連携事業として、宇治市立学校に在籍する小学3年生以上の全小中学生に電子図書館を利用できる環境を整備する。		
成果・実績	7月から学校や家庭などでいつでも電子図書が読める環境を作り読書意欲を喚起するとともに、読書活動や学習活動を推進することを目的として、宇治市立学校に在籍する小学3年生以上の全小中学生に電子図書館の学校連携専用IDカードを配布した。		
	◎利用状況等		
	電子書籍点数	18,407点	
	・図書館分		
	登録者数	4,094人	
	利用人数	7,779人	
	貸出点数	13,051点	
	・学校連携分		
	登録者数	11,551人	
	利用人数	33,489人	
	貸出点数	84,586点	
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により図書館利用を控える傾向が続く中、来館せず電子書籍を読むことができる本サービスについては、書籍点数が概ね3倍に増え、登録者数も増加した。また、学校連携事業として専用IDカードを配布したことにより、読書習慣のない小中学生が本に触れたり、家族で図書館を訪れるきっかけを提供できた。今後も電子図書館サービスの充実に努める。		




電子図書館サービス


事務事業名	視覚障害者専用電子図書館事業費	所管課	中央図書館
		決算額	110千円
事業内容	視覚障害者がスマートフォン等の音声自動読み上げ機能を使って電子書籍を楽しむ視覚障害者専用電子図書館サービスを提供する。		
成果・実績	◎利用状況等		
	電子書籍点数	14,994点	
	登録者数	26人	
	◎視覚障害者向けスマートフォン講座	1回	参加人数 7人
事業評価	市内在住の身体障害者手帳（視覚障害）を持つ対象者への利用案内等の送付や、スマートフォンの操作に不慣れな人にも利用していただけるように視覚障害者向けスマートフォン講座を開催し利用促進を図った。今後もより多くの方に利用されるよう引き続き利用者拡大に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館調査研究費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	210 千円
事業内容	宇治市関係歴史資料について、旧家及び社寺、博物館などが所蔵する資料の調査を行い、データの充実を図るとともに、収蔵資料調査報告書により成果を広く公開する。		
成果・実績	宇治市関係歴史資料で、大正から昭和初期にかけて流行した鳥瞰図の第一人者である吉田初三郎の作品、関係資料の調査成果をまとめた「収蔵資料調査報告書25 吉田初三郎関係資料 下」を刊行した。 ◎収蔵資料調査報告書発行数 400部		 <p style="text-align: center;">「収蔵資料調査報告書25 吉田初三郎関係資料 下」</p>
事業評価	歴史資料の調査を行い、調査結果をまとめ、報告書を刊行した。宇治市の歴史・文化を広く公開し、市民の生涯学習の促進を図るため、引き続き取り組む。		

事務事業名	歴史資料館資料収集保存費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)
		決算額	653 千円
事業内容	資料を収集して充実を図るとともに、これらをより良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸及び収蔵庫の環境維持に努める。		
成果・実績	宇治市関係歴史資料として下記の資料を購入した。 ◎主な購入資料 ・修紫源氏姿 美多て八景の内 晴嵐 三枚続 ・かほよひの遊 三枚続 ・嵐山桜狩之図 三枚続		 <p style="text-align: center;">「修紫源氏姿 美多て八景の内 晴嵐」(部分)</p>
事業評価	資料の収集、保存、管理を適切に行うことにより、宇治市に留まらず他館等への貸出し等、広く資料の活用を図ることができた。今後も資料の充実や適切な保存、整理を図り、その活用に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館展示活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)																							
		決算額	1,324 千円																							
事業内容	宇治市の歴史に関する多様なテーマについて、調査・研究の成果を市民に還元し、後世に伝えるため、特別展、企画展、常設展及び関連事業を実施する。開館以来収集してきた資料を中心に、実物資料、写真パネル、映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努める。																									
成果・実績	宇治の歴史及び文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、展覧会を開催した。令和4年度は、特別展を1回、企画展を4回開催した。																									
	◎特別展 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">展覧会名</th> <th style="width: 20%;">会期</th> <th style="width: 20%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山地、平野、川とともに池 —宇治のくらしと空間—</td> <td>9月17日～11月27日</td> <td style="text-align: center;">719人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">◎特別展記念講演会「宇治の地形と暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：金田章裕（京都府立京都学・歴彩館館長） ・開催日：9月18日 ・参加者数58人 <p style="margin-top: 10px;">◎企画展</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 55%;">展覧会名</th> <th style="width: 25%;">会期</th> <th style="width: 20%;">入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国登録有形民俗文化財登録記念 宇治茶の生産・販売用具</td> <td>4月16日～6月19日 [4月29日、5月3日～5日臨時開館]</td> <td style="text-align: center;">1,243人</td> </tr> <tr> <td>戦争遺品展 戦時下のくらし</td> <td>7月2日～9月4日</td> <td style="text-align: center;">1,050人</td> </tr> <tr> <td>ちょっと昔の街と暮らし なつかしの電化製品</td> <td>12月10日～令和5年2月12日 [1月9日臨時開館]</td> <td style="text-align: center;">1,029人</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治・2023</td> <td>令和5年2月25日～4月23日</td> <td style="text-align: center;">803人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: center;">4,125人</td> </tr> </tbody> </table>			展覧会名	会期	入館者数	山地、平野、川とともに池 —宇治のくらしと空間—	9月17日～11月27日	719人	展覧会名	会期	入館者数	国登録有形民俗文化財登録記念 宇治茶の生産・販売用具	4月16日～6月19日 [4月29日、5月3日～5日臨時開館]	1,243人	戦争遺品展 戦時下のくらし	7月2日～9月4日	1,050人	ちょっと昔の街と暮らし なつかしの電化製品	12月10日～令和5年2月12日 [1月9日臨時開館]	1,029人	発掘ものがたり宇治・2023	令和5年2月25日～4月23日	803人	合計	
展覧会名	会期	入館者数																								
山地、平野、川とともに池 —宇治のくらしと空間—	9月17日～11月27日	719人																								
展覧会名	会期	入館者数																								
国登録有形民俗文化財登録記念 宇治茶の生産・販売用具	4月16日～6月19日 [4月29日、5月3日～5日臨時開館]	1,243人																								
戦争遺品展 戦時下のくらし	7月2日～9月4日	1,050人																								
ちょっと昔の街と暮らし なつかしの電化製品	12月10日～令和5年2月12日 [1月9日臨時開館]	1,029人																								
発掘ものがたり宇治・2023	令和5年2月25日～4月23日	803人																								
合計		4,125人																								
事業評価	市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられるテーマを選び、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、特別展・企画展を実施した。展覧会を通して、市民が継続的に歴史資料に親しみ、その重要性を知る機会を提供し、宇治の歴史や文化について理解を深めることができるよう、今後も工夫を凝らした展示の実施に努める。																									

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	伝統と歴史が輝くまち
関連分野	文化芸術

所管部局
教育部

事務事業名	歴史資料館教育普及活動費	所管課	博物館管理課(歴史資料館)		
		決算額	10千円		
事業内容	歴史講座等を開催し、調査・研究成果を広く公開する。市民の歴史研究に資するとともに、博物館活動への理解を深める。				
成果・実績	歴史講座2回と展覧会関連事業2回を開催し、あわせて57人の参加があった。				
	種別	開催日	テーマ	講師	参加者数
	歴史講座	11月4日	近世・近代の宇治にくらした人びとと生業	博物館管理課 学芸員	16人
		令和5年 2月22日	江戸時代宇治川流域の漁労をめぐって ー御用、運上、釣ー	博物館管理課 学芸員	25人
	上記のほか、展覧会関連事業を実施した。 ・事業数：2回 ・参加者数：16人				
事業評価	新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、多様な世代の市民に向けた各講座を開催した。今後も、講座を通して、宇治の歴史と文化や博物館活動について、持続的に市民が関心を持ち、理解を深める機会を提供するよう努める。				

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	誰もがいきいきと暮らせるまち
関連分野	学べる環境

所管部局
教育部


事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	1,930 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	◎学習・文化活動 書道教室、えいごくらぶ、手作り教室、園芸教室、折り紙教室などを実施した。 ・実施回数 290回 ・参加者数 3,220人 ◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室、スポーツクラブ、お楽しみ会などを実施した。合宿は開催中止とした。 ・実施回数 33回 ・参加者数 575人		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室などを実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、感染状況を踏まえ事業内容の工夫に努める。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,202 千円
事業内容	人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動などのセンター事業を行う。		
成果・実績	◎学習・文化活動 体験学習、英語教室、お茶教室、工作教室などを実施した。 ・実施回数 105回 ・参加者数 1,230人 ◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 カメレオン・パニック、ダンス教室、アウトドア教室などを実施した。 ・実施回数 16回 ・参加者数 756人		
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室等を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。制約がある中でも、各種活動を通じ、青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の促進を図った。今後も、感染状況を踏まえ事業内容の工夫に努める。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団関連事業費	所管課	消防総務課																		
		決算額	45,267千円																		
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修などを逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。																				
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>◎消防団員報酬</td> <td style="text-align: right;">348人</td> <td style="text-align: right;">14,181千円</td> </tr> <tr> <td>◎消防団員退職報償金</td> <td style="text-align: right;">17人</td> <td style="text-align: right;">7,621千円</td> </tr> <tr> <td>◎出動報酬</td> <td style="text-align: right;">延べ3,923人</td> <td style="text-align: right;">6,005千円</td> </tr> <tr> <td>◎小型動力ポンプ式装備</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1,727千円</td> </tr> <tr> <td>◎京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">600千円</td> </tr> <tr> <td>◎池尾消防団器具庫建替えの測量及び設計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,398千円</td> </tr> </table>		◎消防団員報酬	348人	14,181千円	◎消防団員退職報償金	17人	7,621千円	◎出動報酬	延べ3,923人	6,005千円	◎小型動力ポンプ式装備		1,727千円	◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		600千円	◎池尾消防団器具庫建替えの測量及び設計		2,398千円	
◎消防団員報酬	348人	14,181千円																			
◎消防団員退職報償金	17人	7,621千円																			
◎出動報酬	延べ3,923人	6,005千円																			
◎小型動力ポンプ式装備		1,727千円																			
◎京都府消防協会宇城久支部負担金等		600千円																			
◎池尾消防団器具庫建替えの測量及び設計		2,398千円																			
事業評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら火災予防活動・防火啓発活動を実施し、地域一体となった安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、今後も積極的に消防団員の確保に努めるとともに、消防団活動の活性化を図り、災害のないまちづくりを進める必要がある。																				

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																																								
		決算額	3,820千円																																								
事業内容	全国消防長会のほか、消防庁消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																										
成果・実績	<p>◎研修実績（主なもの）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">研修内容</th> <th style="width: 30%;">場所</th> <th style="width: 15%;">期間（日）</th> <th style="width: 25%;">人数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>117</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>専科教育 警防科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 特殊災害科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 予防査察科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 危険物科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 火災調査科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>専科教育 救助科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 初級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消防大学校 救助科</td> <td>消防大学校（東京都）</td> <td>35</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			研修内容	場所	期間（日）	人数（人）	初任教育	京都府立消防学校	117	2	専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1	専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1	専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1	専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2	幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1	消防大学校 救助科	消防大学校（東京都）	35	1
研修内容	場所	期間（日）	人数（人）																																								
初任教育	京都府立消防学校	117	2																																								
専科教育 警防科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 特殊災害科	京都府立消防学校	7	1																																								
専科教育 予防査察科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 危険物科	京都府立消防学校	5	1																																								
専科教育 火災調査科	京都府立消防学校	10	1																																								
専科教育 救助科	京都府立消防学校	20	2																																								
幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10	1																																								
消防大学校 救助科	消防大学校（東京都）	35	1																																								
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講及び各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も複雑多様化している災害等に的確に対応するため、計画的な職員の知識・技能のさらなる向上に努める必要がある。																																										

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部


事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	449 千円
事業内容	市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で住みよい災害に強いまちづくりを推進する。		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、消防の仕事について学ぶ小学生への防火読本を作成配布することにより、市民への防火啓発や火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、市民に訓練の重要性及び初期消火における消火器の有効性を認識してもらうため、町内会等の消火訓練に使用した消火器及び初期消火に使用された消火器に対し、消火薬剤の補填を行うことにより火災予防意識の高揚に努めた。</p> <p>◎ポスター配布数（市内事業所宛て） 500枚（1事業所への複数枚の配布含む） ◎防火読本配布数 2,500冊（市内小学3年生及び市民に配布） ◎消火薬剤補填数 17本（訓練 16本、初期消火 1本）</p>		
事業評価	防火啓発ポスター及び小学生への防火読本の作成配布などを実施することにより、火災予防への意識高揚及び火災発生の防止効果につなげることができた。今後もより効果的な啓発等に努め、引き続き火災予防意識の高揚を図る必要がある。		

事務事業名	消防水利維持管理・消防水利拡充事業費	所管課	警防救急課
		決算額	21,979 千円
事業内容	消火活動において、消防水利が有効に活用できるように維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消火栓等を新設し、消防水利の充実に努める。		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利等の維持管理、新設を行った。</p> <p>◎消火栓維持管理 消火栓63基の補修工事等を行った。</p> <p>◎消防水利新設 消火栓2基を新設した。</p> <p>◎消防水利修繕 防火水槽3基の修繕を行った。</p>		
事業評価	消防水利の補修・改修及び新設をすることにより、消防水利を確保し、火災へ備えることができた。今後も引き続き消防水利等の維持管理・拡充を行い、災害対応力の充実に努める必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

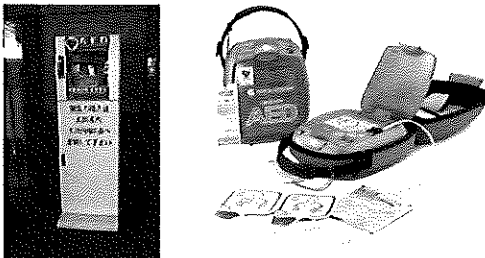
事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防救急課
		決算額	115,002 千円
事業内容	老朽化した消防車両、救助用舟艇、消防機械器具などの更新整備を行い、災害活動時の安全管理対策及び高機能化を図る。		
成果・実績	◎消防活動資機材の更新整備 面体の更新整備4基 空気呼吸器用軽量空気ボンベ17本 消防用ホースの更新整備55本 ◎水槽付消防ポンプ自動車1台の更新整備 85,250千円 ◎舟艇搬送車1台の更新整備 17,061千円 ◎水難救助用消防舟艇1艇の更新整備 7,119千円	 <p style="text-align: center;">水槽付消防ポンプ自動車</p>	
事業評価	各種消防車両、救助用舟艇、消防機械器具などの更新により、被害の軽減及び隊員の安全管理を図ることができた。今後も引き続き必要な機能及び数量を精査しながら、計画的な機材等の更新を行い、消防力の充実強化に努める必要がある。		


事務事業名	専門職員養成費	所管課	警防救急課
		決算額	3,092 千円
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。		
成果・実績	救急救命士の新規養成1人と、拡大処置認定救急救命士として気管挿管認定1人、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管内挿管認定を6人養成し、救急高度化の充実・強化を図った。		
	救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績		
	研修名	場 所	期間等
	人数		
	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7か月
	1人		
	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例
	1人		
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用した気管挿管病院実習	市内医療機関	3症例
	6人		
事業評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部実習が制限される中、救急隊員の資質・技能を向上させることにより、救急高度化の充実・強化を図ることができた。今後も新たな時代に対応するため計画的な救急救命士の養成に努め、救命率の向上を図る必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

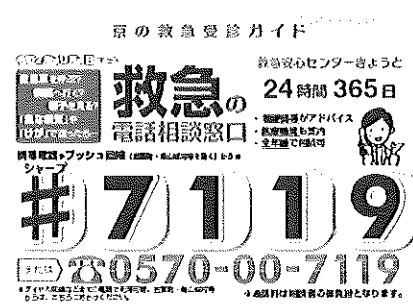
事務事業名	AED整備費	所管課	警防救急課
		決算額	3,466 千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即時対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。		
成果・実績	<p>平成30年8月から5年間の長期賃借契約により、公共施設86か所にAEDを更新整備し、迅速に救命できる体制をとるとともに、各公共施設職員や利用者に救命講習を実施し救命に関する知識と技術の習得促進に努めた。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">AED（自動体外式除細動器）</p>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備することにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も引き続きAEDの取扱いの習得促進など、効果的・効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る必要がある。		

事務事業名	通信施設維持管理費	所管課	指揮指令課
		決算額	25,744 千円
事業内容	各種災害の受信・指令など、災害事案を管理する高機能指令システムの維持管理及び災害出動隊の通信手段である消防救急デジタル無線設備の維持管理を行う。		
成果・実績	<p>◎NET119緊急通報システム業務委託 726千円 登録者数 93人</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>◎119番通報等に係る電話通訳業務委託 330千円</p> <p>◎消防通信指令システム部材交換 110千円 デジタル無線装置部材交換（受令機用バッテリー）</p>		
事業評価	NET119緊急通報システムにより、会話に不自由な聴覚・言語機能障がい者の方が、スマートフォン等のインターネット機能を利用して、いつでも全国どこからでも119番通報できる体制の構築を図れた。また、電話通訳業務を行うことにより日本語を介しての会話が困難な市内に居住する外国人の方、外国人観光客の方からの通報や災害現場で円滑な対応が図れた。今後も多様化する119番通報に対応できる体制を整備していく必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	救急安心センター事業費	所管課	警防救急課
		決算額	1,880千円
事業内容	京都府と府内の消防本部が共同で運営する救急安心センター事業（救急安心センターきょうと）は、共通の短縮ダイヤル#7119を使用し、医師・看護師・相談員などが救急車を呼ぶべきか、医療機関を受診すべきかなど、医療相談をはじめ、受診可能な医療機関の案内まで、判断に悩む住民（全年齢）からの相談に対して助言を行う。		
成果・実績	不急の救急要請の抑制や、潜在的な重症者を救急要請に導くことができた。 新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえて、継続して効果を検証する必要がある。また、利用者からは相談することで安心を得られたという声が報告された。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>京の救急受診ガイド</p> <p>救急の24時間365日電話相談窓口</p> <p>#7119</p> <p>20570-00-7119</p> </div>		
事業評価	令和4年度救急安心センターきょうと検証会議においても、事業効果が確認されており、今後も検証結果を注視しつつ、継続して市民に周知を図る必要がある。		

事務事業名	高度救急設備整備費	所管課	警防救急課
		決算額	33,224千円
事業内容	救急車の更新計画に基づき、榎島消防分署の高規格救急車及び積載する救急資器材の更新を行う。		
成果・実績	更新計画に基づき榎島消防分署に配置した。 <ul style="list-style-type: none"> ◎高規格救急自動車 19,580千円 ◎高規格救急自動車用資器材 13,640千円 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED(自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビデオ硬性挿管用喉頭鏡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高規格救急自動車</p> </div> </div>		
事業評価	感染症に対応できるように救急車に隔壁などの各種感染防止対策を施し、資器材についても既存の資器材に加えて感染対策物品を導入した。感染症流行下でも対応可能な体制を構築し、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も必要な設備について整備を図る。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
まちづくりの方向	安全・安心に住み続けられるまち
関連分野	消防・救急

所管部局
消防本部

事務事業名	救急搬送体制強化事業費	所管課	警防救急課
		決算額	7,336 千円
事業内容	感染症対策をはじめとした救急医療体制の変化に即応できる体制を構築する。		
成果・実績	<p>感染症流行当初の医療用マスクや感染防止衣等の世界的な品薄による納期の延長を経験し、リユース可能な感染防止衣の導入などの対策を行い、救急活動を継続できる体制を構築できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎感染防止体制の充実 ◎非常用救急車の積載資器材の再整備 ◎消防・救助隊に配備の応急手当資器材の再整備 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>医療用マスク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>感染防止衣</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
事業評価	<p>救急隊員の感染を防止することで、勤務体制を維持し救急活動の継続を可能にした。併せて、救急隊から傷病者への二次感染防止に努めることができた。</p> <p>また、非常用救急車を効率的に運用し、救急搬送困難事案が発生する中でも、救急体制が維持できた。今後も引き続き体制の強化を図る。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信


所管部局
その他

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	31,237 千円
事業内容	円滑な議会運営のため、議会改革に取り組む。各委員会活動充実のための研修会及び市民に開かれた議会を目指し、本会議及び委員会の生中継と録画配信を行う。また、議会関連資料の閲覧や検索など、情報の共有化及び情報伝達の簡素化を図るため、タブレット端末を活用する。		
成果・実績	◎委員会研修		69 千円
	委員会	研修内容	参加人数
	議会運営	一般質問の機能	28
	議会運営 (小委員会)	那覇市議会とのオンライン研修 業務継続計画（議会BCP）	16
	産業・ 人権環境	気候危機に立ち向かうための自治体・議会の役割	28
	建設・水道	天ヶ瀬ダム再開発事業	21
		◎議会映像インターネット配信経費 録画映像アクセス数	61 千円 23,502 件
	◎タブレット端末・クラウド接続経費	1,902 千円	
	◎議場設備改修経費	22,357 千円	
	◎委員会室の配信用カメラ・マイク設備等整備経費	5,720 千円	
	◎ディスプレイ整備経費	517 千円	
事業評価	<p>開かれた議会を実現するため、本会議等のインターネット配信の活用により議会の情報を広く市民に発信することができた。また、タブレット端末を活用した議員のICT活用に関するスキル向上のための取組に努めたほか、オンラインで研修や市民と議会のつどいを開催するなど、コロナ禍でもICTを積極的に活用することで、議会運営の活性化に努めることができた。</p> <p>議場設備の改修、委員会室のインターネット中継の配信用カメラの更新及びマイク設備の設置、ディスプレイの設置を行い、市民の傍聴環境の向上等に努めた。</p> <p>今後も開かれた議会を目指し、議会改革の取組を発展させ、さらなる議会運営の推進に努める必要がある。</p>		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	時代の潮流を捉えた市政運営
取組の方向	戦略的な広報／魅力発信

所管部局
その他

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	6,232 千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	◎議会だより発行経費 6,002 千円 ・発行回数 4 回 ・年間発行部数 328,560 部 ◎市政概要発行経費 159 千円 ・発行回数 1 回 ・発行部数 130 部		
事業評価	議会だよりを各戸配布し、全市民へ議会の情報を発信した。今後も市民の議会への関心を高めるため、より分かりやすい情報発信の手法について引き続き検討する必要がある。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	22 千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、啓発ポスター・標語の募集、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>また、出前講座等の実施を通じて、主に若年層に対する啓発を行った。</p>		
事業評価	市民の政治意識及び投票率の向上のため、各種啓発活動に取り組んだ。今後は、特に若年層の投票率改善に向けて、主権者意識の醸成等に資する、より効果的な啓発活動を検討する必要がある。		

事務事業名	京都府知事選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																															
		決算額	34,497 千円																															
事業内容	京都府知事選挙を執行する。																																	
成果・実績	<p>4月10日に京都府知事選挙を執行した。</p> <p>◎執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (16日間)</th> <th>7ル・プラザ 宇治東 (5日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>71,787</td> <td>25,133</td> <td>35.01</td> <td>4,775</td> <td>2,025</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>79,351</td> <td>28,151</td> <td>35.48</td> <td>5,448</td> <td>3,186</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>151,138</td> <td>53,284</td> <td>35.26</td> <td>10,223</td> <td>5,211</td> <td>329</td> </tr> </tbody> </table>				当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)			市役所 (16日間)	7ル・プラザ 宇治東 (5日間)	産業振興 センター (3日間)	男	71,787	25,133	35.01	4,775	2,025	161	女	79,351	28,151	35.48	5,448	3,186	168	合計	151,138	53,284	35.26	10,223	5,211	329
	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)					期日前投票者数 (人)																										
				市役所 (16日間)	7ル・プラザ 宇治東 (5日間)	産業振興 センター (3日間)																												
男	71,787	25,133	35.01	4,775	2,025	161																												
女	79,351	28,151	35.48	5,448	3,186	168																												
合計	151,138	53,284	35.26	10,223	5,211	329																												
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	参議院議員選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																															
		決算額	58,413 千円																															
事業内容	参議院議員選挙を執行する。																																	
成果・実績	<p>7月10日に参議院議員通常選挙を執行した。</p> <p>◎執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">当日 有権者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票者数 (人)</th> <th rowspan="2">投票率 (%)</th> <th colspan="3">期日前投票者数 (人)</th> </tr> <tr> <th>市役所 (17日間)</th> <th>アル・プラザ 宇治東 (5日間)</th> <th>産業振興 センター (3日間)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">72,988</td> <td style="text-align: right;">36,733</td> <td style="text-align: right;">50.33</td> <td style="text-align: right;">7,175</td> <td style="text-align: right;">3,414</td> <td style="text-align: right;">286</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">80,415</td> <td style="text-align: right;">39,593</td> <td style="text-align: right;">49.24</td> <td style="text-align: right;">7,786</td> <td style="text-align: right;">5,005</td> <td style="text-align: right;">302</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">153,403</td> <td style="text-align: right;">76,326</td> <td style="text-align: right;">49.76</td> <td style="text-align: right;">14,961</td> <td style="text-align: right;">8,419</td> <td style="text-align: right;">588</td> </tr> </tbody> </table>				当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	期日前投票者数 (人)			市役所 (17日間)	アル・プラザ 宇治東 (5日間)	産業振興 センター (3日間)	男	72,988	36,733	50.33	7,175	3,414	286	女	80,415	39,593	49.24	7,786	5,005	302	合計	153,403	76,326	49.76	14,961	8,419	588
	当日 有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)					期日前投票者数 (人)																										
				市役所 (17日間)	アル・プラザ 宇治東 (5日間)	産業振興 センター (3日間)																												
男	72,988	36,733	50.33	7,175	3,414	286																												
女	80,415	39,593	49.24	7,786	5,005	302																												
合計	153,403	76,326	49.76	14,961	8,419	588																												
事業評価	今後も公明かつ適正な選挙事務の執行に努めるとともに投票しやすい環境づくりに努める必要がある。																																	

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	72 千円
事業内容	宇治市の事務の執行、管理等について法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保するとともに、宇治市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、もって市民の福祉の増進と市政の信頼確保に資することを目的として、例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査などを行う。		
成果・実績	定期監査は、21課2室3事務局10館1センターを抽出し実施した。 随時監査は、令和2年度の定期監査において指摘事項のあった5課1センターを抽出して実施した。 財政援助団体等監査は、3団体を抽出して実施した。 住民監査請求について監査を実施した。 例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。 決算審査は、一般会計・4特別会計・2公営企業会計及び基金運用状況について実施した。 健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。 また、参画する全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の研修を受講すること等により、監査能力の向上と知識の蓄積、情報収集に努めた。		
事業評価	各研修の受講等により監査機能の充実向上が図られ、事務事業の指導及び監査を適正に行うことができた。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	35 千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の審査請求及び勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定などを行う。		
成果・実績	宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を1回開催し、職員団体登録に伴う審査及び公平委員会規則の一部改正の議決などを行った。 また、参画する全国公平委員会連合会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会からの資料等により会員都市の情報の収集と知識の蓄積に努めた。		
事業評価	全国公平委員会連合会からの資料等を活用し、研究及び知識の蓄積に努め、公正な審査に期するための審査機能の向上を図ることができた。		

令和4年度決算成果説明書

総合計画の体系	
土台となる取組	将来を見据えた持続可能な行財政運営
取組の方向	健全な行財政運営の確立

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	43千円
事業内容	地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税者からの審査申出について審査、決定する。		
成果・実績	<p>家屋1件の審査申出を受け、委員会を6回開催した。</p> <p>また、(一財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加し、審査委員会業務の推進に努めた。</p>		
事業評価	<p>審査申出について、適正に審査を行い決定することができた。</p> <p>また、研修会への参加等により固定資産税制度の現状と課題及び審査委員会の運営について見識を深めることができた。</p>		

総合計画の体系	
まちづくりの方向	地域経済が活発なまち
関連分野	農林水産業

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	513千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、京都府国有農地等管理処分事業事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>農業委員会等に関する法律に基づき、農業委員会総会を12回開催し、農地法に基づく農地の権利移動及び転用などについての審議を行ったほか、租税特別措置法に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などを行った。</p> <p>また、各部会等の活動及び研修会などを通じて、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、市長部局（農林茶業課）及び関係機関と連携し、農地利用の最適化の推進を図るとともに、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応及び加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	<p>農業委員会等に関する法律等に基づき、適正に農地行政経費を執行し、農地利用の審議及び農家への啓発などを行うことができた。今後も円滑な委員会運営に努め、農家への啓発や農地利用の最適化の推進を図る必要がある。</p>		



用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
1,428,726	2,537,531	在 庫 用 品	1,108,805	
4,571,274	6,443,569	預 金	1,872,295	
	1,508,444	未 収 金	1,508,444	
	1,472,610	未 払 金	1,472,610	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	11,962,154	小 計	11,962,154	6,000,000
		払 出 差 益	399,639	399,639
		受 取 利 息	46	46
		雑 利 益		
		雑 損 失		
399,685	399,685	一般会計繰出金		
399,685	399,685	小 計	399,685	399,685
6,399,685	12,361,839	合 計	12,361,839	6,399,685